



# 新宿区政世論調査

第 7 回

昭和54年10月

東京都 新宿区

## は じ め に

行政は停滞することなく常に何らかの形で行なわれている。民主主義制度のもとで行政が行われるということは、とりもなおさず住民の意思が反映されることにほかならない。そして、そこに横たわる住民の意思が的確であるか、行政の側に恣意や選択に誤まりはないか、等の点について、いつも正しい判断がなされているという確証が必要である。

住民の意思を行政に反映させる手段は、制度としてはいろいろあるが、行政体と直接の関わりを持たない、一般の一人一人の住民にとっては、その意思を表明する手段や機会は多くない。

世論調査は、そういうことが配慮され、住民の意向を把握し集大成し、トータルな住民の意思としての量をとらえることによって、問題に対する住民の考え方や傾向を知ろうとするものである。

新宿区が行う世論調査は今回で7回目である。これまでの世論調査による住民の意思が正しく選択され、着実に行政に反映されてきたか、確認をすることはぜひ必要である。

住民要望も徐々に、年々変化を見せている。今回の区の事業の要望のトップは震災対策である。かつて、福祉や公害がトップにあった。いずれも解決に容易な問題ではない。

しかし、世論調査は、住民と行政とをつなぐ大事なパイプであり、世論調査に求める必要度は益々高くなろう。

昭和54年10月

新宿区長 山 本 克 忠

# 目 次

★調査の概要 .....	3
★調査結果の要約 .....	19
★調査結果の分析	
I 定住性 .....	33
I - 1 居住年数 .....	34
I - 2 定住意思 .....	37
I - 3 住みよさ .....	39
(1) 住みよい理由, (2) 住みにくい理由 .....	40
II 生活環境 .....	45
II - 1 緑の状況変化 .....	48
II - 2 公害の被害経験の有無 .....	50
II - 3 公害対策 .....	51
II - 4 近隣騒音 .....	55
II - 5 自宅付近の道路状態の評価 .....	56
(1) 道路状態への不満 .....	58
II - 6 「都市計画道路」の見直し作業の周知度 .....	59
II - 7 指定区域での建築規制について .....	59
III 地域社会 .....	65
III - 1 コミュニティの範囲 .....	67
III - 2 近所付き合いの程度 .....	70
(1) 近所付き合いのキッカケ .....	72
(2) 付き合わない理由 .....	72
III - 3 地域社会の役割について .....	74
III - 4 自分の地域に欲しい施設 .....	78
IV 児童・青少年 .....	83
IV - 1 国際児童年の周知度 .....	87
IV - 2 青少年の環境づくりの責任 .....	88

IV-3	子どもに望むもの	90
IV-4	子どもに対する地域社会の責任	94
IV-5	「子どもの午後」について	96
IV-6	地区青少年対策委員会の周知度	97
IV-7	地区青少年対策委員会活動への参加意思	100
IV-8	区の児童・青少年事業への要望	104
V	婦人	109
V-1	女性の職業について	112
	(1) 身近な女性の職業について	115
	(2) 女性自身の職業について	116
V-2	女性が職業を持つ場合の障害	118
V-3	女性の社会活動について	122
V-4	区の女性のための事業への要望	122
VI	区民保養所	129
VI-1	区民保養所の利用度と周知度	130
	(1) 利用した理由	132
	(2) 利用しない理由	132
VII	区政への関心・要望	137
VII-1	区政への関心度の有無	140
VII-2	区政に関する情報源	143
VII-3	「新宿区広報」の到達閲読状況	147
	(1) 閲読状況	147
	(2) 広報に対する意見・要望	149
VII-4	区長名の周知度	151
VII-5	新宿文化センターの周知度	153
VII-6	新宿文化センターの催しものについての希望	155
VII-7	区の事業への要望	158

## ★ 相 関 表

調査票の見本	巻末折込み
--------	-------



# 調査の概要

# 調 査 の 概 要

## 1. 調査の目的

本調査の目的は、新宿区が行政をすすめていく上で、区民それぞれの現在の生活環境をふまえた区政に対する意向や要望・意見などを把握し、今後の行政運営に反映させていくための資料とするものである。

## 2. 調査の内容

今回、第7回目の区政世論調査としては、次の7つのテーマを基本テーマとして取り上げ、区民の意識動向の把握に努めた。

- |            |               |
|------------|---------------|
| (1) 定住性    | (5) 婦人        |
| (2) 生活環境   | (6) 区民保養所     |
| (3) 地域社会   | (7) 区政への関心・要望 |
| (4) 児童・青少年 |               |

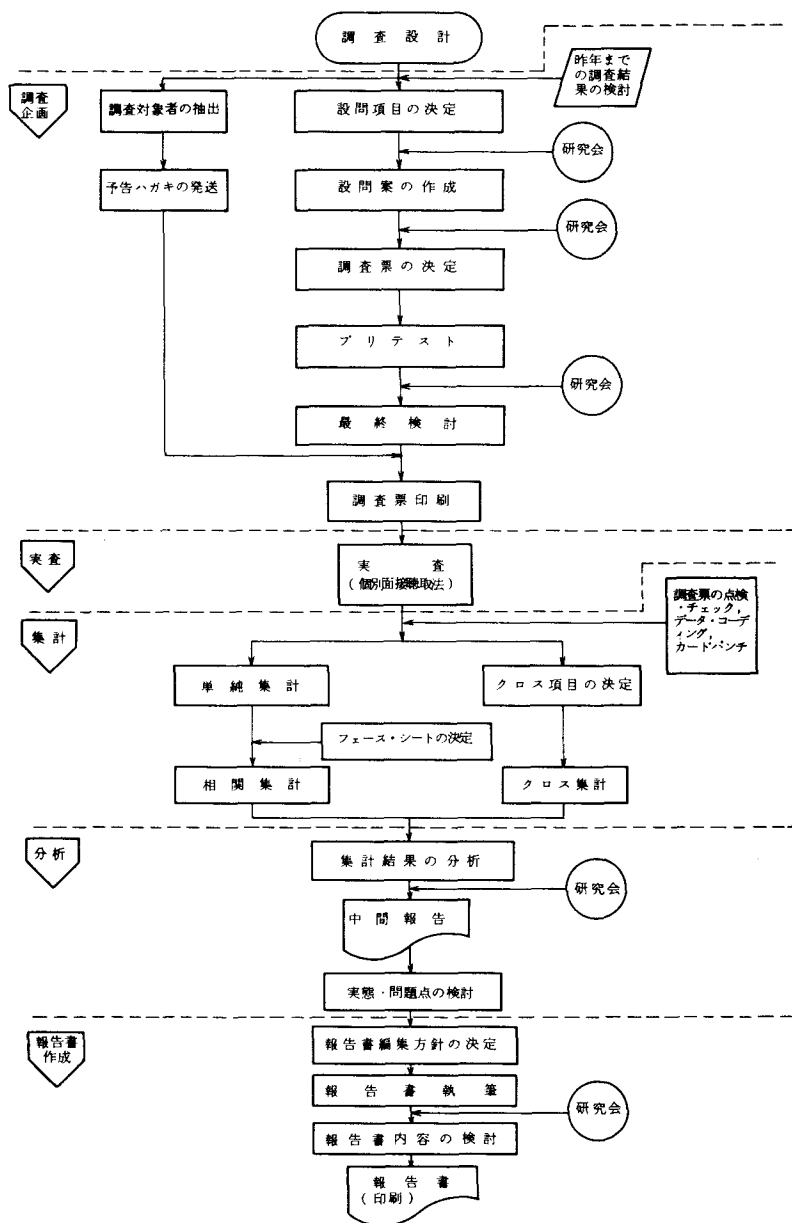
## 3. 調査の設計

- |  |                      |
|--|----------------------|
| (1) 調査地域                                     | 新宿区全域                |
| (2) 調査対象                                     | 新宿区在住の満20歳以上の男女個人    |
| (3) 標本数                                      | 1,500サンプル            |
| (4) 調査対象者の抽出                                 |                      |
| (i) 母集団                                      | 新宿区住民基本台帳（20歳以上）     |
| (ii) 抽出方法                                    | 系統的無作為抽出法            |
| （母集団に応じて一定のインターバルを定め、無作為系統的に1,500サンプルの標本を抽出） |                      |
| (5) 調査期間                                     | 昭和54年6月15日～6月30日（実査） |
| (6) 調査機関                                     | 日本EDP（株）調査部          |

## 4. 調査の体系

本調査は、図1のと通りの調査体系により実施した。このプロセスフローは、調査企画、実査、集計、分析、報告書作成により構成され、設問案の設計にあたっては企画部広報課を窓口として関係各課、調査委託機関による協議方式を採った。

図 1. 調査体系のプロセスフロー



## 5. 調査の方法

- |               |  |
|---------------|--|
| (1) 実 査 方 法   | 調査員による個別面接聴取法  |
| (2) 調 査 票     | 巻末折込みの調査票を使用   |
| (3) 回 答 票     | 回答項目が多い場合や複雑な場合、項目の記載された回答票を提示して回答してもらった。回答票使用の設問は、調査票に〔回答票提示〕と表記してある。         |
| (4) 予 告 ハ ガ キ | 「新宿区政世論調査のお願い」の調査訪問予告ハガキをあらかじめ郵送し、なお、ハガキには「区政への意見・要望の記入欄」を設けて、調査訪問時に回収した（図 2）。 |
| (5) 再訪問カード    | 調査対象者が不在の場合は、日時を変えて 3 回以上訪問し、その際には「再訪問カード」を使用して、再訪問する日時などを連絡し、調査回収作業の円滑化を心掛けた。 |

図 2. 予告ハガキ（調査のお願い）の見本

**「新宿区政世論調査」のお願い**

新宿区では、区民のみなさんのご意見・ご要望を区政に反映させていくために、このたび「新宿区政世論調査」を実施することになりました。

区民全体の中からクシ引きのような方法で、1,500人の調査回答者を選んだ結果、あなた様がそのうちの1人に選ばれました。**6月15日(金)～6月21日(木)**の間調査員が調査票を持参して、アンケートの聴き取り調査のためにおうかがいいたします。

なおこの調査結果は、「こういう意見の人が100人中何人いる」という形でしか発表いたしませんので、ご迷惑をおかけすることはありません。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、よろしくご協力くださいますようお願い申しあげます。

また、区政に関するご意見・ご要望がありましたら表開の欄にご記入ください。

54年 6 月

**新宿区役所企画部広報課**

**《調査についてのお問合せ》**

調査についてのお問合せやご希望の訪問日時などがありましたら、このハガキの表開に記載の日本EDP㈱調査部までお電話ください。

■必ずご本人がお答えください。  
■調査が終了したら、このハガキを調査員にお渡しください。  
■現在、表記の住所に居住していない場合は至急ご連絡ください。  
■ご協力いただいた方には粗品を差し上げます。

郵便はがき

□ □ □ - □ □

NIPPON 20  
三半郵

区政に関するご意見ご要望をご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

【実施】日本EDP協会調査部  
港区芝公園4-2-8 東京タワービル  
TEL: 434-8831 内線34

1 0 5

6. 地域分類

調査結果の集計にあたっては、表 1 および図 3 のとおり、新宿区内を特別出張所管轄区域に従い、10 地域に区分した。

図 3. 地域（特別出張所管轄区域）区分図

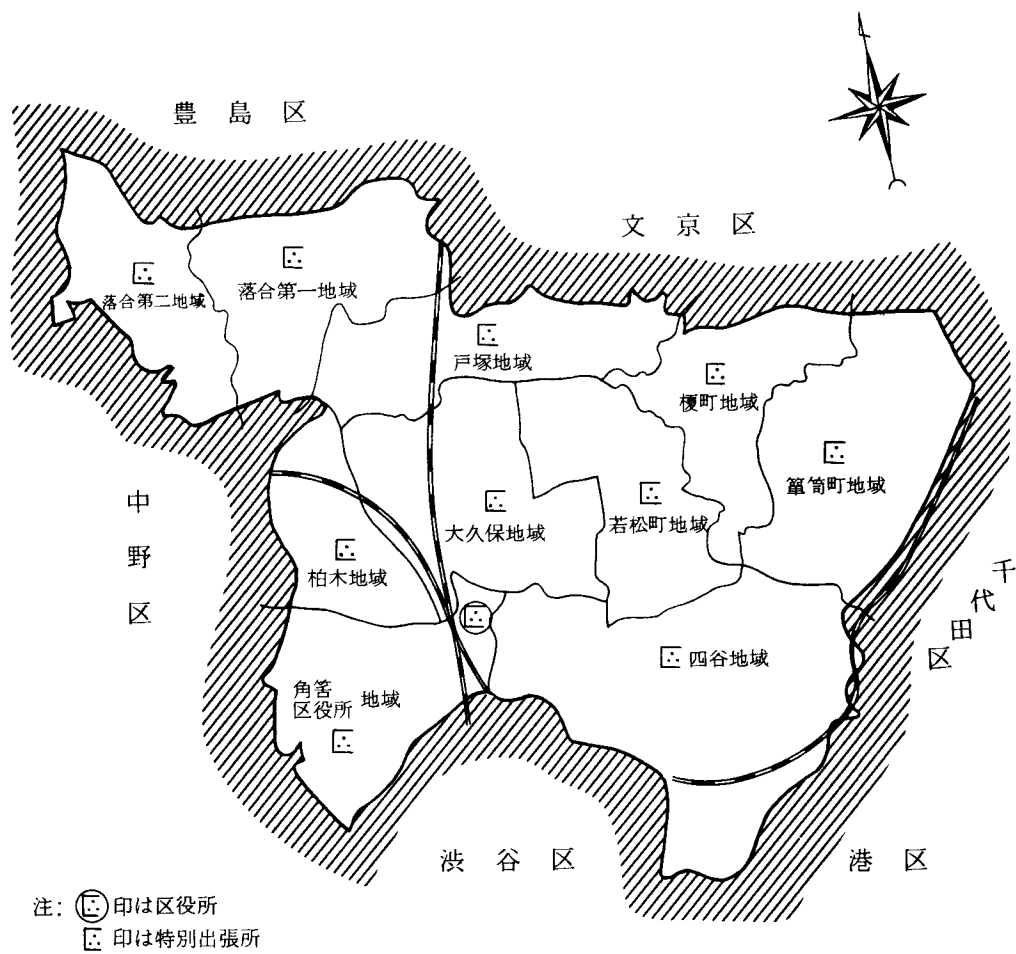


表 1. 地域区分一覧

地域	該 当 町 丁 目 名	地域	該 当 町 丁 目 名
四 谷 谷	四谷一丁目～同四丁目, 本塩町, 三栄町, 坂町, 若葉一丁目～同三丁目, 須賀町, 左門町, 信濃町, 南元町, 荒木町, 舟町, 愛住町, 大京町, 霞岳町, 内藤町, 片町, 新宿一丁目～同二丁目, 同三丁目〔1番～14番, 15番(一部), 16番, 17番(一部), 30番, 31番(一部), 32番〕, 同四丁目, 同五丁目〔1番～12番, 13番(一部), 14番(一部), 15番～17番, 18番(一部)〕, 歌舞伎町一丁目〔1番(一部)〕。	戸 塚	戸塚町一丁目, 同三丁目, 諏訪町, 下落合一丁目〔1番(一部), 3番(一部), 7番(一部), 12番～13番, 14番(一部), 16番(一部), 17番(一部)〕, 西早稲田一丁目, 同二丁目〔1番(一部)〕, 3番～21番〕, 同三丁目, 高田馬場一丁目～同二丁目, 同三丁目〔1番～7番, 8番(一部), 9番～15番, 16番(一部), 18番(一部), 19番～46番〕, 同四丁目, 百人町四丁目〔1番～9番)〕。
	市谷田町一丁目～同三丁目, 市谷本村町, 市谷砂土原町一丁目～同三丁目, 市谷左内町, 市谷加賀町一丁目～同二丁目, 市谷甲良町, 市谷船河原町, 市谷長延寺町, 市谷鷹匠町, 市谷山伏町, 市谷八幡町, 神楽坂一丁目～同六丁目, 細工町, 二十騎町, 揚場町, 津久戸町, 東五軒町, 西五軒町, 赤城元町, 南横町, 袋町, 弘方町, 北町, 中町, 南町, 納戸町, 南山伏町, 北山伏町, 白銀町, 下宮比町, 矢来町, 若宮町, 岩戸町, 簗管町, 横寺町, 筑土八幡町, 新小川町一丁目～同三丁目, 神楽河岸。		上落合一丁目, 同二丁目〔1番, 2番, 3番(一部), 4番～14番, 16番(一部)〕, 下落合一丁目〔1番(一部), 2番, 3番(一部), 4番～6番, 7番(一部), 8番～11番, 14番(一部), 15番, 16番(一部), 17番(一部)〕, 同二丁目～同四丁目, 中落合一丁目〔1番～15番, 17番(一部), 20番, 21番〕, 同二丁目, 同三丁目〔1番～13番, 14番(一部), 15番, 18番(一部), 19番(一部)〕, 同四丁目〔1番(一部)〕, 中井二丁目〔1番～3番〕, 高田馬場三丁目〔8番(一部), 16番(一部), 17番, 18番(一部)〕。
	市谷薬王寺町, 市谷柳町, 市谷仲之町, 赤城下町, 天神町, 横町, 東横町, 早稲田町, 早稲田南町, 馬場下町, 原町一丁目～同三丁目, 喜久井町, 築地町, 弁天町, 中里町, 山吹町, 改代町, 水道町, 早稲田鶴巻町, 西早稲田二丁目〔1番(一部)〕。		上落合二丁目〔3番(一部), 15番, 16番(一部), 17番～29番〕, 同三丁目, 西落合一丁目～同四丁目, 中落合一丁目〔16番, 17番(一部), 18番, 19番〕, 同三丁目〔14番(一部), 16番, 17番, 18番(一部), 19番(一部), 20番～29番〕, 同四丁目〔1番(一部), 2番～32番〕, 中井一丁目, 同二丁目〔4番～30番)〕。
	住吉町, 市谷台町, 市谷富久町, 市谷河田町, 若松町, 戸山町, 余丁町, 西早稲田二丁目〔2番)〕。		西新宿六丁目〔2番～5番, 7番～9番, 10番(一部)〕, 同七丁目〔1番, 2番(一部), 7番～23番〕, 同八丁目, 北新宿一丁目～同四丁目。
大 久 保	新宿五丁目〔13番(一部), 14番(一部), 18番(一部)〕, 同六丁目～同七丁目, 歌舞伎町一丁目〔1番(一部)〕, 同二丁目, 大久保一丁目～同三丁目, 西大久保四丁目, 西新宿七丁目〔2番(一部), 3番～6番〕, 百人町一丁目～同三丁目, 同四丁目(一部)。	角 筈 ・ 区 役 所	西新宿一丁目～同五丁目, 同六丁目〔1番, 6番, 10番(一部), 11番～26番〕, 歌舞伎一丁目〔1番(一部), 2番～29番, 30番(一部)〕, 新宿三丁目〔15番(一部), 17番(一部), 18番～29番, 31番(一部), 33番～38番)〕。

注: 昭和53年7月1日をもって, 四谷, 大久保, 角筈・区役所地域の一部に住居表示の変更があった。  
上表はこの新住所に基づいたものである。

## 7. 回収結果

(1) 標 本 数 1,500票

(2) 有効回収数 1,139票

有効回収率 75.9%

(3) 回収不能数 361票

回収不能率 24.1%

(4) 地域別の回収結果

	標 本 数	有 効 回 収 数	有 効 回 収 率
区 全 体	1,500	1,139	75.9%
四 谷 地 域	210	153	72.9
簞 笥 町 地 域	140	111	79.3
榎 町 地 域	155	128	82.6
若 松 町 地 域	157	110	70.1
大 久 保 地 域	188	129	68.6
戸 塚 地 域	172	130	75.6
落 合 第 一 地 域	127	96	75.6
落 合 第 二 地 域	135	114	84.4
柏 木 地 域	151	112	74.2
角 筈・区役所地域	65	56	86.2

(5) 地域別の回収不能の内訳

地域	内訳	短期不在	長期不在	転 居	拒 否	病気・入 院・高齢	住所不明	そ の 他
区全体 (495)		52.5%(260)	8.9%(44)	17.2%(85)	8.7%(43)	5.3%(26)	6.5%(32)	1.0%(5)
四 谷 地 域 (67)		53.7 (36)	11.9 (8)	17.9 (12)	7.5 (5)	6.0 (4)	3.0 (2)	0 (—)
簞 笥 町 地 域 (55)		67.3 (37)	3.6 (2)	7.3 (4)	10.9 (6)	5.5 (3)	3.6 (2)	1.8 (1)
榎 町 地 域 (41)		39.0 (16)	4.9 (2)	24.4 (10)	7.3 (3)	9.8 (4)	12.2 (5)	2.4 (1)
若 松 町 地 域 (60)		66.7 (40)	10.0 (6)	20.0 (12)	1.7 (1)	1.7 (1)	0 (—)	0 (—)
大 久 保 地 域 (75)		57.3 (43)	8.0 (6)	17.3 (13)	5.3 (4)	4.0 (3)	8.0 (6)	0 (—)
戸 塚 地 域 (55)		56.4 (31)	5.5 (3)	10.9 (6)	7.3 (4)	3.6 (2)	12.7 (7)	3.6 (2)
落 合 第 一 地 域 (31)		41.9 (13)	6.5 (2)	25.8 (8)	3.2 (1)	16.1 (5)	6.5 (2)	0 (—)
落 合 第 二 地 域 (42)		61.9 (26)	11.9 (5)	9.5 (4)	11.9 (5)	2.4 (1)	2.4 (1)	0 (—)
柏 木 地 域 (49)		32.7 (16)	16.3 (8)	20.4 (10)	12.2 (6)	6.1 (3)	10.2 (5)	2.0 (1)
角 筈・区役所地域 (20)		10.0 (2)	10.0 (2)	30.0 (6)	40.0 (8)	0 (—)	10.0 (2)	0 (—)

注：転居，その他（死亡など），住所不明などは予備サンプルを使用した。

## 8. 摘要と標本誤差

- (1) すべての集計表は、小数点第2位を四捨五入した。
- (2) 回答の比率(%)はその設問の回答者数を基数(N)として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える。
- (3) 相関表におけるNは比率算出の基数(Number of caseの略)であり、その設問の回答者数を表わす。
- (4) 質問の種類を示す記号は次のとおりである(巻末調査票参照のこと)。
- 1A: 回答項目の中から一つだけ選択してもらう質問(One Answerの略)
- 2A: 回答項目の中から二つ以内で選択してもらう質問(Two Limited Answerの略)
- 3A: 回答項目の中から三つ以内で選択してもらう質問(Three Limited Answerの略)
- MA: 回答項目の中から該当するものすべてを選択してもらう質問(Multiple Answerの略)
- FA: 選択枝を設けないで、自由回答を求める質問(Free Answerの略)
- (5) なお、無回答者に対しては、NA(No Answerの略)として集計・処理した。
- (6) 標本誤差(サンプル誤差)

標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、および②回答の比率(P)によって異なるが、代表的な誤差を下表に示すので、参考にされたい。この場合、①比率算出の基数(n)、および②回答の比率(P)とによって下表をみて該当する誤差率を回答の比率にプラス、マイナスすればよいわけである。

$$b = 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差  
N = 母集団数  
(54年1月1日現在: 257,397人)  
n = 比率算出の基数  
(全員回答の場合は、1,139人)  
P = 回答の比率



回答の比率 (P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,139	± 1.8 %	± 2.4 %	± 2.7 %	± 2.9 %	± 3.0 %
1,000	± 1.9 %	± 2.5 %	± 2.9 %	± 3.1 %	± 3.2 %
800	± 2.1 %	± 2.8 %	± 3.2 %	± 3.5 %	± 3.5 %
600	± 2.4 %	± 3.3 %	± 3.7 %	± 4.0 %	± 4.1 %
400	± 3.0 %	± 4.0 %	± 4.6 %	± 4.9 %	± 5.0 %
200	± 4.2 %	± 5.7 %	± 6.5 %	± 6.9 %	± 7.1 %
100	± 6.0 %	± 8.0 %	± 9.2 %	± 9.8 %	± 10.0 %

注：上表は  $\frac{n}{N} \times 1$  として算出した数値である。

## 9. 集計にあたって

- (1) 集計は、①単純集計、②フェース・シートとのクロス集計、③設問間のクロス集計の3種の集計を行った。
- (2) フェース・シートとして採用したのは、下記の12項目である。これを全設問に対してクロス集計した。
  - ① 地域別
  - ② 性別（F 1，カテゴリー数2）
  - ③ 性年代別（F 1 × F 2，同10）
  - ④ 職業別（F 3，同8）
  - ⑤ 家族人数別（F 4，同6）
  - ⑥ ライフ・ステージ（F 5，同10）
  - ⑦ 住居形態別（F 6，同7）
  - ⑧ 居住年数別（Q 1，同7）
  - ⑨ 定住意思別（Q 2，同5）
  - ⑩ 住みよさ別（Q 3，同5）
  - ⑪ 年代別（F 2，同5）
  - ⑫ 車の有無別（F 7，同2）
- (3) 巻末の相関表には、紙面の都合上、居住年数別までしか掲載していない。
- (4) 設問間のクロス集計は、フェース・シートに採用したものを除いて必要に応じて合計27問のクロス集計を行った。本文の分析を参照されたい。

## 10. サンプル特性

フェース・シートに採用した項目についての、回収票のサンプル特性は次のとおりで

ある。なお、「居住年数」については〔1章 定住性〕で触れることとする。

〔性別・年代別構成〕

性別の構成比は、母集団とした住民基本台帳（昭和54年1月1日現在）では、

男：女＝48.5％：51.5％  
（124,858人：132,539人）

であるのに対して、回収標本では

男：女＝46.6％：53.4％

となっており、性別においては、回収標本は母集団に比べ、女性の比率が高くなっている（図4）。

また、性年代別の構成比における母集団と回収標本との対比は次のとおりである。

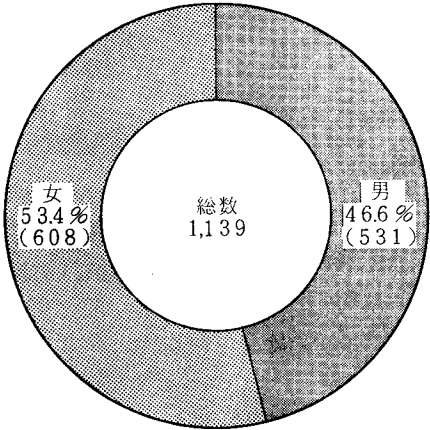
	母集団	回収標本	差
20代	29.4%	25.9%	(-3.5)
30代	22.6%	22.6%	(±0)
40代	18.0%	18.6%	(+0.6)
50代	13.8%	14.8%	(+1.0)
60代以上	16.1%	18.1%	(+2.0)

上表のとおり、母集団と比べて回収標本では20代の回収率が低く、40代、50代、60代以上と年代が高くなるほど回収率が高くなっている。20代の回収率が低いのは、単身者が多く、面接調査が比較的困難であるためで、この種の調査の共通した傾向といえよう。したがって、今回調査の結果は、やや中高年層よりの意見であることに留意する必要がある。

〔職業構成〕

職業分類は、今回の世論調査のフェースとして使用するという目的上、前回調査（53年11月調査）と同様に7分類に分けて調査した。なお、調査にあたっては、以下の分類例を示して選んでもらった。今回調査の職業構成は図5のとおりである。

図4. 性別，年代別構成比  
〔性別〕



〔年代別〕

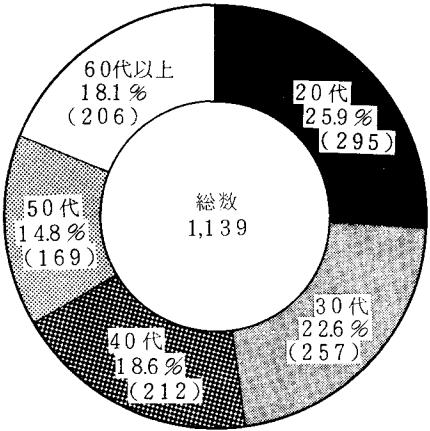
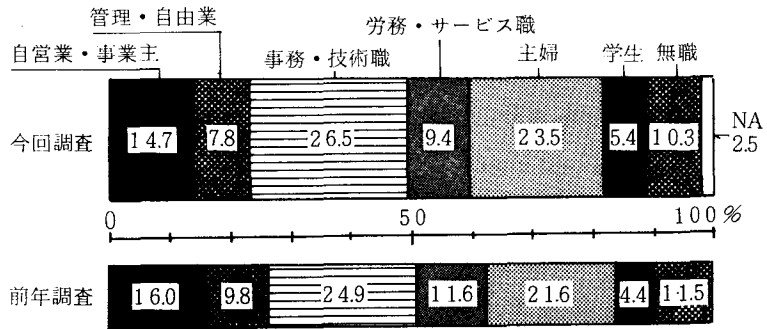


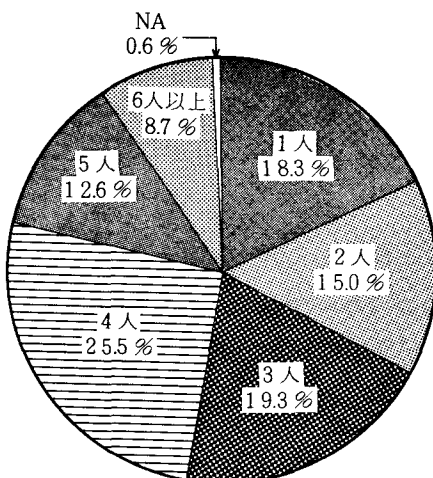
図 5. 職業構成



1. 自営業・事業主…………… 事業経営者・商店主（または商店のきりもりの中心になっている人），開業医，自分で商売している人
2. 管理職・自由業…………… 課長以上の管理職，校長・教頭，会社・団体役員，医長以上の医師，芸術家，著述業，弁護士，裁判官，公認会計士，宗教家，俳優
3. 事務職・技術職…………… 事務系勤労者，雇用技術者，教員，看護婦，記者，巡査部長，タイピスト，車掌，プログラマー，雇用医師，保母
4. 労務職・サービス職…工員，雇用職人，運転手，自由労務者，工夫，配達人，修理夫，巡査，家政婦，料理人，商店員，セールスマン，ウェイトレス，ホステス
5. 主婦
6. 学生
7. 無職

図 6. 家族人数

〔今回の調査対象者の家族人数〕



〔新宿区全体の家族人数〕

— 54年1月1日現在満20歳以上の世帯構成 —

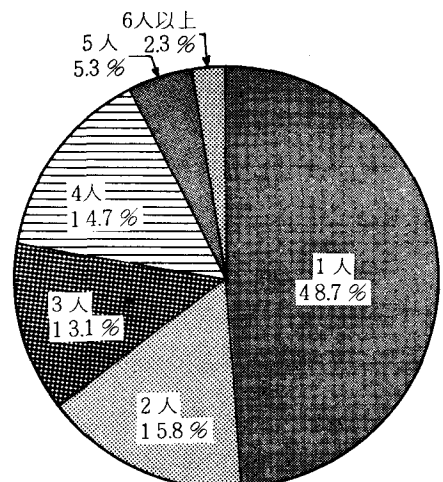


表 2. 年代別の家族人数

		1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人以上	N A
区全体		18.3%	15.0%	19.3%	25.5%	12.6%	8.7%	0.6%
年 代 別	20代	38.0	14.6	15.3	15.9	10.8	4.7	0.7
	30代	9.7	11.7	19.8	33.1	14.0	10.5	1.2
	40代	10.4	5.7	21.2	33.5	16.0	12.3	0.9
	50代	10.7	16.6	27.2	32.5	8.3	4.7	0.0
	60代以上	15.0	28.2	16.0	16.0	13.1	11.7	0.0

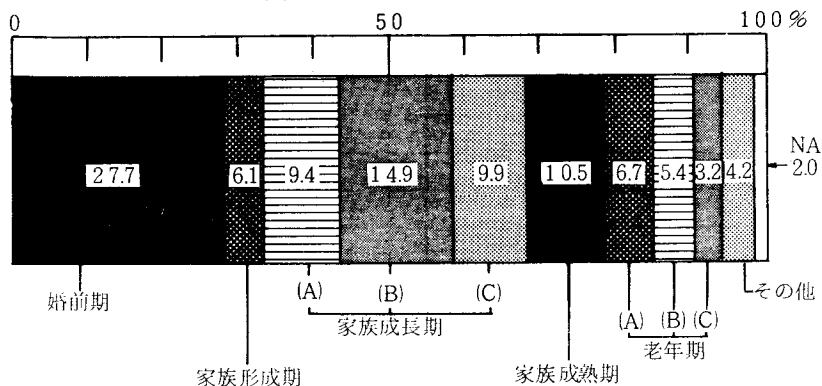
〔家族人数〕

家族人数は、「1人（単身者）」が18.3%、「2人」が15.0%、「3人」が19.3%、「4人」が25.5%、「5人」が12.6%、「6人以上」が8.7%であった（図6）。

「1人（単身者）」は、面接聴取の機会を得ることが非常に難しく、今回の調査でも回収状況のあまり良くなかった層である。また、実際の新宿区の家族人数構成は図6のとおりである。

次に、年代別でその特徴をみると、「1人」は20代（38.0%）に目立って多い。「2人」は60代以上（28.2%）に多く、「3人」は50代（27.2%）に多い。「4人」は30代（33.1%）、40代（33.5%）、50代（32.5%）の各年代層に多く、「5人」は40代（16.0%）、「6人以上」も40代（12.3%）に比較的多くなっている（表2）。このように比較的家族人数の多いのは、30代や40代などの中年層となっており、「2人」が60代以上に多いのは、子どもが独立したりして老夫婦だけで生活する家庭が増えていることが考えられる。また、「1人」が、当然多いと考えられる20代を除くと、次に60代以上（15.0%）となっているのには注意する必要があるだろう。

図 7. ライフ・ステージ



## [ライフ・ステージ]

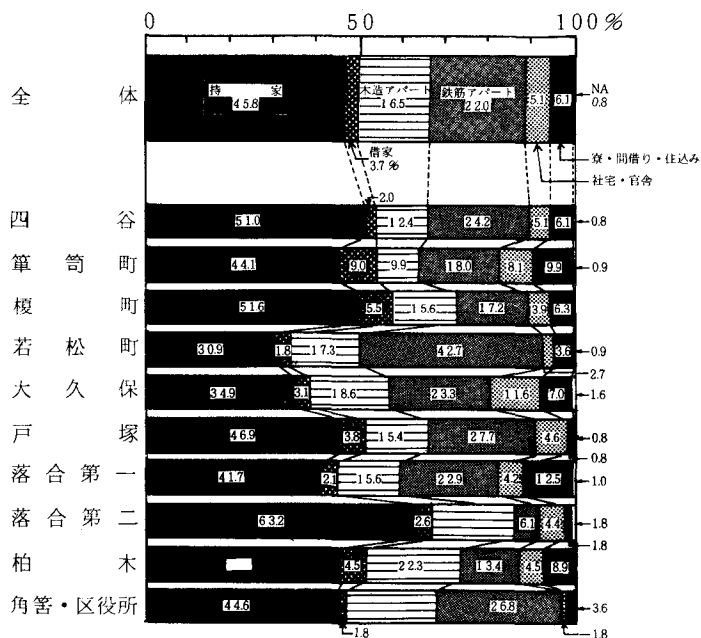
調査対象者のライフ・ステージを知るため、以下のようにわかりやすい表現を使って質問した。結果については図7のとおりである。

1. 婚前期…………… 結婚前の独身者
2. 家族形成期…………… 子どもがいない若夫婦の夫あるいは妻
3. 家族成長期(A)…………… 結婚し、乳・幼児がいる親
4. 家族成長期(B)…………… 小・中学生がいる親
5. 家族成長期(C)…………… 高校・大学生がいる親
6. 家族成熟期…………… 学校教育を終えた独身の子どもがいる親
7. 老年期(A)…………… 子どもが結婚して一緒に住んでいる親
8. 老年期(B)…………… 子どもが独立して2人だけになった親
9. 老年期(C)…………… 子どもが独立して1人だけになった親
10. その他

## [住居形態別]

住居形態は、「一戸建持家」が特に多く、45.8%を占めている。続いて「鉄筋アパート・マンション」が22.0%、「民間木造アパート」が16.5%、以下、「寮・間借り・住込み」

図8. 地域別の住居形態



借り・住込み」(6.1%)，「社宅・官舎」(5.1%)，「一戸建借家」(3.7%)の順である。

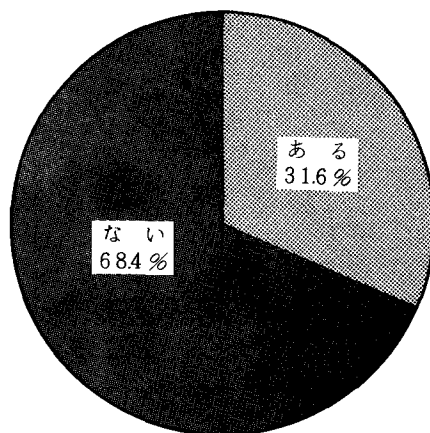
地域別でみると，「一戸建持家」は，四谷地域(51.0%)，榎町地域(51.6%)落合第二地域(63.2%)に多い。「一戸建借家」については，地域別での目立った特徴はみられない。「民間木造アパート」は，柏木地区(22.3%)に多く，角筈・区役所地域(21.4%)にも割合多い。「鉄筋アパート・マンション」は，若松町地域(42.7%)，戸塚地域(27.7%)に多く，角筈・区役所地域(26.8%)にも比較的多い。「社宅・官舎」は，大久保地域(11.6%)に多く，「寮・間借り・住込み」は，落合第一地域(12.5%)に多い(図8)。

#### [車の有無別]

自動車(四輪車)を所有しているかどうかについては，「ある」が31.6%，「ない」が68.4%である(図9)。

職業別では，「ある」と答えた人は，自営業・事業主(55.7%)に多く，主婦(36.2%)にも比較的多い。

図9. 車の有無別



# 調査結果の要約

## 調査結果の要約

### 【定住性】

#### (1) 居住年数

★ 前回までの調査結果との比較は次の表のとおりである。また今回は「54年以降」という回答項目が新しく加わった。

居住年 調査年月	戦前から	終戦～ 昭和30年	昭和31年 ～ 40年	昭和41年 ～ 45年	昭和46年 ～ 50年	昭和51年 ～ 53年	昭和54年 以降
54年6月	8.5%	23.4%	14.2%	11.2%	17.2%	↑21.5%	4.0%
53年7月	7.0%	26.3%	13.2%	10.2%	22.5%	20.5%	—
52年7月	9.1%	24.4%	13.2%	12.0%	28.0%	13.3%	—
51年9月	9.1%	24.2%	13.1%	12.4%	35.3%	6.0%	—
50年9月	8.2%	25.5%	15.0%	15.3%	↓35.8%	—	—
49年9月	8.8%	↓27.5%	16.3%	16.8%	30.1%	—	—
48年9月	↓11.6%	25.7%	↓17.1%	↓20.3%	24.8%	—	—

★ 「戦前から」は8.5%、「昭和51年～53年」(21.5%)、「54年以降」(4.0%)を合わせた居住年数が《5年未満》の短期居住者が25.5%と4人に1人となっている。

#### (2) 定住意思

★ 「永住するつもり」(45.3%)と「当分はここに住むつもり」(29.9%)を合わせた《定住意思ある者》が75.2%を占めた。これに対して、「できれば区外に転出したい」(6.8%)と「近いうちに区外へ転出するつもり」(4.6%)を合わせた《転出意思ある者》は11.4%となっている。



### (3) 住みよさ

★ 前回までの調査結果との比較は次の表のとおりである。

調査 年月 \ 評価	住みよい 《住みよい派》	住みにくい 《住みにくい派》	どちらともいえない・わからない
54年6月	75.7%	15.1%	9.7%
53年7月	79.6%	15.1%	5.3%
52年7月	69.1%	10.4%	20.5%
51年9月	67.5%	10.2%	22.1%
50年9月	63.1%	13.1%	23.8%
49年9月	60.8%	14.6%	24.7%
48年9月	64.2%	12.7%	23.1%

注：52年7月調査までは「どちらともいえない」、「わからない」が別項目であったが53年7月調査以降「わからない」とした。

★ 今回調査では、「住みよい」（30.2%）、「まあ住みよい」（45.0%）を合わせた《住みよい派》は75.2%であった。また「あまり住みよくない」（12.5%）、「住みにくい」（2.6%）を合わせた《住みにくい派》は15.1%である。

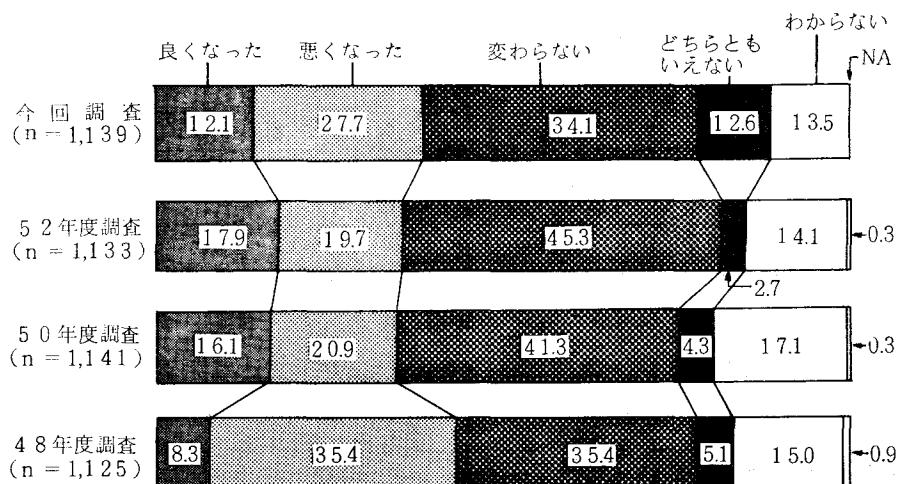
★ 住みよい理由としては、「交通の便がよい」が323件と最も多く、以下、「生活しやすい」が136件、「静かである」が72件、「住み慣れている」が61件、「環境がよい」が40件、「買物に便利」が28件である。

★ 住みにくい理由としては、「騒音がひどい」が42件、「物価が高い」が31件、「建てこんでいる・人口が多い」が20件、「環境が悪い」が20件などである。

## 【生活環境】

### (1) 緑の状況変化

★ 「良くなった」が12.1%、「変わらない」が34.1%、「悪くなった」が27.7%、「どちらともいえない」が12.6%、また「わからない」が13.5%あった。悪くなったといえよう。



## (2) 公害の被害経験の有無

★ 「騒音」がもっとも多く36.1%である。以下「大気汚染」が22.1%、「振動」が19.1%、「悪臭」が13.5%で、「いずれも受けたことはない」は39.9%であった。

公害被害 調査年度	大気汚染	騒音	振動	悪臭	その他	いずれも 受けていない
今回	22.1%	36.1%	19.1%	13.5%	2.0%	39.9%
52年度	23.7%	34.1%	15.5%	11.2%	1.3%	44.9%
50年度	30.1%	32.0%	14.7%	13.1%	1.2%	43.4%
48年度	35.4%	37.0%	18.2%	13.2%	1.0%	35.0%

## (3) 公害対策

★ 「自動車の排気ガス・騒音・振動」が40.5%と特に多く、他には「日常生活における騒音・振動・悪臭」が24.2%、「建設工事にともなう騒音・振動」が22.8%と上位3位までを占めた。以下「被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実」が13.3%、「工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭」が9.8%、「公害防止資金貸付制度の充実」が5.4%、「各種測定結果の公表やポスターによるPR」が5.0%である。

## (4) 近隣騒音

★ 「自動車・オートバイ」が22.9%と目立って多く、次いで「チリ紙交換や物売りのスピーカー」が16.7%である。他に、「犬や猫のなき声」、「話し声・歌声・泣き声」、「テレビ・ステレオ」などは10%以下であった。

#### (5) 自宅付近の道路状態の評価

- ★ 「たいへんよい」が5.2%、「よい」が39.2%で両者を合わせた《満足派》は44.4%である。これに対して「あまりよくない」が28.8%、「非常によくない」が4.3%で《不満派》は33.1%であった。また「どちらともいえない」が21.4%である。
- ★ どんな点が不満かは「狭い道に車がいり込んで困る」が39.8%、「道が狭く災害時に不安である」が38.7%と他に比べ多かった。以下「車による公害がひどい」が18.0%、「道路が狭く、車が走りづらい」が17.0%、「道路に歩道がなく歩きにくい」が10.9%などである。

#### (6) 「都市計画道路」の見直し作業の周知度

- ★ 「知っている」が25.8%、「知らない」が74.2%と周知度は低い。

#### (7) 指定区域での建築規制について

- ★ 「将来の道路予定地としてやむをえない制限である」が29.7%と最も多い。続いて「制限によって受ける損失に対して、補償すべきである」が21.6%、「制限を緩和すべきである」が10.4%で、「制限を撤廃すべきである」が3.2%あった。また、「都市計画道路」についての周知度が低く「わからない」が33.3%もあった。

### 【地域社会】

#### (1) コミュニティの範囲

- ★ 「町会・自治会の地域」が27.2%と最も多く、続いて「隣り近所」が20.5%である。以下「日常の買物をする地域」が16.3%、「新宿区全体」が10.7%などである。

#### (2) 近所付き合いの程度

- ★ 「挨拶をかわす程度」が36.8%、「立ち話をする程度」が29.7%と多かった。他には「お互いの家に行き来している」が12.3%、「困った時は助け合う程親しい」が6.6%であった。これに対して「ほとんど付き合っていない」が10.4%、「付き合っていない」が3.8%である。
- ★ 付き合いのきっかけとしては、「近所なので自然に」が222件と圧倒的に多く、続いて「昔から住んでいるので」が85件、「子供を通じて」が61件、「同じ建物に住んでいるので」が28件などである。
- ★ 付き合わない理由としては、「仕事・学校で時間がない」が34件、「面倒だ」

が13件,「機会がない」が11件,「引っ越して来たばかりなので」が10件などである。

### (3) 地域社会の役割について

★ 「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」が33.4%と多かった。以下,「だれか親戚の人などが気を付けるべきだ」が20.5%,「役所など行政機関が面倒をみるべきだ」が15.9%の順であった。これに対して,「気の毒だとは思うが何もできない」が14.4%,「個人的な事情があってのことだから仕方がない」が9.8%などという声も聞かれた。

### (4) 自分の地域に欲しい施設

★ 第1位へは「公園・児童遊園」の29.3%である。続いて「運動場」が25.5%,「図書館」が16.6%,「体育館」が14.3%,「健康相談所」が12.1%などの順である。

## 【児童・青少年】

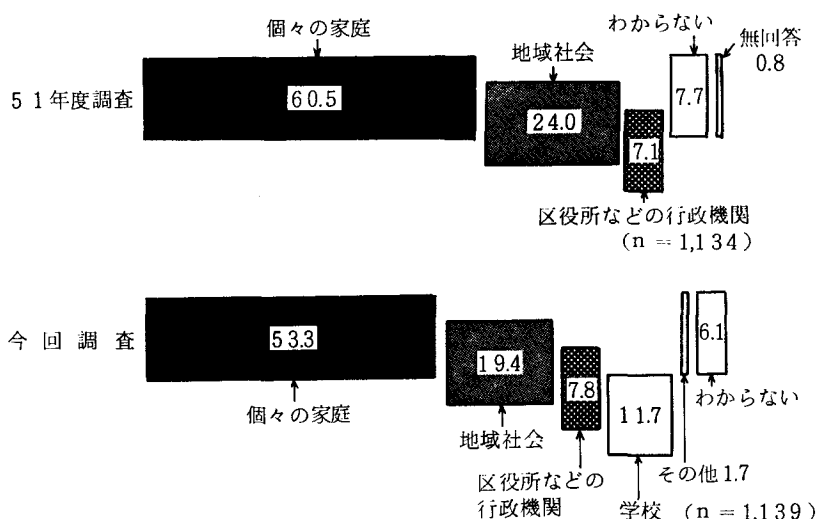
### (1) 国際児童年の周知度

★ 「知っている」という回答が83.9%に達した。

### (2) 青少年の環境づくりの責任

★ 「個々の家庭」が53.3%と過半数を占め,子どもの教育は第一に親の責任,という考え方の多いことを示している。

★ 以下「地域社会」19.4%,「学校」11.7%,「区役所などの行政機関」7.8%という結果である。



### (3) 子どもに望むもの

- ★ 「責任感」が29.9%と最も多く、以下、「社会道德」(27.4%)、「自主性」(23.5%)、「礼儀作法」(21.5%)、「忍耐力」(20.7%)の順である。
- ★ 「豊かな情操」(8.7%)や「自己表現力」(3.7%)、「親切心」(14.0%)といった情緒的・心情的な項目は下位にあり、最近の子ども達に精神的強靱さを求める傾向が強いといえよう。

### (4) 子どもに対する地域社会の責任

- ★ 「当然のことだ」という意見が43.1%を占める。
- ★ 一方、「個人主義化しているので実際にはむずかしい」という人が38.0%おり、実行の難しさが考えられよう。

### (5) 「こどもの午後」について

- ★ 「ぜひ設けるべきだ」(21.9%)と「できれば設けるべきだ」(27.1%)とを合わせて、49.0%と半数近くが《設けるべきだ》と支持意向を示している。
- ★ 「それぞれの考えがあるので、実際にはむずかしい」という人が25.5%おり、ここでも実現には種々の調整が必要であることが読みとれよう。

### (6) 地区青少年対策委員会の周知度

- ★ 周知度は30.8%であり、あまり高い数字を示していない。

### (7) 地区青少年対策委員会活動への参加意思

- ★ 「委員として積極的に参加したい」は0.7%と積極参加は極めて少ない。
- ★ 「呼びかけがあれば参加したい」は23.6%であった。

### (8) 区の児童・青少年事業への要望

- ★ 「スポーツをする機会をもっと与える」という意見が26.2%で最も多く、頭でっかちの子供や体力のない子供の多い現代社会への一つの批判ともうけとれよう。
- ★ 以下、「非行化・自殺の防止」(13.4%)、「公園・児童遊園などの遊び場を充実する」(13.0%)、「学校教育の充実」(10.4%)の順である。

## 【婦人問題】

### (1) 女性の職業について

- ★ 「ぜひ持つべきだ」(14.7%)と「条件が許す限り持つべきだ」(57.3%)を合わせて《持つべきだ》とする人が72.0%いた。
- ★ 男性に対して《身近な女性》、女性に対して《自分自身》とそれぞれ条件をつけ

て聞き直すと、一般論としては《持つべきだ》としながら、条件をつけると《持たない方がよい》と回答した人が、男性は6.0％、女性は9.2％いる。

**(2) 女性が職業を持つ場合の障害**

★ 「家庭の潤いがなくなる」が30.4％と最も多く、以下、「出産・育児」（28.5％）、「家族の理解・協力が無い」（24.1％）と家庭内の問題が上位にあがっている。

★ 以下、「職種が限定されている」（22.1％）、「職業意識が低い」（17.6％）、「職場での差別待遇がある」（13.8％）の順である。

**(3) 女性の社会活動について**

★ 「ぜひやるべきだ」は15.0％、「条件が許す限りやるべきだ」は57.8％であり、職業に対する意見とはほぼ同率の結果を示した。

**(4) 女性のための事業への要望**

★ 上位5項目は順に、「保育事業・家庭福祉員の拡充」（13.1％）、「講座・講習会の充実」（12.6％）、「相談窓口の拡充」（10.4％）、「技術・技能訓練」（9.9％）、「母子家庭などに対する生活援助・各種資金・手当の充実」（9.7％）である。

★ 「特にない」が32.1％と高率であったが、男性全般、女性高年層に多く、婦人問題に対する関心の低さを示しているといえよう。

**【区民保養所】**

**(1) 区民保養所の利用度と周知度**

★ 周知度は65.6％、うち利用したことのある人は8.0％である。

★ 利用の理由は、「料金が安い」が37.4％と最も多く、「設備がよい」の20.9％が続いている。

★ 利用したことがない理由としては、「申し込みがめんどろ」（23.6％）と「希望の日がとれない」（14.6％）の2項目に集中しており、申し込み方法に何らかの改善策が必要であるといえよう。

**【区政への関心・要望】**

**(1) 区政への関心の有無**

★ 《関心がある》が50.0％，《関心がない》が36.0％である。《関心がある》のうち、「非常に関心がある」が減少し、「少しは関心がある」が増えている。

★ 過去5か年の調査結果との比較は次の表のとおりである。

	非常に関心がある	少しは関心がある	あまり関心がない	ほとんど関心がない
今回調査	9.3％	40.7％	36.0％	11.2％
53年7月調査	12.5％	37.9％	36.4％	11.1％
52年7月調査	16.4％	36.0％	33.5％	10.3％
51年9月調査	17.9％	40.9％	30.7％	8.1％
50年9月調査	11.7％	33.3％	38.1％	12.7％
49年9月調査	11.7％	34.7％	36.3％	12.4％

## (2) 区政に関する情報源

★ 「新宿区広報」が72.6％と圧倒的に多い。以下「区議会だより」が19.5％，「新聞・テレビ・ラジオ」が15.2％，「町会・自治会の会合や回覧板」が15.0％などである。

	新宿区 広 報	区議会 だより	新聞やラジ オ・テレビ	町会・自治会な どの会合や回覧 板	わたしの便利帳 区政要覧や パンフレット
今回調査	72.6％	19.5％	15.2％	15.0％	9.4％
53年7月の調査	83.2％	18.2％	15.4％	14.1％	11.0％
51年9月の調査	77.8％	19.6％	20.8％	25.2％	16.3％
50年9月の調査	74.6％	21.6％	26.5％	18.2％	16.0％

## (3) 「新宿区広報の到達状況」

★ 「届いている」が87.8％，「届いていない」は4.2％である。他に「6紙をとっていない」が3.4％あった。

- ★ 広報紙の閲読状況については、「よく読む」が28.2%、「ざっと読む」が48.1%と《読む》が76.3%である。これに対して「あまり読まない」が20.3%、「全く読まない」が2.8%と《読まない》は23.1%である。
- ★ 広報紙に対する意見・要望としては、「よくできている」が22件、「今のままでよい」が7件など比較的好評。他には「ページ数の増」や「紙面の拡大」などを望む事も聞かれた。

	届いている
今回調査	87.8%
53年7月の調査	90.9%
52年7月の調査	87.6%
51年9月の調査	89.2%
50年9月の調査	88.1%
49年9月の調査	86.9%
48年9月の調査	85.3%

	閲読率
今回調査	76.3%
53年7月の調査	80.5%
52年7月の調査	81.8%
51年9月の調査	83.8%
50年9月の調査	83.3%
49年9月の調査	80.0%
48年9月の調査	79.2%

#### (4) 区長名の周知度

- ★ 「知っている」（正答）が55.0%、「知っている」（誤答）が5.5%、「知らない」が39.5%である。

#### (5) 新宿文化センターの周知度

- ★ 「知っている」が50.6%、「知らない」が49.4%と周知度は低い。

#### (6) 希望する催し物の種類

- ★ 新宿文化センターでどのような催しを行ってほしいかは、第1位「映画会」（24.3%）、第2位「各種講座・講習会」（21.8%）、第3位「美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会」（21.2%）、第4位「ポピュラー音楽会」（20.3%）、第5位「クラシック音楽会」（17.4%）、第6位「浪曲・落語・漫才などの大衆芸能」（16.3%）、第7位「新劇・歌舞伎などの演劇」（16.1%）など



★ なお、前回調査との比較は次の表のとおりである。（５位まで）

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
今 回 調 査	映 画 会 2 4.3 %	各種講座・ 講習会 2 1.8 %	美術・書の 展示会 2 1.2 %	ポピュラー 音楽会 2 0.3 %	クラシック 音楽会 1 7.4 %
53年 7 月調査	各種講座・ 講習会 3 5.6 %	美術・書の 展示会 2 9.5 %	映 画 会 2 6.0 %	浪曲・落語・ 漫才など大衆 芸能 18.0%	クラシック 音楽会 1 7.4 %
52年 7 月調査	浪曲・落語・ 漫才など大衆 芸能 29.9%	新劇・歌舞 伎など演劇 2 7.4 %	ポピュラー 音楽会 2 6.4 %	映 画 会 2 5.9 %	クラシック 音楽会 2 4.3 %

の順である。

#### (7) 区の事業への要望

★ 第１位～第３位までの合計比率での上位５位は第１位「震災対策」の２６．５％（要望度第１位），第２位「環境衛生」の２３．４％（要望度５０．５ 第２位），第３位「緑化対策」の２２．７％（要望度４７．４ 第３位），第４位「公園・児童遊園の整備・拡充」の２０．３％（要望度４２．５ 第５位），第５位「老人福祉」の１９．８％（要望度４２．６ 第４位）の順である。

★ 前回までの「社会福祉対策」は今回調査では「老人福祉」，「低所得層や母子世帯福祉」，「心身障害者福祉」の３項目に分けて聞き，それぞれ，１９．８％，８．３％，７．３％で合計３５．４％と「社会福祉対策」への要望はかなり高い。

	今 回	53 年	52 年	51 年	50 年	49 年
防 災 対 策	—	3 2.6%	2 0.7%	3 2.3%	1 9.8%	2 5.1%
環 境 衛 生	2 3.4%	3 2.0%	2 5.8%	2 3.9%	2 7.2%	1 6.3%
社会福祉対策	—	3 0.0%	2 8.0%	3 0.4%	3 5.5%	3 7.6%
緑 化 対 策	2 2.7%	2 4.4%	2 5.2%	2 5.0%	2 0.6%	2 3.5%
道路の整備	1 3.3%	2 2.8%	1 9.9%	1 8.2%	2 0.4%	1 7.1%
公園・児童遊園の整備拡充	2 0.3%	2 2.6%	2 0.7%	2 3.5%	2 0.8%	2 2.2%
公 害 対 策	1 2.3%	1 7.6%	1 6.6%	2 5.7%	2 7.5%	2 7.1%
交通安全対策	1 1.9%	1 7.6%	2 0.9%	2 1.8%	2 3.8%	2 3.0%
区民のための施設の整備	1 0.9%	1 5.2%	1 6.6%	1 2.1%	1 1.1%	1 3.2%
学校教育施設の整備	1 0.1%	1 4.4%	1 4.1%	1 1.7%	1 5.5%	1 2.6%

注：「防災対策」は今回調査では「震災対策」と「水害対策」の２項目，「社会福祉対策」は「老人福祉」，「低所得層や母子世帯福祉」，「心身障害者（児）福祉」の３項目に分けて質問した。

# 調査結果の分析

# I . 定 住 性

- 
1. 居住年数
  2. 定住意思
  3. 住みよさ
-

### **【ライフ・ステージ】**

---

- \* 婚前期 ..... 結婚前の独身者
  - \* 家族形成期 ..... 子どもがいない若夫婦  
の夫あるいは妻
  - \* 家族成長期(A) ..... 結婚し乳・幼児  
がいる親
  - \* 家族成長期(B) ..... 小・中学生がいる親
  - \* 家族成長期(C) ..... 高校・大学生がいる親
  - \* 家族成熟期 ..... 学校教育を終えた  
独身の子どもがいる親
  - \* 老年期(A) ..... 子どもが結婚して  
一緒に住んでいる親
  - \* 老年期(B) ..... 子どもが独立して  
2人だけになった親
  - \* 老年期(C) ..... 子どもが独立して  
1人だけになった親
-

# 調査結果の分析

## I. 定 住 性

### 《設問とまとめ》

#### 1. 居住年数

<b>Q 1.</b> あなたが今の所に住むようになったのは、いつ頃からですか。(1A)			
<b>N = 1,139</b>			
1. 戦前から	8.5%	5. 昭和46年～50年	17.2%
2. 終戦～昭和30年	23.4%	6. 昭和51年～53年	21.5%
3. 昭和31年～40年	14.2%	7. 54年以降	4.0%
4. 昭和41年～45年	11.2%		

#### 2. 定住意思

<b>Q 2.</b> これからも引き続いて、新宿区にお住まいになりますか。(1A)	
<b>N = 1,139</b>	
1. 永住するつもり	45.3%
2. 当分はここに住むつもり(5～10年位)	29.9%
3. できれば区外に転出したい(5年以内に)	6.8%
4. 近いうちに区外に転出するつもり(1年以内に)	4.6%
5. わからない	13.3%

#### 3. 住みよさ

<b>Q 3.</b> 現在の新宿区は「住みよい街」だと思いますか。(1A)			
<b>N = 1,139</b>			
1. 住みよい	30.2%	4. 住みにくい	2.6%
2. まあ住みよい	45.0%	5. わからない	9.7%
3. あまり住みよくない	12.5%		

↓

**SQ 1. [Q 3 で 1, 2 と答えた人に]**

住みよい理由は何ですか。(F A)

**N = 7 8 0**

↓ ↓

**SQ 2. [Q 3 で 3, 4 と答えた人に]**

住みにくい理由は何ですか。

(F A) **N = 1 9 0**

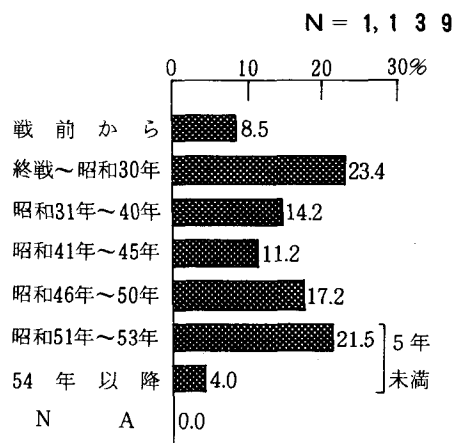
この章では、区民の居住年数や定住意志、住みよさを尋ね、区民の新宿区に抱いている定住性を探った。「戦前から」が1割足らずである。また「昭和51年～53年」、「54年以降」を合わせた居住年数が《5年未満》の短期居住者が4人に1人の割合となっている。他区と比較しても短期居住者の多い区の部類に入るといえよう。定住意思については、「永住するつもり」(45.3%)と「当分はここに住むつもり」(5～10年位)(29.9%)を合わせた《定住意思ある者》が7割強を占めた。これに対して「できれば区外に転出したい」(5年以内に)(6.8%)と「近いうちに区外に転出するつもり」(1年以内に)(4.6%)を合わせた《転出意思ある者》は、わずか1割となっている。住みよさについては、「住みよい」(30.2%)と「まあ住みよい」(45.0%)を合わせた《住みよい派》は7割強を占めた。これに対して「あまり住みよくない」(12.5%)と「住みにくい」(2.6%)を合わせた《住みにくい派》は1割強である。《住みよい派》の人たちに理由を聞いたところでは、「交通の便がよい」がもっとも多く、「生活しやすい」、「環境がよい」、「静かである」、「住みなれている」、「買物に便利」などと答えた。《住みにくい派》の人たちは「騒音がひどい」、「物価が高い」、「建てこんでいて、人口が多い」、「環境が悪い」などが多かった。

## 《 分 析 》

### I - 1 居住年数

調査対象者の居住年数は、「戦前から」が8.5%、「終戦～昭和30年」が23.4%、「昭和31年～40年」が14.2%、「昭和41年～45年」が11.2%、「昭和46年～50年」が17.2%、「昭和51年～53年」が21.5%、「54年以降」が4.0%であった(図1-1)。

図1-1 居住年数



「戦前から」住んでいる人は1割以下と非常に少ない。これに対して「54年以降」(4.0%)と「昭和51年～53年」(21.5%)を合わせた居住年数が《5年未満》の短期居住者が25.5%と4人に1人の割合となっている。

「戦前から」と《5年未満》の短期居住者について各属性別で特徴をみると以下のとおりである(表1-1)。

◎ 戦前から(区全体 8.5%)

男女の高年層, 自営業・事業主, 無職, 定住意思の強い人に多い。

◎ 5年未満(区全体 25.5%)

男女の若年層, 勤め人, 学生, 転出意思を持つ人に多い。

次に, 48年調査時から今回までの比較をみると表1-2のとおりである。「昭和51年以降」が51年9月調査で6.0%, 52年7月調査で13.3%, 53年7月調査で20.5%, 54年6月調査で21.5%と増加を続けている。他の項目では, 「昭和46年～50年」が減少傾向にある。その他では一定していない。なお, 今回調査から「54年以降」という項目を新たに設けており, 4.0%という結果であった。

表1-1 「戦前から」, 「5年未満」の多い属性

	「戦前から」	「5年未満」
全体	8.5%	25.5%
地域別	戸塚地域 (13.8%) 落合第二地域 (13.2%)	筆筈町地域 (33.3%) 落合第一地域 (40.6%)
性年代別	男60代以上 (21.0%) 女60代以上 (20.8%) 男40代 (13.2%)	男20代 (49.6%) 女20代 (50.0%) 女30代 (31.3%)
定住意思別	永住するつもり (16.1%)	当分は住むつもり (35.8%) 区外に転出したい (34.7%) 近いうちに区外に転出するつもり (65.4%)
職業別	自営業・事業主 (14.4%) 無職 (15.4%)	事務・技術職 (31.1%) 労務・サービス職 (34.5%) 学 生 (55.7%)
住居形態別	一戸建持家 (15.9%)	民間木造アパート (44.1%) 鉄筋アパート・マンション (39.9%) 社宅・官舎 (58.6%) 寮・間借り・住込み (58.0%)

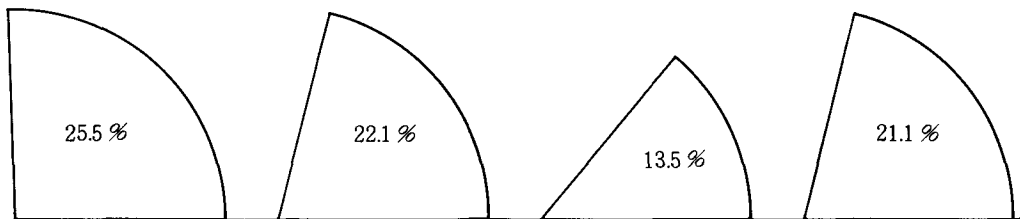
表 1 - 2 居住年数—前回までとの比較

居住年 調査年月	戦前から	終戦～ 昭和30年	昭和31年 ～ 40年	昭和41年 ～ 45年	昭和46年 ～ 50年	昭和51年 以降	昭和54年 以降
54年6月	8.5%	23.4%	14.2%	11.2%	17.2%	↑21.5%	4.0%
53年7月	7.0%	26.3%	13.2%	10.2%	22.5%	20.5%	—
52年7月	9.1%	24.4%	13.2%	12.0%	28.0%	13.3%	—
51年9月	9.1%	24.2%	13.1%	12.4%	35.3%	6.0%	—
50年9月	8.2%	25.5%	15.0%	15.3%	↓35.8%	—	—
49年9月	8.8%	↓27.5%	16.3%	16.8%	30.1%	—	—
48年9月	↓11.6%	25.7%	↓17.1%	↓20.3%	24.8%	—	—

参考までに、最近同じ様な調査をした7つの区の《5年未満》の短期居住者への割合は  
図 1 - 2 のとおりである。新宿区の短期居住者の割合は、他区に比べても、多いと言え  
よう。

図 1 - 2 《5年未満》短期居住者の割合—他区との比較

〔新宿〕（S54年6月調査）〔杉並〕（S54年6月調査）〔大田〕（S54年7月調査）〔港〕（S54年6月調査）



〔中野〕（S53年9月調査）〔台東〕（S53年11月調査）〔板橋〕（S53年12月調査）〔千代田〕（S53年11月調査）





## I - 2 定住意思

定住意思について聞いたところ、「永住するつもり」が45.3%、「当分はここに住むつもり」（5～10年位）が29.9%と両者を合わせた《定住意思ある者》が75.2%と4分の3を占めている。これに対して、「できれば区外に転出したい」（5年以内に）が6.8%、「近いうちに区外に転出するつもり」（1年以内に）が4.6%で、この両者を合わせた《転出意思ある者》は、わずか11.4%となっている（図1-3）。

次に各属性ごとに《定住意思ある者》と《転出意思ある者》の特徴をみると表1-3

図1-3 定住意思  
N = 1,139

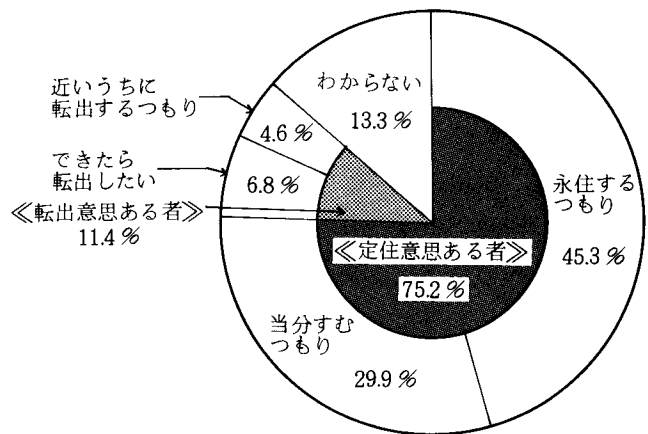


表1-3 《定住意思ある者》、《転出意思ある者》の多い属性

	《 定 住 意 思 あ る 者 》	《 転 出 意 思 あ る 者 》
全 体	75.2%	11.4%
地 域 別	四谷地域（83.6%）、筆筈町地域（84.6%）、角筈・区役所地域（87.5%）	榎町地域（16.4%）、若松町地域（17.3%）、大久保地域（17.1%）、柏木地域（17.0%）
性 年 代 別	男40代（84.9%）、男50代（83.8%）、男60代以上（86.3%）、女30代（79.8%）、女40代（83.0%）、女50代（82.2%）、女60代以上（88.8%）	男20代（21.6%）、女20代（21.9%）
住 居 形 態 別	一戸建持家（86.4%）	一戸建借家（19.1%）、民間木造アパート（19.1%）、社宅・官舎（15.5%）、寮・間借り・住込み（27.5%）
住 み よ さ	住みよい（84.0%）、まあ住みよい（79.7%）	あまり住みよくない（21.9%）、住みにくい（23.4%）、わからない（29.7%）

のとおりである。

◎ 定住意思ある者（区全体 7 5.2 %）

四谷、筆筈町、角筈・区役所の各地域、男女の中・高年層、持家、《住みよい》と考えている人に多い。

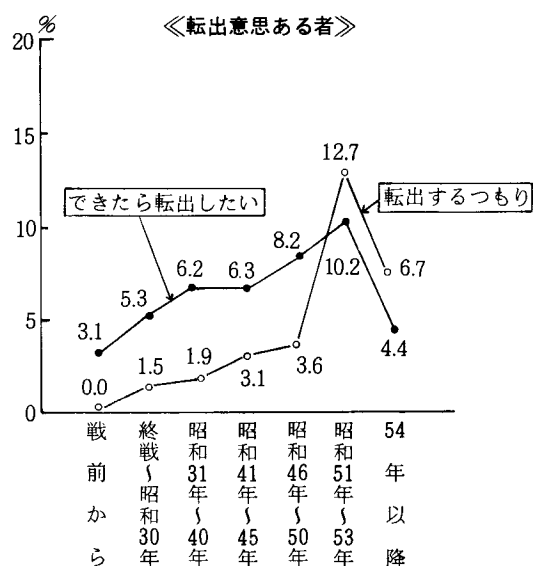
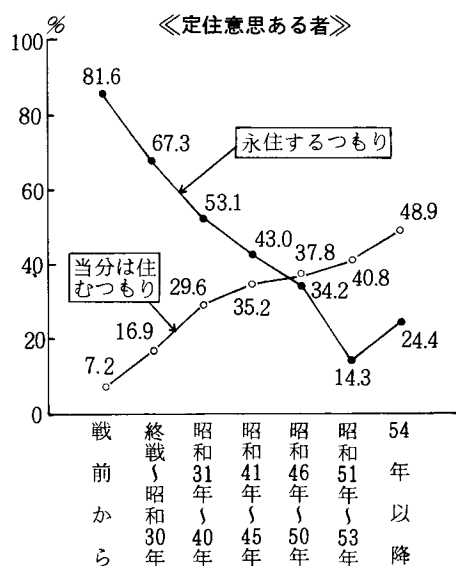
◎ 転出意思ある者（区全体 1 1.4 %）

榎町・若松町・大久保・柏木の各地域、男女の若年層、社宅やアパートの人、《住みにくい》と考えている人に多い。

定住意思と居住年数の関係を見ると図 1—4 のとおりである。《定住意思ある者》の「永住するつもり」は居住年数の長い人ほど多く、「当分は住むつもり」は、逆に居住年数の短い人ほど多くなっている。また《転出意思ある者》の「できれば転出したい」、「転出するつもり」は、ほぼ居住年数の長い人ほど多くなっている（但し、「54 年以降」で「できれば転出したい」、「転出するつもり」共に減少しているのは、住み始めたばかりで《転出意思》をはっきりと持つに至っていない人が多いためと考えられる。

図 1—4 定住意思と居住年数

N = 1, 1 3 9



### I-3 住みよさ

住みよさについて聞いたところ、「住みよい」が30.2%、「まあ住みよい」が45.0%で、両者を合わせた《住みよい派》は、75.2%と4分の3を占めた。これに対して「あまり住みよくない」が12.5%、「住みにくい」が2.6%と《住みにくい派》が15.1%である(図1-5)。

各属性別での特徴は次のとおりである(図1-6, 1-7, 表1-4参照)。

#### ◎ 住みよい派(区全体75.2%)

四谷, 筆筈町, 若松町, 落合第二の各地域, 男女の中高年層, 持家, また, 比較的長く住んでいる人に多い。

#### ◎ 住みにくい派(区全体15.1%)

榎町, 大久保, 柏木, 落合第一の各地域, 女性の若年層, 男性の中年層, 借家, 社宅, 民間アパート, 短期居住者などに多い。

図1-5 住みよさ  
N = 1,139

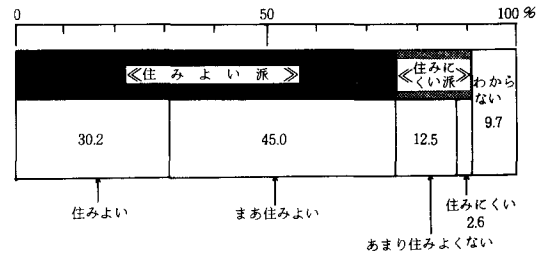
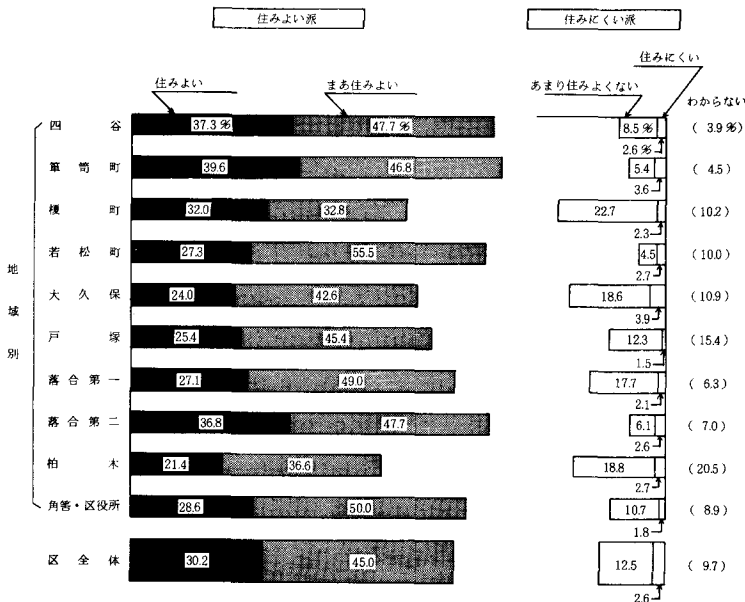


図1-6 地域別の住みよさ

N = 1,139



また、住みよさについて、過去6か年と比較すると図1-8のとおりである。同様の設問の前回53年調査と比べると、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた《住みよい派》は、4.4%の減(79.6%→75.2%)となっており、「あまり住みよくない」と「住みよくない」を合わせた《住みにくい派》は、同率(15%)で変わっていない。

#### (1) 住みよい理由、住みにくい理由

次に《住みよい派》の人にその理由を聞いたところ、「交通の便がよい」(323件)、「生活しやすい」(136件)、「静かである」(72件)、「住み慣れている」(61件)、「環境が良い」(40件)、「買物に便利」(28件)などである(表1-5)。また《住みにくい派》の人の理由は、「騒音がひどい」(42件)、「物価が高い」(31件)、「建てこんでいる、人口が多い」(20件)、「環境が悪い」(16件)などである(表1-6)。

表1-4 性年代別・住居形態別の《住みよい派》、《住みにくい派》

	《住みよい派》	《住みにくい派》
全体	75.2%	15.1%
性年代別		
男60代以上(84.0%)		女20代(22.5%)
女60代以上(84.0%)		男30代(19.5%)
男50代(79.4%)		男40代(19.8%)
女50代(79.6%)		
住居形態別		
一戸建持家(79.3%)		一戸建借家(28.6%)
鉄筋アパート・マンション(79.3%)		社宅・官舎(24.1%)
		寮・間借・住込み(24.6%)
		民間木造アパート(19.6%)

図1-7 居住年数別の《住みよい派》、《住みにくい派》

N = 1,139

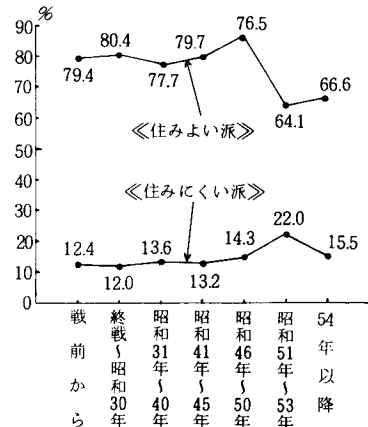


図1-8 住みよさ一過去6か年との比較

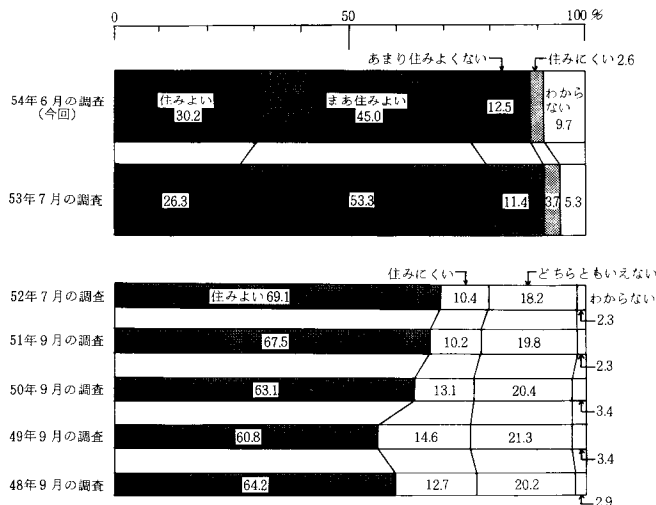


表 1 - 5 住みよい理由

住みよい理由（総件数 780） 地 域		四谷	筆筍町	榎町	若松町	大久保	戸塚	落合第一	落合第二	柏木	角筈・区役所	合計
環境 (19.2%)	環境がよい	10	4		2	3	3	7	6	5		40
	静かである	9	5	12	10	8	6	9	12	1		72
	教育環境がよい	2			1		1	3				7
	公園が多い			2					2		1	5
	交通量が少ない	2					1					3
	住宅街なので			1					4			5
	緑が多い				2		2	4	1	2		11
	施設が整っている			1				3	1	1	1	7
小 計		23	9	16	15	11	13	26	26	9	2	150
利便性 (67.0%)	交通の便がよい	45	34	23	45	31	32	22	33	42	16	323
	通勤・通学に便利				10	4	4	2	2	1		23
	生活しやすい	30	1	12	25	22	27	6	1	12		136
	買物に便利	4	3	3	6	2	1	3	3	3		28
	仕事上都合がよい	2	1	1		1	1	1		1	3	11
	病院が近い			1					1			2
小 計		81	39	40	86	60	65	34	40	59	19	523
土地柄・その他 (13.7%)	近所付き合いがよい	6	1	2	1	1		1	2	1		15
	住み慣れている	13	10	3	10	8	5	2	5	3	2	61
	福祉が行届いている	1						1	1			3
	都会だから	2										2
	場所がよい	1	1									2
	貧富の差がない	1										1
	物価が安い			1							2	3
	水質が良い								1			1
	特に不便を感じない	9		1				2	1	1	3	17
	治安がよい					2						2
小 計		33	12	7	11	11	5	6	10	5	7	107

表1-6 住みにくい理由

住みにくい理由（総件数190）		四谷	筆筒町	榎町	若松町	大久保	戸塚	落合第一	落合第二	柏木	角筈・区役所	合計
環境 (64.2%)	環境が悪い	2	2	3		2		1		4	1	15
	騒音がひどい	8	2	7	2	6	5	2	3	6	1	42
	空気が汚れている			1			1	2	1	2		7
	交通混雑・危険	4		2	1	3						10
	緑が少ない			4	1	1	1			3		10
	公園・遊び場少ない					1		1		2		4
	日当りが悪い	1										1
	建てこんでいる、人口多い	2		9	2	1	5			1		20
	商店・ビル多く住宅地でない					1	1			1		3
	道路が狭い	2							3			5
	悪臭			5								5
小計		19	4	31	6	15	13	6	7	19	2	122
利便性 (8.9%)	不便だ			2	2					1		5
	交通の便が悪い	2	2		2			1				7
	生活しにくい			1								1
	住宅事情悪い				2	1	1					4
小計		2	2	3	6	1	1	1		1		17
土地柄・その他 (26.8%)	物価が高い	5	4	2	6	6	1	3	3	1		31
	風紀が悪い					7				1	1	9
	あわただしい										1	1
	土地が狭い								1			1
	家賃が高い	1				1		1	1			4
	税金が高い	2		2						1		5
小計		8	4	4	6	14	1	4	5	3	2	51

## II. 生 活 環 境

- 
1. 緑の状況変化
  2. 公害の被害経験の有無
  3. 公害対策
  4. 近隣騒音
  5. 自宅付近の道路状態の評価
  6. 「都市計画道路」の見直し作業の周知度
  7. 指定区域での建築規制について
-

### 【ライフ・ステージ】

---

- \* 婚前期 ..... 結婚前の独身者
  - \* 家族形成期 ..... 子どもがいない若夫婦  
の夫あるいは妻
  - \* 家族成長期(A) ..... 結婚し乳・幼児  
がいる親
  - \* 家族成長期(B) ..... 小・中学生がいる親
  - \* 家族成長期(C) ..... 高校・大学生がいる親
  - \* 家族成熟期 ..... 学校教育を終えた  
独身の子どもがいる親
  - \* 老年期(A) ..... 子どもが結婚して  
一緒に住んでいる親
  - \* 老年期(B) ..... 子どもが独立して  
2人だけになった親
  - \* 老年期(C) ..... 子どもが独立して  
1人だけになった親
-



## Ⅱ. 生活環境

### 《設問とまとめ》

#### 1. 緑の状況変化

**Q 4.** あなたの住んでいる付近の緑の状況は、数年前にくらべて良くなったでしょうか。

悪くなったでしょうか。(1 A)

N = 1,139

- |          |       |              |       |
|----------|-------|--------------|-------|
| 1. 良くなった | 12.1% | 4. どちらともいえない | 12.6% |
| 2. 変わらない | 34.1% | 5. わからない     | 13.5% |
| 3. 悪くなった | 27.7% |              |       |

#### 2. 公害の被害経験の有無

**Q 5.** あなたは公害の被害を受けたことがありますか。次の中から受けたものをいくつかも選んでください。〔回答票1提示〕(MA)

N = 1,139

- |         |       |                 |       |
|---------|-------|-----------------|-------|
| 1. 大気汚染 | 22.1% | 4. 悪臭           | 13.5% |
| 2. 騒音   | 36.1% | 5. その他          | 2.0%  |
| 3. 振動   | 19.1% | 6. いずれも受けたことはない | 39.9% |

#### 3. 公害対策

**Q 6.** 公害対策として、区にどんなことをしてほしいと思いますか。次の中からとくに規制や指導などをしてほしいと思うものを2つ以内で選んでください。

〔回答票2提示〕(2 A)

N = 1,139

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| 1. 工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭 | 9.8%  |
| 2. 建設工事にともなう騒音・振動         | 22.8% |
| 3. 自動車の排気ガス・騒音・振動         | 40.5% |
| 4. 日常生活における騒音・振動・悪臭       | 24.2% |
| 5. 被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実 | 13.3% |
| 6. 公害防止資金貸付制度の充実          | 5.4%  |

7. 各種測定結果の公表やポスターによるPR	5.0%
8. その他	2.5%
9. 特にない	22.7%

#### 4. 近隣騒音

**Q 7.** 隣り近所からの騒音で迷惑を受けたことがありますか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票3提示〕(2A) N = 1,139

01. テレビ・ステレオ	8.3%
02. ピアノ・ギター	5.2%
03. 話し声・歌声・泣き声	8.7%
04. クーラーなど冷暖房機器の音	6.6%
05. 階段や二階などの物音・足音	5.7%
06. 自動車・オートバイ	22.9%
07. チリ紙交換や物売りのスピーカー	16.7%
08. 商店や飲食店からの音	4.0%
09. 犬や猫のなき声	9.2%
10. その他	4.0%
11. 特にない	41.0%

#### 5. 自宅付近の道路状態の評価

**Q 8.** お宅の付近の道路の状態はいかがですか。(1A) N = 1,139

1. たいへんよい	5.2%	4. あまりよくない	28.8%
2. よい	39.2%	5. 非常によくない	4.3%
3. どちらともいえない	21.4%	6. NA	1.1%

**SQ**〔Q8で4, 5と答えた人に〕どんな点が不満ですか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票4提示〕(2A) N = 337

01. 道が狭く災害時に不安である	38.7%
02. 幹線道路が混雑する	6.6%

03. 道路が狭く、車が走りづらい	1 7.0 %
04. バスが渋滞に巻き込まれて遅れる	3.4 %
05. 車による公害（騒音・振動・排ガス）がひどい	1 8.0 %
06. 狭い道に車がいり込んで困る	3 9.8 %
07. 道路に歩道がなく歩きにくい	1 0.9 %
08. 道路に緑が少ない	5.6 %
09. 子供の通学路が危険である	7.7 %
10. その他	7.4 %
11. NA	1.3 %

#### 6. 「都市計画道路」の見直し作業の周知度

**Q 9.** 現在、都と区が「都市計画道路」の見直し作業に入っていますが、知っていますか。

(1 A)

N = 1,139

1. 知っている                      2 5.8 %                      2. 知らない                      7 4.2 %

#### 7. 指定区域での建築規制について

**Q 10.** 法律で、「都市計画道路」に指定された区域では、3階建て以上の建物が建てられないために、住民に不満がでていますが、これについてどう思いますか。(1 A)

N = 1,139

1. 将来の道路予定地としてやむをえない制限である                      2 9.7 %  
 2. 制限によって受ける損失に対して、補償すべきである                      2 1.6 %  
 3. 制限を緩和すべきである                      1 0.4 %  
 4. 制限を撤廃すべきである                      3.2 %  
 5. その他                      1.8 %  
 6. わからない                      3 3.3 %

この章では、緑、公害、騒音など、区民の生活環境に対する評価をたずねた。

その結果、緑の状況は悪化の傾向があり、公害は6割の人が被害を受けていることがわかった。緑の状況が悪くなったという意見が特に多いのは、四谷地域、大久保地域、柏木

地域であるが、公害についても同様の傾向がみられ、大久保、四谷両地域に被害が大きくなっている。なお、公害の内容としては、騒音、大気汚染、振動の順に被害経験が多く、過去の調査結果と比較すると大気汚染のみ減少傾向がみられるが、他の公害は増加の傾向を示している。

そこで区民の公害対策への要望をみると、自動車に対するものが最も多い。近隣騒音についても同様に自動車によるものが最も多く、排気ガス、騒音など車公害に対する施策が強く望まれる。

一方、自宅付近の道路状況については、満足派は半数弱であり、その不満は道の狭さによるものが圧倒的に多い。ただし、落合地区には、幹線道路の渋滞による不満が多くなっている。

ところで、都や区は現在「都市計画道路」の見直し作業を行っており、その指定区域内の建築制限を定めている。しかし、区民はこの見直し作業自体を4人に1人しか知らない。また、建築規制については、やむをえないと承認する意見は3割にすぎず、補償や緩和、あるいは撤廃を望む声の方が4割弱と多い。ただし、この問題に関しては3人に1人が「わからない」と答えており、周知度が高まることによって区民の意向が大きく変化することも予想される。なお、建築規制による損害に対する補償を求める声は、四谷および大久保両地域に多かった。

## 《分 析》

### Ⅱ－１ 緑の状況変化

住んでいる地域の緑の状況は、数年前に比べて良くなったかどうかを聞いたところ、「良くなった」が12.1%、「変わらない」が34.1%、「悪くなった」が27.7%、「どちらともいえない」が12.6%、「わからない」が13.5%であった。「変わらない」と答えた人の比率が全体の3分の1を占めているが、「良くなった」と答えた人に比べて、「悪くなった」の比率の大きさが目立ち、あきらかに悪くなっていると考えられる（図2－1）。

図2－1 緑の状況変化

N = 1,139

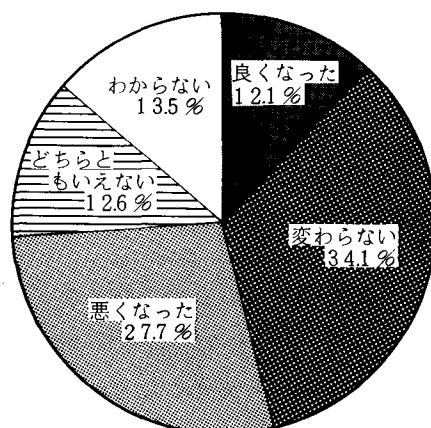


図 2 - 2 緑の状況変化

—過去 3 回の調査結果との比較

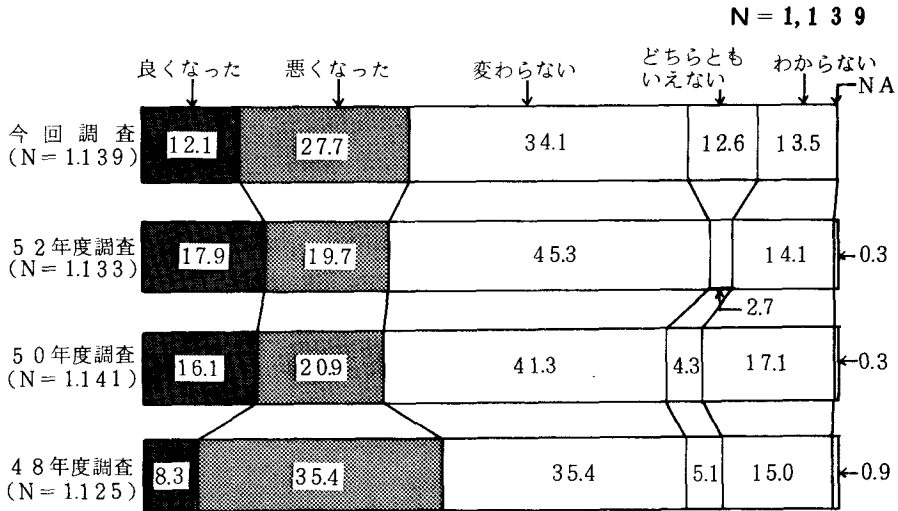


図 2 - 3 地域別の緑の状況変化

N = 1,139

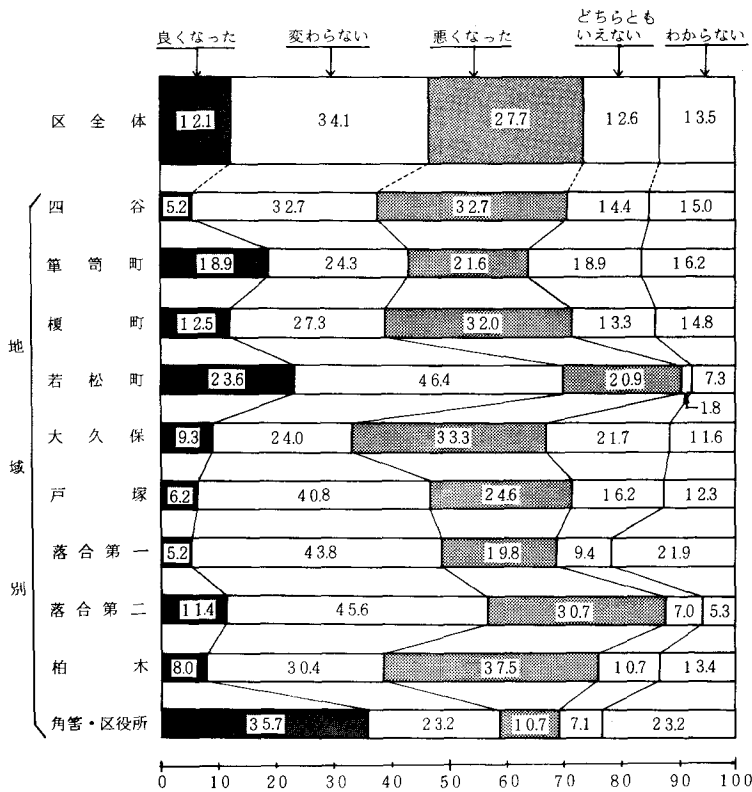
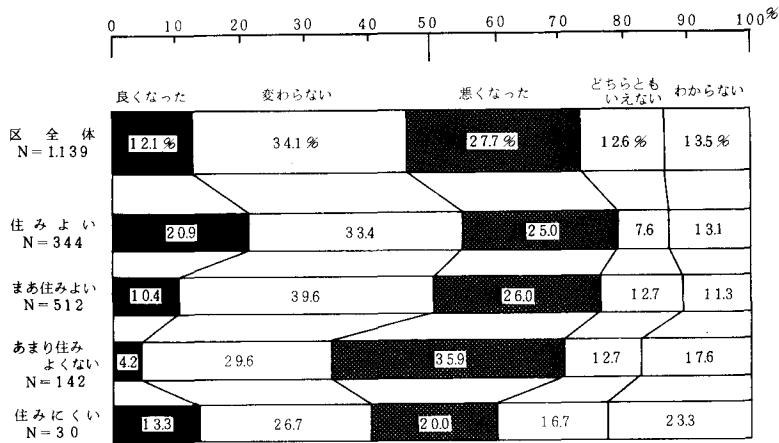


図 2 - 4 住みよさ別の緑の状況変化

N = 1,139



この結果を経年で追ったのが図 2 - 2 である。徐々に評価が好転しつつあった傾向が、今回でむしろ悪化している。これはどこから来るのであろうか。今回の評価を地域別にみたのが図 2 - 3 である。区北西部には大きな変化はみられないが、四谷、大久保、柏木の3地域で悪化現象が顕著である。

さらに、住みよさ別にみると、図 2 - 4 のとおり、ほぼ住みよいと思っている人ほど緑の評価も良いといえる。これは緑が快適な生活のための大きな要因であることを示すとともに、植物が生育できないような環境では人間もまた住みにくいのだということを表わしている。

図 2 - 5 公害の被害経験の有無

N = 1,139

II - 2 公害の被害経験の有無

もっとも被害経験の多かったのは「騒音」で 36.1% である。ついで「大気汚染」が 22.1%，以下、「振動」が 19.1%，「悪臭」が 13.5%，「その他」が 2.0%，また「いずれも受けたことがない」は 39.9% である（図 2 - 5）。

地域別に被害経験の有無をみると図 2 - 6 のとおりである。  
大久保地域は、「大気汚染」，「騒音」，

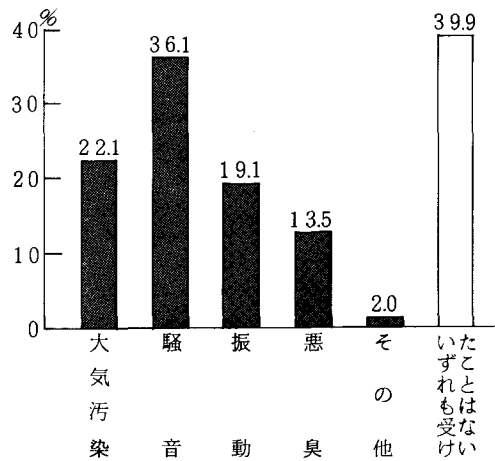


表 2 - 1 公害の被害経験の有無

—過去 3 回の調査結果との比較

	大気汚染	騒 音	振 動	悪 臭	その他	いずれも うけてない
今 回	22.1%	36.1%	19.1%	13.5%	2.0%	39.9%
52年度	23.7%	34.1%	15.5%	11.2%	1.3%	44.9%
50年度	30.1%	32.0%	14.7%	13.1%	1.2%	43.4%
48年度	35.4%	37.0%	18.2%	13.2%	1.0%	35.0%

「振動」、「悪臭」の四項目に全てに対して、また、四谷地域も「大気汚染」を除く 3 項目に対して区全体の平均値を上回る比率を示しており、他地域に比べて公害が多いといえよう。なお、大久保地域での「大気汚染」、四谷地域での「騒音」に対する比率が目立って高いことにも注目される。これに対して「いずれも受けたことはない」は、角筈、区役所地域、榎町地域に多くなっている。

また、過去 3 回の調査結果と比較すると表 2 - 1 のとおり「大気汚染」のみ減少傾向がみられ、「騒音」と「振動」は増加している。

## II - 3 公害対策

公害対策として区に規制や指導をしてほしいものを選んでもらったところ、もっとも多かったのは「自動車の排気ガス・騒音・振動」で 40.5% である。続いて、「日常生活における騒音・振動・悪臭」が 24.2%、「建設工事による騒音・振動」が 22.8% などが上位を占め、以下、「被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実」が

図 2 - 7 公害対策

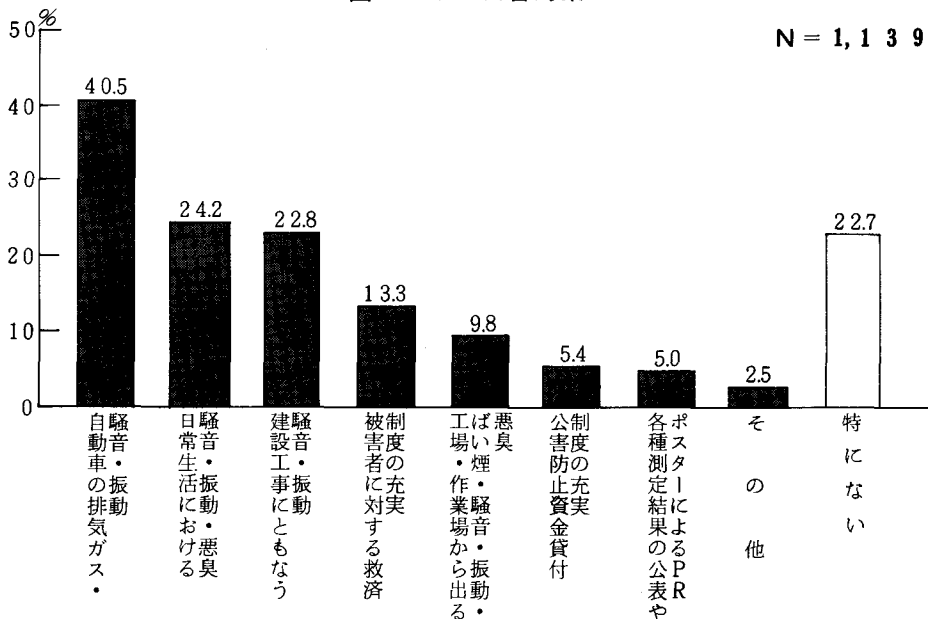
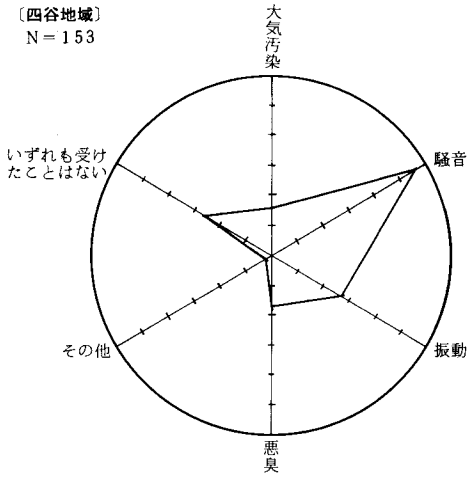


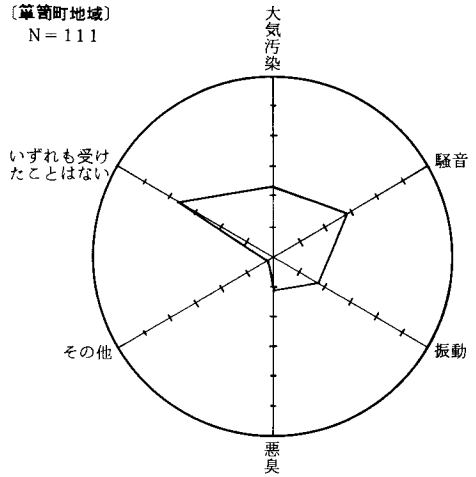
図 2 - 6 地域別の公害の被害経験の有無

N = 1, 1 3 9

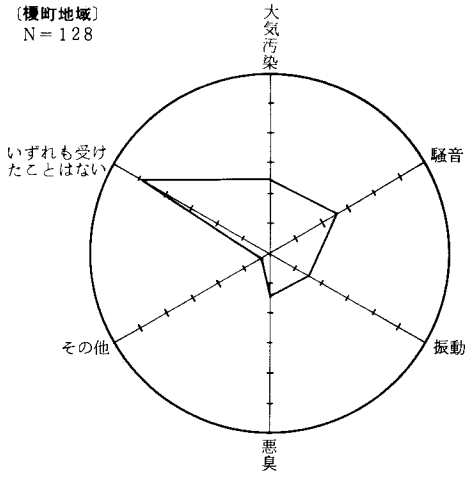
〔四谷地域〕  
N = 153



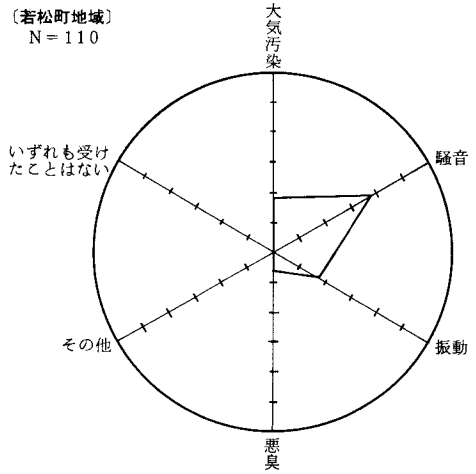
〔草薙町地域〕  
N = 111



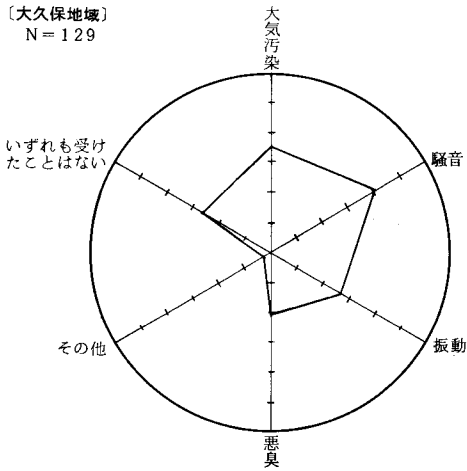
〔榎町地域〕  
N = 128



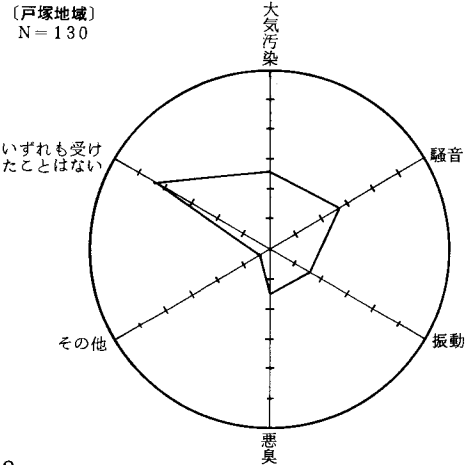
〔若松町地域〕  
N = 110



〔大久保地域〕  
N = 129

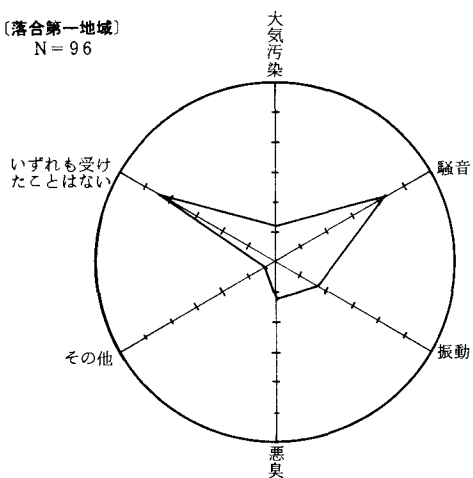


〔戸塚地域〕  
N = 130

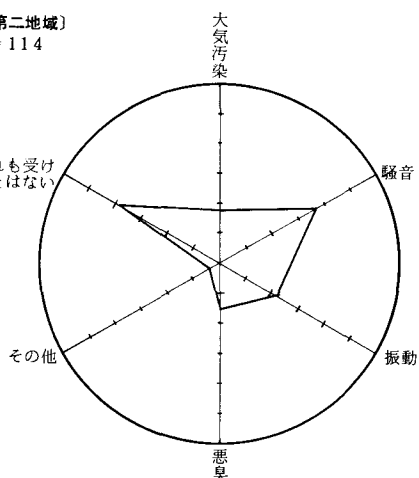




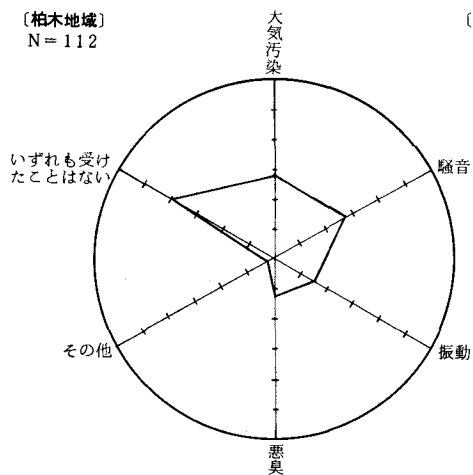
〔落合第一地域〕  
N = 96



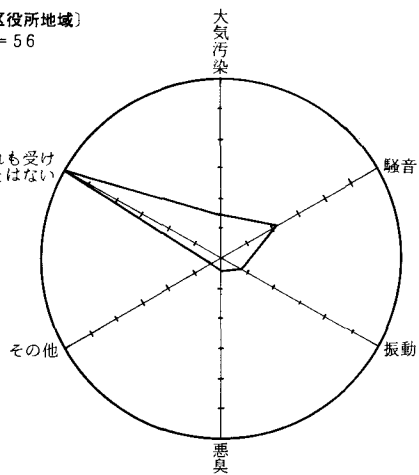
〔落合第二地域〕  
N = 114



〔柏木地域〕  
N = 112



〔角筈・区役所地域〕  
N = 56



13.3%，「工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭」が9.8%，「公害防止資金貸付制度の充実」が5.4%，「各種測定結果の公表やポスターによるPR」が5.0%，「その他」が2.5%の順であった。また「特にない」は22.7%である(図2-7)。

地域別にその特徴をみると表2-2のとおりである。「特にない」の多い地域は、前問の公害の被害経験のない地域とはほぼ一致している。

表2-2 地域別の公害対策

N=1,139

	自動車の排気ガス・騒音・振動	日常生活における騒音・振動・悪臭	建設工事にもなる騒音・振動	被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実	工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭	公害防止資金貸付制度の充実	各種測定結果の公表やポスターによるPR	特にない
区全体	4.05%	24.2%	22.8%	13.3%	9.8%	5.4%	5.0%	22.7%
多い地域	落合第二(47.4%) 筆筈町(45.0%) 戸塚(43.8%)	筆筈町(31.5%) 戸塚(33.8%)	四谷(30.7%) 若松町(34.5%) 大久保(30.2%)	四谷(17.0%) 落合第二(17.5%)	筆筈町(18.9%) 榎町(14.8%)	若松町(10.9%)	若松町(9.1%) 落合第二(9.6%)	榎町(33.6%) 落合第一(35.4%) 角筈・区役所(41.1%) 柏木(26.8%)

表2-3 公害被害と公害対策

	工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭	建設工事にもなる騒音・振動	自動車の排気ガス・騒音・振動	日常生活における騒音・振動・悪臭	被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実	公害防止資金貸付制度の充実	各種測定結果の公表やポスターによるPR	その他	特にない
区全体 N=1,035	12.3%	31.5%	52.4%	30.9%	14.4%	7.0%	5.3%	2.4%	6.8%
大気汚染 N=252	11.9	26.6	☆57.1	25.4	15.1	6.7	5.6	2.0	9.5
騒音 N=411	10.2	30.4	53.8	33.3	14.4	5.6	5.4	2.9	6.1
振動 N=218	13.3	☆40.4	45.4	26.1	15.6	8.7	5.0	2.8	6.0
悪臭 N=154	☆16.9	29.9	50.6	☆40.3	11.7	8.4	5.2	1.3	5.2

注1：公害被害の「その他」「いずれも受けたことはない」を除く1,035人を基数とした。

注2：基数が異なるため、区全体の数値は図2-7と一致しない。

注3：☆印は比率の特に大きい項目

**N = 1,139**

注：わからないを除く

## II-4 近隣騒音

図 2 - 8 近隣騒音

N=1,139

近隣騒音の種類	割合 (%)
自動車・オートバイ	22.9
のスピーカー チリ紙交換や物売り	16.7
犬や猫のなき声	9.2
話し声・歌声・なき声	8.7
テレビ・ステレオ	8.3
の音 クーラーなど冷暖房器	6.6
足音 階段や二階などの物音	5.7
ピアノ・ギター	5.2
商店や飲食店からの音	4.0
その他	41.0
特にない	4.0

近い。騒音被害の内容としては、「自動車・オートバイ」が22.9%と最も多く、ここでも、公害の第一の原因として自動車があがっている。「チリ紙交換や物売りのスピーカー」が16.7%で続いており、他は10パーセントに満たなかった。

上位2項目について、属性別の特徴は表2-5に示したとおりである。「自動車・オートバイ」は、住みよさ別にみると、あまり住みよくない(28.9%)や住みにくい(36.7%)に多く、「車の騒音」は居住環境の評価に大きく影響しているといえよう。なお、「特にない」は、榎町地域(46.1%)、落合第一地域(64.6%)、角筈・区役所地域(67.9%)に多く、また、鉄筋アパート・マンション(45.8%)にも多い。

II-5 自宅付近の道路状態の評価

図2-9に示すとおり「たいへんよい」と「よい」を合わせた《満足派》は44.4%、「あまりよくない」と「非常によくない」を合わせた《不満派》が33.1%であった。

地域別にみると、図2-10のとおり、《満足派》は区の南部に多く、東部に少ない傾向がある。

定住意思別では図2-11のとおり、《満足派》は、永住するつもり(50.4%)など《定住意思ある者》多く、《不満派》は、転出するつもり(40.4%)など《転出意思ある者》に多い。

次に住みよさでみると図2-12のとおり、《満足派》は、住みよい(54.3%)、まあ住みよい(47.7%)など《住みよい派》に多く、《不満派》は、あまり住みよくない(46.4%)、住みにくい(40.0%)など《住みにくい派》に多い。

表2-5 各属性別の近隣騒音

(上位2位まで)  
N = 1,139

	自動車・オートバイ	ちり紙交換や物売りのスピーカー
全体	22.9%	16.7%
地域別	榎町地域 (28.9%) 大久保地域(28.7%) 落合第二地域(30.7%)	四谷地域 (34.0%) 若松町地域(23.6%) 筆筈町地域(20.7%)
住形態居別	_____	寮・間借り・住込み (26.1%)
住よさみ別	あまり住みよくない(28.9%) 住みにくい(36.7%)	住みよい (20.9%)

図2-9 自宅付近の道路状態の評価

N = 1,139

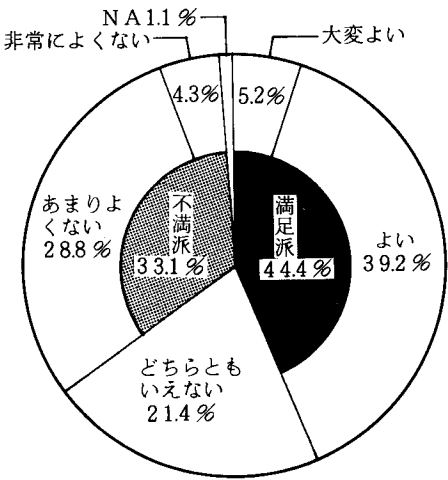


図 2 - 1 0 地域別の道路状態への《満足派》

N = 1,139

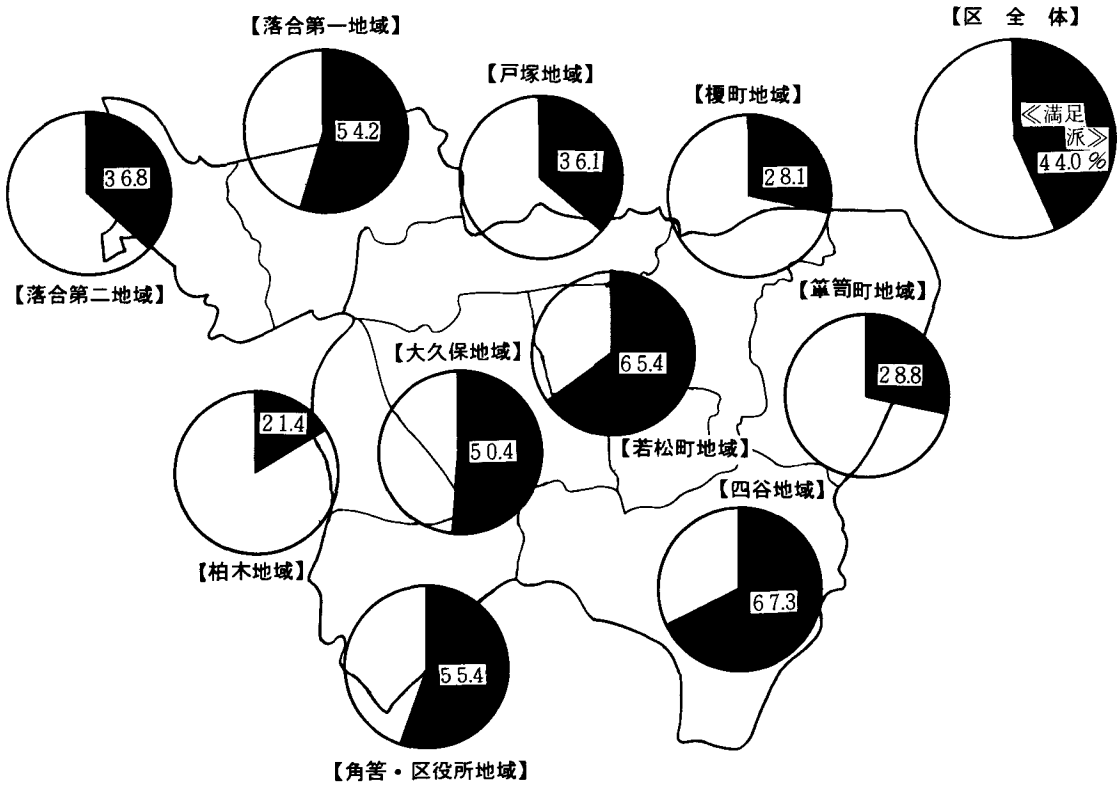


図 2 - 1 1

定住意思別の自宅付近の道路状態の評価

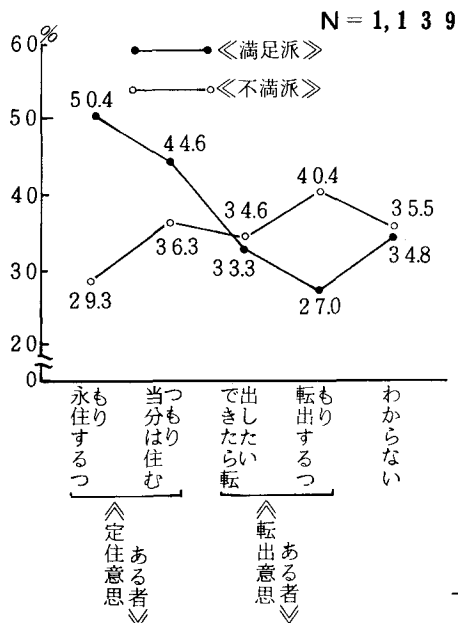
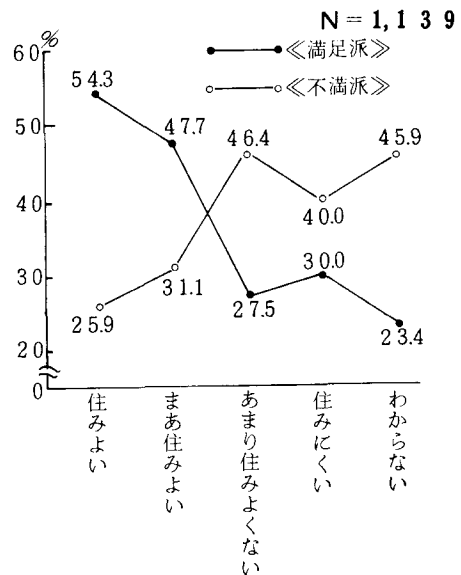


図 2 - 1 2

住みよさでみた自宅付近の道路状態への評価



(1) 道路状態への不満

どんな点が不満かの問に対しては、図 2 - 1 3 のとおり、道の狭さに不満が集中している。

この結果の地域別の特徴をみると表 2 - 6 のとおりである。落合地域以外の地域全てで道の狭さに不満が集中している。

一方、区全体の比率が 1 0 % 以下のもので目立ったものをみると、「幹線道路が混雑す

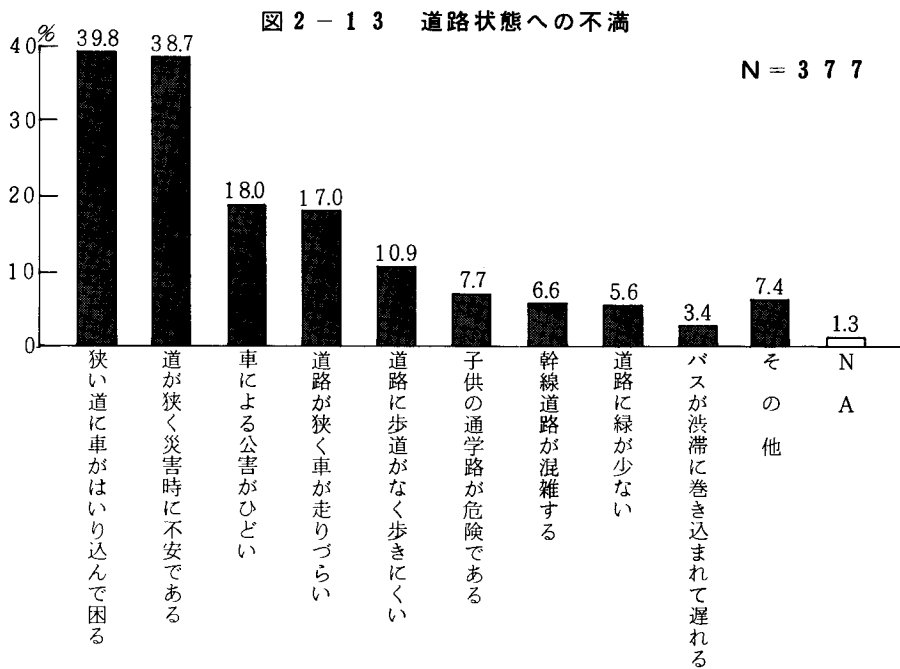


表 2 - 6 地域別の道路状態の不満

(上位 5 位まで) N = 3 7 7

	狭い道に車はいり込んで困る	道が狭く災害時に不安である	車による公害がひどい	道路が狭く、車が走りづらい	道路に歩道がなく歩きにくい
全体	3 9.8 %	3 8.7 %	1 8.0 %	1 7.0 %	1 0.9 %
地	四谷地域 (4 6.4%)	角筈・区役所地域 (6 0.0%)	榎町地域 (2 5.4%)	若松町地域 (5 8.8%)	大久保地域 (2 0.0%)
域	若松町地域 (5 8.8%)	榎町地域 (4 6.3%)	大久保地域 (2 6.7%)	落合第二地域 (2 7.7%)	落合第二地域 (1 9.1%)
別	大久保地域 (5 3.3%)	柏木地域 (4 8.1%)	落合第一地域 (2 4.1%)	柏木地域 (2 3.1%)	
	戸塚地域 (5 1.0%)				

表 2 - 7 車の有無別の道路状態への不満

N = 3 7 7

	道時に 狭く不安 災害であ る	幹線 道路が 混雑す る	道路が 走りづ ら	車が 走らな い	バスが 渋滞に 巻き込 まれて 遅れる	車に よる公 害	狭い道 に車が 入らな い	歩道が なく歩 きにくい	道路に 緑が少 ない	子供 の通学 路が危 険であ る	そ の 他	N A
ある	36.6	8.9	15.2	4.5	18.8	39.3	8.0	4.5	10.7	9.8	2.7	
ない	39.6	5.7	17.7	3.0	17.7	40.0	12.1	6.0	6.4	6.4	0.8	

る」は、落合第一地域（13.8％）、第二地域（14.9％）、「道路に緑が少ない」は、  
 筆筈町地域（14.3％）、「バスが渋滞に巻き込まれて遅れる」は、落合第二地域（10.6  
 ％）に多い。山手通り、目白通り、早稲田通りなどの通っている落合地域は、それらの幹  
 線道路の渋滞による支障が大きいと思われる。

なお、車の有無別にみると表 2 - 7 のとおり、「幹線道路が混雑する」は車のある人、  
 「歩道がなく歩きにくい」は車のない人にわずかに多いほかは、大きな特徴はみられない。

## II - 6 「都市計画道路」の見直し作業の周知度

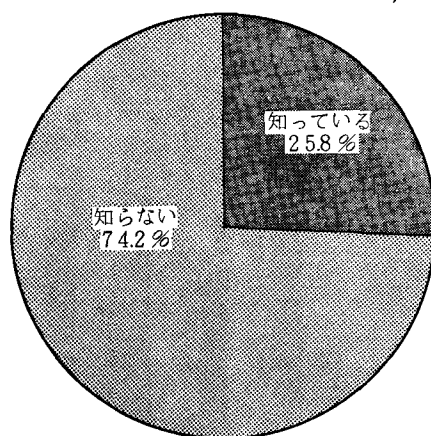
図 2 - 1 4 のとおり、知っている人は 4  
 人に 1 人の割合であり、周知度は非常に低  
 い。地域別でみると図 2 - 1 5 のとおり四  
 谷、若松町、大久保といった区中央部に周  
 知度が高い。

性年代別でみると図 2 - 1 6 のとおり、  
 男性の特に中・高年層に周知度が高い。

図 2 - 1 4

「都市計画道路」の見直し作業の周知度

N = 1,139



## II - 7 指定区域での建築規制について

図 2 - 1 7 のとおり「将来の道路予定地と  
 してやむをえない制限である」が 29.7％、  
 「制限によって受ける損失に対して、補償す  
 べきである」が 21.6％、「制限を緩和すべきである」が 10.4％、「制限を撤廃す  
 べきである」が 3.2％である。これに対して「わからない」が 33.3％と 3 分の 1 を占め  
 ている。

地域別にみたのが表 2 - 8 である。補償を求める声は四谷地域と大久保地域とに多い。

図 2 - 1 5 地域別の「都市計画道路」の見直し作業の周知度

N = 1, 1 3 9

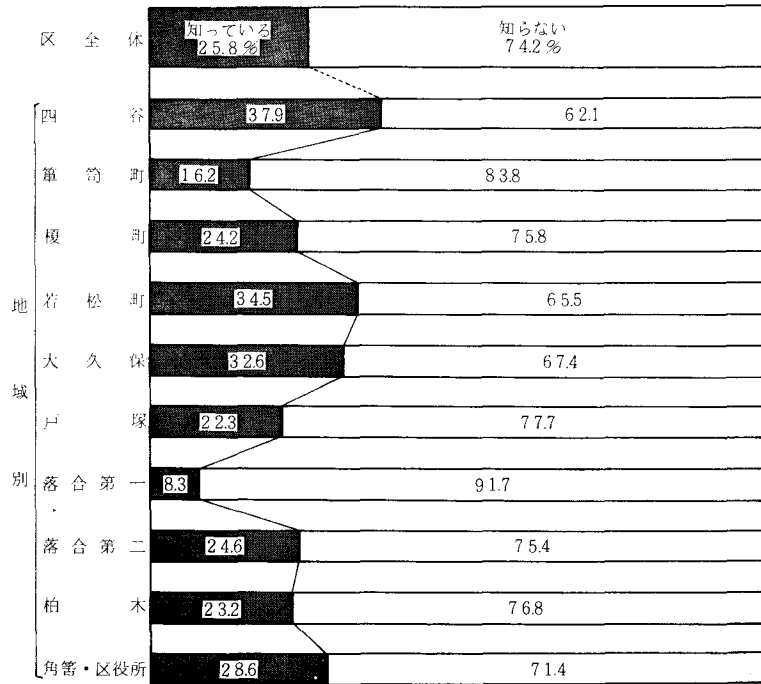
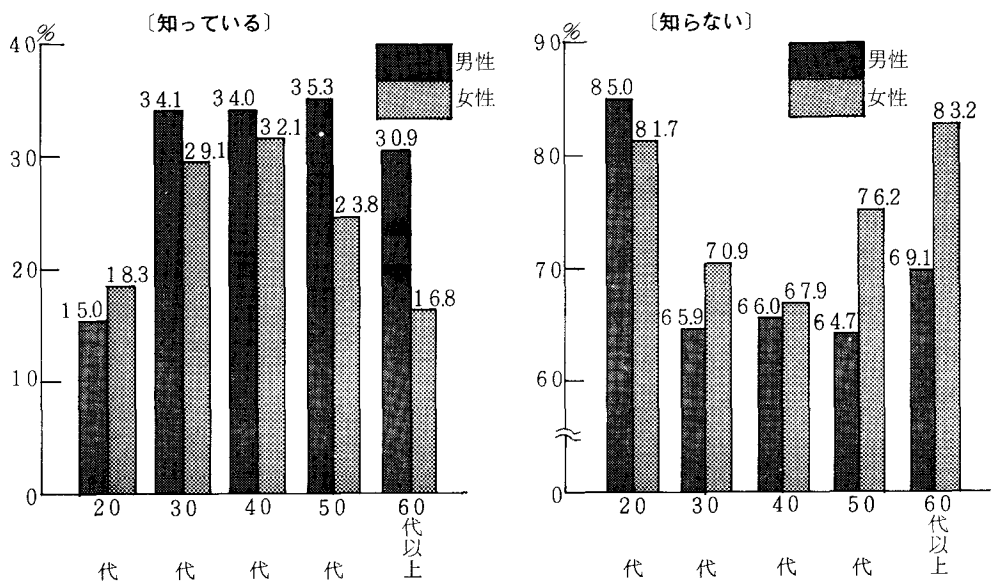


図 2 - 1 6 性年代別の「都市計画道路」の見直し作業の周知度

N = 1, 1 3 9





年代別では図 2 - 1 8 のとおり、「やむをえない」という意見は中年層に多いのに対して、「補償を」求める声は若年層に強い。

また定住意思別にみたのが図 2 - 1 9 であるが、《定住意思ある者》ほど「やむをえない」の比率が高い。

次に前問「都市計画道路」見直し作業の周知度と指定区域での建築規制についての関係を見ると表 2 - 9 のとおりである。知らない人には、建築規制について「わからない」(40.6%)という回答が多いのも当然といえよう。「わからない」の比率に差があるため、

他の項目の比率をそのまま比較することはできないが、知っている人に特に多い項目は「制限によって受ける損失に対して、補償すべきである」(28.9%)と「制限を緩和すべきである」(19.0%)の2項目である。「都市計画道路」の見直し作業や建築規制を知っ

図 2 - 1 7 指定区域での  
建築規制について  
N = 1,139

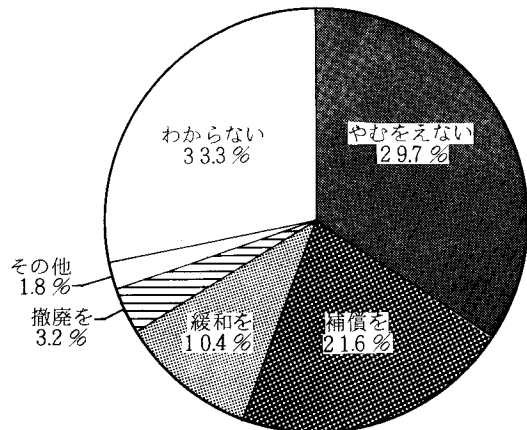


表 2 - 8 地域別の指定区域での規制について

N = 1,139

		やむをえない	補償を	緩和を	撤廃を	その他	わからない
区 全 体		29.7%	21.6%	10.4%	3.2%	1.8%	33.3%
地 域 別	四 谷	23.5	33.3	9.8	2.6	2.0	28.8
	笹 筈 町	42.3	11.7	10.8	10.8	0.0	24.3
	榎 町	30.5	18.0	4.7	0.0	3.1	43.8
	若 松 町	34.5	23.6	20.0	6.4	0.9	14.5
	大 久 保	20.2	32.6	7.8	4.7	0.8	34.1
	戸 塚	27.7	21.5	6.2	3.1	0.0	41.5
	落 合 第 一	30.2	19.8	6.3	1.0	2.1	40.6
	落 合 第 二	37.7	21.1	14.9	1.8	6.1	18.4
	柏 木	28.6	17.0	14.3	0.9	1.8	37.5
角筈・区役所		21.4	1.8	12.5	0.0	0.0	64.3

ている。あるいは何らかの形で関わりのある人は、補償や緩和といった何らかの変更を求めているともうけとれよう。

図 2 - 1 8 年代別の指定区域での建築規制について

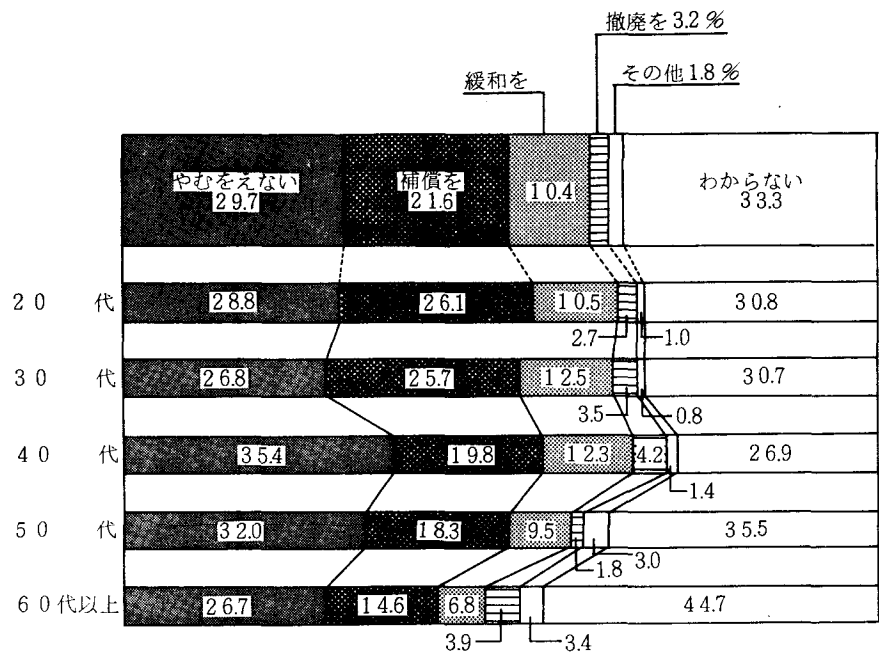


図 2 - 1 9

定住意思別の「やむをえない」

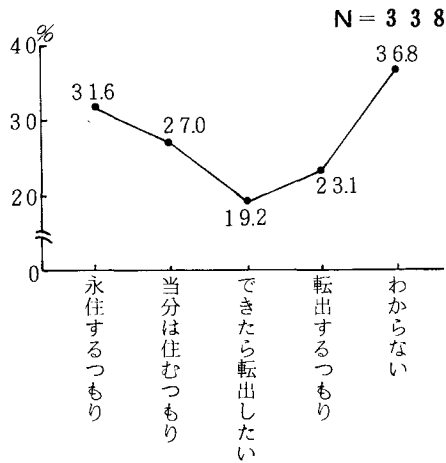


表 2 - 9

「都市計画道路」見直し作業の周知度と  
指定区域での建築規制について

	やむを得ない 制限である	補償 損失に 対して すべき である	制限を 緩和 すべき である	制限を 撤廃 すべき である
区 全 体	29.7	21.6	10.4	3.2
知っている	33.7	28.9	19.0	2.7
知らない	28.3	19.1	7.5	3.4

# III. 地 域 社 会

- 
1. コミュニティの範囲
  2. 近所付き合いの程度
  3. 地域社会の役割について
  4. 自分の地域に欲しい施設
-

### 【ライフ・ステージ】

---

- \* 婚前期 ..... 結婚前の独身者
  - \* 家族形成期 ..... 子どもがいない若夫婦  
の夫あるいは妻
  - \* 家族成長期(A) ..... 結婚し乳・幼児  
がいる親
  - \* 家族成長期(B) ..... 小・中学生がいる親
  - \* 家族成長期(C) ..... 高校・大学生がいる親
  - \* 家族成熟期 ..... 学校教育を終えた  
独身の子どもがいる親
  - \* 老年期(A) ..... 子どもが結婚して  
一緒に住んでいる親
  - \* 老年期(B) ..... 子どもが独立して  
2人だけになった親
  - \* 老年期(C) ..... 子どもが独立して  
1人だけになった親
-

### Ⅲ. 地 域 社 会

#### 《設問とまとめ》

##### 1. コミュニティの範囲

**Q 1 1.** 最近、コミュニティという言葉がよく使われます。これは地域社会または近隣社会という意味で用いられますが、コミュニティとはどの範囲だと思いますか（1 A）。 N = 1,139

- |                  |       |          |       |
|------------------|-------|----------|-------|
| 1. 隣り近所          | 20.5% | 8. その他   | 1.8%  |
| 2. 日常の買物をする地域    | 16.3% | 9. わからない | 15.2% |
| 3. 町会・自治会の地域     | 27.2% |          |       |
| 4. 小学校を中心とした地域   | 4.2%  |          |       |
| 5. 駅を中心とした地域     | 1.6%  |          |       |
| 6. 特別出張所を中心とした地域 | 2.5%  |          |       |
| 7. 新宿区全体         | 10.7% |          |       |

##### 2. 近所付き合いの程度

**Q 1 2.** 隣り近所の人とふだんの程度お付き合いをしていますか。（1 A）

- |                   |       |                  |
|-------------------|-------|------------------|
| 1. 挨拶をかわす程度       | 36.8% | <b>N = 1,139</b> |
| 2. 立ち話をする程度       | 29.7% |                  |
| 3. お互いの家に行き来している  | 12.3% |                  |
| 4. 困ったときは助け合う程親しい | 6.6%  |                  |
| 5. ほとんど付き合っていない   | 10.4% |                  |
| 6. 付き合っていない       | 3.8%  |                  |
| 7. NA             | 0.4%  |                  |

**SQ 1.** [Q 1 2で1～4と答えた人に]  
どんなきっかけで付き合うよう  
になりましたか。（FA）

**SQ 2.** [Q 1 2で5, 6と答えた人に]  
付き合わない理由は何ですか。  
（FA）

### 3. 地域社会の役割について

**Q 1 3.** 最近の報道で、一人暮らしの老人が死んだまま発見されたり、両親が不在のまま小学生の子供だけで何か月も暮らしていたということがありましたが、これについてどう思いますか。(1 A) N = 1, 1 3 9

- |                          |          |
|--------------------------|----------|
| 1. 個人的な事情があつてのことだから仕方がない | 9. 8 %   |
| 2. 気の毒だとは思ふが何もできない       | 1 4. 4 % |
| 3. だれか親戚の人などが気を付けるべきだ    | 2 0. 5 % |
| 4. 隣り近所の人たちが気を付けるべきだ     | 3 3. 4 % |
| 5. 役所などの行政機関が面倒をみるべきだ    | 1 5. 9 % |
| 6. その他                   | 1. 1 %   |
| 7. わからない                 | 4. 8 %   |

### 4. 自分の地域に欲しい施設

**Q 1 4.** あなたが住んでいる地域にほしいと思う施設を、次の中から2つ以内で選んで下さい。〔回答票 5 提示〕(2 A) N = 1, 1 3 9

- |            |          |            |          |
|------------|----------|------------|----------|
| 1. 保育園     | 6. 4 %   | 8. 運動場     | 2 5. 5 % |
| 2. 児童館     | 5. 3 %   | 9. 体育館     | 1 4. 3 % |
| 3. 集会室     | 5. 1 %   | 10. 社会教育会館 | 4. 0 %   |
| 4. 婦人会館    | 7. 6 %   | 11. 図書館    | 1 6. 6 % |
| 5. 老人会館    | 8. 9 %   | 12. その他    | 2. 8 %   |
| 6. 公園・児童遊園 | 2 9. 3 % | 13. 特にない   | 2 1. 3 % |
| 7. 健康相談所   | 1 2. 1 % |            |          |

この章では、最近しばしば使われる「コミュニティ」という言葉を区民はどのようにとらえているか、また実際の地域社会の中での区民の意識や区民と地域社会との関わりなどについて聞いた。

コミュニティの範囲については、「町会・自治会の地域」が約3割を占め、続いて「隣り近所」, 「日常買物をする地域」が2割前後であった。また「新宿区全体」と答えた人は1割である。区民は、「コミュニティ」を日常生活でのごく身近な範囲ととらえているようだ。

近所付き合いの程度は、「挨拶をかわす程度」、「立ち話をする程度」など、ごく浅い付き合いの人が7割近くを占めた。近所付き合いのきっかけとしては「近所なので自然に」が222件と圧倒的に多く、以下「昔から住んでいるので」（85件）、「子どもを通じて」（61件）などである。近所付き合いをしない理由としては、「仕事、学校で時間がない」が34件ともっとも多く、他には「面倒だ」（13件）、「機会がない」（11件）、「引っ越してきたばかりなので」（10件）などであった。

地域社会の役割については、「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」が3分の1を占めた。他にも「だれか親戚の人などが気を付けるべきだ」や「役所などの行政機関が面倒をみるべきだ」など「とにかく何とかしなければ」と考えている人達が合わせて7割弱であった。

自分の地域に欲しい施設としては、「公園・児童遊園」、「運動場」が20%台と特に多く、「図書館」、「体育館」、「健康相談所」の順で続いた。運動あるいは体を動かせるスペースへの要望が高くなっているといえよう。

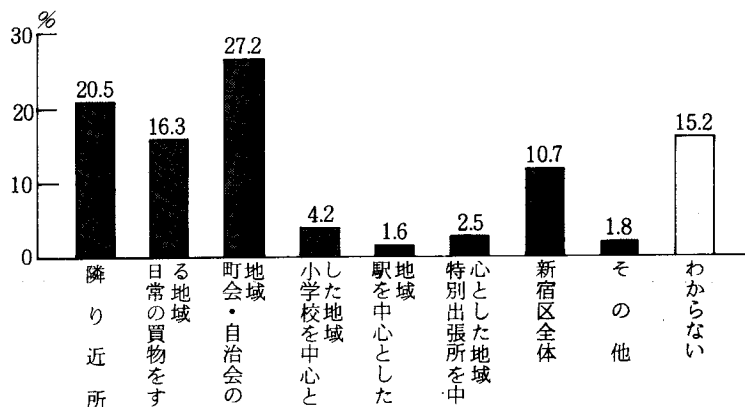
## 《 分 析 》

### Ⅲ－１ コミュニティの範囲

コミュニティ（地域社会または近隣社会）の範囲について聞いたところ、もっとも多かったのは「町会・自治会の地域」で27.2%である。続いて「隣り近所」が20.5%、以下「日常買物をする地域」（16.3%）、「新宿区全体」（10.7%）などの順で区民はコミュニティを日常生活でのごく身近な範囲ととらえているようだ。なお「わからない」は15.2%である（図3－1）。

図3－1 コミュニティの範囲

N = 1,139



比率が10%を超えたものについて、各属性別の特徴をみると以下のとおりである。

地域別では、「町会・自治会の地域」は、筆筒町地域（32.4%）、榎町地域（39.1%）、落合第二地域（35.1%）に多く、柏木地域（31.3%）にも比較的多い。「隣り近所」は、四谷地域（30.1%）、筆筒町地域（27.9%）、若松町地域（30.9%）に多く、落合第一地域（25.0%）にも比較的多い。「日常買物をする地域」は、若松町地域（23.6%）、角筈・区役所地域（39.3%）に多く、筆筒町地域（21.6%）にもやや多くなっている。「新宿区全体」は、柏木地域（19.6%）に多く、落合第二地域（14.9%）にも比較的多い（表3-1）。

他の属性との関係を項目別にみると表3-2のとおりである。

◎ 町会・自治会の地域（区全体27.2%）

職業別の自営業・事業主や実際に町会・自治会活動を支えていると思われる居住年数が長く、地元意識の強い人達の意見といえよう。

◎ 隣り近所（区全体20.5%）

「町会・自治会の地域」と答えた層と類似している。また、高年層に多い。

◎ 日常買物をする地域（区全体16.3%）

表3-1 地域別のコミュニティの範囲（上位4項目）

N = 1,139

		町会・自治会の 地 域	隣り近所	日常買物をする 地 域	新宿区全体
区 全 体		27.2%	20.5%	16.3%	10.7%
地 域 別	四 谷	17.6	30.1	16.3	9.2
	筆 筒 町	32.4	27.9	21.6	3.6
	榎 町	39.1	19.5	7.8	10.2
	若 松 町	20.0	30.9	23.6	6.4
	大 久 保	25.6	14.0	17.8	11.6
	戸 塚	29.2	13.1	13.1	10.8
	落 合 第 一	21.9	25.0	10.4	12.5
	落 合 第 二	35.1	14.0	7.9	14.9
	柏 木	31.3	10.7	17.9	19.6
	角筈・区役所	14.3	19.6	39.3	7.1



表 3 - 2 属性別のコミュニティの範囲の特徴（上位 4 項目）

N = 1,139

	町会・自治会の地域	隣 り 近 所	日常買物をする地域	新 宿 区 全 体
全体 の比率	27.2%	20.5%	16.3%	10.7%
職 業 別	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 自営業・事業主 (34.7%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 自営業・事業主 (25.1%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 主婦 (21.6%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 管理職・自由業 (20.2%)</li> <li>◦ 事務職・技術職 (15.6%)</li> </ul>
ライフ ステージ 別	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 家族成長期(B) (35.3%)</li> <li>◦ 老年期(A) (35.5%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 老年期(B) (32.8%)</li> <li>◦ 老年期(C) (38.9%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 家族成長期(A) (26.2%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 婚前期 (14.9%)</li> <li>◦ 家族形成期 (15.9%)</li> </ul>
居数 住別 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 戦前から (33.0%)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 54年以降 (22.2%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 昭和51～53年 (14.3%)</li> </ul>
年 代 別		<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 60代以上 (25.7%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 20代 (20.3%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 20代 (14.9%)</li> </ul>

主婦や若年層に多い。

◎ 新宿区全体（区全体 10.7%）

勤め人や若年層に多い。

このように、居住年数が長い人や高年層は、「町会・自治会の地域」とか「隣り近所」など、自分の地域での日常生活に具体的に深く関わりを持つものをあげている。これに対して、若年層は、「区全体」などと、高年層に比べ、かなり漠然としたイメージを抱いているといえよう。

### Ⅲ－２ 近所付き合いの程度

となり近所の人との近所付き合いについては、「挨拶をかわす程度」が36.8%、「立ち話をする程度」が29.7%と浅い付き合いの人が7割近くを占めた。他に「お互いの家に行き来している」が12.3%、「困った時は助け合う程親しい」が6.6%である。これに対して、「ほとんど付き合っていない」が10.4%、「付き合っていない」が3.8%である（図3－2）。

各項目ごとに属性との関係をみると表3－3のとおりである。

#### ◎ 挨拶をかわす程度（区全体36.8%）

男性の中・高年層や女性の若年層、労務・サービス職、事務・技術職など勤人や学生、また居住年数の短い人に多い。仕事や学校などで時間的余裕の少ない人達に多いといえよう。

#### ◎ 立ち話をする程度（区全体29.7%）

男女の中年層、自営業・事業主、比較的長く住んでいる人などに多い。仕事上のことなどで近所との関わりがなくてはならない層や、長く住んでいるため、自然に付き合うようになったものと考えられる。

#### ◎ お互いの家に行き来している（区全体12.3%）

男性の高年層や女性の中・高年層、無職や主婦層、居住年数の長い人に多い。家庭にいた時間の長い人に多いといえよう。

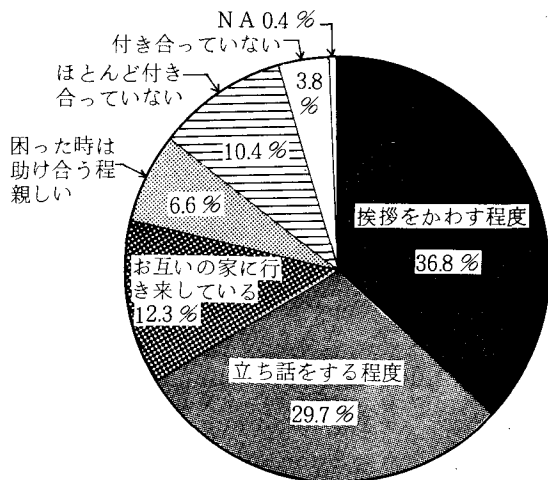
#### ◎ 困った時は助け合う程度（区全体6.6%）

男女の高年層、自営業・事業主、戦前から住んでいる人に多い。やはり、その地域に長く住んでいたり、仕事上などで地域と深く関わっている人ほど、付き合いの程度が深いといえよう。

#### ◎ ほとんど付き合っていない＋付き合っていない（区全体14.2%）

男性の若年層、学生、5年未満の短期居住者に多い。女性の若年層では、「挨拶をかわす程度」が多かったが、男性の若年層では、近所付き合いに対し、より消極的であるといえよう。

図3－2 近所付き合いの程度  
N = 1,139



次に、近所付き合いの程度を52年2月調査時と比較すると、図3-3のとおりである（回答項目は多少異なっているので、類似しているもので参考にする）。

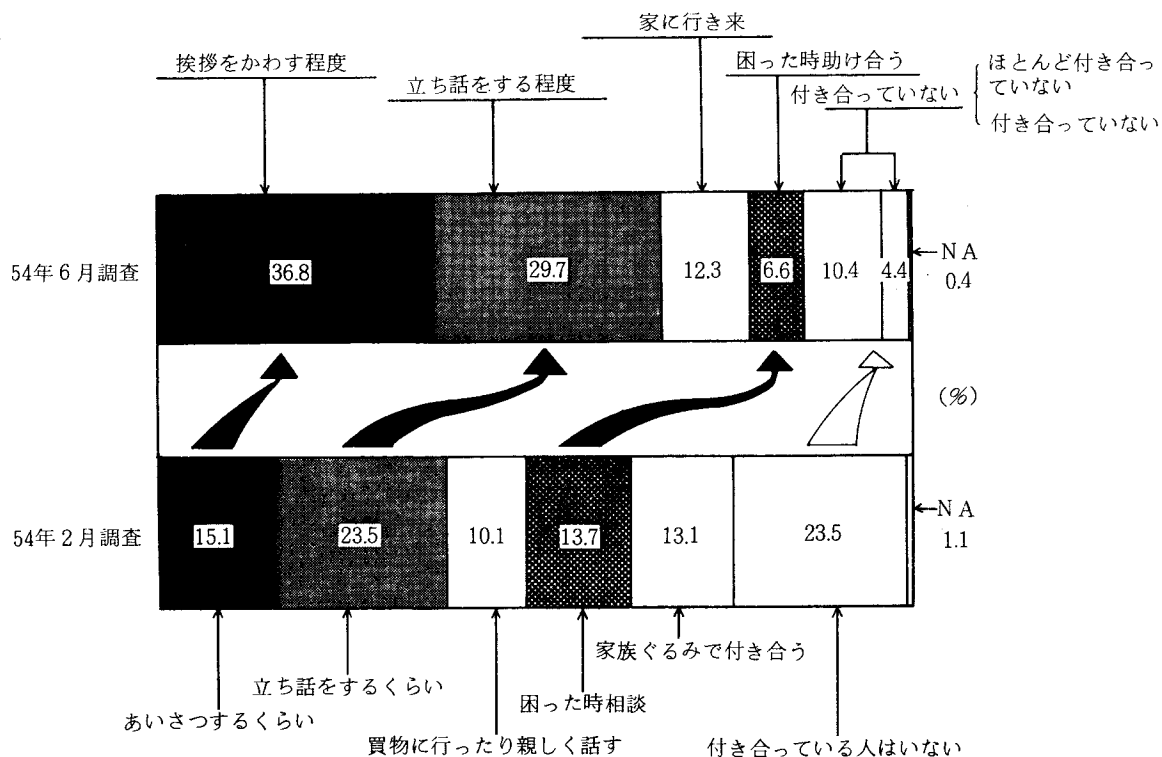
類似項目で「挨拶をかわす程度」が2倍以上の増加となっており、また、「立ち話をする程度」も増加している。しかし、「困った時に助け合う」は半減している。なお、今回調査では、「家に行き来する」という項目にあたるものが、52年2月には「買物に行ったり親しくする」、「家族ぐるみで付き合い」となっているため一様には言えないが、以前に比べ、浅い付き合い方が増えているといえよう。

表3-3 属性別の近所付き合いの程度の特徴

N = 1,139

	挨拶をかわす程度	立ち話をする程度	お互いの家に行き来している	困った時は助け合う程度	ほとんど付き合っていない+付き合っていない
全体	36.8%	29.7%	12.3%	6.6%	14.2%
地域別	若松町地域 (43.6%) 落合第二地域 (48.2%) 四谷地域 (41.1%) 角筈・区役所地域 (41.1%)	角筈・区役所地域 (37.5%) 四谷地域 (33.3%)	笹筈町 (16.2%)	戸塚地域 (14.6%)	落合第一地域 (28.2%) 大久保地域 (18.7%)
性 年 代 別	男60代以上 (44.4%) 女20代 (43.0%) 男50代 (41.2%)	男50代 (36.8%) 女40代 (48.1%) 女50代 (34.7%)	男60代以上 (17.3%) 女30代 (19.4%) 女50代 (18.8%) 女60代以上 (19.2%)	女60代以上 (16.8%) 男60代以上 (11.1%)	男20代 (35.3%)
職業別	労務職・サービス職 (44.9%) 学生 (42.6%) 事務・技術職 (41.7%)	自営業・事業主 (35.3%)	無職 (19.7%) 主婦 (16.4%)	自営業・事業主 (11.4%)	学生 (36.1%)
家族人数別	2人 (43.9%) 5人 (40.6%)	4人 (41.6%) 5人 (33.6%)	——	1人 (19.2%) 2人 (15.8%)	1人 (31.2%) 2人 (18.7%)
居住年数別	54年以降 (53.3%)	昭和31年～40年 (39.5%) 昭和41年～45年 (38.3%)	終戦～昭和30年 (19.5%)	戦前から (14.4%)	54年以降 (26.7%) 昭和51年～53年 (26.7%)

図 3 - 3 近所付き合いの程度 - 52年2月調査との比較



### (1) 近所付き合いのきっかけ

どんなきっかけで付き合うようになったかを自由回答で答えてもらったところ、主なもの（10件以上）は図3-4のとおりである。もっとも多かったのは、「近所なので自然に」が222件と圧倒的で、次いで「昔から住んでいるので」が85件、以下「子どもを通じて」が61件、「同じ建物に住んでいるので」が28件、「仕事（商売）上」が25件、「朝多のあいさつ」が18件、「買い物で」が14件、「町会・自治会を通じて」が10件、また「特に理由はない」が24件であった。

なお、その他の10件以下の理由としては、「ゴミの収集日に顔を合わせて」が9件、「回覧板を通じて」が9件、「留守を頼んで」が4件などである。

### (2) 付き合わない理由

Q12で「ほとんど付き合っていない」、「付き合っていない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「仕事、学校で時間がない」が34件と最も多かった。次いで、「面倒だ」が13件、「機会がない」が11件、「引っ越して来たばかりなので」が10件、「寮なので」が9件、「必要ない」が6件、「その他」が18件などである。また「特

に理由はない」は12件である（図3-5）。

その他の内訳は、「人の移動が激しい」、「知らない人だから」（各3件）、「共通の話題がない」、「隣が、マンションや寮である」、「深く関わりたくない」、「周囲と離れている」（各2件）、「お互いに無関心」、「付き合っても何にもならない」、「学校が違う」、「病弱」（各1件）などである。

図3-4 近所付き合いのきっかけ

N = 539

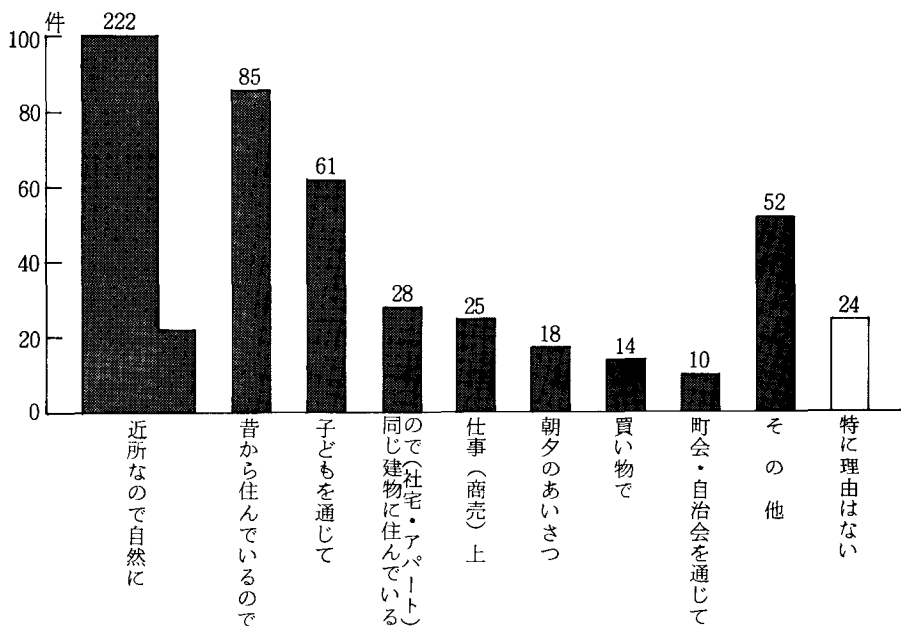
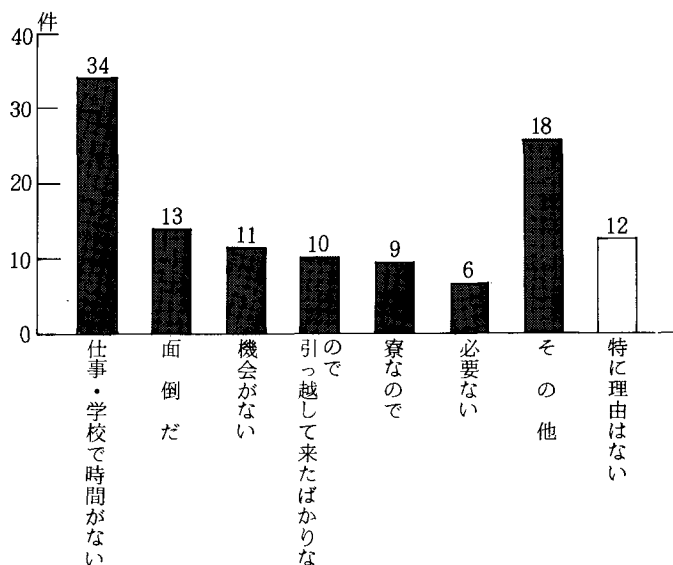


図3-5 付き合わない理由

N = 113



### Ⅲ－３ 地域社会の役割について

最近の報道で、一人暮らしの老人が死んだまま発見されたり、両親が不在のまま小学生の子どもだけで何か月も暮らしていたなどということについて意見を聞いてみると、「個人的な事情があってのことだから仕方がない」が9.8%、「気の毒だとは思うが何もできない」が14.4%、「だれか親戚の人などが気を付けるべきだ」が20.5%、「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」が33.4%、「役所などの行政機関が面倒をみるべきだ」が15.9%であった(図3-6)。以上のように「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」と

いう意見がもっとも多く全体の3分の1を占めた。《隣り近所の人たち》は地域社会の中心をなす人たちであり、その人達の地域社会での役割というものについて、かなり高く評価されていることに注目されよう。

次に「隣り近所の人たちが気を付けるべきだ」、「だれか親戚の人などが気を付けるべきだ」や「役所などの行政機関が面倒をみるべきだ」など“とにかく何とかしなければ”と考えている人たちの特徴をみると表3-4の(1)のとおりである。

◎ 隣り近所の人たちが気を付けるべきだ(区全体33.4%)

中高年層で子どもと別居している人や主婦、自営業・事業主などに多い。

◎ だれか親戚の人などが気を付けるべきだ(区全体20.5%)

子どもがいる中年層に多い。

◎ 役所などの行政機関が面倒をみるべきだ(区全体15.9%)

男性中・高年層や女性若年層、管理職・自由業の人などに多い。

これに対して、「個人的な事情があってのことだから仕方がない」、「気の毒だとは思うが何もできない」について属性での特徴をみると表3-4の(2)のとおりである。

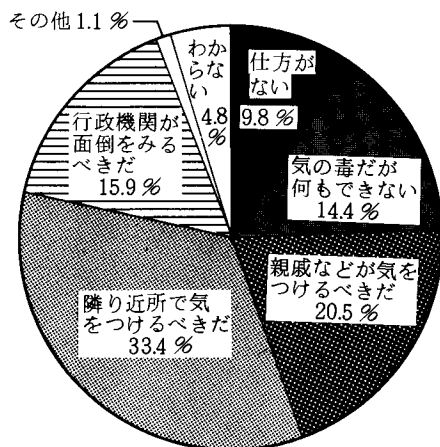
◎ 個人的な事情があってのことだから仕方がない(区全体9.8%)

男性若年層、管理職・自由業、労務職・サービス職などの勤人に多い。

◎ 気の毒だとは思うが何もできない(区全体14.4%)

女性の若年層、労務職・サービス職、学生などに多い。

図3-6 地域社会の役割について  
N = 1,139



以上のように、「仕方がない」、「何もできない」と答えた層は、男女の若年層、勤め人に多い。近所付き合いのところでも、「付き合っていない」は若年層に多く、《他人に干渉もしないし、されたくもない》という意識が強いと言えよう。

表 3 - 4 属性別の地域社会の役割り(1)

N = 1,139

	隣り近所で気をつけるべきだ	親戚などが気をつけるべきだ	行政機関が面倒をみるべきだ
全体	33.4%	20.5%	15.9%
性年代別	男40代 (39.6%)	女50代 (24.8%)	男50代 (22.1%)
	女40代 (41.5%)		男60代以上 (25.9%)
	女60代以上 (37.6%)		女20代 (19.0%)
職業別	主婦 (39.9%)	_____	管理職・自由業 (25.8%)
	自営業・事業主 (37.7%)		
ライフ・ステージ別	家族成熟期 (43.3%)	老年期(A) (26.3%)	家族形成期 (20.3%)
	老年期(B) (45.9%)	家族成長期(B) (24.7%)	
	老年期(C) (41.7%)		

表 3 - 4 属性別の地域社会の役割り(2)

N = 1,139

	個人的な事情で仕方がない	気の毒だが何もできない
全体	9.8%	14.4%
性年代別	男20代 (14.4%)	女20代 (19.0%)
職業別	管理職・自由業 (15.7%)	労務職・サービス職 (17.8%)
	労務職・サービス業 (14.0%)	学生 (18.0%)
ライフ・ステージ別	婚前期 (13.3%)	老年期(B) (19.7%)
	家族成長期(C) (15.9%)	

ここで、さらに地域社会の役割に対する考え方の特徴をはっきりさせるために、コミュニティの範囲と、近所づき合いの程度との関係をみてみよう。

コミュニティの範囲との関係をみると、図3-7のとおり、コミュニティの範囲を、自宅周辺の比較的狭い地域とみた人（隣近所、町会・自治会中心）は、「親戚」や「隣近所」の人が気を付けるべきだとの意見が多い。一方、出張所や区全体、小学校など行政区画をコミュニティの範囲とした人は、行政依存派が多くなっている。「仕方がない」、「何もできない」という無関心派は「駅中心」が特に多かった。

また、近所づき合いの程度との関係をみると表3-5のとおり、近所づき合いが深くなるほど「親戚」や「隣近所」の人が気を付けるべきであるとの意見が多い。一方、ほとんど付き合わない人は、行政機関に任せるべきとの行政依存と、「仕方ない」、「何もできない」という無関心派が多くなっている。

図3-7 コミュニティの範囲と地域社会の役割について

N = 1,139

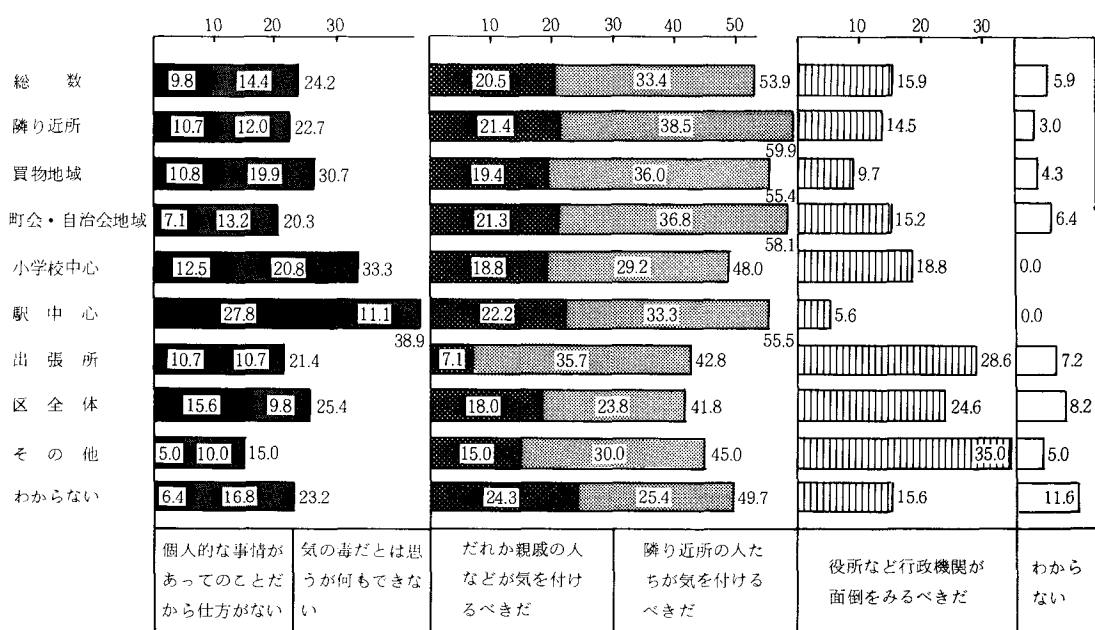




表 3 - 5 近所付き合いの程度と地域社会の役割について

N = 1,139

	仕方ない	何 も できない	親戚が気 をつける	隣 近 所	役所など行政機関	そ の 他	わ か ら い な
総 数	9.8	14.4	20.5	33.4	15.9	1.1	4.8
	25.2		53.9			5.9	
挨拶をかわす程度	9.1	13.6	20.0	32.2	18.9	1.4	4.8
	22.7		52.2			6.2	
立ち話をする程度	10.7	15.4	21.3	34.9	13.0	1.2	3.6
	26.1		56.2			4.8	
お互いの家に行き 来している	9.3	13.6	22.9	37.9	12.1	0.7	3.6
	22.9		60.8			4.3	
困った時は 助け合う	2.7	9.3	13.3	57.3	13.3	1.3	2.7
	12.0		70.6			4.0	
ほとんど付き 合っていない	16.8	18.5	19.3	17.6	20.2	0.0	7.6
	35.3		36.9			7.6	
付き合いがない	7.0	16.3	30.2	18.6	14.0	2.3	11.6
	23.3		48.8			13.9	
無 解 答	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0
	0.0		40.0			40.0	

### Ⅲ－４ 自分の地域に欲しい施設

自分が住んでいる地域に欲しい施設の主なものは、「公園・児童遊園」が29.3％と最も多かった。続いて「運動場」が25.5％、「図書館」が16.6％、「体育館」が14.3％、「健康相談所」が12.1％などの順であった。また、「特にない」が21.3％と多かった（図3－8）。

次に10％以上の要望があった上記の5項目と「特にない」について各属性別での特徴をみると表3－6のとおりである。

#### ◎公園・児童遊園（要望度29.3％ 第1位）

女性で子どもがいるであろうと考えられる年代層での要望が高い。

#### ◎運動場（要望度25.5％ 第2位）

男性の若年層，中年層での要望が高い。

#### ◎図書館（要望度16.6％ 第3位）

男女の若年層での要望が高い。

#### ◎体育館（要望度14.3％ 第4位）

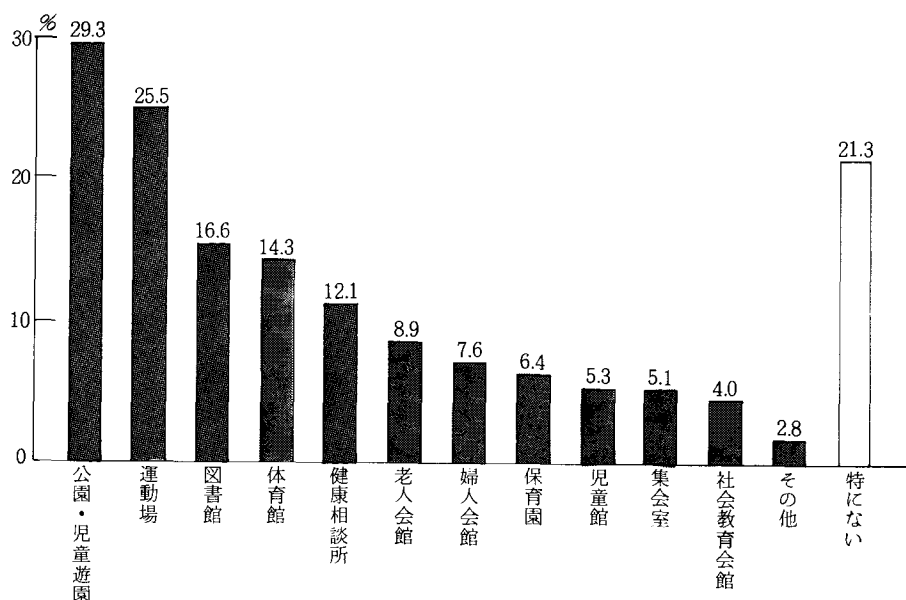
男女の若年層での要望が高い。

#### ◎健康相談所（要望度12.1％ 第5位）

男女の中・高年層での要望が高い。

#### ◎特にない（区全体21.3％）

男女の中・高年層に目立って多い。



次に「コミュニティの範囲」と「自分の地域に欲しい施設」との関係をみると表 3 - 7 のとおりである。

コミュニティの範囲を「日常の買物をする地域」と、ごく狭い範囲ととらえている人は、その範囲内に「児童館」、「公園・児童遊園」、「老人会館」など自分の家族（子ども、老人）のための施設を望んでおり、コミュニティの範囲を「小学校中心」、「駅中心」、「出張所中心」、「区全体」などと、もっと広い範囲でとらえている人は、「運動場」、「体育館」、「社会教育会館」、「図書館」など、一般の人たちが広く活用できる施設を望んでいるといえよう。

表 3 - 6 属性別の自分の地域に欲しい施設（上位 5 位）

N = 1,139

	公園・児童遊園	運 動 場	図 書 館	体 育 館	健康相談所	特になし
全体	29.3%	25.5%	16.6%	14.3%	12.1%	21.3%
地 域 別	大久保地域 (46.5%)	榎町地域 (32.0%)	筆筈町地域 (29.7%)	落合第一地域 (25.0%)	若松町地域 (17.3%)	四谷地域 (24.8%)
	戸塚地域 (36.2%)	落合第一地域 (42.7%)	若松町地域 (20.9%)	榎町地域 (18.8%)	落合第二地域 (20.2%)	筆筈町地域 (24.3%)
			柏木地域 (21.4%)	若松町地域 (19.1%)	戸塚地域 (16.9%)	角筈・区役所 地域(55.4%)
性 年 代 別	女30代 (37.3%)	男20代 (45.8%)	男20代 (26.1%)	男20代 (25.5%)	男50代 (26.5%)	男60代以上 (32.1%)
	女40代 (34.9%)	男30代 (31.7%)	女20代 (26.8%)	男30代 (19.5%)	女50代 (18.8%)	女50代 (36.6%)
	女20代 (33.8%)	男40代 (31.1%)		女20代 (21.8%)		女60代以上 (36.8%)
ラ イ フ ・ ス テ ー ジ 別	家族成長期(A) (37.4%)	婚前期 (33.2%)	婚前期 (25.9%)	婚前期 (23.1%)	家族成熟期 (21.7%)	家族成熟期 (37.5%)
	家族成長期(B) (35.3%)	家族形成期 (33.3%)		家族成長期(B) (19.4%)	老年期 (19.4%)	老年期(A) (29.9%)
	家族成長期(C) (34.5%)	家族成長期 (36.5%)		家族形成期 (17.4%)	家族成長期(C) (16.8%)	老年期(B) (37.7%)
	家族形成期 (33.3%)					老年期(C) (38.9%)

表 3 - 7 コミュニティの範囲と自分の地域に欲しい施設

(%)

	保育園	児童館	集会室	婦人会	老人館	老人会	人館	公園・児童遊園	健康相談所	運動場	体育館	社会教育会館	図書館	その他	特にな
区全体	6.4	5.3	5.1	7.6	8.9	29.3	12.1	25.5	14.3	4.0	16.6	2.8	21.3		
隣り近所	7.3	3.8	3.4	9.4	11.1	23.9	12.8	19.7	10.7	1.3	17.5	2.1	☆28.6		
日常の買物をする地域	8.1	☆11.3	7.0	8.1	☆13.4	☆32.3	10.2	24.2	12.4	5.9	13.4	2.2	17.7		
町会・自治会の地域	4.8	4.5	7.1	8.4	7.4	31.9	12.6	☆31.9	15.2	3.5	19.0	2.9	14.5		
小学校中心の地域	6.3	8.3	8.3	10.4	6.3	☆37.5	10.4	☆33.3	10.4	2.1	14.6	0.0	14.6		
駅中心の地域	5.6	5.6	5.6	☆33.3	11.1	22.2	22.2	5.6	☆33.3	0.0	11.1	0.0	16.7		
出張所中心の地域	☆17.9	7.1	7.1	7.1	3.6	17.9	☆17.9	17.9	☆39.3	☆10.7	☆14.3	0.0	7.1		
新宿区全体	8.2	4.9	1.6	5.7	1.6	30.3	11.5	☆32.8	20.5	☆7.4	☆25.4	5.7	12.3		
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	35.0	0.0	30.0	15.0	5.0	20.0	10.0	30.0		
わからない	4.0	1.7	3.5	2.3	10.4	27.7	12.7	18.5	10.4	3.5	9.2	2.9	37.6		

注： ☆印の付いたものは特に多いもの

# IV. 児 童・青 少 年

- 
1. 国際児童年の周知度
  2. 青少年の環境づくりの責任
  3. 子どもに望むもの
  4. 子どもに対する地域社会の責任
  5. 「子どもの午後」について
  6. 地区青少年対策委員会の周知度
  7. 地区青少年対策委員会活動への参加意思
  8. 区の児童・青少年事業への要望
-

### 【ライフ・ステージ】

---

- \* 婚前期 ..... 結婚前の独身者
  - \* 家族形成期 ..... 子どもがいない若夫婦  
の夫あるいは妻
  - \* 家族成長期(A) ..... 結婚し乳・幼児  
がいる親
  - \* 家族成長期(B) ..... 小・中学生がいる親
  - \* 家族成長期(C) ..... 高校・大学生がいる親
  - \* 家族成熟期 ..... 学校教育を終えた  
独身の子どもがいる親
  - \* 老年期(A) ..... 子どもが結婚して  
一緒に住んでいる親
  - \* 老年期(B) ..... 子どもが独立して  
2人だけになった親
  - \* 老年期(C) ..... 子どもが独立して  
1人だけになった親
-

## Ⅳ. 児童・青少年

### 1. 国際児童年の周知度

**Q 15** 今年は国際児童年ですが、ご存知ですか。(1 A)

N=1,139

1. 知っている	83.9%	2. 知らない	16.1%
----------	-------	---------	-------

### 2. 青少年の環境づくりの責任

**Q 16** では、青少年がすこやかに育ち、それをとりまく環境をよくするには、どこが最も力を入れてやらなければならないと思いますか。(1 A)

N=1,139

1. 個々の家庭	53.3%	4. 学校	11.7%
2. 地域社会	19.4%	5. その他	1.7%
3. 区役所などの行政機関	7.8%	6. わからない	6.1%

### 3. 子どもに望むもの

**Q 17** あなたは子どもにどんなことを身につけてほしいと思いますか。次の中から主なことを2つ以内で選んでください。[回答票6提示](2 A)

N=1,139

1. 自主性	23.5%	8. 責任感	29.9%
2. 忍耐力	20.7%	9. 豊かな情操	8.7%
3. 自立心	17.0%	10. 自己表現力	3.7%
4. 親切心	14.0%	11. 協調性	6.6%
5. 社会道徳	27.4%	12. その他	1.7%
6. 礼儀作法	21.5%	13. 特にない	3.8%
7. 判断力	9.8%		

#### 4. 子どもに対する地域社会の責任

**Q 18** 子どもに対しては、地域の人全体が親のように注意を払うべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

N=1,139

- |                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 1. 当然のことだ                   | 43.1% |
| 2. 個人主義化しているので実際には<br>むずかしい | 38.0% |
| 3. 自分の子どものことで精一杯だ           | 2.4%  |
| 4. 子どもの親に任せておけばよい           | 7.6%  |
| 5. むしろ学校や役所の仕事だ             | 1.3%  |
| 6. その他                      | 1.0%  |
| 7. わからない                    | 6.6%  |

#### 5. 「子どもの午後」について

**Q 19** また、子どもが宿題や塾などあらゆるものから解放され、遊びに専念できる「こどもの午後」を、日を決めて設けるべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

N=1,139

- |                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 1. ぜひ設けるべきだ                   | 21.9% |
| 2. できれば設けるべきだ                 | 27.1% |
| 3. それぞれの考えがあるので、実際<br>にはむずかしい | 25.5% |
| 4. そんなことをすると勉強が遅れる            | 0.8%  |
| 5. 都会は危険が多いので心配だ              | 1.6%  |
| 6. そんな必要はない                   | 8.7%  |
| 7. その他                        | 2.3%  |
| 8. わからない                      | 12.1% |

#### 6. 地区青少年対策委員会の周知度

**Q 20** 新宿区には、区民による地区青少年対策委員会があり、青少年をとりまく環境をよくする活動などを行っています。あなたは知っていますか。(1A)

N=1,139

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. 知っている | 30.8% |
| 2. 知らない  | 69.2% |



7. 地区青少年対策委員会活動への参加意思

**Q 21** では、地区青少年対策委員会の活動に参加したいと思いますか。(1 A)

**N=1,139**

- |                   |        |
|-------------------|--------|
| 1. 委員として積極的に参加したい | 0.7 %  |
| 2. 呼びかけがあれば参加したい  | 23.6 % |
| 3. 参加したくない        | 31.6 % |
| 4. すでに委員として参加している | 1.1 %  |
| 5. わからない          | 42.9 % |

8. 区の児童・青少年事業への要望

**Q 22** 区の児童・青少年のための事業として、とくに力を入れてほしいと思うことは何ですか。(1 A)

**N=1,139**

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1. スポーツをする機会をもっと与える   | 26.2 % |
| 2. 幼稚園・保育園・児童館を充実する   | 7.9 %  |
| 3. 健康診断・栄養指導を強化する     | 6.0 %  |
| 4. 公園・児童遊園などの遊び場を充実する | 13.0 % |
| 5. 学校教育の充実            | 10.4 % |
| 6. 非行化・自殺の防止          | 13.4 % |
| 7. 仲間づくりの促進           | 9.0 %  |
| 8. その他                | 1.1 %  |
| 9. 特にない               | 13.1 % |

最近、自殺や非行の低年齢化など、深刻な問題がクローズ・アップされている。また、昭和54年は国際児童年にあたり、次の世代を担う児童・青少年の育成のあり方が見直されている。

そこでこの章では、児童育成に対する責任について、特に地域社会の果たす役割を中心に聞いた。

まず、国際児童年の周知度を調べると、8割を超えており、男50代、女20～30代、

学生などに特に高い。しかし、国際児童年の周知は、マスコミ等によるPRの影響も大きく、周知度がそのまま児童育成に対する関心の高さと結びつくとは必ずしもいえない。

環境づくりの責任は個々の家庭にあると考える人が過半数を占める。家庭の責任を重視する意見は中・高年女性、地域社会の責任は男女若年層、学校の責任は男性50代に多い。一方、子どもに対する地域社会の責任を聞くと、「当然のことだ」という意見が4割強あり、これは男性中年層に特に多い。この結果は、育成の責任は第一に家庭にあると考える人が過半数であるが、地域社会の果たす役割は潜在的に当然と認めている傾向があると受けとれよう。

ところで、「東京都児童・青少年施策懇談会」からゆとりある教育を目指した、いわゆる「こどもの午後」——特定曜日に学校を半日にし、子どもたちが宿題や塾などあらゆることから解放される午後に設けるもの——が提示されたが、この「こどもの午後」に対しては、「ぜひ設けるべきだ」が2割、「できれば設けるべきだ」が3割で、支持派は約半数である。

なお、「実際にはむずかしい」と考える人が地域社会の責任については4割、こどもの午後については3割弱である。こうした意見は現実には子供を抱えている中年女性に多い傾向があることは注目されよう。

子どもに望むものとしては、「責任感」が3割で最も多く、以下、「社会道徳」、「自主性」、「礼儀作法」、「忍耐力」の順である。「豊かな情操」や「自己表現力」、「親切心」など情緒的、心情的項目はむしろ下位になり、最近の子ども達に精神的な強靱さを求める傾向が強いといえよう。

ところで、区では青少年対策の一環として、地域住民の自主的な団体である「地区青少年対策委員会」（区内11か所）の活動を援助している。この委員会に対する周知度は3割であるが、参加意思をもつ人は4人に1人とあまり高い数字とはいえない。また、積極的な参加意思を示す人は極めて少ない。参加意思は、男性は40～60代、女性は30～40代に比較的強くあり、これらの層に重点的に働きかけて、さらにキャンペーン、PR等新しい企画を工夫することが必要であろう。

最後に区の施策に対する要望を聞いた。「スポーツをする機会をもっと与える」という意見が最も多く、4人に1人である。以下、「非行化・自殺の防止」、「公園・児童遊園などの遊び場を充実する」、「学校教育の充実」の順であった。

青少年・児童問題は日常、様々に論じられ関心も高いが、現実には健全育成を考え、積極的に環境づくりを進めていく気運は、まだあまり盛り上がっているとは言い難いのが現状である。

IV-1 国際児童年の周知度

周知度は、図4-1のとおり、8割を超えており(83.9%)、かなりよく知られている。

周知度の高い属性は次のとおりである。

性年代別にみると、図4-2のとおり、男性は50代(94.1%)に多く、女性は20~30代(各93.7%、96.3%)に多い。

職業別にみると、学生(95.1%)に特に周知度が高く、事務職・技術職(90.1%)が続いている(図4-3)。

さらにライフステージ別にみると、図4-4にみられるとおり、実際に児童がいると考えられる家族成長期(A)、(B)よりもむしろ、婚前期(90.5%)と家族成長期(C)(93.8%)に周知度が高い。これは、国際児童年に対する周知度がそのまま各家庭の児童教育へ

図4-1 国際児童年の周知度  
N=1,139

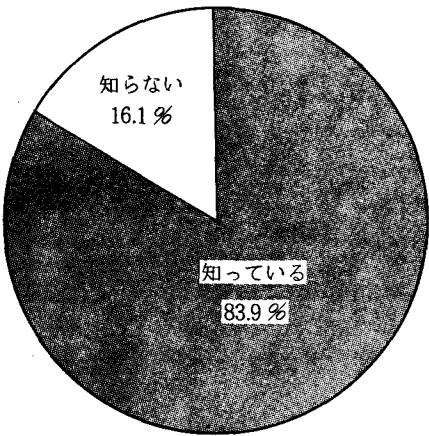


図4-2 性別の国際児童年の周知度  
N=1,139

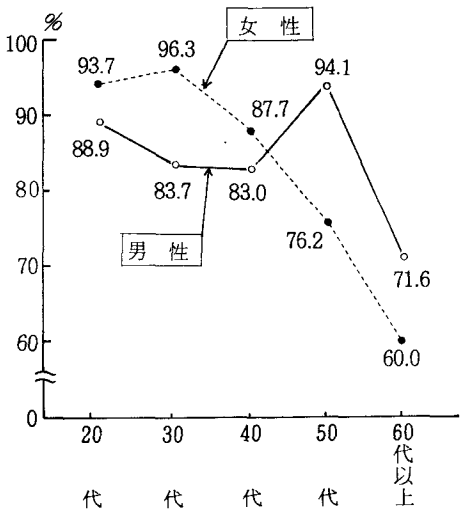
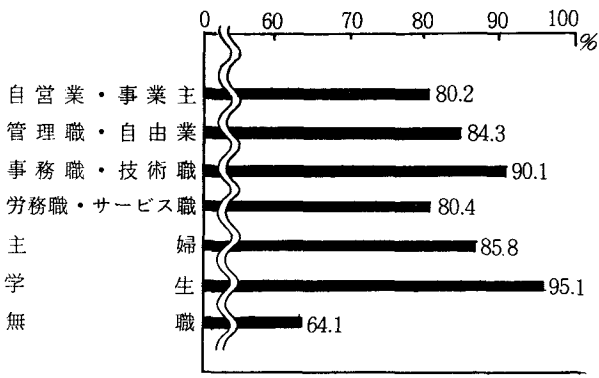


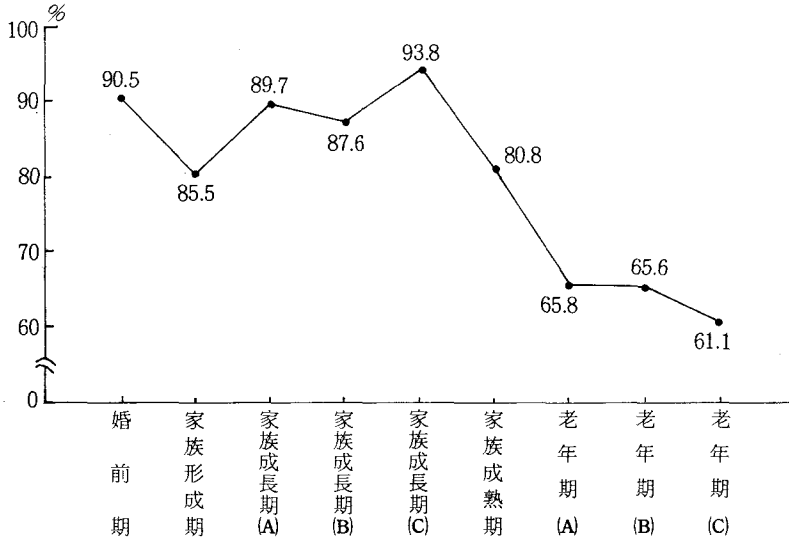
図4-3 職業別の国際児童年の周知度  
N=1,139



注：その他を除く

図 4 - 4 ライフステージ別の国際児童年の周知度

N = 1,139



注：その他、NAを除く

の熱心さと結びつくとはいえないことを示していよう。

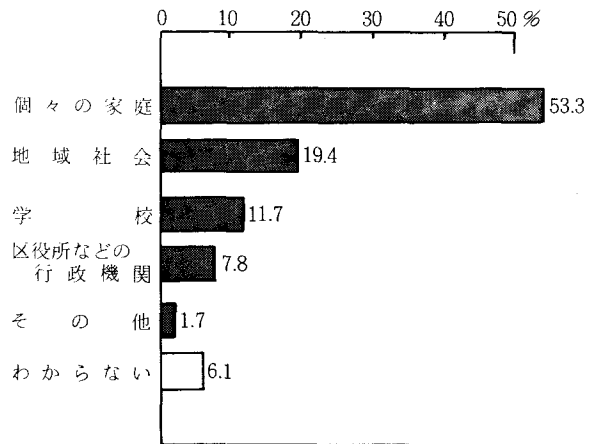
図 4 - 5 青少年のための環境づくりの責任

N = 1,139

#### IV-2 青少年の環境づくりの責任

「個々の家庭」が 53.3% と過半数を占める。次いで「地域社会」の 19.4% であり、「学校」は 11.7% とそれ程高い比率を示してはいない（図 4 - 5）。近年、地域社会の青少年の健全育成に対する責任が見直されているが、まだ個人の意識では家庭の役割に比重がかかっているとうけとれよう。

項目ごとに属性別の特徴をみると次のとおりである（図 4 - 6, 4 - 7, 関連表参照）。



◎個々の家庭（区全体 53.3%）

ほぼ全ての層で過半数を占めており、一般的な意見であるといえる。特に中・高年の

図 4 - 6 性年代別，職業別の【個々の家庭】に責任

N = 1,139

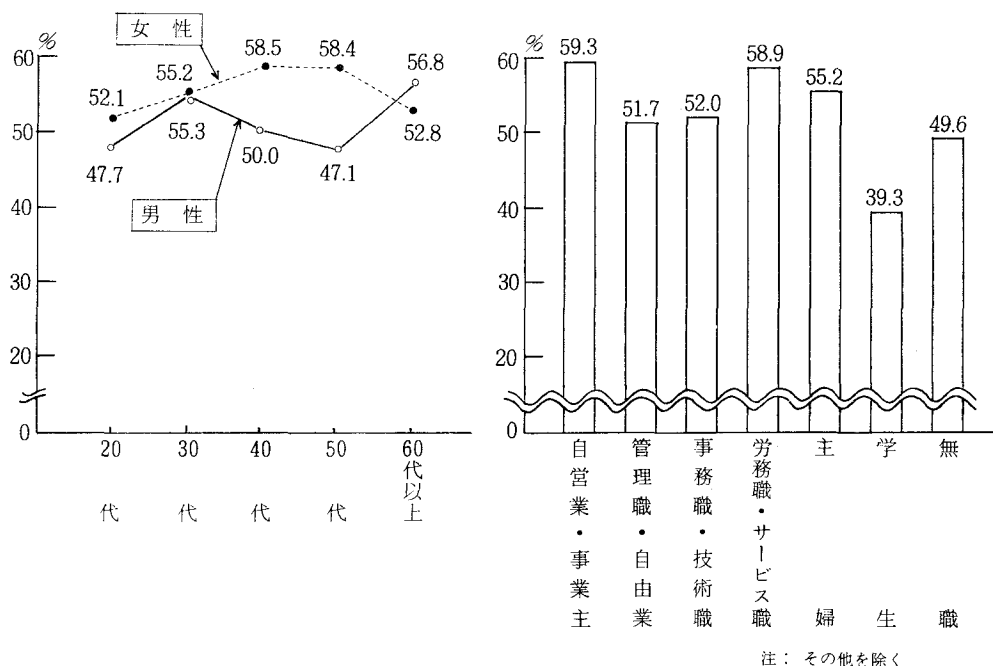


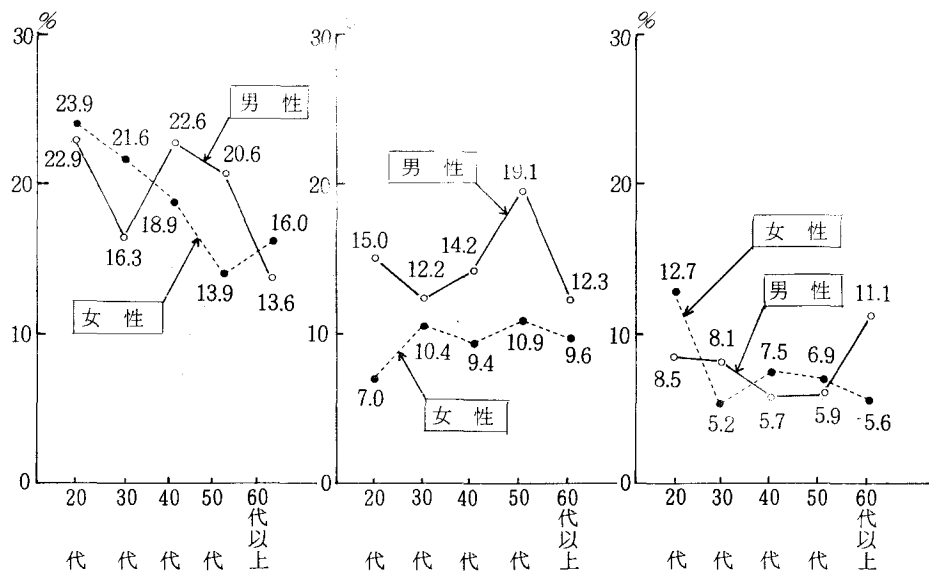
図 4 - 7 性年代別の青少年のための環境づくりの責任

N = 1,139

【地域社会】

【学 校】

【区役所などの行政機関】



女性に多い意見である。

◎地域社会 （区全体 19.4%）

男女とも若い世代の考え方であると同時に、実際に青少年の教育に当たっていると思われる中年層の男性に多い意見である。

◎学 校 （区全体 11.7%）

学生に多いことは、自分自身の問題として考えているためと思われる。戦時中に学校教育を受けた男性50代に多いことは、注目されよう。

◎区役所などの行政機関 （区全体 7.8%）

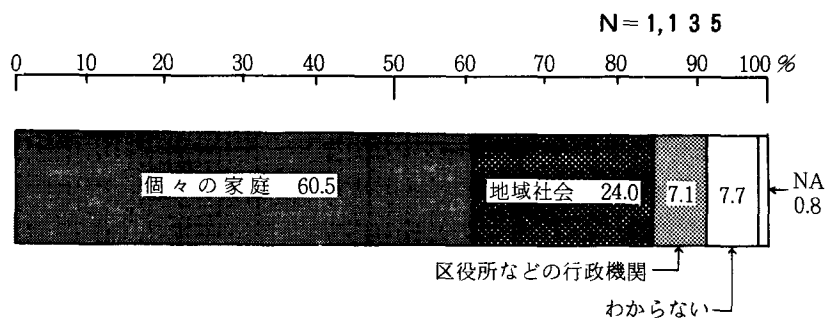
若い女性に多い。

ここで52年2月調査の結果をみたのが図4-8である。回答項目に「学校」がないために、各項目の比率を単純に比較することはできないが、「個々の家庭」に6割、「地域社会」に2割強となっており、ほぼ今回調査の傾向と一致している。

### IV-3 子どもに望むもの

「責任感」が29.9%と最も多い。以下、上位5項目としては、「社会道徳」(27.4%)、「自主性」(23.5%)、「礼儀作法」(21.5%)、「忍耐力」(20.7%)があがっている(図4-9)。「責任感」や「自主性」が強く求められている反面、「豊かな情操」(8.7%)や「自己表現力」(3.7%)といった情緒面の項目は下位にある。最近の青少年に対して、情操面よりもむしろ、生活態度に一本筋の通った生き方を望む傾向が強いといえよう。また「社会道徳」と「礼儀作法」がそれぞれ上位を占していることも、それら

図4-8 52年2月調査の  
青少年のための環境づくりの責任



が最近の子どもに欠けていると考えられることを示していよう。

項目ごとに属性別の特徴をみると次のとおりである（表 4-1，4-2，関連表参照）。

◎責任感（区全体 29.9% 第1位）

男女とも中年層に多く，労務職・サービス職にも多い。

◎社会道德（区全体 27.4% 第2位）

ほぼ男性高年層の意見といえよう。なお，若い男性にも比較的多いことは，自分自身が社会道德の必要性を感じる機会が多いためであろうか。

◎自主性（区全体 23.5% 第3位）

男女とも若年層中心の意見であり，学生に多くなっている。

◎礼儀作法（区全体 21.5% 第4位）

男女とも高年層中心の意見である。

◎忍耐力（区全体 20.7% 第5位）

女性中年層中心の意見である。

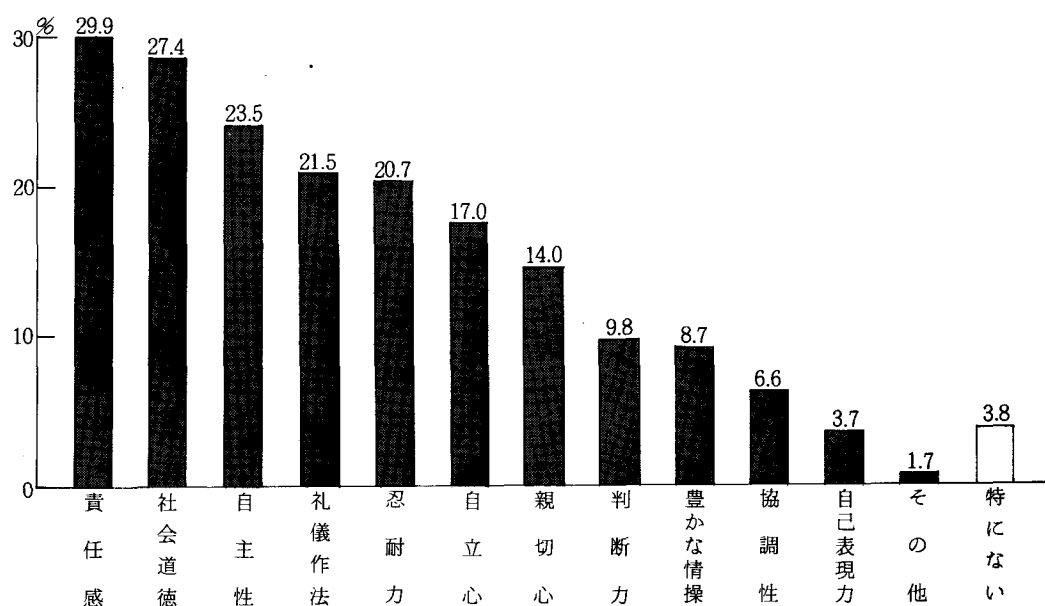
家庭にいる主婦が忍耐力を最も重視する傾向があるのは注目に値しよう。

◎自立心（区全体 17.0% 第6位）

男女とも40代がピークとなっていることが特徴である。

図 4-9 子どもに望むもの

N=1,139



◎親切心 （区全体 14.0％ 第7位）

男女とも高年層中心の意見であるが、「社会道德」や「礼儀作法」に比べて、働いている老人に多い傾向がみられる。

◎判断力 （区全体 9.8％ 第8位）

20代男性と30代女性に多い。

◎豊かな情操 （区全体 8.7％ 第9位）

女性若年層中心の意見であるといえよう。

◎協調性 （区全体 6.6％ 第10位）

ほぼ男女中年層に多い意見であるといえよう。

表4-1 子どもに望むものの特徴——上位5項目

N=1,139

	責 任 感	社会道德	自 主 性	礼儀作法	忍 耐 力
区全体	29.9％	27.4％	23.5％	21.5％	20.7％
性年代別	男30代 (35.0％)	男20代 (32.7％)	男20代 (30.7％)	男60代以上 (37.0％)	女30代 (28.4％)
	男40代 (34.9％)	男60代以上 (42.0％)	女20代 (35.2％)	女60代以上 (32.8％)	女40代 (26.4％)
	女40代 (35.8％)				
職 業 別	労務職・サービス職 (35.5％)	無 職 (31.6％)	事務職・技術職 (27.2％) 学 生 (37.7％)	無 職 (35.9％)	主 婦 (25.0％)
ライフ・ステージ別	家族形成期 (34.8％)	家族成熟期 (35.8％)	婚前期 (28.5％)	老年期(B) (36.1％)	家族成長期(B) (25.9％)
	家族成長期(B) (38.8％)	老年期(C) (41.7％)	家族形成期 (29.0％)	老年期(C) (47.2％)	
特 徴	男女中年層	男性高年層	男女若年層	男女高年層	女性中年層



表 4 - 2 子どもに望むものの特徴 — 6 位 ~ 11 位

N = 1,139

	自 立 心	親 切 心	判 断 力	豊かな情操	協 調 性	自己表現力
区全体	17.0%	14.0%	9.8%	8.7%	6.6%	3.7%
性年代別	男40代 (23.6%) 女40代 (21.7%)	男60代以上 (19.8%) 女60代以上 (18.4%)	男20代 (13.7%) 女30代 (14.9%)	女20代 (16.2%)	男40代 (4.4%)	女20代 (7.0%)
職 業 別	管理職・自由業 (23.6%)	管理職・自由業 (21.3%) 無 職 (20.5%)	—	—	自営業・事業主 (11.4%)	学 生 (11.5%)
ライフ・ステージ別	家族成長期 (C) (28.3%)	老年期(B) (18.0%)	家族成長期 (B) (17.1%)	家族成長期 (A) (14.0%)	家族成長期 (A) (14.0%)	—
特 徴	男女中年層	男女高年層	女性中年層	女性若年層	男女中年層	女性若年層

表 4 - 3 子どもに望むものの年代別の傾向

若 年 層	中 年 層	高 年 層
◎自主性 ◎豊かな情操 ◎自己表現力 (◎判断力)	◎責任感 ◎忍耐力 ◎自立心 ◎協調性 ◎判断力	◎社会道德 ◎礼儀作法 ◎親切心

◎自己表現力（区全体 3.7% 第11位）

女性若年層と学生に多い意見である。

これらの傾向を年齢のみに焦点をあててまとめたのが表4-3である。若年層はむしろ自分自身にとって必要と思われるものを挙げていると思われ、多分に個人、自己を大切に  
する傾向がみられる。一方、高年層は、自分達が受けてきた教育と異なる部分に不満・不安を感じていると思われ、道徳・作法にウェイトをおく傾向がみられる。

#### IV-4 子どもに対する地域社会の責任

青少年育成は地域全体の責任でもあるとい 図4-10 子どもに対する地域社会の責任  
う考え方に「当然のことだ」という人が43.1  
%、「個人主義化しているので実際にはむずかしい」が38.0%であり、この2つの意見  
で8割強を占めている（図4-10）。どちら  
も地域社会の責任を認めてはいるが、後者は  
実行の困難を強調しており消極的な姿勢とい  
えよう。

上位2項目についてその多い属性をみると  
次のとおりである（図4-11，4-12，相  
関表参照）。

【当然のことだ】（区全体 43.1%）

性年代別では男40代（53.8%）と男50  
代（48.5%）に多く、男性中年層中心の意  
見であるといえよう。職業別では自営業・事  
業主（48.5%），ライフ・ステージ別では家族成熟期（53.3%）と老年期（C）（69.4  
%）に多い。定住意思別では永住するつもり（48.3%）に多く、住みよさ別では住みよ  
いと感じている人ほど（40.0%→49.1%）多い。住んでいる土地に親密感を持ち、緊  
密に結びついていて人ほど、地域社会の責任を重視し、またその責任を負っていく姿勢が  
あると考えられよう。

【個人主義化しているので実際にはむずかしい】（区全体 38.0%）

性年代別では女20代（45.8%）と女40代（47.2%），職業別では主婦（42.2%）  
に多く、定住意思別ではできたら転出したい（42.3%），住みよさ別では住みにくいと感  
じている人ほど（36.9%→43.3%）多い。現実問題として日常的に近所の子どもと関わり  
のある女性主婦層に、「実際にはむずかしい」という意見が多いのは注目すべきであろう。

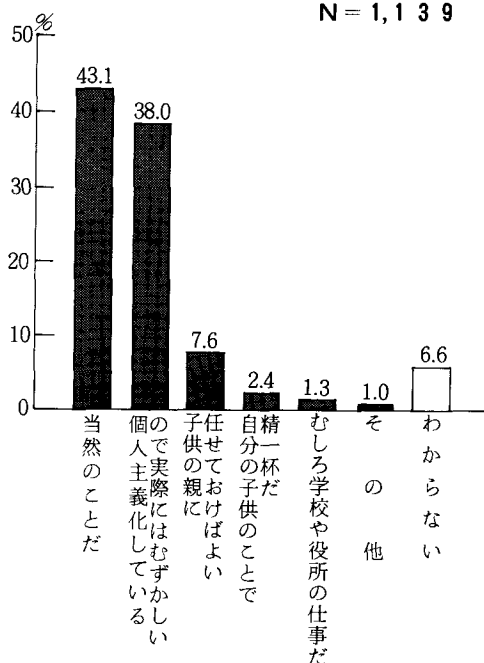


図 4 - 11 年代別の子どもに対する地域社会の責任 — 上位 2 項目

N = 1,139

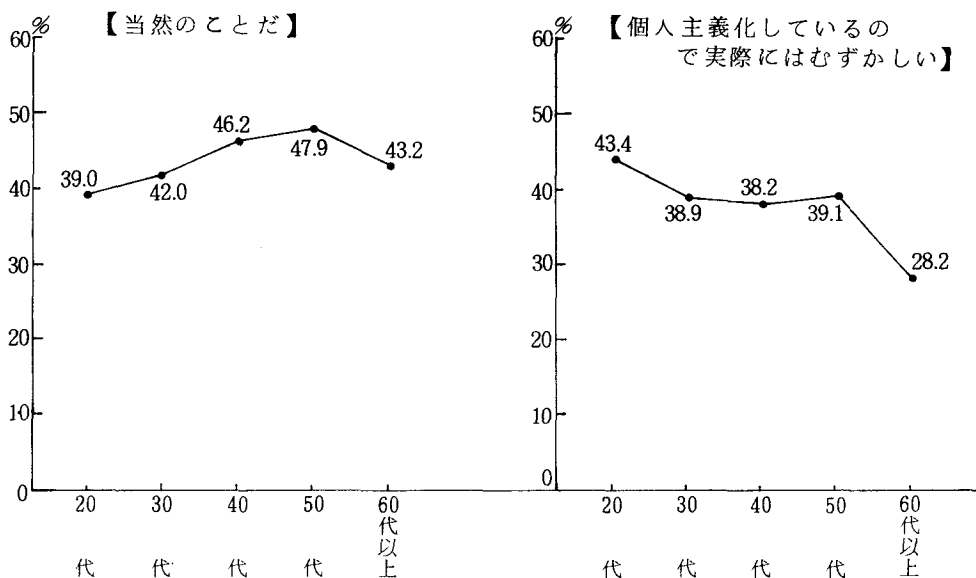
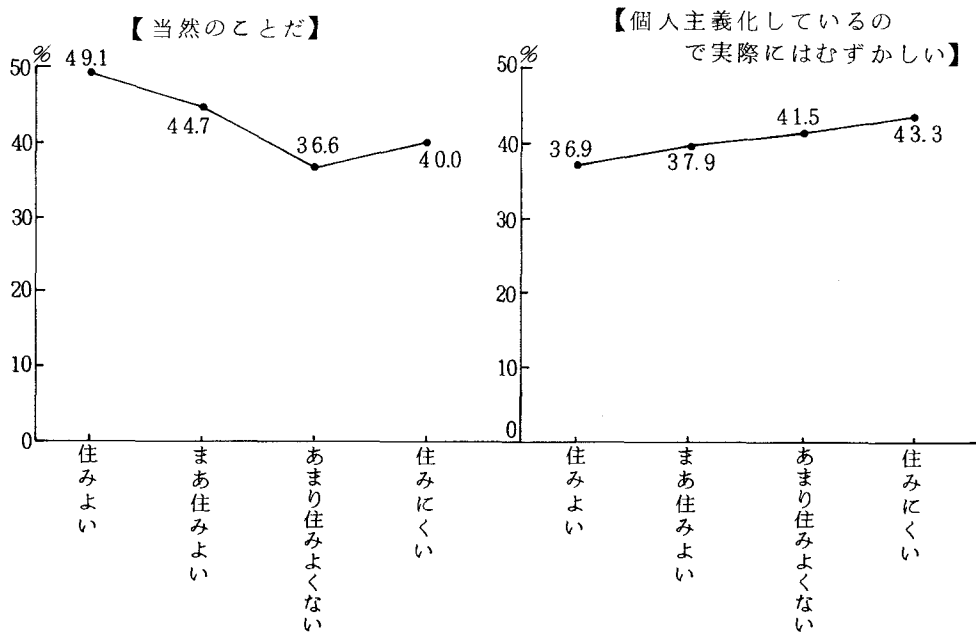


図 4 - 12 住みよさ別の子どもに対する地域社会の責任 — 上位 2 項目

N = 1,139



注： わからないを除く

なお、〔子供の親に任せておけばよい〕が性年代別の男60代以上（24.7％）に特に多いことは、老人男性の多くが、子どもの教育は親の責任という考え方を抱いていることを示していよう。

#### IV-5 「こどもの午後」について

「ぜひ設けるべきだ」が21.9％、「できれば設けるべきだ」が27.1％で、両者を合わせて49.0％が《設けるべきだ》と答えている。一方、「それぞれの考えがあるので、実際にはむずかしい」という懐疑的な意見が25.5％と4人に1人ある（図4-13）。

《設けるべきだ》と答えた人の属性別の特徴をみてみよう。

年代別にみると、図4-14のとおり、ほぼ年代が若いほど（44.7％→52.9％）多い。新しい企画に対して、若い世代の方が素早い反応を示すためとも考えられよう。

さらにライフ・ステージ別にみると、図4-15にみられるとおり、家族形成期（57.9％）と家族成長期（A）（55.1％）および老年期（C）に多い。現在、小・中学生を抱えている親よりもむしろ、これから子どもを育てていこうという親たちに、支持意見が強いといえよう。

なお、「ぜひ設けるべきだ」は男性（24.9％）、「できれば設けるべきだ」は女性（29.3％）に多くなっている（相関表参照）。

ここで「それぞれの考えがあるので、実際にはむずかしい」という意見の多い属性を挙げておこう。性年代別では女40代（36.8％）、職業別では学生（32.8％）、ライフ・

図4-13 「こどもの午後」について  
N=1,139

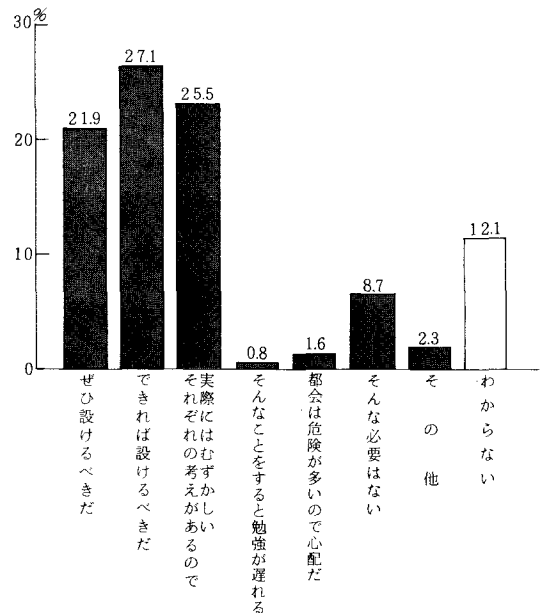


図4-14 年代別の「こどもの午後」を《設けるべきだ》

N=1,139

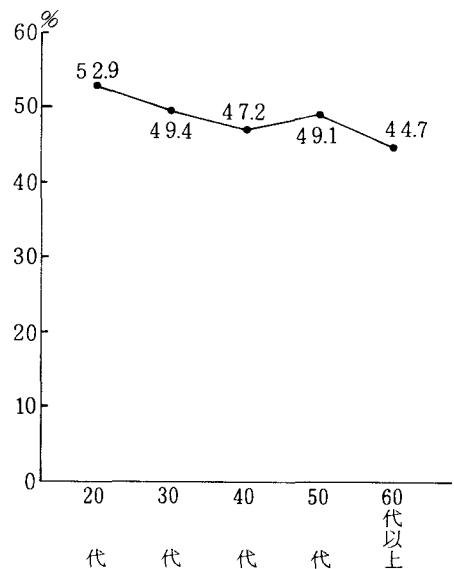
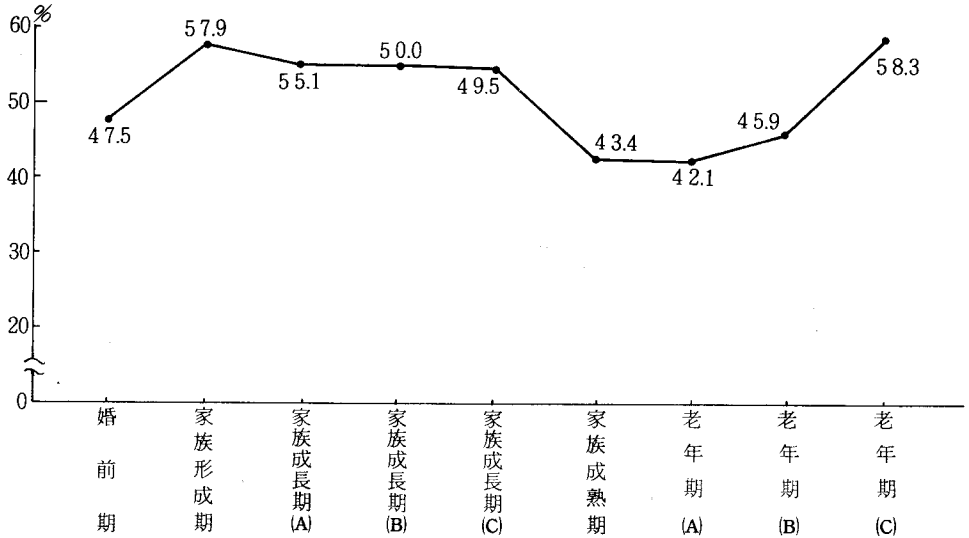


図 4 - 15 ライフ・ステージ別の「こどもの午後」を  
《設けるべきだ》 N=1,139



ステージ別では、家族成長期(B) (30.0%)と家族成長期(C) (31.0%)に多い。現実  
に「こどもの午後」の対象となり得る年代の  
児童を抱えている親にむしろ懐疑感や躊躇が  
みられる。

#### IV-6 地区青少年対策委員会の周知度

周知度はほぼ3割 (30.8%)であり、決  
して高い比率とはいえない (図 4 - 16)。P  
Rおよびキャンペーン不足が考えられると同  
時に、委員会活動の内容もまた工夫が必要なの  
ではないだろうか。

周知度の高い属性は次のとおりである。

地域別にみると、図 4 - 17 のとおり、四  
谷地域 (37.9%)、若松町地域 (34.5%)  
など区の南東部には周知度が高い傾向が見ら  
れる。また、落合第二地域 (45.6%)では、

図 4 - 16 地区青少年対策委員会の  
周知度 N=1,139

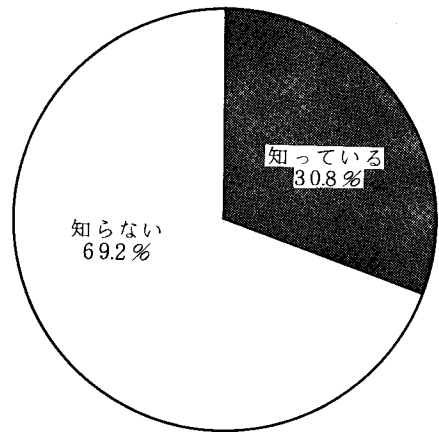


図 4 - 17 地域別の地区青少年対策委員会の周知度

N = 1,139

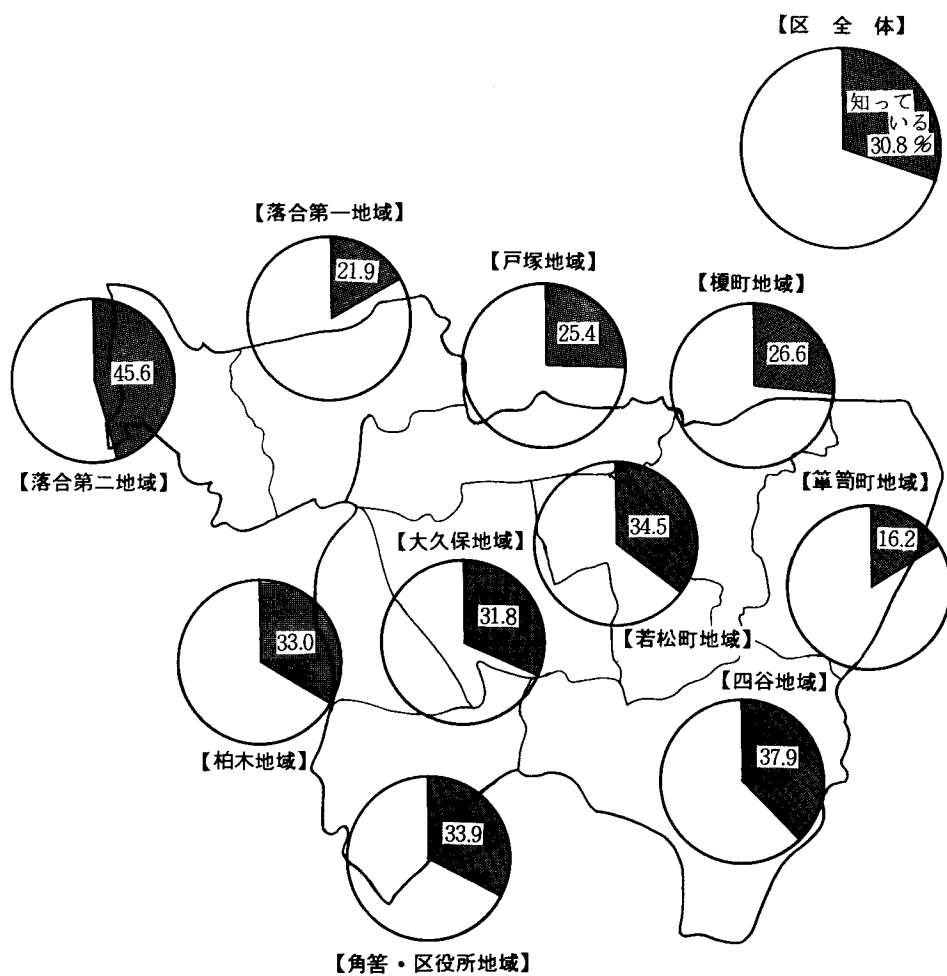


図 4 - 18 性年代別の地区青少年  
対策委員会の周知度  
N = 1,139

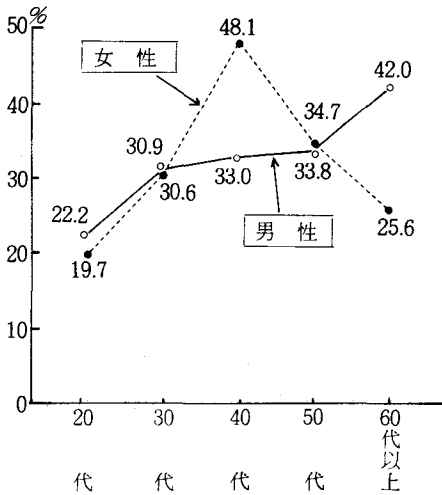
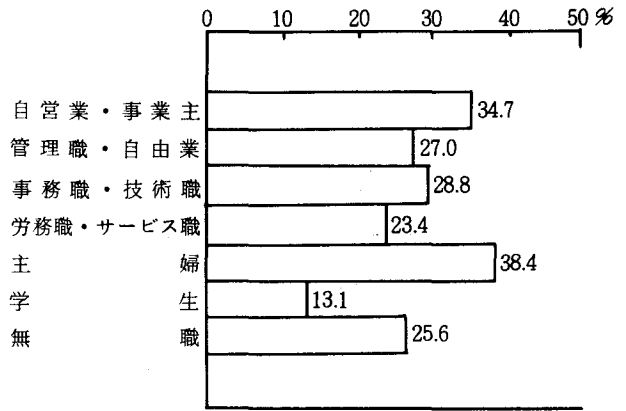
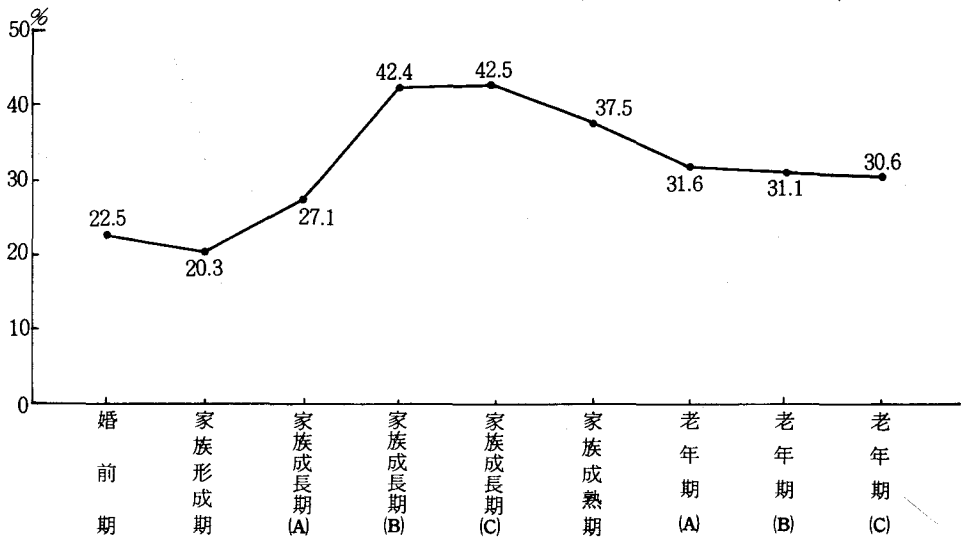


図 4 - 19 職業別の地区青少年対  
策委員会の周知度 N = 1,139



注：その他を除く

図 4 - 20 ライフ・ステージ別の地区青少年対策委員会の  
周知度  
N = 1,139



注：その他，NAを除く

ほぼ半数近い人が対策委員会を知っている。

性年代別にみると、男性は年代が高くなるほど（22.2%→42.0%）周知度が高くなるのに対して、女性は40代（48.1%）をピークとしている（図4-18）。職業別では自営業・事業主（34.7%）と主婦（38.4%）に多い（図4-19）。ライフ・ステージ別では、家族成長期(B)（42.4%）、家族成長期(C)（42.5%）、家族成熟期（37.5%）に比率が高くなっているが、これは委員会活動の対象となる児童・青少年の親として当然ともいえよう（図4-20）。また、住居形態別の持家（36.8%）にも多い。

#### IV-7 地区青少年対策委員会活動 への参加意思

「委員として積極的に参加したい」は0.7%であり、これは新宿区の成人人口を25万7千人（54年1月1日現在、257,397人）の中で1,800人が委員になる意思をもってのことである。そして、「すでに委員として参加している」の1.1%をみると、現在参加している人に近い数の人が、委員として参加する意思をもっているともいえよう。

「呼びかけがあれば参加したい」は23.6%であり、「委員として積極的に参加したい」と合わせて24.3%と4人に1人が《参加したい》と答えている。なお、「わからない」が42.9%と半数弱にまで達しているのは、委員会の周知度が3割であったことからみて当然というべきであろう（図4-21）。

《参加したい》を中心に属性別の特徴をみてみよう（図4-22、4-23、4-24、4-25）。

地域別にみると、四谷地域（29.5%）と大久保地域（36.5%）に多く、区の西部には比較的少ない傾向がみられる。

性年代別では男40代（29.3%）、男60代以上（29.6%）、女30代（31.3%）、女40代（34.9%）に多い。女性は30～40代の中年層、男性は40～60代以上の中高年層に参加意思のある人が多い。

職業別では主婦（29.1%）、ライフ・ステージ別では家族成長期(A)（28.9%）、家族成長期(B)（31.2%）、老年期(C)（33.4%）に多い。老年期(C)において3人に1人

図4-21 地区青少年対策委員会活動  
への参加意思 N=1,139

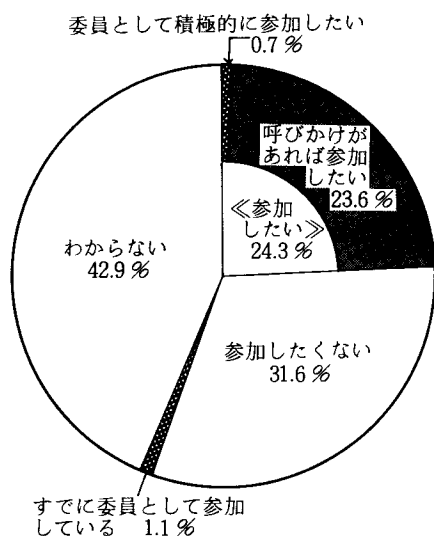




図 4 - 22 地域別の地区青少年対策委員会活動に  
《参加したい》

N = 1,139

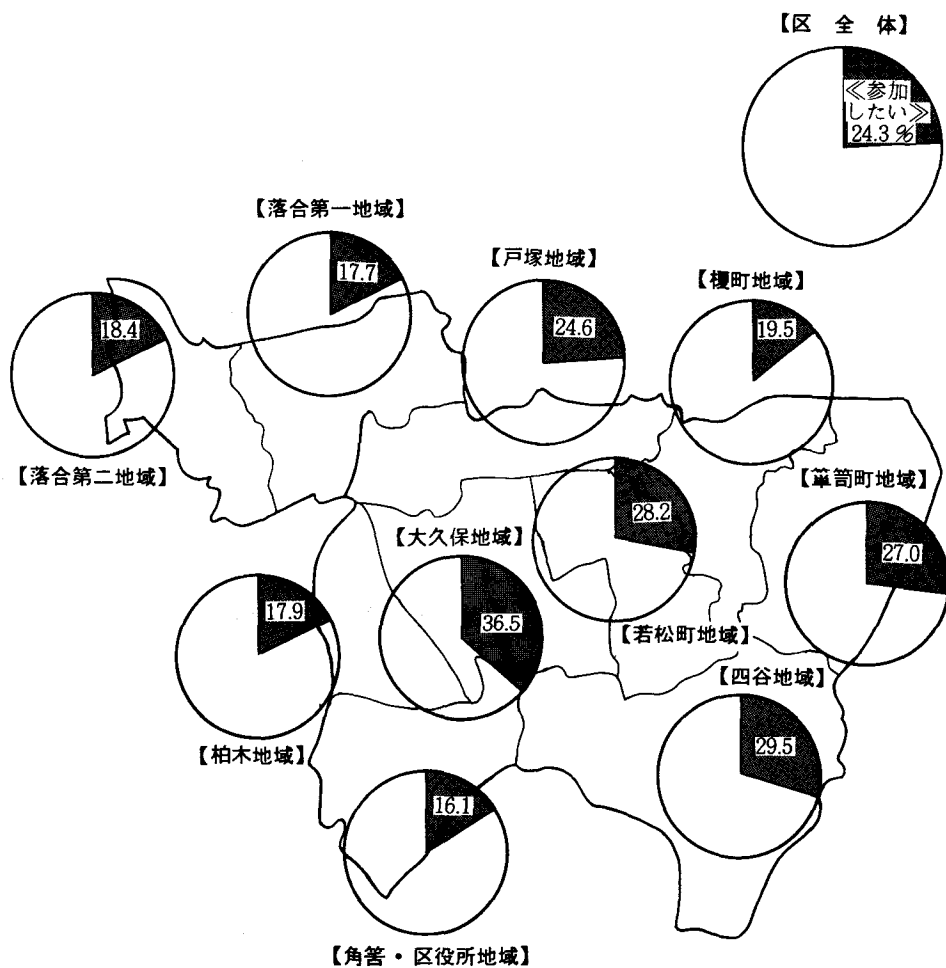


図 4 - 23 性年代別の地区青少年対策

委員会に 《参加したい》

N = 1,139

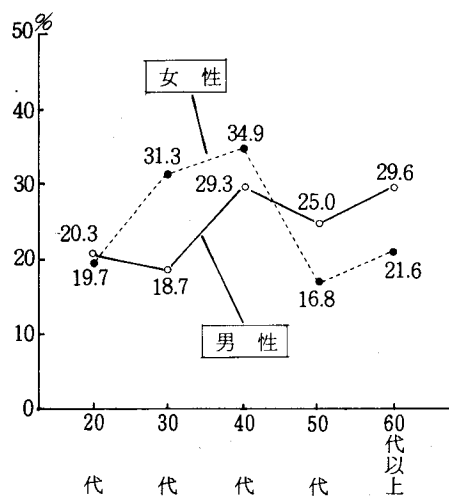
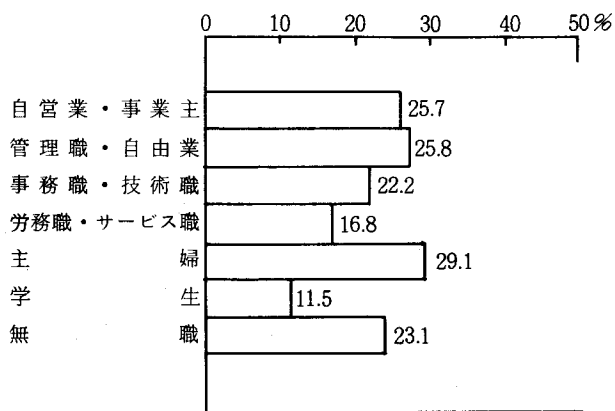


図 4 - 24 職業別の地区青少年対策委員会活動に

《参加したい》

N = 1,139

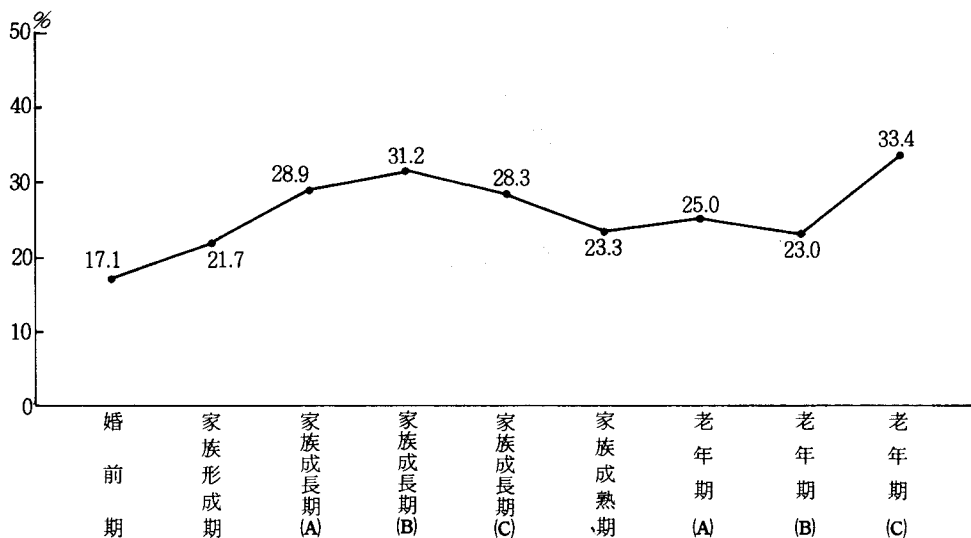


注：その他を除く

図 4 - 25 ライフ・ステージ別の地区青少年対策委員会活動に

《参加したい》

N = 1,139



注：その他、NAを除く

図 4 - 26 地区青少年対策委員会の周知度

— 52 年 2 月調査との比較  
(単位%)

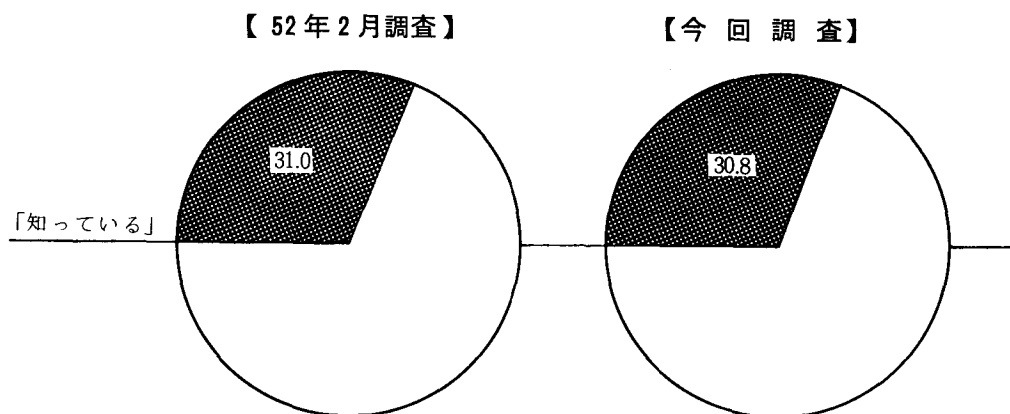


図 4 - 27 52 年 2 月調査の地区青少年  
対策委員会活動への参加意思  
N = 1,139

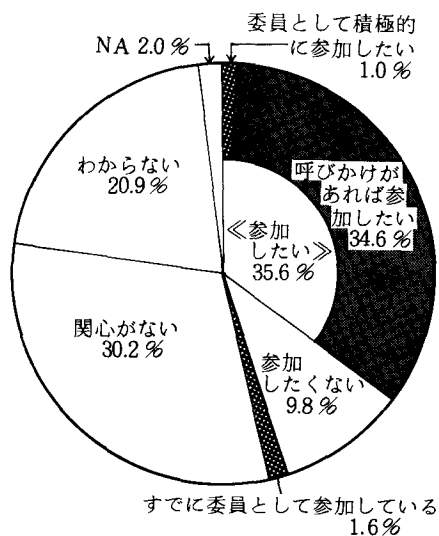


表 4 - 4 地域別の地区青少年対策委員会  
活動への参加意思の経年偏差値

(単位%)

地 域	52年調査 ×偏差値	今回調査	差
四 谷	28.4 ↑	30.8	+2.4
箆 筒 町	14.5 ↑	27.0	+9.5
榎 町	28.2 ↓	20.3	-7.9
若 松 町	23.3 ↑	30.9	+7.6
大 久 保	27.2 ↑	36.5	+9.3
戸 塚	34.4 ↓	24.6	-9.8
落 合 第 一	15.3 ↑	18.7	+3.4
落 合 第 二	27.0 ↓	16.7	-10.3
柏 木	26.0 ↓	17.9	-8.1
角筈・区役所	24.6 ↓	17.9	-6.7

は《参加したい》と答えていることは、1人暮らしの老人の生きがいづくりや、老人と若い世代との精神的なつながりを考える上でも注目すべきであろう。

これら属性別の特徴と、前問の周知度の特徴を比較してみよう。

性年代別にみると、女性は周知度は顕著ではないが、ほぼ40代をピークとして参加意思をもっており、子どもを育てる当事者としての関心の強さがうかがえよう。一方、男性は30代において参加意思がダウンしており、働き盛りの男性の地区活動への参加の難しさを感じさせる（図4-17、4-22参照）。これは職業別にも表われており、自営業・事業主の人たちは周知度が高く関心もあると思われるのに、参加意思が低い（図4-18、4-23参照）。

ここで、52年2月調査の結果と比較してみよう（図4-26、4-27）。周知度は52年2月31.0%→今回30.8%とほぼ同じ結果を示している。参加意思については、回答項目に「わからない」があるため、単純に比較することができないが、「呼びかけがあれば参加したい」の比率が52年2月34.6%→今回23.6%と大きく後退している。この差異はどこからくるのであろうか。23.6%：34.6%を偏差比として、地域別の偏差値を算出したのが表4-4である。（なお、52年調査では「委員として参加している」も《参加したい》に含めているため、ここでは今回調査の結果もそれに従った）全体の比率の減少と比べて、特に減少が激しい地域は、落合第二地域、戸塚地域の順であることがわかる。しかし、男性は中高年層、女性は中年層に参加意思が強いという傾向は一致している。

#### IV-8 区の児童・青少年事業への要望

「スポーツをする機会をもっと与える」という意見が4人に1人（26.2%）であり、最も多い。これは学力偏重の受験体制に対する一つの批判ともうけとれよう。次いで「非行化・自殺の防止」（13.4%）、「公園・児童遊園などの遊び場を充実する」の順である（図4-28）。

上位4項目について属性別の特徴をみると、次のとおりである（図4-29、4-30、4-31、相関表参照）。

◎スポーツをする機会をもっと与える（区全体 26.2% 第1位）

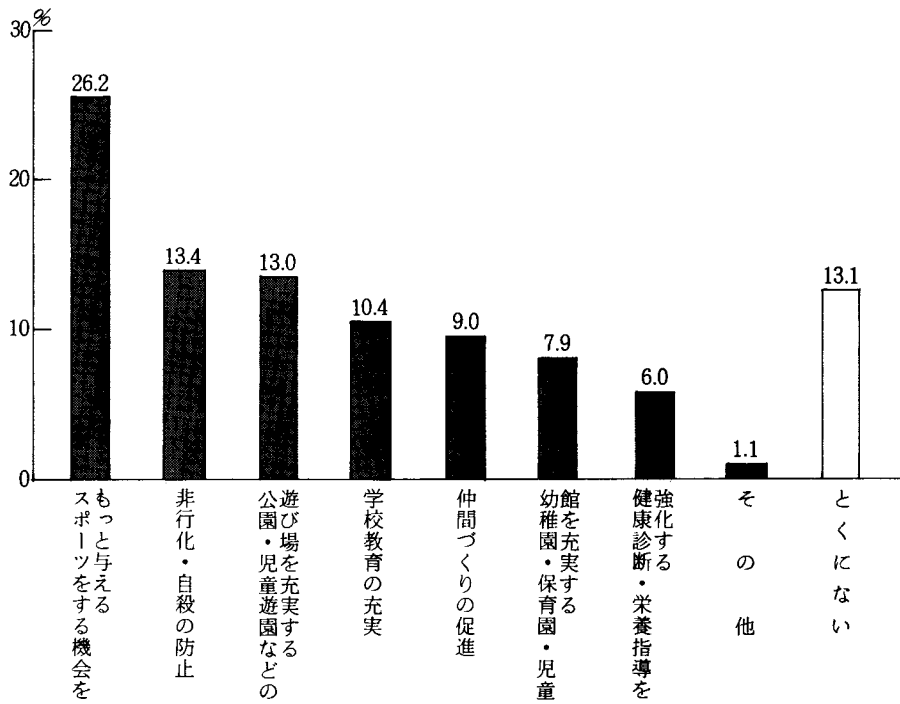
年代の若い人は多く、職業別では労務職・サービス職（31.8%）と学生（32.8%）に多い。若い年代、特に学生などに多いのは、自分自身に最も関心のあることでもあり、また、自分に不足していた事を顧みての回答であろう。

◎非行化・自殺の防止（区全体 13.4% 第2位）

40代に多い。

図 4 - 28 区の児童・青少年事業への要望

N = 1,139



◎公園・児童遊園などの遊び場を充実する

(区全体 13.0% 第3位)

地域別にみると戸塚地域(18.5%)に多い。また、乳・幼児のいる家庭に多くなっている。

◎学校教育の充実(区全体 10.4% 第4位)

50代に多く、環境づくりの責任を「学校」と答えた層と同傾向を示している。

なお、「幼稚園・保育園・児童館を充実する」は、四谷地域(15.0%)と大久保地域(16.3%)に多い要望である。

若年層はスポーツを第一とし、乳・幼児をもつ家庭では公園・児童遊園、高年層では学校教育への施策を求めている。

図 4 - 29 性年代別の区の児童・青少年事業への要望 — 上位3項目

N = 1,139

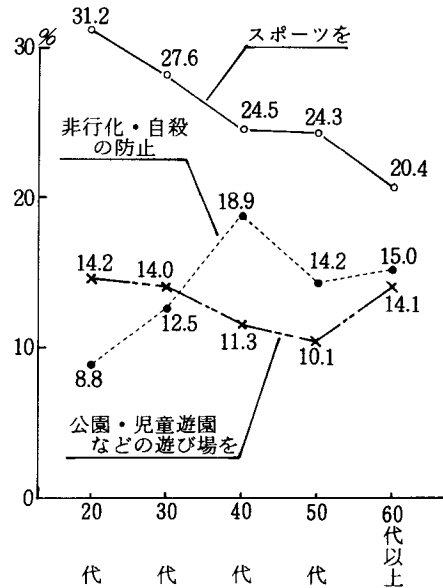


図 4 - 30 地域別の区の児童・青少年事業への要望

—— 第 3 位, 第 6 位の 2 項目

N = 1,139

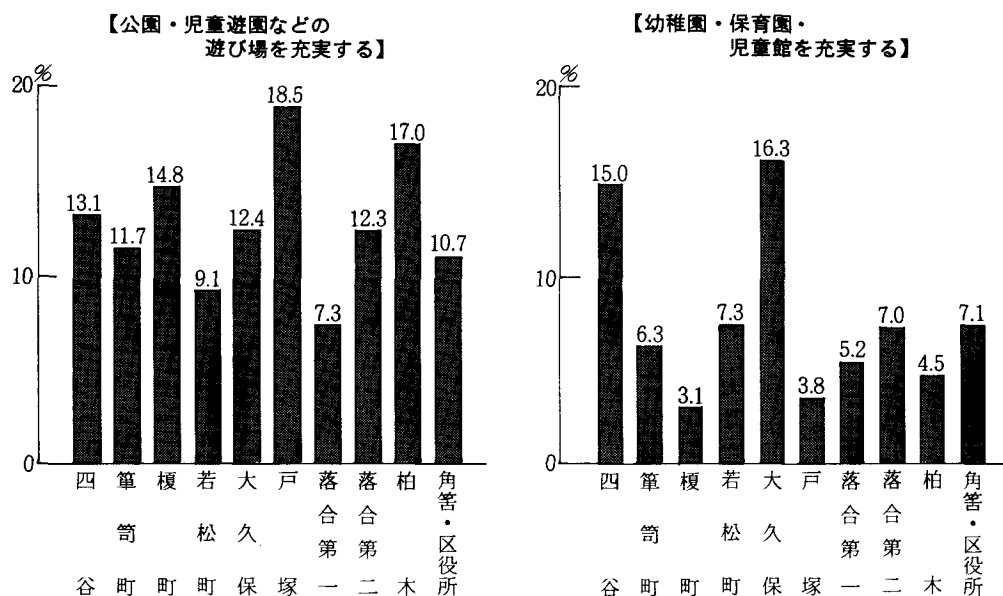
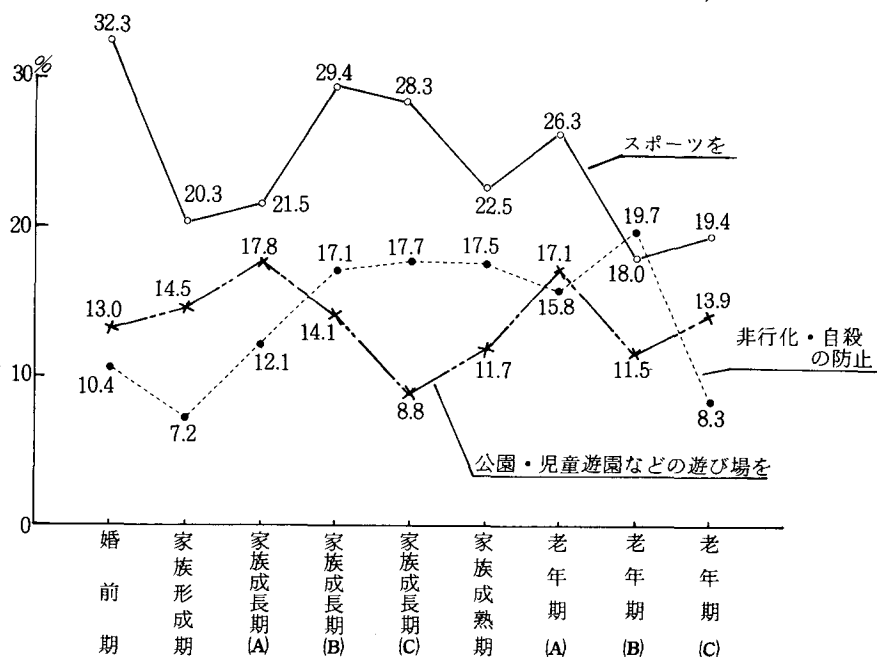


図 4 - 31 ライフ・ステージ別の区の児童・青少年事業への要望

—— 上位 3 項目

N = 1,139



# V. 婦

# 人

- 
1. 女性の職業について
  2. 女性が職業を持つ場合の障害
  3. 女性の社会活動について
  4. 区の女性のための事業への要望
-

### 【ライフ・ステージ】

---

- \* 婚前期 ..... 結婚前の独身者
  - \* 家族形成期 ..... 子どもがいない若夫婦  
の夫あるいは妻
  - \* 家族成長期(A) ..... 結婚し乳・幼児  
がいる親
  - \* 家族成長期(B) ..... 小・中学生がいる親
  - \* 家族成長期(C) ..... 高校・大学生がいる親
  - \* 家族成熟期 ..... 学校教育を終えた  
独身の子どもがいる親
  - \* 老年期(A) ..... 子どもが結婚して  
一緒に住んでいる親
  - \* 老年期(B) ..... 子どもが独立して  
2人だけになった親
  - \* 老年期(C) ..... 子どもが独立して  
1人だけになった親
-



## V. 婦人問題

### 《設問とまとめ》

#### 1. 女性の職業について

**Q 23.** 女性が職業を持つことについて、あなたはどのように思いますか。(1 A)

**N = 1,139**

- |                 |       |             |      |
|-----------------|-------|-------------|------|
| 1. ぜひ持つべきだ      | 14.7% | 4. 持つべきではない | 2.5% |
| 2. 条件が許す限り持つべきだ | 57.3% | 5. わからない    | 9.7% |
| 3. あまり持たない方がよい  | 15.8% |             |      |

〔Q 23.で1, 2と答えた人に〕

**SQ 1.** 「男性の場合」では、あなたの身近な女性に職業を持ってほしいと思いますか。(1 A)

**N = 352**

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 1. ぜひ持ってほしい      | 12.8% |
| 2. 条件が許す限り持ってほしい | 60.2% |
| 3. 今は無理だが持ってほしい  | 8.2%  |
| 4. あまり持ってほしくない   | 8.2%  |
| 5. 持ってほしくない      | 0.9%  |
| 6. 現在持っている       | 8.2%  |
| 7. わからない         | 1.4%  |

**SQ 2.** 「女性の場合」では、あなたは職業を持ちたいと思いますか。(1 A)

**N = 467**

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1. ぜひ持ちたい      | 9.9%  |
| 2. 条件が許す限り持ちたい | 28.9% |
| 3. 今は無理だが持ちたい  | 16.3% |
| 4. あまり持ちたくない   | 7.1%  |
| 5. 持ちたくない      | 5.1%  |
| 6. 現在持っている     | 32.3% |
| 7. わからない       | 0.4%  |

2. 女性が職業を持つ場合の障害

**Q 24.** 女性が職業を持つ場合、どのような障害があると思いますか。次の中から主なことを2つ以内で選んでください。〔回答票7提示〕(2A) N = 1,139

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| 01. 職種が限定されている        | 22.1% |
| 02. 職場での差別待遇がある       | 13.8% |
| 03. 職業意識が低い           | 17.6% |
| 04. 技能・技術が不足している      | 9.7%  |
| 05. 法律・制度上の差別がある      | 5.4%  |
| 06. 家庭の潤いがなくなる        | 30.4% |
| 07. 家族の理解・協力が無い       | 24.1% |
| 08. 出産・育児（保育所が不足している） | 28.5% |
| 09. 病人・老人の世話がある       | 8.3%  |
| 10. その他               | 1.1%  |
| 11. わからない             | 8.4%  |

3. 女性の社会活動について

**Q 25.** 女性が地域活動やボランティア活動、学習活動などをする事についてはどう思いますか。(1A) N = 1,139

- |                 |       |             |       |
|-----------------|-------|-------------|-------|
| 1. ぜひやるべきだ      | 15.0% | 4. やるべきではない | 1.5%  |
| 2. 条件が許す限りやるべきだ | 57.8% | 5. わからない    | 17.7% |
| 3. あまりやらない方がよい  | 8.0%  |             |       |

4. 区の女性のための事業への要望

**Q 26.** 区が行っている女性のための事業として、とくに力を入れてほしいことは何ですか。(1A) N = 1,139

1. 技術・技能訓練	9.9%
2. 相談窓口の拡充	10.4%
3. 保育事業・家庭福祉員の拡充（就労援助）	13.1%
4. 医療・検査の充実（母性保護）	7.0%
5. 社会活動のための場の拡充	4.6%
6. 講座・講習会の充実	12.6%
7. 母子家庭などに対する生活援助・ 各種資金・手当の充実	9.7%
8. その他	0.7%
9. 特にない	32.1%

“男は社会で女は家庭で、という伝統的な役割分担の歴史は崩れつつある。女性が社会に進出するケースは年々増え、この傾向はこれからも一層増大するであろう。

また、労働省の“婦人労働白書”によれば、53年は2千万人以上の女性が就業しており、被雇用者総数の3分の1を超えている。それに伴い、新たな労働条件の問題がクローズ・アップされており、最近では労働基準法的女子保護条項をめぐる論議も盛んである。一方、働きながら妊娠・出産した女性のうち、それを理由に退職した女性が4割という数字も出ている。また、女性社長・女性重役などトップレベルの女性の進出は大きく取り上げられているが、それは全体の女性労働者数からみるとまだ微々たるものである。

こうした状況の中で、女性が働くということはどういう困難があり、また行政はどのような対策を講じていくべきであろうか。ここでは、女性が職業をもつことについて男性の側からそして女性自身からの意向を聞き、さらに女性の地域活動やボランティア活動についての考え方も聞いた。

女性も職業をぜひ持つべきだという意見は7人に1人であり、過半数の人は「条件が許す限り」と個人的事情を重視する傾向にある。また女性には機会があれば出来る限り就業しようという意向がみられるのに対し、男性の側では積極的な支持姿勢に乏しい傾向がある。「条件」としては出産と子供が義務教育を終えるまでの育児が大きな要因となっている。また、男性高年層には女性の就業に否定的な意見が強い。

ここで、身近な女性の問題として聞き直すと、一般論としては女性は職業を持つべきだが、身近な女性には持ってほしくないと考えている男性は6%いる。また、女性は職業を

持つべきだが自分は持ちたくないとする女性は9%であり、それぞれ一般論と現実論との誤差はそれ程大きくないといえよう。

それでは女性の就業にはどのような障害が意識されているだろうか。何とんでも家庭内の主婦の役割がおろそかになることが問題となっており、「家庭の潤いがなくなる」(3割)、「出産・育児」(3割)、「家族の理解・協力が無い」(2割)といった項目が上位に挙げられている。若年層の家庭では出産・育児、中年層では家族の協力が焦点となっており、高年層は老人自身の世話など主婦としての役割を確実に果たすことを求めている。

また「職種が限定されている」(2割)ことも障害として重視されている。

社会活動については、職業についてとほぼ同じ結果が出た。

最後に女性のための事業への要望を聞いたところ、1割を超えた項目は、「保育事業・家庭福祉員の拡充」、「講座・講習会の充実」、「相談窓口の拡充」であり、1つの項目に要望が集中するといった傾向はみられなかった。生活の援助・保護などの必要な女性を守る方向よりも、一般女性の育児の手助け、相談などの対策が求められているといえよう

## 《分 析》

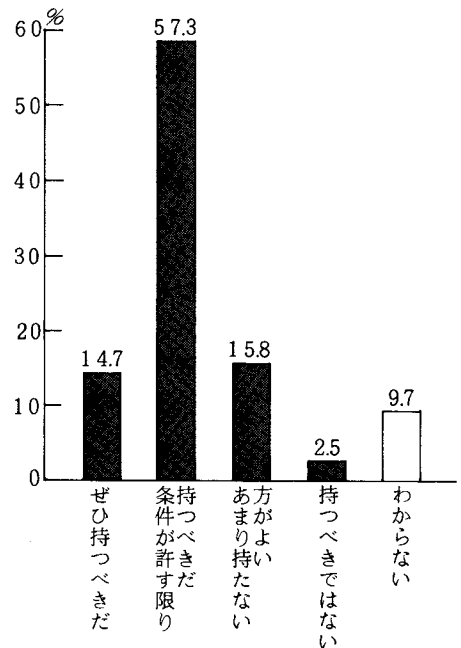
### V-1 女性の職業について

「ぜひ持つべきだ」は14.7%と7人に1人にすぎない。一方、「条件が許す限り持つべきだ」が57.3%と過半数を占めている。このことは、結婚・出産・育児などを女性特有の条件として重視する傾向が依然として根強いことを示している。それに対して、「あまり持たない方がよい」(15.8%)と「持つべきではない」(2.5%)とを合わせて、女性が働くことに否定的な意見が18.3%あった。

性別にみると図5-2のとおり、「ぜひ持つべきだ」と「条件が許す限り持つべきだ」という肯定的な意見は女性に多いのに対して、「あまり持たない方がよい」と「持つべきではない」という否定的な意見は男性に多い。女性は出来るだけ就業しようという傾向があ

図5-1 女性の職業について

N=1,139



るのに対し、男性の側では積極的な支持姿勢に乏しいともいえよう。

各項目ごとにその属性別の特徴をみてみよう（図 5 - 3， 5 - 4 参照）。

【ぜひ持つべきだ】（区全体 14.7 %）

性年代別では男 40 代（18.9 %）と女 20 代（24.6 %）に多く、男女とも 20 代と 40 代にピークを持つ傾向がみられる（図 5 - 3）。

これは結婚前の若年層と、子供がある程度大きくなった中年層の意見と考えられる。子供に手がかかなくなっているからの再就職に対し、男女とも比較的積極的であるという見方もできよう。

職業別では学生（31.1 %），ライフ・ステージ別では婚前期（22.2 %）と家族形成

図 5 - 2 性別の女性の職業について

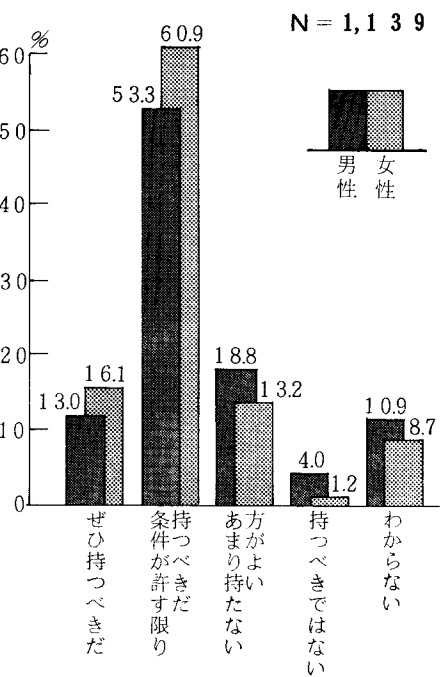
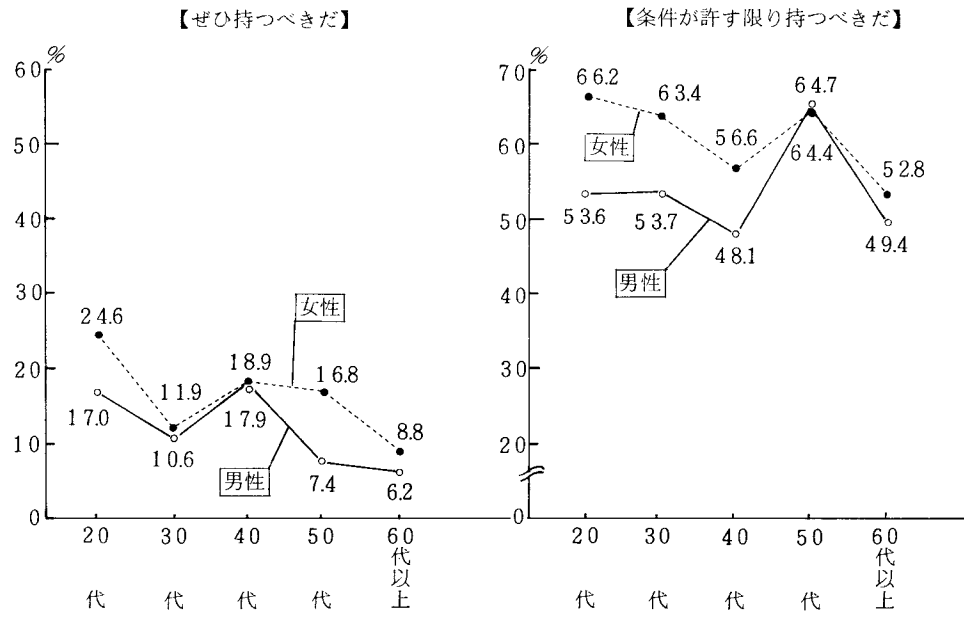


図 5 - 3 性年代別の女性の職業について

N = 1,139



期（20.3％）に多く、若い世代の意欲を感じさせる（図5－4）。一方、ライフ・ステージ別の家族成長期（結婚し、乳・幼児がいる親）（9.3％）と家族成熟期（学校教育を終えた独身の子供がいる親）（7.5％）に特に比率が低くなっている。前者は出産・育児の負担の大きさを示していよう。また後者は、子供が学校を卒業し就職した時点で、母親が仕事を離れる傾向がみられる。

【条件が許す限り持つべきだ】

（区全体 57.3％）

女性はほぼ年代が若いほど（52.8％→66.2％）多い。また、ライフ・ステージ別にみると家族成長期（A）から家族成熟期にかけてがピークとなっており、この時期の子育てによる制約が大きいことがわかる。

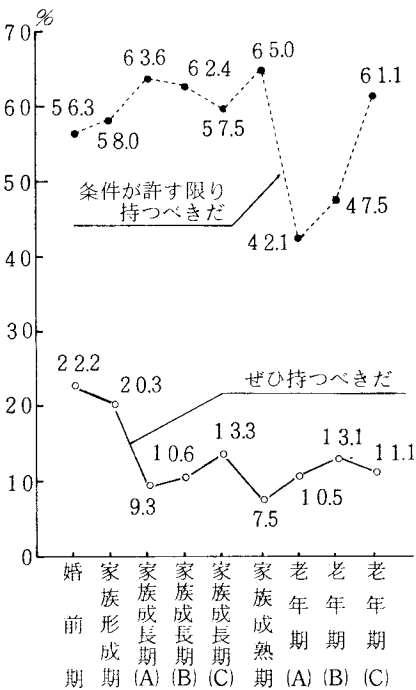
【あまり持たない方がよい】

（区全体 15.8％）

性年代別では男60代以上（27.2％）に

図5－4 ライフ・ステージ別の  
女性の職業について

N = 1,139



注：その他、NAを除く

表5－1 女性の職業について（昨年度調査結果）

N = 1,178

【「男は仕事、女は家庭」という考え方について】

【女性が職業をもつことについて】

当然である	27.2%
現状ではやむを得ない	33.6%
男女とも外で働き、家庭でも責任を分かちあうべきだ	24.6%
男女の役割は固定せず、女が外で働き男が家庭を守るのもよい	7.7%
その他	1.2%
NA	1.6%

職業を持たない方がよい	8.6%
結婚するまでは職業をもつ方がよい	16.0%
子供ができるまでは職業をもつ方がよい	16.9%
子供ができたらやめ、大きくなったら再就職するのがよい	33.3%
子供ができても働き続けるのがよい	15.0%
その他	6.5%
わからない	3.7%

特に多く、ライフ・ステージ別では老年期(A)  
(25.0%)に多い。男性高年層には、女性  
の職業について批判的な傾向が強いといえよ  
う。

【持つべきではない】(区全体 2.5%)  
これも男60代以上(4.9%)に多い。

「条件」にかかわらず女性の職業に積極的  
な意見は20代と40代に多く、再就職の意  
向が男女ともかなりあるといえる。また「条  
件」としては出産と育児が大きなものとなっ  
ているであろう。

ここで昨年度の調査結果を表5-1に示し  
たので参考にされたい。

(1) 身近な女性の職業について

前問で支持的な意見を示した男性に、一般  
論ではなく身近な問題として問い直した。

図5-5 身近な女性の職業について

N = 352

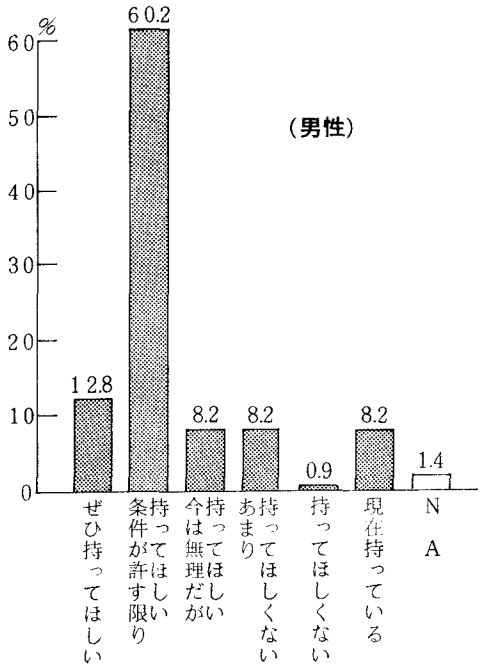


図5-6 年代別の身近な女性の職業について

N = 352

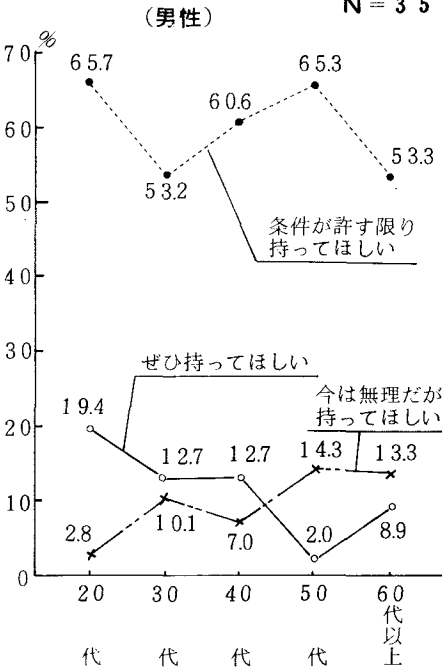
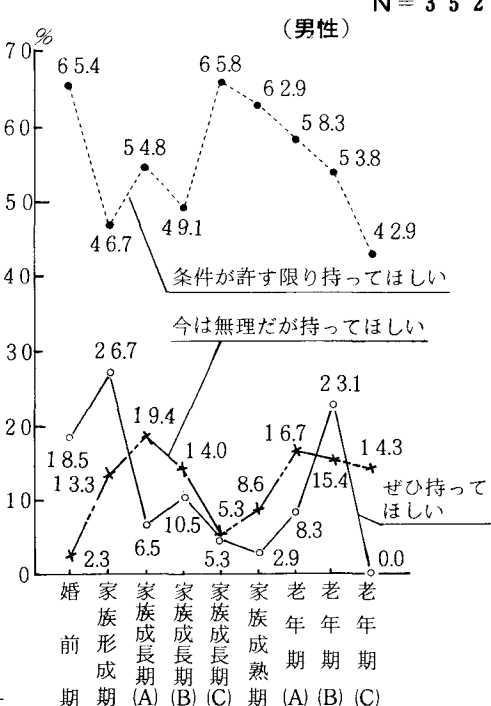


図5-7 ライフ・ステージ別の身近な女性の職業について

N = 352



注：その他、NAを除く

回答基数Nは352人であるが、一般論として「ぜひ持つべきだ」69人（19.6%），「条件が許す限り持つべきだ」283人（80.4%），という内訳である。

結果は図5-5のとおりであり、一般論としては、職業を持つべきだが、身近な女性には「あまり持ってほしくない」（8.2%），「持ってほしくない」（0.9%）と答えた人が合わせて9.1%いる（全男性数531人に対しては6.0%）。

項目別の特徴をみると図5-6，5-7のとおりであり、前問の女性の職業についての属性別の特徴と大きく異なることはない（図5-3，5-4参照）。

ただし、一般論に比べて身近な問題となると、高年層や老年期にある人に「持ってほしい」という意向が強くなっており、女性の就業が必要な老人家庭がかなりあるとうけとれよう。

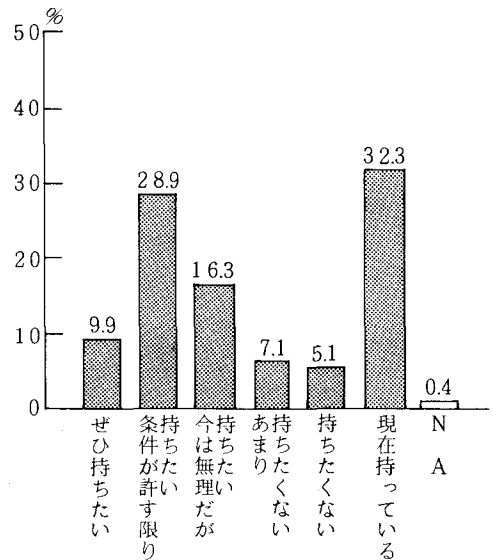
## (2) 女性自身の職業について

一般論として「ぜひ持つべきだ」（98人，21.0%）と「条件が許す限り持つべきだ」（369人，79.0%）と考えている女性に自分自身の問題として問い直した。その結果は図5-8のとおりである。「現在持っている」が32.3%あり、積極的な意見をもって人の3人に1人は、職業に就いている。また、意向としては積極的だが、「今は無理だが持ちたい」という回答が16.3%ある。それに対して一般的には女性は職業を持つべきだとしながらも、自分の問題としては「あまり持ちたくない」（7.1%），「持ちたくない」（5.1%）と考える人が合わせて12.2%あり、前問の男性の場合の9.1%よりもむしろ多い（女性総数608人からみると9.2%）。

図5-8 女性自身の職業について

N = 467

(女性)



項目別の特徴をみると図5-9，5-10，5-11，表5-2のとおりである。

◎「ぜひ持ちたい」と「現在持っている」は若い女性に多い。

◎「あまり持ちたくない」と「持ちたくない」は老人女性に多い。

◎「今は無理だが持ちたくない」は30代主婦，「条件が許す限り持ちたい」は40代主婦に多くっており，育児に手のかからなくなった40代頃から再就職の意向が強くなる。

◎学生，若年層は「ぜひ持ちたい」と強い意向を示しているのに対し，主婦，中年層は「条



図5-9 年代別の女性自身の職業について

N = 467

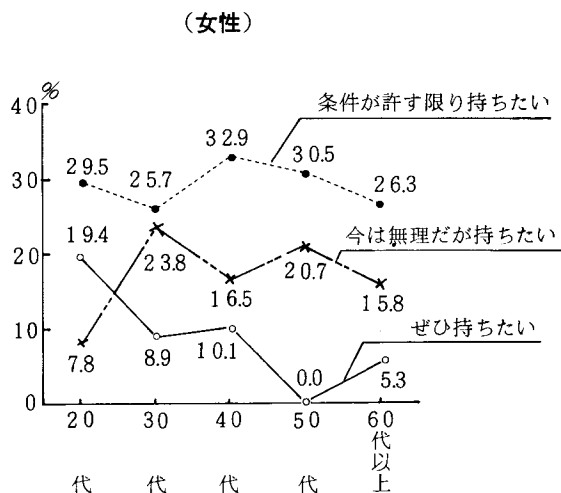
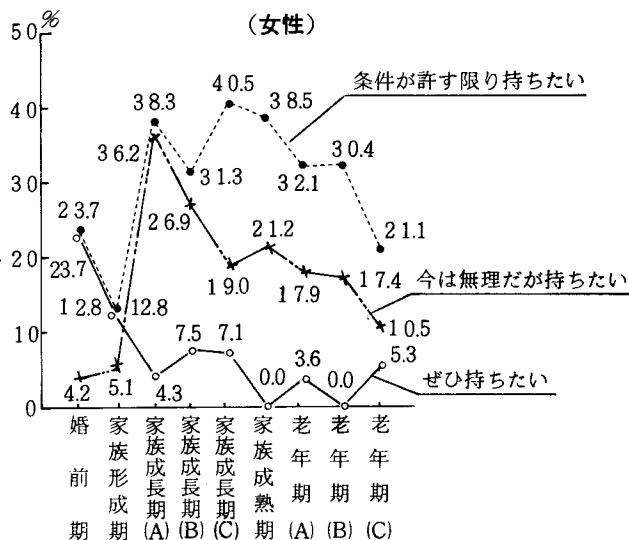


図5-10 ライフ・ステージ別の女性自身の職業について

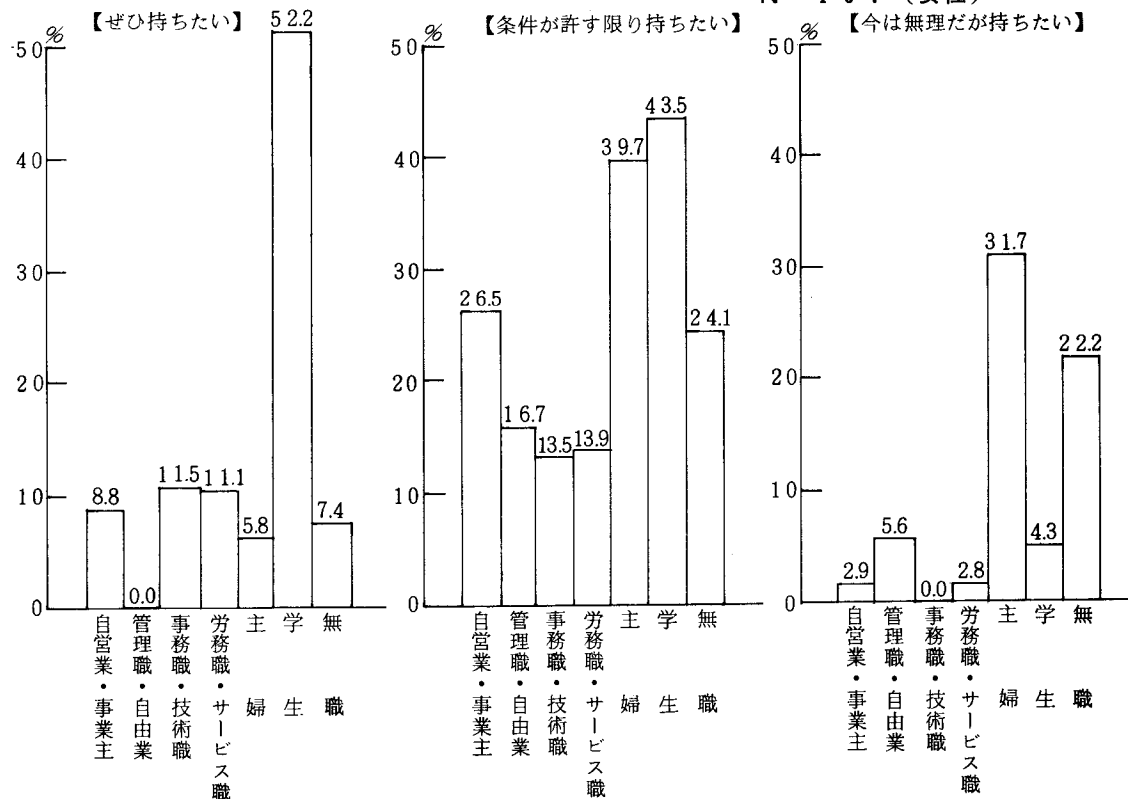
N = 467



注：その他、NAを除く

図5-11 職業別の女性自身の職業について

N = 467 (女性)



注：その他を除く

表 5 - 2 女性自身の職業についての多い属性

N = 4 6 7

	ぜひ持ちたい	条件が許す限り持ちたい	今は無理だが持ちたい	あまり持ちたくない	持ちたくない	現在持っている
区 全 体	9.9 %	2 8.9 %	1 6.3 %	7.1 %	5.1 %	3 2.3 %
年 代 別	2 0 代 (19.4 %)	4 0 代 (32.9 %)	3 0 代 (23.8 %)	6 0 代以上 (10.5 %)	6 0 代以上 (19.7 %)	2 0 代 (38.8 %)
職 業 別	学 生 (5.2 %)	主 婦 学 生 (39.7 %) (4.3 %)	主 婦 (31.7 %)	—	—	—
ライフ・ ステージ別	婚前期 (23.7 %)	家族成長期A) (38.3 %) 家族成長期C) (40.5 %) 家族成熟期 (38.5 %)	家族成長期A) (36.2 %) 家族成長期B) (26.9 %) 家族成熟期 (21.2 %)	—	—	—

件が許す限り持ちたい」、「今は無理だが持ちたい」と何らかの障害があることを示唆しながらも働く意欲を示している。

## V - 2 女性が職業を持つ場合の障害

それでは、その障害はどのようなものであろうか。9項目の中から選んでもらったところ、「家庭の潤いがなくなる」が最も多く、家庭の快適な維持を女性に一方的に期待する傾向がみられる。次いで「出産・育児」、「家族の理解・協力が無い」が続いており、家庭内での問題が前面に出ている。次に多いのが「職種が限定されている」、「職場での差別待遇がある」といった受け入れる職場の側の問題であり、「職業意識が低い」、「技能・技術が不足している」といった女性自身の意識・技術の問題はそれ程大きな比率を示していない(図5-12)。

家庭、職場、女性自身、社会と4項目に大別して詳しくみると次のとおりである。図5-13、表5-3、5-4、5-5、5-6を参照されたい。

家庭内の問題としては、若年層では出産・育児、中年層では家族の協力が無いことが中心となっている。また高年層は、娘や嫁に対して主婦としての役割を確実に果たすことを望んでおり、老人自身の世話なども求めている。

職場での問題と社会制度の問題は、女性の側からの切実な実感というよりはむしろまだ

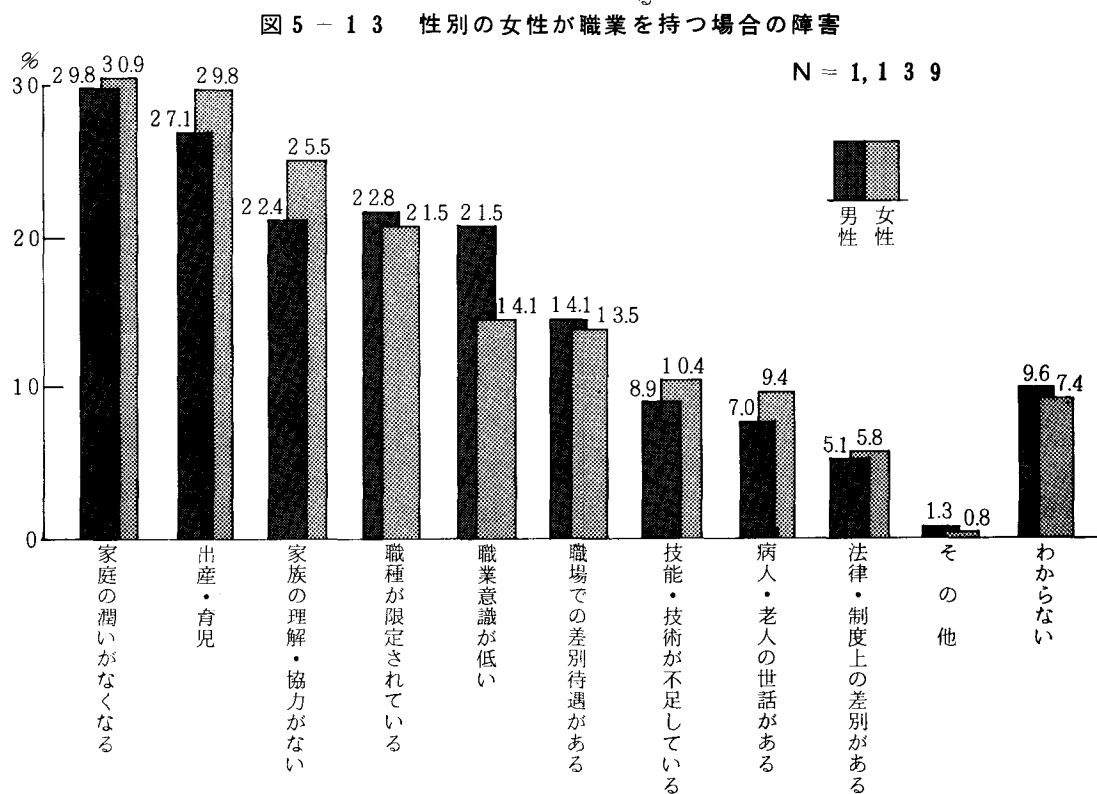
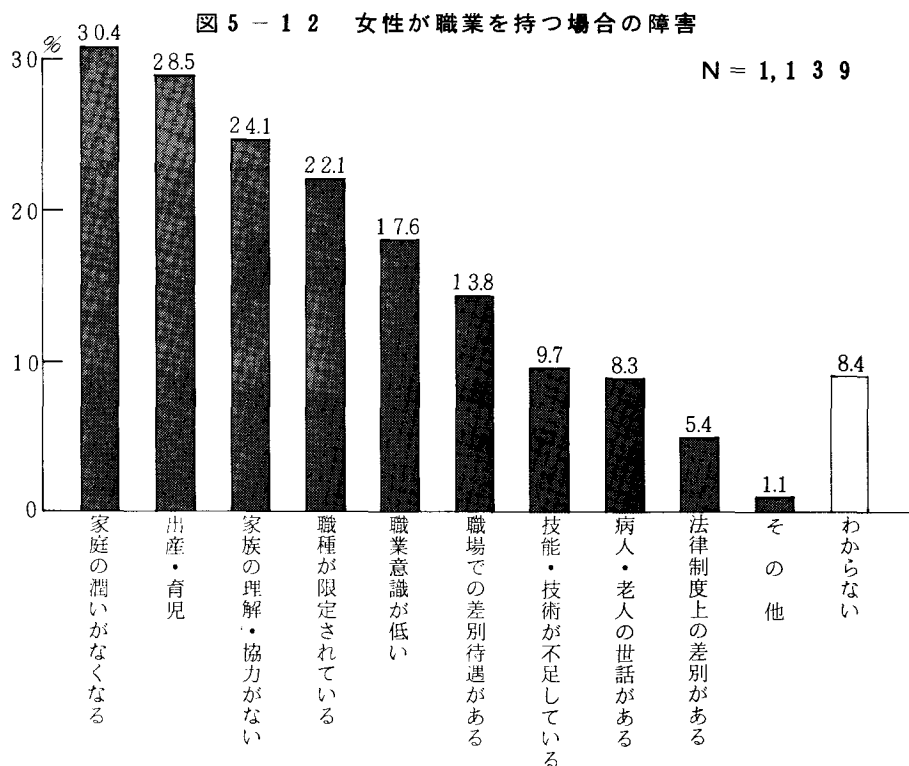


表 5 - 3 女性が職業を持つ場合の障害の特徴

N = 1,139

## 【家庭内の問題】

	家庭の潤いがなくなる	出産・育児	家族の理解・協力が ない	病人・老人の 世話がある
区全体	30.4%	28.5%	24.1%	8.3%
性別	——	——	女性(25.5%)	——
性年代別	男60代以上(37.0%) 女60代以上(37.6%)	男20代(34.0%) 女20代(35.2%) 女30代(34.3%)	男40代(30.2%) 女50代(30.7%)	男60代以上(18.5%) 女50代(13.9%) 女60代以上(14.4%)
ライフ・ ステージ別	家族成長期B(35.9%) 老年期A(42.1%) 老年期C(44.4%)	家族成長期(36.2%) 家族成長期A(40.2%)	——	老年期A(22.4%)
特徴	高年層に多い 小・中学生を持つ家庭に多い	乳・幼児を持つ家庭に多い	主婦に多い	子ども夫婦と一緒に暮らしている老人に多い

表 5 - 4 女性が職業を持つ場合の  
障害の特徴

N = 1,139

## 【職場での問題】

	職種が限定されている	職場での差別待遇がある
区全体	22.1%	13.8%
性年代別	——	男50代(29.4%) 女20代(23.2%)
職業別	労務職・サービス職(31.8%)	管理職・自由業学生(18.0%) 学生(18.0%)
特徴	大きな特徴はみられない	管理者の観察、あるいはまだ働いていない若い女性に多い

表 5 - 5 女性が職業を持つ場合の

障害の特徴

N = 1,139

## 【女性自身の問題】

	職業意識が低い	技能・技術が不足している
区全体	17.6%	9.7%
性別	男性(21.5%)	大きな特徴はみられない
性年代別	男20代(25.5%) 男30代(24.4%)	
職業別	管理職・自由業(23.6%) 学生(29.5%)	
ライフ・ ステージ別	婚前期(26.6%)	
特徴	若い男性からの女性批判である	

就業していない若い人たちの意見といえる。

ここで注目したいのは男女差である。「家族の理解・協力が無い」は女性、「職業意識が低い」は男性に多くなっており、女性は家族の協力、男性は女性の自覚を求めているともいえよう。

さらに、女性の職業についてと女性が職業を持つ場合の障害との関係を示したのが表5-7である。ぜひ持つべきだと考えている人は、障害として、「職種が限定されている」(26.3%)、「職場での差別待遇がある」(22.8%)など外部の問題を重要視する傾向がある。

それに対して、持つべきではないと考えている人は、「技能・技術が不足している」(14.3%)といった女性自身に対する批判と共に、「家庭の潤いがなくなる」(42.9%)、「家族の理解・協力が無い」(35.7%)といった家庭内の障害にウエイトをおく傾向がある。殊に、あまり持たない方がよいと思っている人の50.0%、持つべきではないと思っている人の42.9%が「家庭の潤いがなくなる」を挙げているのは注目されよう。

表5-6 女性が職業を持つ場合の  
障害の特徴

N = 1,139

【社会制度の問題】

	法律・制度上の差別がある
区全体	5.4%
性年代別	若い年代ほど(男20代 7.2%) (女20代 7.7%)
職業別	学 生 (11.5%)

表5-7 女性の職業についてと女性が職業を持つ場合の障害

N = 1,139

	職種が限定されている	職場での差別待遇がある	職業意識が低い	技能・技術が不足している	法律・制度上の差別がある	家庭の潤いがなくなる	家族の理解・協力が無い	出産・育児	病人・老人の世話がある
区全体	22.1%	13.8%	17.6%	9.7%	5.4%	30.4%	24.1%	28.5%	8.3%
ぜひ持つべきだ	26.3	22.8	21.0	10.2	7.2	14.4	25.7	31.1	6.6
条件が許す限り持つべきだ	22.7	13.3	17.5	10.7	4.6	27.7	27.1	31.2	8.9
あまり持たない方がよい	21.1	12.8	20.0	7.2	10.6	50.0	15.6	22.2	8.3
持つべきではない	10.7	10.7	21.4	14.3	—	42.9	35.7	14.3	7.1
わからない	17.1	5.4	8.1	5.4	0.9	35.1	14.4	22.5	7.2

注：その他、わからないを除く

### V-3 女性の社会活動について

図5-14のとおり、「ぜひやるべきだ」が15.0%、「条件が許す限りやるべきだ」が57.8%であり、女性の職業についてとはほぼ同率の回答となっている。「あまりやらない方がよい」が8.0%と職業についての場合よりいくらか少なくなっており、職業よりも社会活動については否定的な意見がやや少ないといえよう（図5-1参照）。

性別による差異もまた職業についてと同様、意欲的な意見は女性側に多い（図5-15）。しかし、女性の職業についての意見の場合とは異なり、男性の側からの否定的な意見はあまり高い比率を示していない。

項目ごとに属性別の特徴をみると、図5-16、5-17のとおりである。「ぜひやるべきだ」は20代と40代に多く、「条件が許す限りやるべきだ」は中年の主婦に多い。一方、「あまりやらない方がよい」は中年男性に多い。すなわち職業や社会活動など女性が家庭内に閉じこもらないようにすることに条件に拘わらず積極的な意見は20代と40代に多く、中年女性は条件が許せば社会活動に参加したいと考えているのに対し、中年男性はあまり支持的ではないといえよう。

女性の職業についてと社会活動については明らかな相関を示しており、職業を持つべきだと考えている人ほど社会活動についても積極的な意向を持っている（図5-18）。

### V-4 女性のための事業への要望

図5-19のとおり、一つの項目に要望が集中するという傾向はない。上位5項目は順

図5-14 女性の社会活動について

N = 1,139

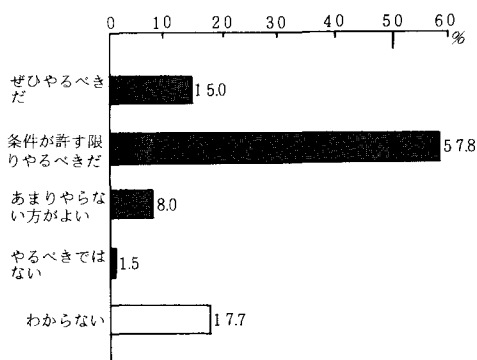


図5-15 性別の女性の社会活動について

N = 1,139

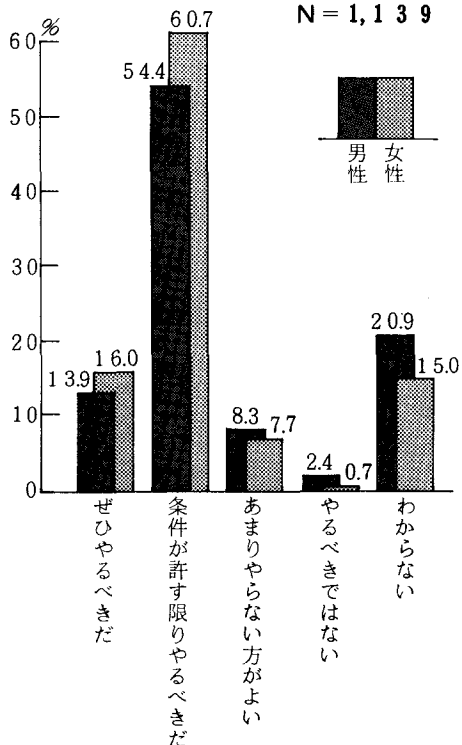


図 5 - 1 6 性年代別の女性の社会活動について

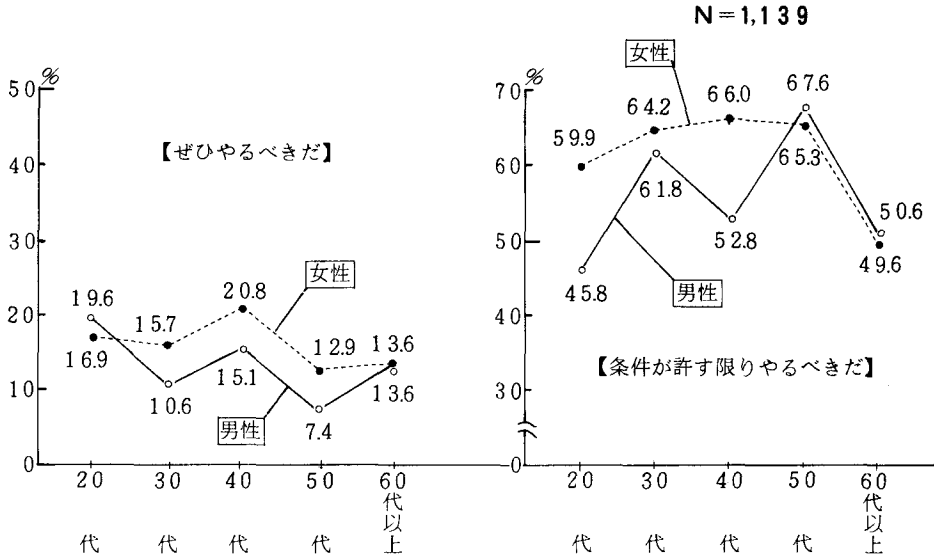
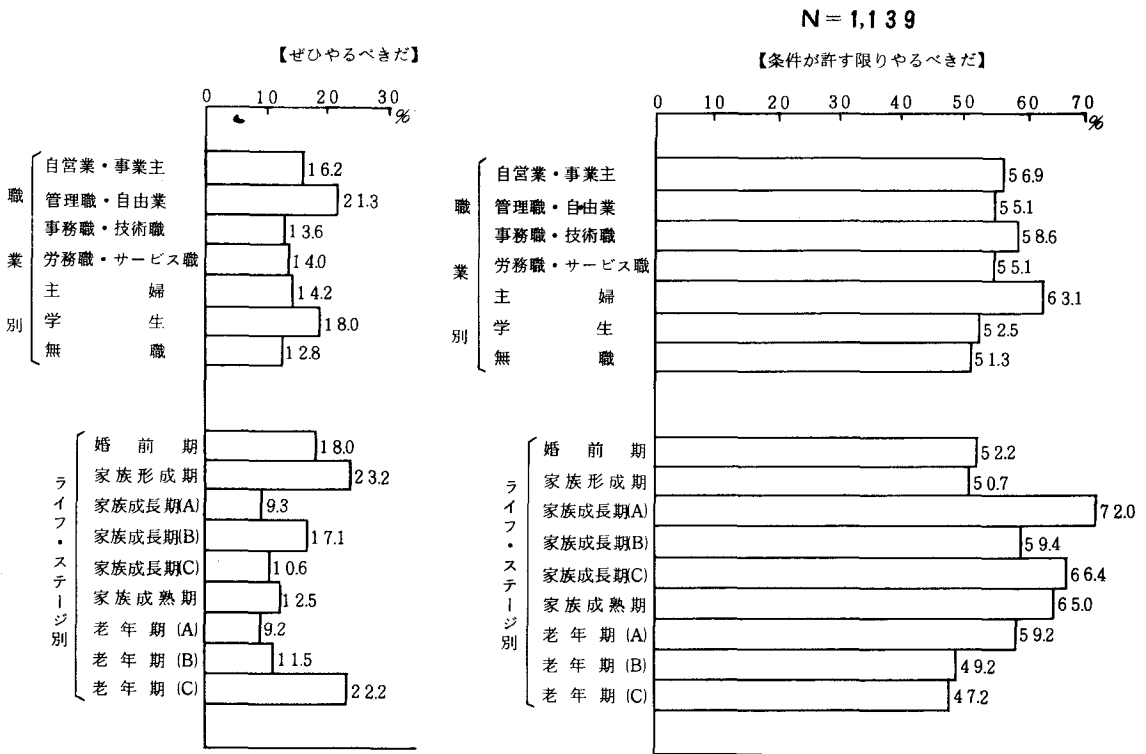


図 5 - 1 7 職業別，ライフ・ステージ別の女性の社会活動について



注：その他，NAを除く

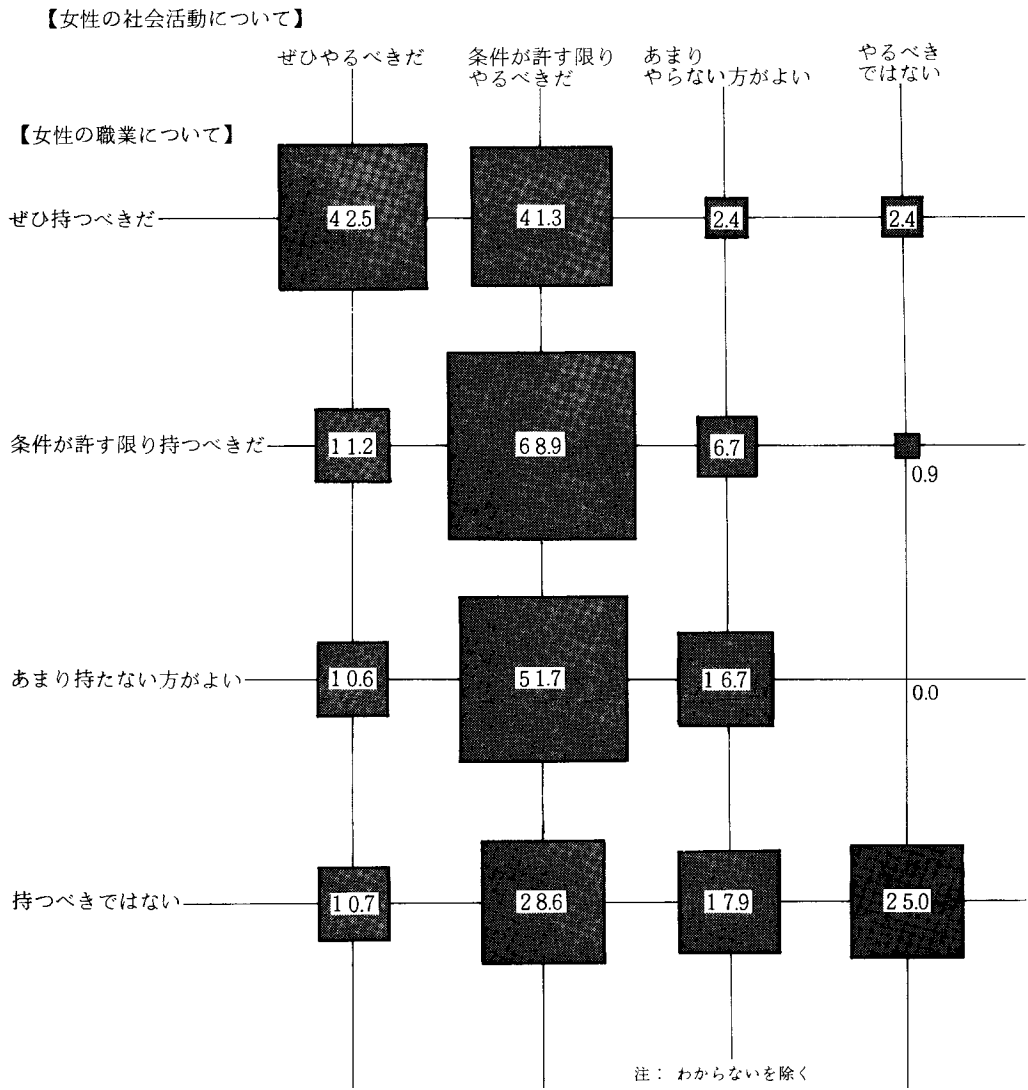
に，「保育事業・家庭福祉員の拡充」（１３.１％），「講座・講習会の充実」（１２.６％），「相談窓口の拡充」（１０.４％），「技術・技能訓練」（９.９％），「母子家庭などに対する生活援助・各種資金・手当の充実」（９.７％）であった。

女性が社会に進出するに際しての障害の中で「育児」は大きな要因となっており，保育事業の充実が望まれている。

図 5 - 1 8 女性の職業についてと女性の社会活動について

N = 1,139

単位（％）





なお、「特にない」が32.1%あるが、これは女性（29.3%）より男性（35.4%）に多い。性年代別では男20代（39.2%）、男40代（37.7%）、男60代以上（39.5%）、女60代以上（41.6%）に多くなっており、男性全般と女性高年層の婦人問題に対する関心の低さを示しているといえよう。

性別による差異はあまりみられないが、項目ごとに目立った点だけを挙げておく（**関連表参照**）。

- 1) 「保育事業・家庭福祉員の拡充」は女20代（19.7%）と家族形成期（18.8%）に多くなっている。
- 2) 「講座・講習会の充実」は主婦（16.8%）に比較的多い。
- 3) 「相談窓口の拡充」は女40代（13.2%）と老年期(A)（13.2%）に比較的多い。
- 4) 「技術・技能訓練」は女40代（17.0%）、家族成長期(C)（18.6%）に多く、より意義のある再就職への意欲を示している。
- 5) 「医療・検査の充実」は、主婦（10.4%）および家族形成期（11.6%）、家族成長期(A)（13.1%）、家族成長期(B)（11.2%）に多い。

ここで、女性の職業と社会活動についての考え方と事業への要望との関係をみたのが、

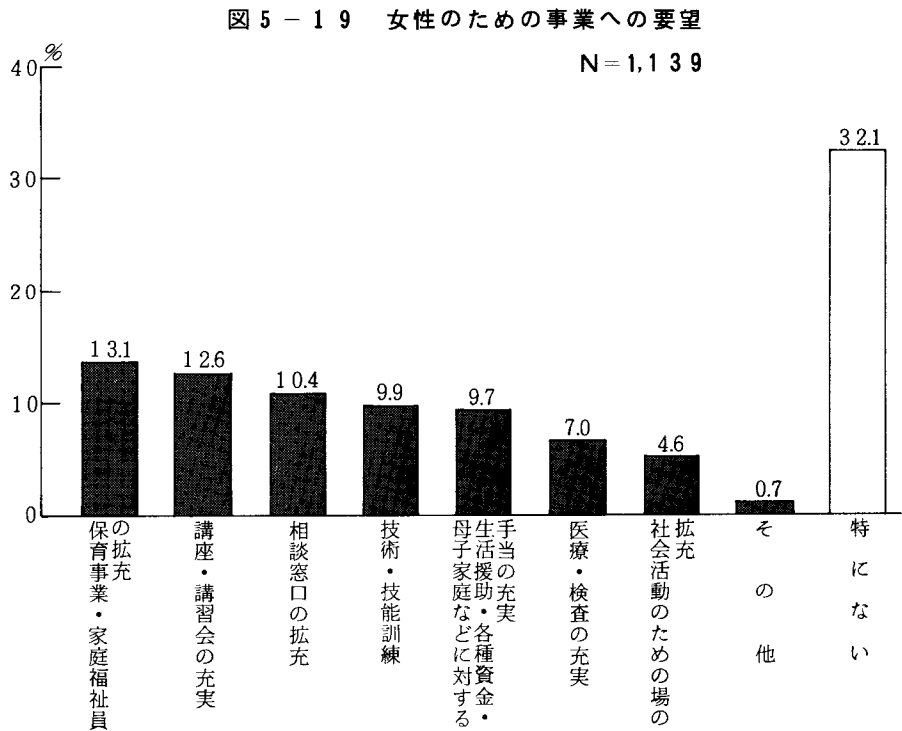


表 5 - 8 である。職業に対して積極的な意見の人ほど多い要望は「技術・技能訓練」(0.0 %→1 2.0 %)である。一方、社会活動に対して積極的な意見の人ほど多い要望は、「技術・技能訓練」(0.0 %→1 4.6 %)のほかに「相談窓口の拡充」(5.9 %→1 2.3 %), 「社会活動のための場の拡充」(0.0 %→8.8 %)である。

表 5 - 8 女性の職業について、社会活動についてと  
事業への要望

N = 1,139

単位 (%)

		技術・技能訓練	相談窓口の拡充	保育事業・家庭福祉員の拡充	医療・検査の充実	社会活動のための場の拡充	講座・講習会の充実	助・各種資金・手当の充実 母子家庭などに対する生活援	その他	特にない
区全体		9.9	10.4	13.1	7.0	4.6	12.6	9.7	0.7	32.1
職業について	ぜひ持つべきだ	12.0	8.4	14.4	0.6	6.6	15.0	9.0	0.0	34.1
	条件が許す限り持つべきだ	11.8	11.0	13.0	7.4	5.5	13.8	10.0	0.6	27.0
	あまり持たない方がよい	6.1	13.9	14.4	12.8	2.2	8.9	7.8	1.1	32.8
	持つべきではない	0.0	10.7	17.9	0.0	3.6	21.4	17.9	0.0	28.6
	わからない	4.5	3.6	8.1	7.2	0.0	5.4	9.9	1.8	59.5
社会活動について	ぜひやるべきだ	14.6	12.3	14.6	7.6	8.8	8.2	8.2	1.2	24.6
	条件が許す限りやるべきだ	10.8	11.7	14.4	7.1	5.0	15.2	10.9	0.6	24.2
	あまりやらない方がよい	5.5	6.6	15.4	11.0	0.0	14.3	12.1	1.1	34.1
	やるべきではない	0.0	5.9	23.5	0.0	0.0	11.8	17.6	0.0	41.2
	わからない	5.9	6.4	5.4	5.0	2.0	6.9	5.0	0.5	62.9

# Ⅵ. 区 民 保 養 所

---

## 1. 区民保養所の利用度と周知度

---

### 【ライフ・ステージ】

---

- \* 婚前期 ..... 結婚前の独身者
  - \* 家族形成期 ..... 子どもがいない若夫婦  
の夫あるいは妻
  - \* 家族成長期(A) ..... 結婚し乳・幼児  
がいる親
  - \* 家族成長期(B) ..... 小・中学生がいる親
  - \* 家族成長期(C) ..... 高校・大学生がいる親
  - \* 家族成熟期 ..... 学校教育を終えた  
独身の子どもがいる親
  - \* 老年期(A) ..... 子どもが結婚して  
一緒に住んでいる親
  - \* 老年期(B) ..... 子どもが独立して  
2人だけになった親
  - \* 老年期(C) ..... 子どもが独立して  
1人だけになった親
-

## Ⅵ. 区 民 保 養 所

### 《設問とまとめ》

#### 1. 区民保養所の利用度と周知度

Q 2 7. あなたは、この 1 年間に区民保養所を利用したことがありますか。( 1 A)

N = 1, 1 3 9

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| 1. 箱根つつじ荘（中強羅）を利用した | 6. 2 %   |
| 2. 住吉館（伊豆長岡）を利用した   | 0. 7 %   |
| 3. 両方とも利用した         | 1. 1 %   |
| 4. 知っているが利用したことはない  | 5 7. 6 % |
| 5. 知らない             | 3 4. 4 % |

S Q 1.〔Q 2 7 で 1 ～ 3 と答えた人に〕利用した理由は何ですか。( 1 A) N = 9 1

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. 交通が便利だ  | 7. 7 %  |
| 2. 設備がよい   | 20. 9 % |
| 3. 料金が安い   | 37. 4 % |
| 4. 食事がよい   | — %     |
| 5. 温泉がある   | 6. 6 %  |
| 6. 山がある    | 6. 6 %  |
| 7. 海水浴ができる | — %     |
| 8. その他     | 9. 9 %  |
| 9. 特に理由はない | 11. 0 % |

S Q 2.〔Q 2 7 で 4 と答えた人に〕利用したことがない理由は何ですか。( 1 A)

N = 6 5 6

- |              |         |
|--------------|---------|
| 1. 希望の日がとれない | 14. 6 % |
| 2. 申し込みがめんどろ | 23. 6 % |
| 3. 場所がよくない   | 2. 0 %  |
| 4. 他の旅館を利用する | 6. 3 %  |
| 5. 料金が低い     | 0. 3 %  |
| 6. その他       | 9. 0 %  |
| 7. 特に理由はない   | 44. 2 % |

区には、2つの保養所がある。1つは直営の「箱根つつじ荘」で昭和50年3月から、又委託施設としては、伊豆長岡に「住吉館」が昭和53年夏からオープンした。住吉館は地震のため使用不能となった南海荘の代替として借上げたものである。

それぞれ利用定員は122名と80名である。箱根つつじ荘は三角くじによる抽せん方式で申し込みを受付けており年間の月平均利用率は80%である。一方住吉館も同様の方法により申し込みを受付けているが委託契約後1年にみたないということもあってか夏場を除くと月平均30%～40%台でありさらに区民に親しんで利用されるにはまだ問題点があるといえる。

そこで、この章では区民保養所の利用状況を聞き、さらに利用した理由、利用しない理由を調べた。その結果、利用者は1割弱という比率であった。利用者は高年層に多く人気は住吉館よりも箱根つつじ荘に集中している。利用の理由としては料金の安さ、設備の良さ等によるもののほか、箱根つつじ荘は直営であるため各種の区の福祉施策活用（おとしより優待券、身障害優先受付と使用料助成）の場として、より気楽に利用できるようはかられていることもあると思われる。利用しない理由としては、申込みの煩雑さ、希望の日がとれないことが挙がっている。

これを周知度の面からみると、7割弱であり特に若年層にはあまり知られていない。今後の保養所のあり方としては、これらの問題点についてさらに検討をはかり親近感、周知度を増すなど考えると共に年間をとおして利用できるよう若年層、中年層などへプラスの面を強調して利用者の層の拡大を図る必要があろう。

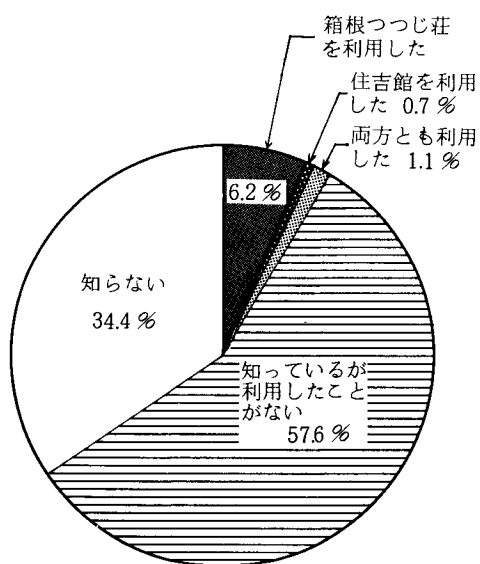
## 《分 析》

### VI-1 区民保養所の利用度と周知度

この1年間の区民保養所の利用状況を聞いたところ、「箱根つつじ荘（中強羅）を利用した」が6.2%、「住吉館（伊豆長岡）を利用した」が0.7%、「両方とも利用した」が1.1%と、「利用したことがある」人は、合計わずか8.0%に過ぎない。また「知っているが利用したことはない」は、57.6%、「知らない」は、34.4%であった（図6-1）。

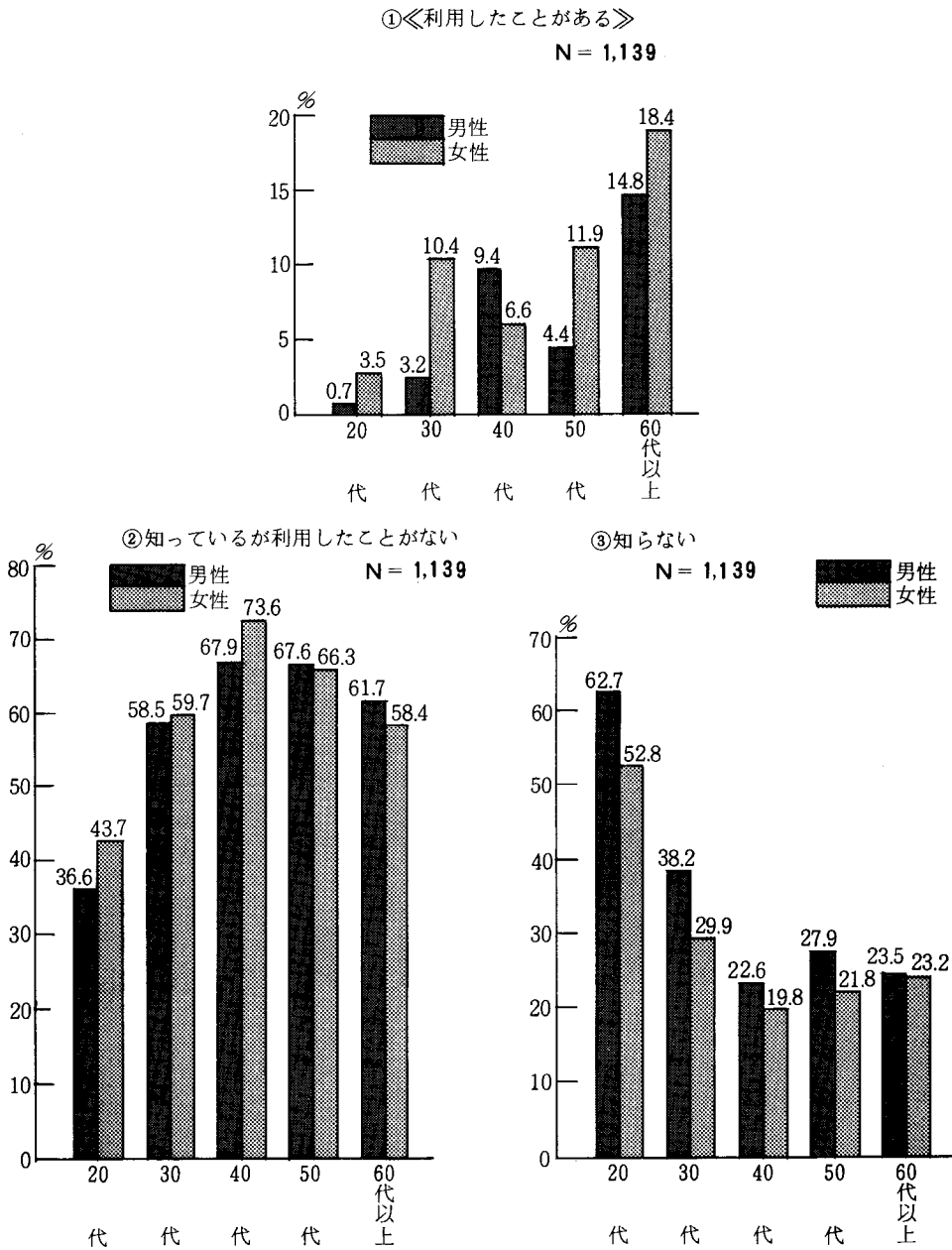
この結果を性年代別でみると、「利用したことがある」は、男女共60代以上の高年層に多く、男60代以上が

図6-1 区民保養所の利用状況  
N = 1,139



14.8%，女60代以上が18.4%である。また、《利用したことがある》の比率の大部分は、「箱根つつじ荘（中強羅）」の方で占められており、「住吉館（伊豆長岡）」の利用度は極めて低い。なお、「知っているが利用したことがない」は、男女共40～50代の中年層に多く、男40代が67.9%，50代が67.6%，女40代が73.6%，50代が66.3%である。「知らない」は、男女共若年層に多く、

図6-2 性年代別の保養所の利用状況



男20代が62.7%，女20代が52.8%となっている（図6-2）。

他の属性別では，家族人数別の6人以上（15.8%），ライフステージ別の老年期（A）（27.6%）などに《利用したことがある》が多い（相関表参照）。

### (1) 利用した理由

《利用したことがある》と答えた人に，その理由を聞いたところ，もっとも多かったのが「料金が安い」（37.4%），ついで「設備がよい」（20.9%）であり，他に「特に理由はない」が11.0%であった（図6-3）。

性別では図6-4のとおりである。「料金が安い」，「設備がよい」，「交通が便利」，「山がある」などについては，女性より男性の方が，また，「温泉がある」は，女性の方が男性より評価している。

### (2) 利用しない理由

「知っているが利用したことはない」と答えた人に，その理由を聞いた結果は次のとおりである。

「申し込みがめんどろ」が23.6%，「希望の日がとれない」が14.6%と多い。また「特に理由はない」が44.2%であった（図6-5）。

図6-3 利用した理由

N = 91

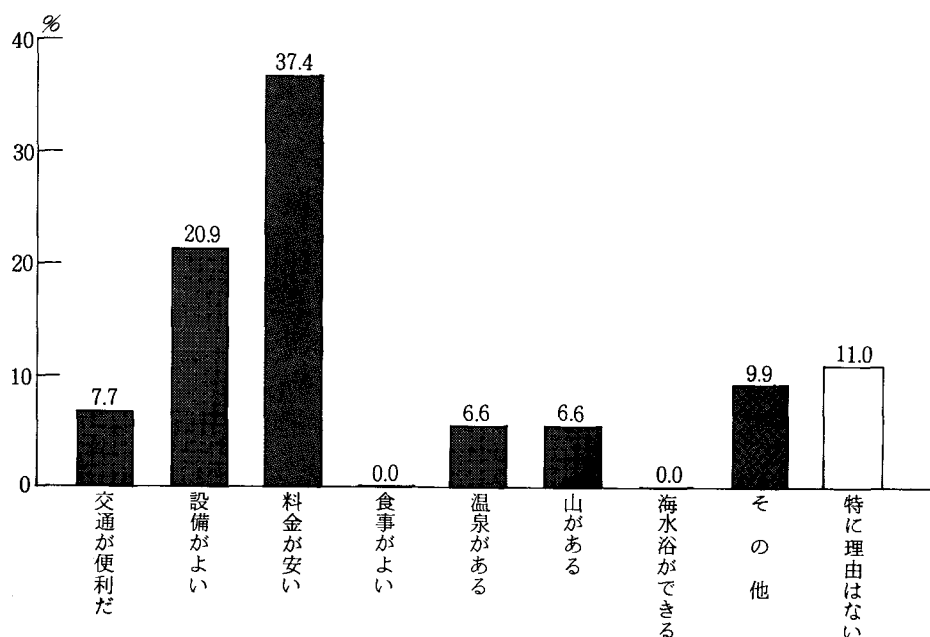
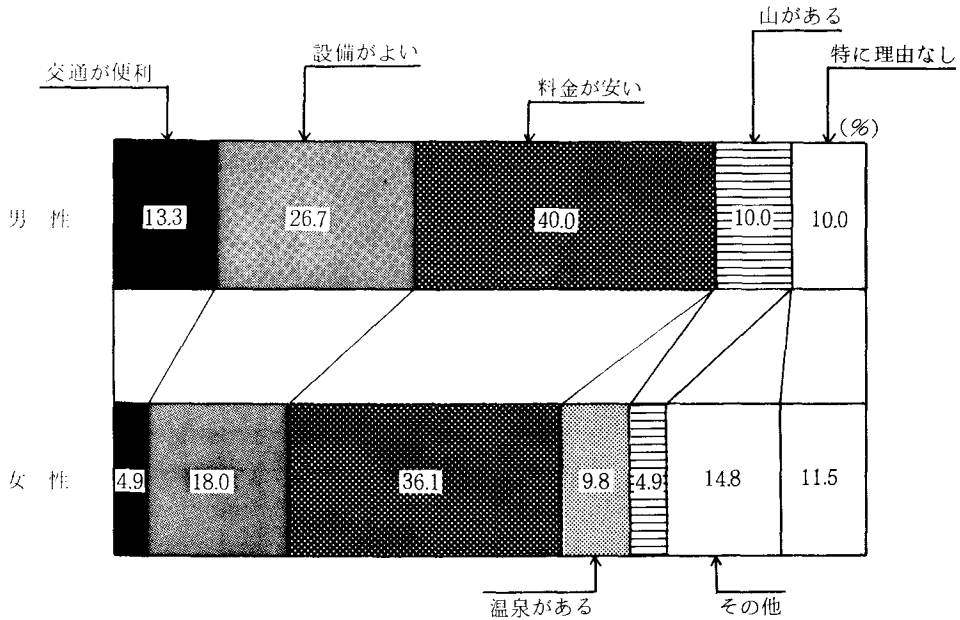




図 6 - 4 性別の利用した理由

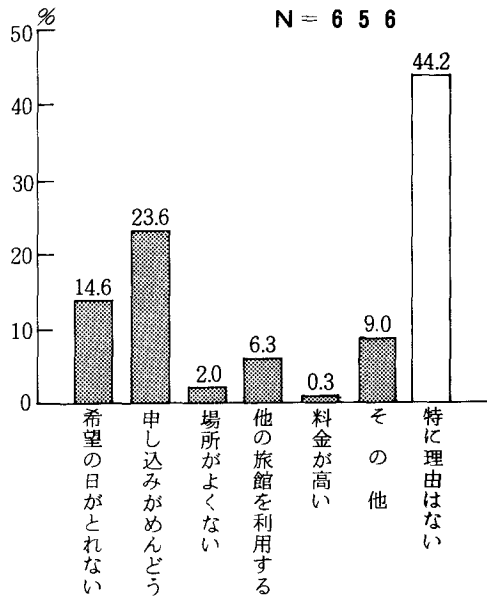
N = 91



この結果を性年代別、職業別にみると、「申し込みがめんどろ」は、性年代別の男20代（19.6%）、男40代（23.6%）、女40代（20.5%）に多い。職業別では、自営業・事業主（21.7%）に多い。「希望の日がとれない」は、男50代（32.6%）、女30代（31.3%）、事務職・技術職（30.0%）や主婦（27.5%）に多い。また、「特に理由はない」は、男20代（50.0%）、男30代（51.4%）、女20代（53.2%）、女50代

図 6 - 5 利用しない理由

N = 656



(50.7%)，学生(52.6%)，管理職・自由業(48.2%)に多い(図6-6)。

図6-6 性年代別・職業別の「希望日がとれない」，「申し込みがめんどう」，「特に理由はない」

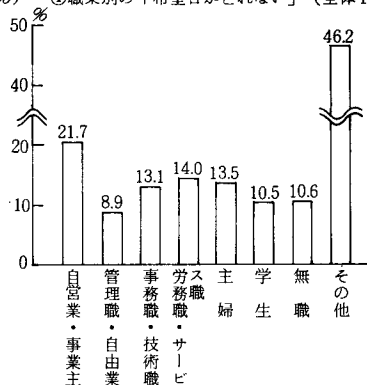
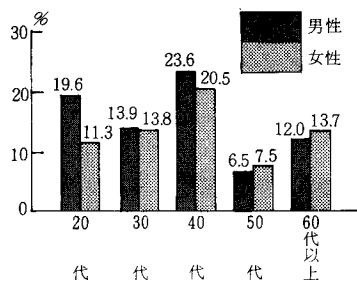
N = 656

【性年代別】

【職業別】

①性年代別の「希望日がとれない」(全体14.6%)

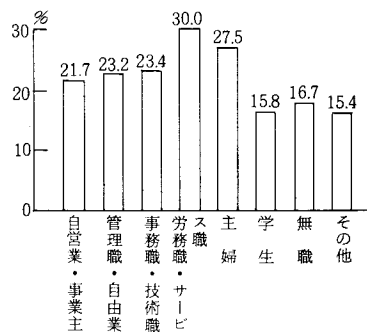
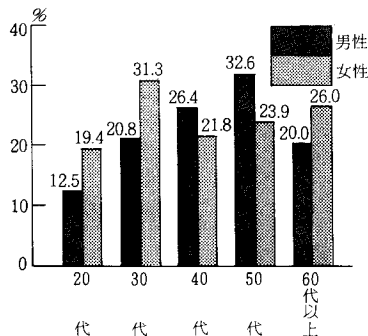
④職業別の「希望日がとれない」(全体14.6%)



注：「その他」の基数は13である。

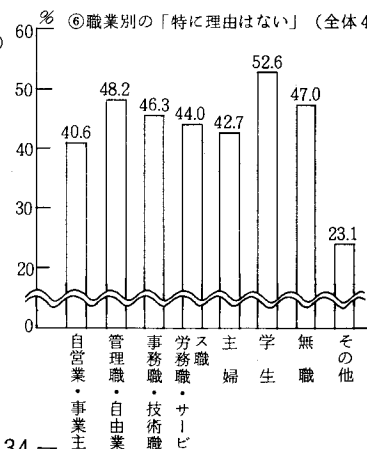
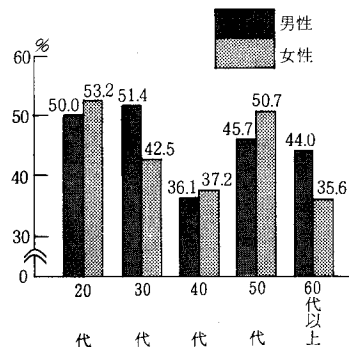
②性年代別の「申し込みがめんどう」(全体23.6%)

⑤職業別の「申し込みがめんどう」(全体23.6%)



③性年代別の「特に理由はない」(全体44.2%)

⑥職業別の「特に理由はない」(全体44.2%)



## VII. 区政への関心・要望

- 
1. 区政への関心の有無
  2. 区政に関する情報源
  3. 「新宿区広報」の到達閲読状況
  4. 区長名の周知度
  5. 新宿文化センターの周知度
  6. 新宿文化センターの催しものについての希望
  7. 区の事業への要望
-

### 【ライフ・ステージ】

---

- \* 婚前期 ..... 結婚前の独身者
  - \* 家族形成期 ..... 子どもがいない若夫婦  
の夫あるいは妻
  - \* 家族成長期(A) ..... 結婚し乳・幼児  
がいる親
  - \* 家族成長期(B) ..... 小・中学生がいる親
  - \* 家族成長期(C) ..... 高校・大学生がいる親
  - \* 家族成熟期 ..... 学校教育を終えた  
独身の子どもがいる親
  - \* 老年期(A) ..... 子どもが結婚して  
一緒に住んでいる親
  - \* 老年期(B) ..... 子どもが独立して  
2人だけになった親
  - \* 老年期(C) ..... 子どもが独立して  
1人だけになった親
-

## Ⅶ. 区政への関心・要望

### 《設問とまとめ》

#### 1. 区政への関心の有無

**Q 28.** あなたは区政に関心をお持ちですか。(1 A)

N=1,139

- |             |       |              |       |
|-------------|-------|--------------|-------|
| 1. 非常に関心がある | 9.3%  | 4. ほとんど関心がない | 11.2% |
| 2. 少しは関心がある | 40.7% | 5. わからない     | 2.7%  |
| 3. あまり関心がない | 36.0% |              |       |

#### 2. 区政に関する情報源

**Q 29.** あなたはふだん、区政に関することや区の行事、お知らせを何で知りますか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票8提示〕  
(2 A)

N=1,139

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 1. 新宿区広報               | 72.6% |
| 2. 区議会だより              | 19.5% |
| 3. 写真ニュース              | 2.5%  |
| 4. わたしの便利帳・区勢要覧・パンフレット | 9.4%  |
| 5. 新聞・テレビ・ラジオ          | 15.2% |
| 6. 町会・自治会の会合や回覧板       | 15.0% |
| 7. 家族や知人・友人の話          | 4.9%  |
| 8. その他                 | 0.9%  |
| 9. 関心がない               | 11.2% |

#### 3. 「新宿区広報」の到達・閲読状況

**Q 30.** 区では、「新宿区広報」を毎月3回、6紙(朝日、毎日、読売、サンケイ、東京、日経)の新聞折り込みで配布していますが、お宅には届いていますか。(1 A)

N=1,139

- |           |       |                 |      |
|-----------|-------|-----------------|------|
| 1. 届いている  | 87.8% | 3. わからない        | 3.5% |
| 2. 届いていない | 4.2%  | 4. 上記の新聞をとっていない | 3.4% |

↓ 5. NA 1.1%

**SQ1.〔Q30で1と答えた人に〕あなたは読んでいますか。(1A)**  
**N=1,000**

1. よく読む	28.2%	4. 全く読まない	2.8%
2. ざっと読む	48.1%	5. NA	0.6%
3. あまり読まない	20.3%		

**SQ2.〔SQ1で1,2と答えた人に「新宿区広報」に対して、ご意見・ご要望がありましたら、何でもおっしゃってください。(FA)**

4. 区長名の周知度

**Q31. 現在の新宿区長の名前を知っていますか。〔知っている人〕に区長の名前をおっしゃってください。(1A)**  
**N=1,139**

1. 知っている(正答)	55.0%	3. 知らない	39.5%
2. 知っている(誤答)	5.5%		

5. 新宿文化センターの周知度

**Q32. 新宿文化センター(新宿6丁目)は、今年の4月1日に一般にオープンしましたが、あなたはこの施設を知っていますか。(1A)**  
**N=1,139**

1. 知っている	50.6%	2. 知らない	49.4%
----------	-------	---------	-------

6. 新宿文化センターの催し物についての希望

**Q33. この集会施設には1,800人収容の大ホールを始め、小ホール、集会室、展示室、ロビーなどが設けられ多目的に利用できるよう設計されています。この施設でどんな催し物を希望しますか。次の中から2つ以内で選んでください。〔回答票9提示〕(2A)**  
**N=1,139**

1. クラシック音楽会	17.4%
2. ポピュラー音楽会	20.3%
3. 新劇・歌舞伎などの演劇	16.1%
4. 日本舞踊・バレエなどの舞踊	8.1%
5. 浪曲・落語・漫才などの大衆芸能	16.3%
6. 映画会	24.3%
7. 美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会	21.2%

8. 各種講座・講習会	21.8%
9. その他	8.1%
10. NA	6.8%

7. 区の事業への要望

Q 34. 現在、あなたが区に対して最も力を入れてほしいと思う事業はなんですか。次の中から、第1位、第2位、第3位と順をつけて**3つ以内**で選んでください。〔回答票 10 提示〕(3A)

N=1,139

	第1位	第2位	第3位	合計
1. 道路の整備（舗装，ガードレール，街路灯など）	7.1%	3.0%	3.2%	13.3%
2. 公園，児童遊園の整備・拡充	7.6	7.0	5.7	20.3
3. 緑化対策	8.3	8.2	6.1	22.7
4. 環境衛生（ゴミ収集，街の清掃など）	9.5	8.0	6.0	23.4
5. 学校教育施設の整備（幼稚園，小・中学校施設，校外施設など）	3.5	4.0	2.5	10.1
6. 区民のための施設の整備（公会堂，保養所，福祉会館など）	4.6	3.0	3.3	10.9
7. 老人福祉	8.7	5.5	5.5	19.8
8. 心身障害者（児）福祉	1.8	3.9	1.6	7.3
9. 低所得層や母子世帯福祉	2.3	3.6	2.5	8.3
10. 青少年の健全育成対策	1.8	3.2	2.7	7.6
11. 中小企業対策	1.8	2.2	3.2	7.3
12. 消費者保護対策	2.8	4.4	4.9	12.1
13. 震災対策	10.5	10.1	5.9	26.5
14. 水害対策	2.5	1.5	1.7	5.7
15. 公害対策	3.2	4.7	4.4	12.3
16. 区民の健康管理	0.8	1.9	2.9	5.6
17. 食品衛生	1.1	1.4	2.6	5.1
18. 社会教育・社会体育活動の推進	2.8	1.8	2.6	7.3
19. 幼児・児童の保育対策	1.9	1.5	1.8	5.3
20. 交通安全対策	2.7	4.2	5.0	11.9
21. 風紀の取り締まり	4.0	4.0	6.5	14.6
22. その他	0.6	0.2	0.3	1.1
23. 特にない	9.9	—	—	9.9

(注)「合計」は四捨五入の関係で、第1～第3位までの合計と一致しない場合がある。

この章では、区民と区政がどのように関わっているかを探るため、区政への関心の有無、区政に関する情報源、広報紙の到達状況、区長名の周知度、新宿文化センターの周知度、新宿文化センターの催し物についての希望、区の事業への要望などを聞いた。その結果、区政への関心の程度は《関心がある》が全体の5割で、関心は高いとはいえない。ここ数年の変化をみても、51年6割をピークに減小傾向にあるようだ。区の行事・お知らせを知る方法としては、新宿区広報が7割と圧倒的であった。他には、「区議会だより」、「新聞・テレビ・ラジオ」、「町会・自治会の会合や回覧板」などが、それぞれ1～2割程度である。広報紙の到達状況は「届いている」が約9割とかなり高い。広報紙の閲読状況は、「よく読む」(28.2%)と「ざっと読む」(48.1%)を合わせた《読む》が全体の4分の3を占めた。《読まない》は残り4分の1である。

区長名の知名度は、5割強であった。新宿文化センターの周知度は、約5割と前回建設中での周知度2割を大きく上回っているが、まだ高いとは言えない。新宿文化センターの催し物についての希望は「映画会」、「各種講座・講習会」、「美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会」、「ポピュラー音楽会」などが上位を占めた。区の事業への要望は、第1位～第3位までの比率を合計したもので比べると、「震災対策」、「環境衛生」、「緑化対策」、「公園・児童遊園の整備・拡充」などが上位を占めた。

## 《分 析》

### Ⅶ-1 区政への関心度

「非常に関心がある」が9.3%、「少しは関心がある」が40.7%と《関心がある》が50%を占めた。これに対して「あまり関心がない」が36.0%、「ほとんど関心がない」が11.2%と《関心がない》も《関心がある》とほぼ同じくらいの割合となっている(図7-1)。

地域別にみると 7-2 のとおりである。

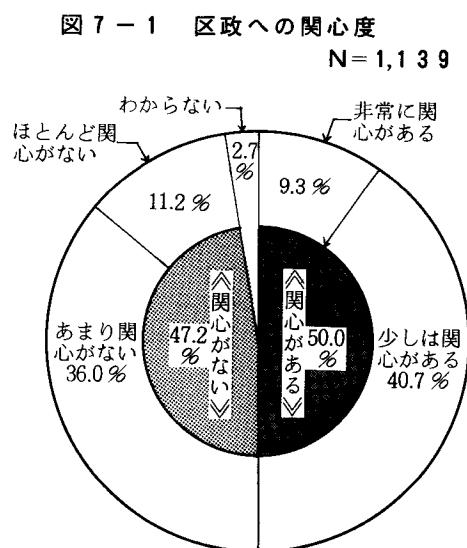




図 7 - 2 地域別の区政への関心の有無

N = 1,139

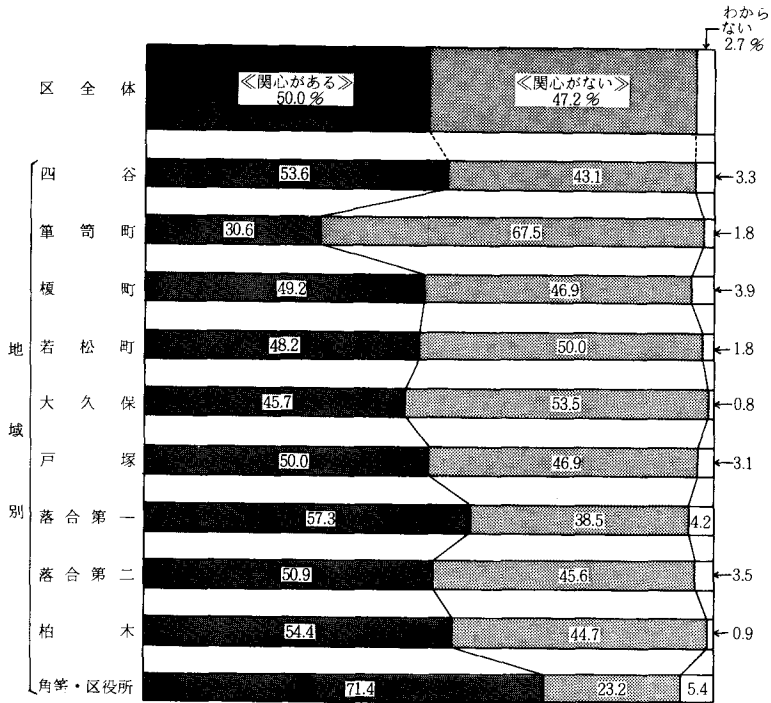
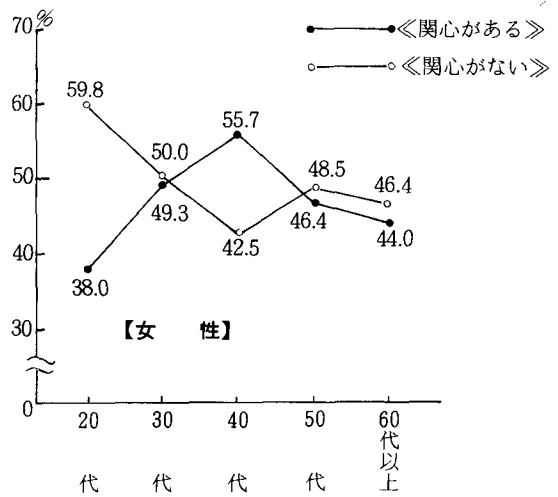
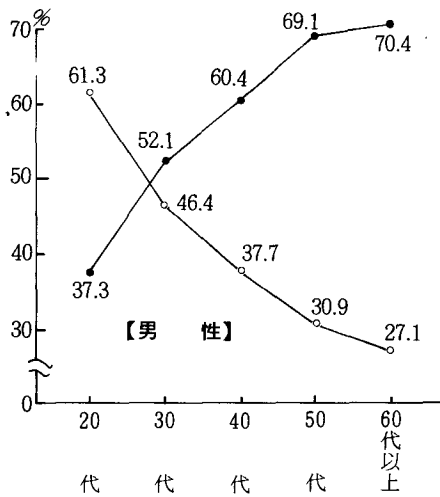


図 7 - 3 性年代別の区政への関心の有無

N = 1,139



性年代別では、男性の場合は年代が高くなるほど《関心がある》が増加し（20代37.3%→60代以上70.4%）、また《関心がない》は、逆の傾向（60代以上27.1%→20代61.3%）を示している。女性の場合は、20代から40代までは《関心がある》は増加するが、50代、60代以上と漸減する傾向にあるようだ。女性（46.2%）に比べ、男性（54.5%）の関心が高く、それも年代が高くなるほど増加するといえよう。また男女共20代の関心が他の年代に比べて特に低く、若者の政治への無関心の傾向が区政レベルでも顕著に表われているといえよう（図7-3）。

次に定住意思別では、《定住意思のある人》ほど《関心がある》が多く、逆に《転出意思のある人》ほど《関心がない》が多い（図7-4）。

なお、職業別では、《関心がある》は、自営業・事業主（62.9%）、管理職・自由業（56.1%）に多い。また《関心がない》は、労務職・サービス職（56.1%）や、学生（59.1%）に多い（相関表参照）。

また、49年調査時から今回調査までの区政への関心の有無の比較は図7-5のとおりである。

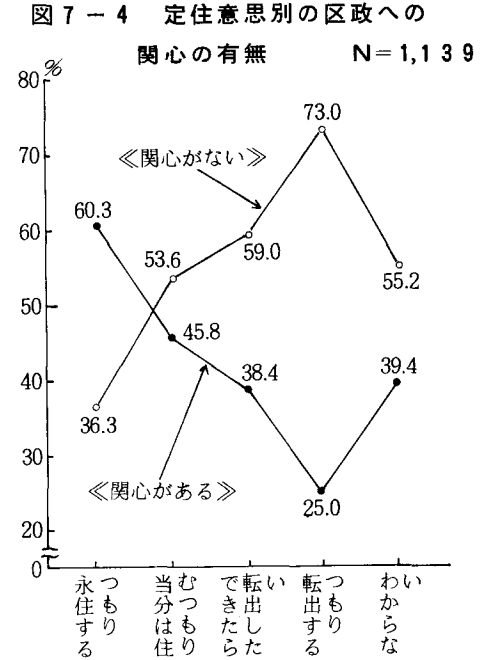
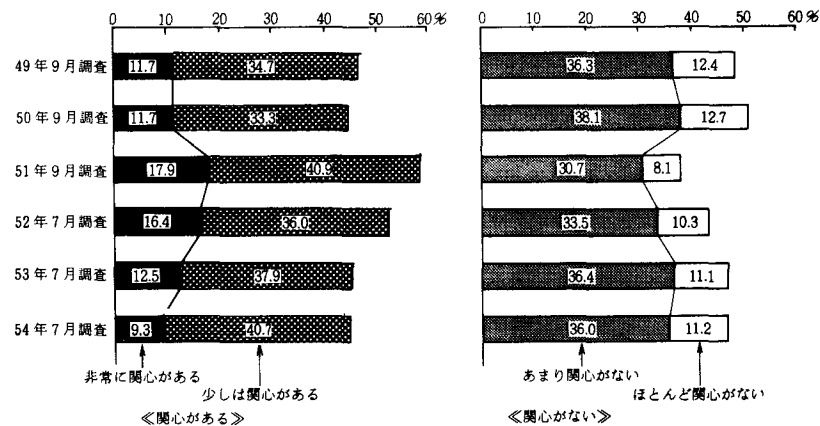


図7-5 区政への関心の有無——前回までの調査結果比較



## VII-2 区政に関する情報源

「新宿区広報」が72.6%と圧倒的に多かった。他には、「区議会だより」が19.5%、「新聞・テレビ・ラジオ」が15.2%、「町会・自治会の会合や回覧板」が15.0%、「わたしの便利帳・区勢要覧・パンフレット」が9.4%などである。また「関心がない」が11.2%であった（図7-6）。

性年代別でみると（図7-7）のとおりである。

〔新宿区広報〕（区全体72.6%）

男女共、年代が高くなるほど（男20代55.6%→男60代以上82.7%、女20代62.7%→50代86.1%→60代以上68.8%）多くなっており、特に男40代、50代、60代以上、女30代、40代、50代など男女共中高年層に多い。

〔区議会だより〕（区全体19.5%）

男50代（27.9%）、60代以上（24.7%）、女50代（24.8%）など男女の中高年層に多い。

〔新聞・テレビ・ラジオ〕（区全体15.2%）

男20代（22.2%）に特に多い。女性の20代も比率こそ17.6%ではあるが女性の他の年代に比べると最も多く、男女共、若年層に多いといえよう。

〔町会・自治会の会合や回覧板〕（区全体15.0%）

性年代別の男50代（19.1%）、女60代以上（19.2%）など中高年層に多い。

以上のように区の広報紙やお知らせなどは、中高年層によく利用されている。これに対し、テレビ・ラジオは若年層が多い。

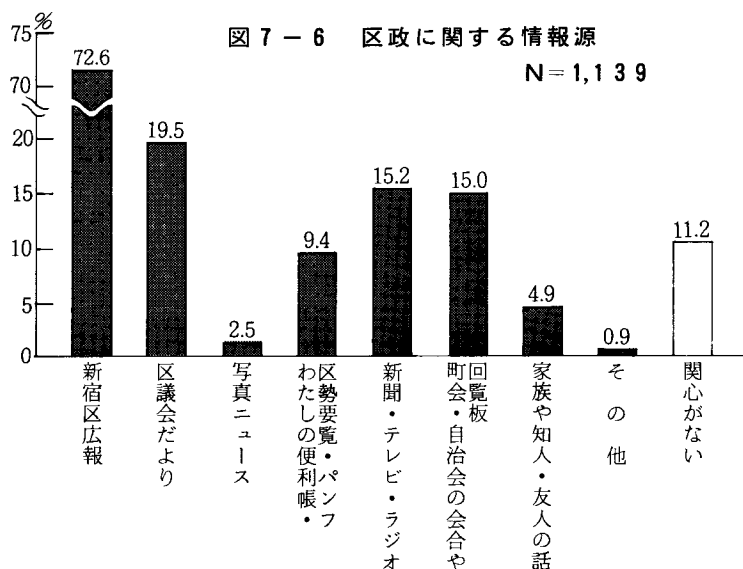
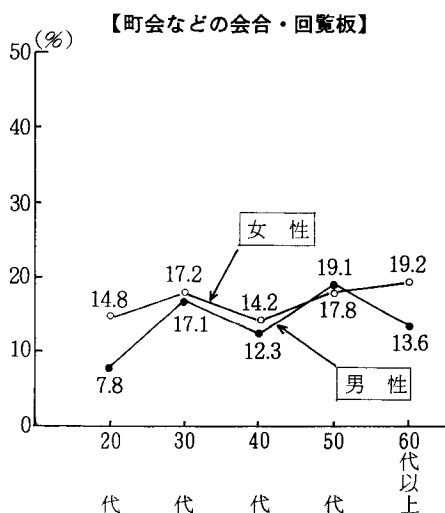
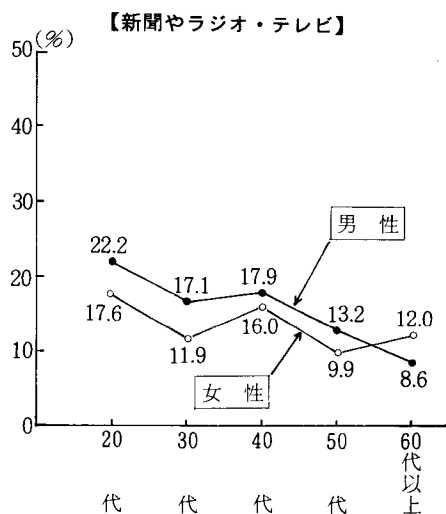
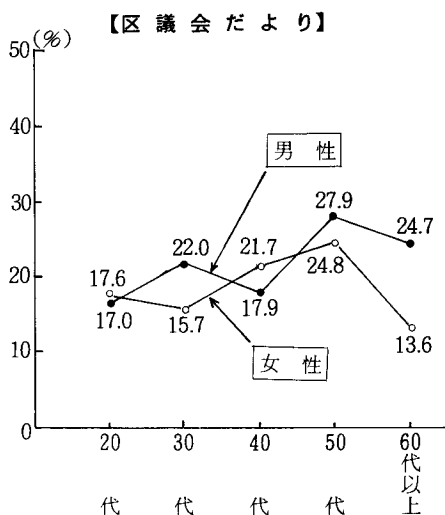
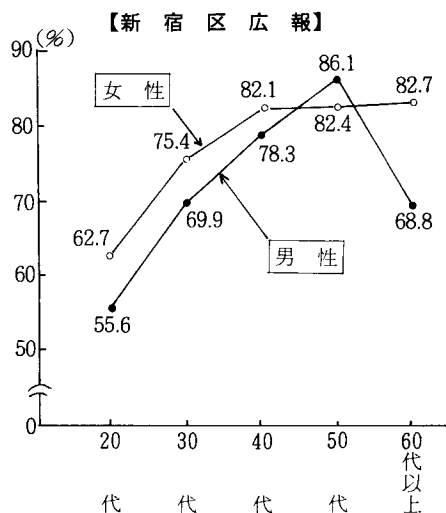


図 7-7 性年代別でみた各情報源（上位 4 位まで）

N=1,139



その他属性別に上位4項目について多いものを挙げると表7-1のとおりである。

次に、区政への関心と区政に関する情報源の関係をみると表7-2のとおりである。区政への関心が強い人ほど「新宿区広報」や「区議会だより」を利用していることが多い。

区政に関する情報源について前回までと比較すると、表7-3のとおりである。

表7-1 上位4項目の多い属性

N=1,139

	新宿区広報	区議会だより	新聞・テレビ・ラジオ	町会・自治会の会合 や回覧板
全体	72.6%	19.5%	15.2%	15.0%
地域別	筆筈町地域 (84.7%) 榎町地域 (78.1%) 落合第一地域 (79.2%) 落合第二地域 (88.6%) 角筈・区役所地域 (83.9%)	若松町地域 (31.8%) 落合第二地域 (28.9%) 大久保地域 (24.0%)	若松町地域 (23.6%) 落合第二地域 (19.3%)	角筈・区役所地域 (42.9%)
職業別	自営業・事業主 (81.4%) 管理職・自由業 (24.7%) 主婦 (81.0%)	自営業・事業主 (25.1%) 管理職・自由業 (24.7%)	—	主婦 (18.7%)
住居形態別	一戸建持家 (78.4%) 社宅・官舎 (82.8%)	—	寮・間借り・住込み (27.5%) 鉄筋アパート、マンション (19.9%)	—

表7-2 区政への関心と区政に関する情報源

N=1,139

	新宿区広報	区議会だより	写真ニュース	便区パツ利勢ント帳要フ・覧レ・	新レジ聞ビオ・・テラ	町治合板会会・・の回自会覧	家人の族・話・知友人	その他	関心がない
全体	72.6	19.5	2.5	9.4	15.2	15.0	4.9	0.9	11.2
非常に関心がある	85.8	34.0	2.8	10.4	15.1	13.2	3.8	2.8	0.9
少しは関心がある	85.3	23.3	1.5	10.3	16.4	19.0	6.0	0.4	1.7
あまり関心がない	63.2	17.3	2.9	10.0	16.1	12.7	4.4	0.2	16.3
ほとんど関心がない	53.9	4.7	3.9	5.5	10.2	11.7	3.1	2.3	28.9
わからない	38.7	3.2	3.2	0.0	6.5	6.5	6.5	3.2	45.2

表 7 - 3 区政に関する情報源——各年調査結果比較

(%)

情 報 源	50年 9 月	51年 9 月	53年 7 月	54年 6 月
新 宿 区 広 報	74.6	→ 77.8	→ 83.2	72.6
区 議 会 だ よ り	21.6	← 19.6	← 18.2	19.5
新 聞 や ラ ジ オ ・ テ レ ビ	26.5	← 20.8	← 15.4	← 15.2
町 会 ・ 自 治 会 などの 会 合 や 回 覧 板	18.2	25.2	14.1	15.0
わたしの便利帳，区勢要覧，パンフレットなど	16.0	16.3	← 11.0	← 9.4
知 人 ・ 友 人 ・ 家 族 の 話	9.0	9.4	← 6.8	← 4.9

Ⅶ－３ 「新宿区広報」の到達・閲読状況

「届いている」が87.8％、「届いていない」が4.2％、「わからない」が3.5％、また「6紙をとっていない」が3.4％であった（図7－8）。

「届いていない」の各属性別の特徴をみると、地域別では若松町地域（9.1％）、戸塚地域（9.2％）に多い。性年代別の男20代（12.4％）、職業別の学生（13.1％）、家族人数別の1人（15.4％）、居住形態別の民間木造アパート（10.1％）、寮・間借り・住込み（20.3％）、居住年数別の54年以降（13.3％）などに多い（**相関表参照**）。

「6紙をとっていない」は、性年代別の女20代（10.6％）や男20代（7.2％）、職業別の労務職、サービス職（10.3％）、学生（11.5％）、家族人数別の1人（11.5％）、居住形態別の寮・間借り・住込み（15.9％）、民間木造アパート（9.6％）、居住年数別の昭和51年～53年（9.4％）、54年以降（8.9％）などに多く「届いていない」の属性別の特徴とはほぼ同じ特徴を示している（**相関表参照**）。

また、前回までの調査結果と比較すると表7－4のとおりである。

(1) 閲読状況

「よく読む」が28.2％、「ざっと読む」が48.1％と《読む》が4分の3を占めた。これに対して「あまり読まない」が20.3％、「全く読まない」が2.8％と《読まない》は約4分の1である（図7－9）。

《読む》、《読まない》について、性年代別、職業別にみると以下のとおりである（図7－10、**相関表参照**）。

図7－8 新宿区広報の到達状況

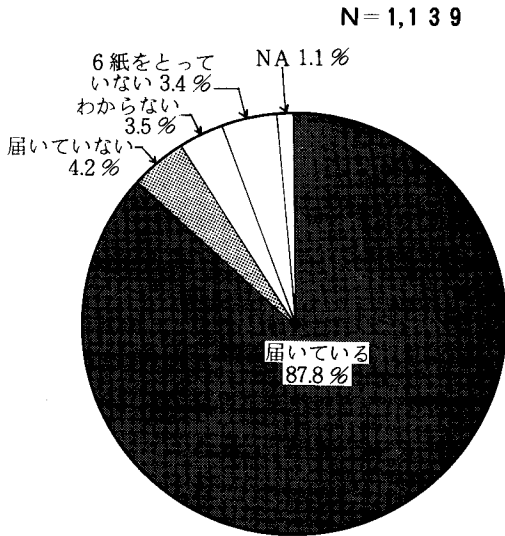


表7－4 到達状況——前回までとの比較

	届いている
今回調査	87.8%
53年7月の調査	90.9%
52年7月の調査	87.6%
51年9月の調査	89.2%
50年9月の調査	88.1%
49年9月の調査	86.9%
48年9月の調査	85.3%

◎《読む》（区全体 76.3 %）

性年代別の男40代（82.4 %），男60代以上（87.4 %），女30代（83.0 %），女40代（81.2 %）などどちらかというと，中高年，職業別の管理職・自由業（83.3 %），自営業・事業主（81.2 %）などの勤人，主婦（81.9 %）に多い。

◎《読まない》（区全体 23.1 %）

性年代別の男20代（43.9 %），男30代（27.1 %），女20代（26.6 %）など若年層，職業別の事務・技術職（28.6 %），労務職・サービス職（29.9 %），学生（28.2 %），無職（29.1 %）に多い。

定住意思別では，《定住意思がある人》ほど《読む》が多く（永住するつもり 82.3 % → 転出するつもり 61.1 %），《転出意思がある人》ほど《読まない》が多い（転出するつもり 38.9 % → 永住するつもり 16.8 %）（図 7 - 11）。

図 7 - 9 読 読 状 況

N = 1,139

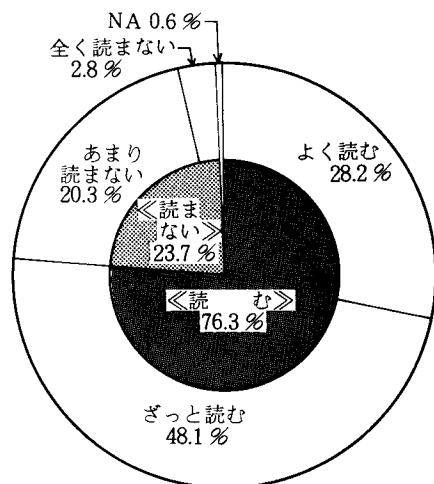


図 7 - 10 性年代別の読 読 状 況

N = 1,139

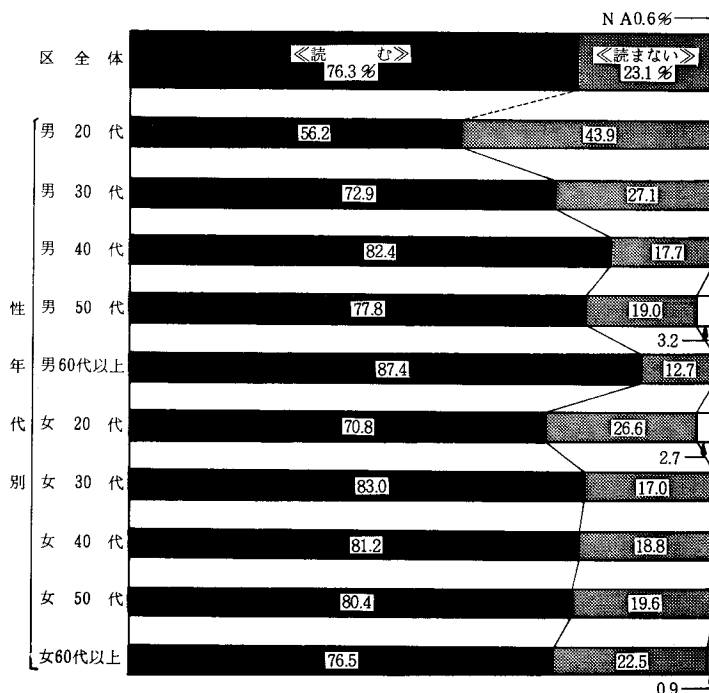




図 7-11 定住意思別の閱讀状況

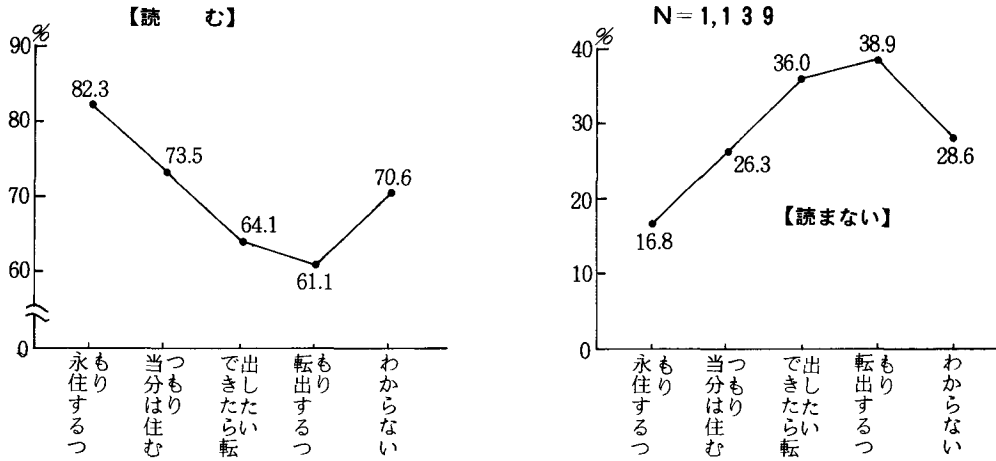


表 7-5 区政への関心と閱讀状況

N = 1,139

	よく読む	ざっと読む	あまり読まない	全く読まない	NA
全 体	28.2%	48.1%	20.3%	2.8%	0.6%
非常に関心がある	64.7	29.4	4.9	1.0	0.0
少しは関心がある	32.5	58.4	8.2	0.0	0.9
あまり関心がない	17.7	44.3	34.9	2.5	0.6
ほとんど関心がない	8.7	38.0	34.8	18.5	0.0
わ か ら な い	29.4	35.3	29.4	5.9	0.0

なお、区政への関心と閱讀状況との関係を 表 7-6 閱讀状況——前回までとの比較みると、非常に関心があるは「よく読む」の比率が目立って高く、少しは関心があるは、「ざっと読む」が高い。また、関心がない人ほど「あまり読まない」、「ほとんど読まない」の比率が高い（表 7-5）。

閱讀状況について前回までの調査と比較すると表 7-6 のとおりである。

(2) 広報紙に対する意見・要望

表 7-7 のとおりであり、サンプル数の少ないのは気になる。全体として好評であるが、さらに住民の意向をくみとって改善する必要がある。

	閲読率
今 回 調 査	76.3%
53年7月の調査	80.5%
52年7月の調査	81.8%
51年9月の調査	83.8%
50年9月の調査	83.3%
49年9月の調査	80.0%
48年9月の調査	79.2%

表 7 - 7 広報紙に対する意見・要望

《意 見》		◦ 各施設の紹介を	( 2 件 )
◦ よくできている	( 22 件 )	◦ 短歌・俳句などの掲載を	( 2 件 )
◦ いまのままでよい	( 7 件 )	◦ 配達方法の改善を	( 1 件 )
◦ 役に立っている	( 1 件 )	◦ 職業紹介欄の特集を	( 1 件 )
◦ よくわかって便利だ	( 1 件 )	◦ 区役所の利用方法の P R を	( 1 件 )
◦ 広報での役所のイメージと実際		◦ 医療関係記事の掲載を	( 1 件 )
が違う	( 1 件 )	◦ 婦人集会案内の掲載を	( 1 件 )
◦ 読みづらい	( 1 件 )	◦ もっとユニークに	( 1 件 )
《要 望》		◦ 区長のコメントをもっと載せて	( 1 件 )
◦ 紙面を大きく読みやすく	( 3 件 )	◦ 希望欄を設けて	( 1 件 )
◦ ページ数を増やして	( 3 件 )	◦ もっとわかりやすく	( 1 件 )
◦ 買い物情報の掲載を	( 3 件 )	《そ の 他》	
◦ もっと身近な話題を	( 2 件 )	◦ 特になし	( 54 件 )

Ⅶ－４ 区長名の周知度

現区長，山本克忠の名前を「知っている」  
（正答）が55.0％である（図7－12）。

性年代別の周知度をみると「知っている」  
は，男女共40代をピークに中高年層に多い。  
「知らない」については，男女共若年層に多  
い（図7－13）。

職業別では「知っている」は自営業・事業  
主（70.7％）に目立って多く，主婦（60.1％）  
にも多い。「知らない」は，事務職・技術職  
（47.0％），労務職・サービス職（50.5％），  
学生（63.9％）に多い（関連表参照）。

図7－12 区長名の周知度  
N=1,139

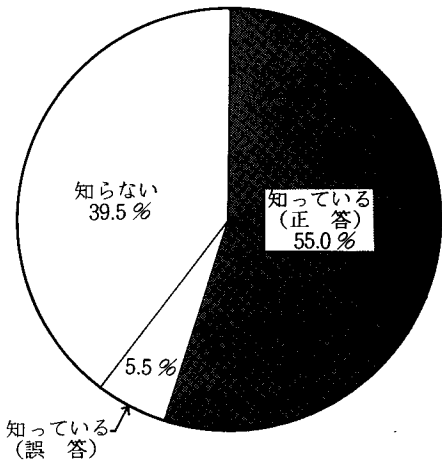
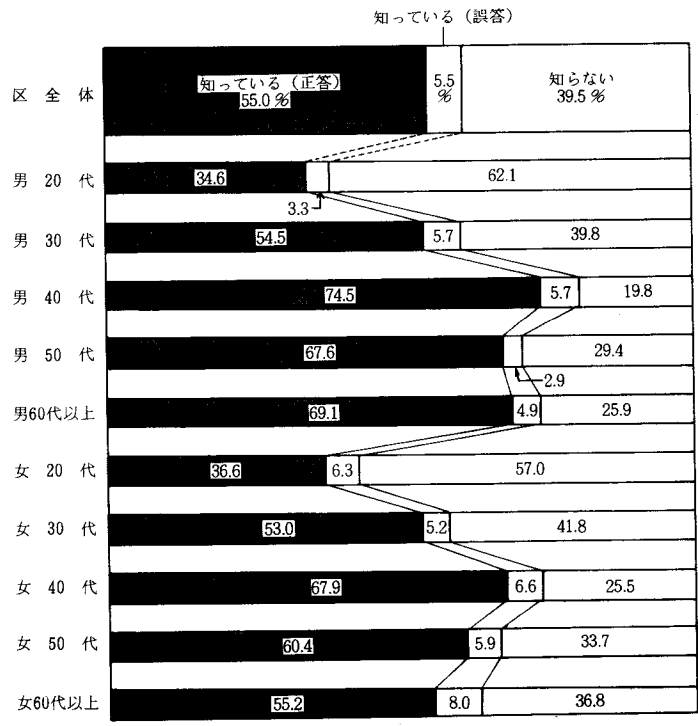


図7－13 性年代別の区長名の周知度  
N=1,139



区長名の周知度と区政への関心，定住意思別，閱讀状況との関係をみると表 7 - 8 ， 図 7 - 14 ， 表 7 - 9 のとおりである。

表 7 - 8 区政への関心と区長名の周知度

N = 1,139

	知っている（正）	知っている（誤）	知らない
全 体	55.0 %	5.5 %	39.5 %
非常に関心がある	78.3	0.9	20.8
少しは関心がある	67.7	5.4	26.9
あまり関心がない	42.9	7.1	50.0
ほとんど関心がない	32.0	6.3	61.7
わ か ら な い	38.7	0.0	61.3

図 7 - 14 定住意思別の区長名の周知度

N = 1,139

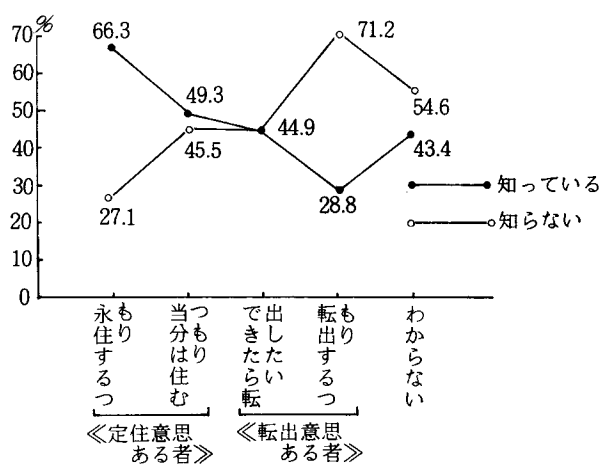


表 7 - 9 区長名の周知度と閱讀状況

N = 1,139

	よく読む	ざっと読む	あまり読まない	ほとんど読まない	NA
全 体	28.2 %	48.1 %	20.3 %	2.8 %	0.6 %
知っている（正）	33.8	51.2	12.3	2.0	0.7
知っている（誤）	18.2	47.3	32.7	1.8	0.0
知らない	20.6	43.2	31.5	4.2	0.6

VII-5 新宿文化センターの周知度

「知っている」が50.6%、「知らない」が49.4%である。前回53年調査時に当時、建設中であった同センターの周知度を尋ねた時は、「知っている」が21.5%、「知らない」が77.3%であった。当時に比べれば2倍以上の周知度となつてはいるが、それでも決して高い比率とはいえない（図7-15）。

性年代別では、図7-16のとおり「知っている」は、男40代（55.7%）、男50代（66.2%）、女40代（58.5%）、女50代（60.4%）と男女共中年層に多い。「知らない」は、男20代（58.8%）、男30代（56.1%）、女20代（55.6%）など男女の若年層と、女60代以上（54.4%）に多い。

図7-15 新宿文化センターの周知度——前回との比較

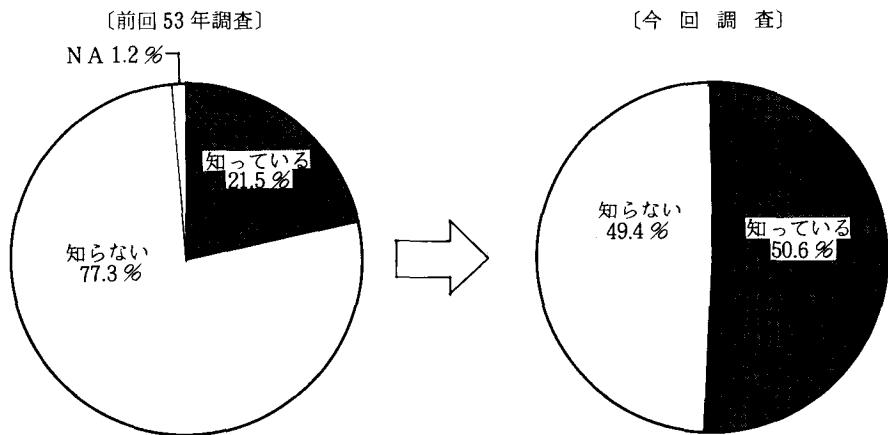
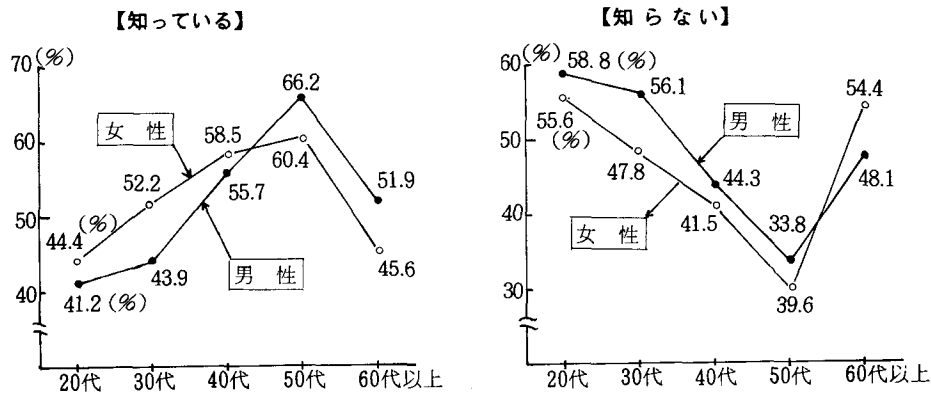


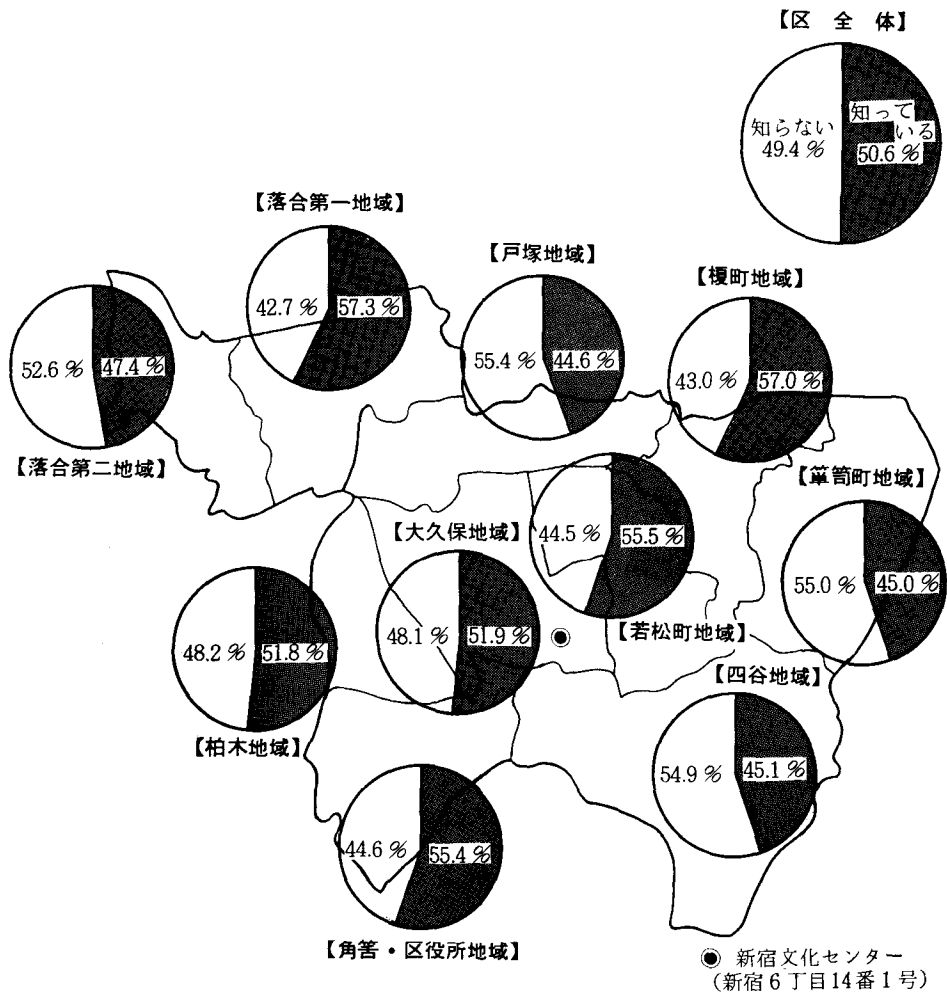
図7-16 性年代別の新宿文化センターの周知度  
N=1,139



地域別の周知度は図 7 - 17 のとおりである。

図 7 - 17 地域別の新宿文化センターの周知度

N = 1,139



## VII-6 新宿文化センターの催しものについての希望

「新宿文化センター」でどんな催し物を希望するかについては、「映画会」が24.3%と第1位を占めた。続いて「各種講座・講習会」が21.8%、「美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会」が21.2%、「ポピュラー音楽会」が20.3%、「クラシック音楽会」が17.4%、「浪曲・落語・漫才などの大衆芸能」が16.3%、「新劇・歌舞伎などの演劇」が16.1%などである（図7-18）。

各項目ごとに性年代別、職業別での特徴をみると図7-19、表7-10のとおりである。

### ◎映画会（区全体24.3% 第1位）

男女の若年層や学生に特に多く、事務職・技術職、労務職・サービス職にも多い。

### ◎各種講座・講習会（区全体21.8% 第2位）

映画会に比べ、やや中年層に多く、事務・技術職に多い。

### ◎美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会（区全体21.2% 第3位）

男女の中老年層や無職、自営業・事業主、管理職・自由業に多い。

### ◎ポピュラー音楽会（区全体20.3% 第4位）

男女の若年層や学生、事務・技術職に多い。

### ◎クラシック音楽会（区全体17.4% 第5位）

男女の若年層、女性の中年層、学生に多い。

### ◎浪曲・落語・漫才などの大衆芸能（区全体16.3% 第6位）

男女の中老年層、無職、管理職・自由業、自営業・事業主、労務職・サービス職に多い。

### ◎新劇・歌舞伎などの演劇（区全体16.1% 第7位）

女性の中老年層および主婦に多い。

図7-18 新宿文化センターの催しものについての希望

N=1,139

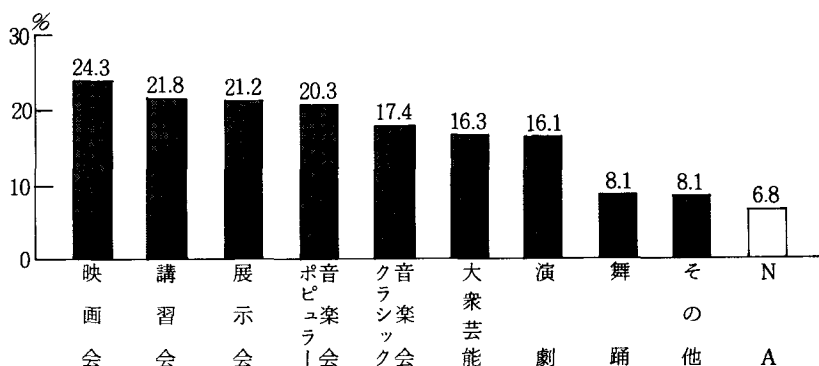


図 7-19 性年代別の新宿文化センターの催しものについての希望

N=1,139

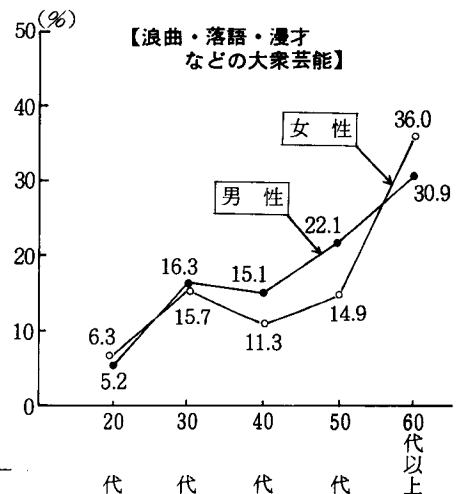
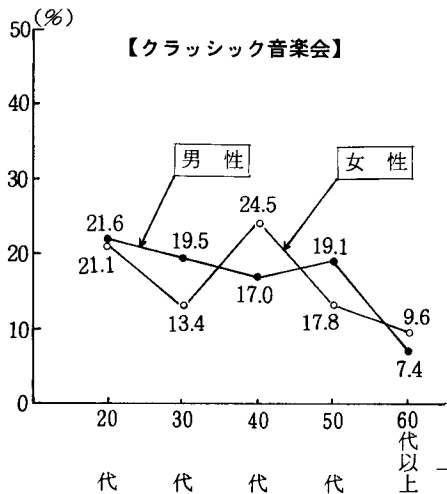
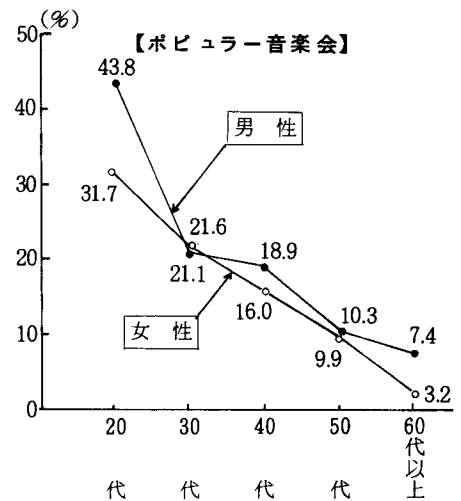
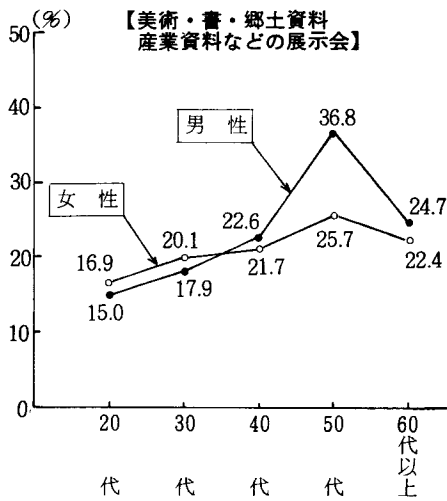
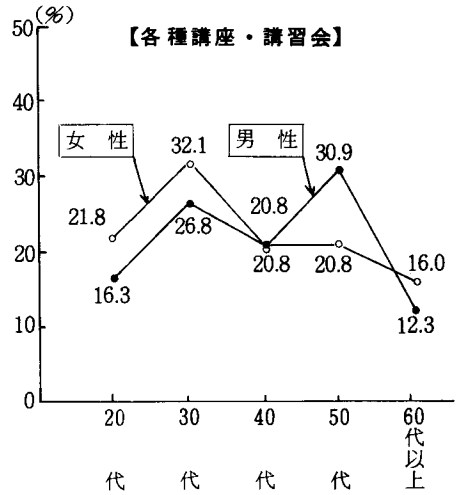
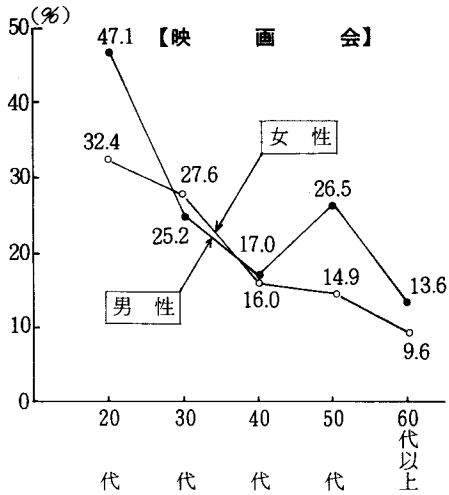




表 7-10 職業別の新宿文化センターの催しものについての希望

N=1,139

	映画会	各種講座・講習会	美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会	ポピュラー音楽会	クラシック音楽会	浪曲・落語・漫才などの大衆芸能	新劇・歌舞伎などの演劇
区全体	24.3%	21.8%	21.2%	20.3%	17.4%	16.3%	16.1%
職業別	学生 (45.9%) 事務職・技術職 (29.1%) 労務職・サービス職 (29.0%)	事務職・技術職 (25.2%)	無職 (26.5%) 自営業・事業主 (25.7%) 管理職・自由業 (24.7%)	事務職・技術職 (29.1%) 学生 (49.2%)	学生 (34.4%)	無職 (25.6%) 管理職・自由業 (22.5%) 自営業・事業主 (20.4%) 労務職・サービス職 (20.6%)	主婦 (24.6%)

なお、前回調査の結果と比較したのが、表 7-11 である。昨年は第 3 位であった映画会が 1 位となった。

表 7-11 新宿文化センターの催しものへの希望  
前回調査結果比較

【 53 年 調 査 】		【 今 回 調 査 】	
第 1 位	各 種 講 座 ・ 講 習 会 35.6%	映 画 会 24.3%	映 画 会 24.3%
第 2 位	美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会 29.5%	各 種 講 座 ・ 講 習 会 21.8%	各 種 講 座 ・ 講 習 会 21.8%
第 3 位	映 画 会 26.0%	美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会 21.2%	美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会 21.2%
第 4 位	浪曲・落語・漫才などの大衆芸能 18.0%	ク ラ シ ッ ク 音 楽 会 17.4%	ク ラ シ ッ ク 音 楽 会 17.4%
第 5 位	ク ラ シ ッ ク 音 楽 会 17.4%	浪曲・落語・漫才などの大衆芸能 16.3%	浪曲・落語・漫才などの大衆芸能 16.3%
第 6 位	新 劇 ・ 歌 舞 伎 な の 演 劇 16.0%	新 劇 ・ 歌 舞 伎 な の 演 劇 16.1%	新 劇 ・ 歌 舞 伎 な の 演 劇 16.1%

## VII-7 区の事業への要望

区に対して力を入れて欲しいと思う事業を第1位から第3位まで順位をつけて3つ選んでもらったところ、第1位、第2位、第3位の合計比率が最も高かったのは「震災対策」の26.5%である。ついで、「環境衛生」が23.4%、「緑化対策」が22.7%、「公園・児童遊園の整備・拡充」が20.3%の順で、この上位4項目が20%を越える要望度であった。以下、10%台のものとしては、「老人福祉」が19.8%、「風紀の取り締まり」が14.6%、「道路の整備」が13.3%、「公害対策」が12.3%、「消費者保護対策」が12.1%、「交通安全対策」が11.9%、「区民のための施設の整備」が10.9%、「学校教育施設の整備」が10.1%などである。

以上の結果はあくまでも第1位から第3位までの比率を単純に合計したものであって、合計比率が高くても、そのうちの第1位の比率が低ければその要望はあまり強いとはいえないし、逆に合計比率があまり高くなくても、第1位としての比率が高ければ、その要望は強いといえよう。そこで、合計比率とは別に、以下の式を用いて点数化したのが図7-20である。

$$\star \text{ 要望の強さ(点数)} = \text{第1位の比率} \times 3 \text{ 点} + \text{第2位の比率} \times 2 \text{ 点} + \text{第3位の比率} \times 1 \text{ 点}$$

要望の強さを点数化した場合、合計比率の順位とは若干異なってくる。「震災対策」は合計比率でも第1位であるが、点数化した場合、特にその要望の強さが目立っている。また合計比率で第5位の「老人福祉」は要望の強さでは第4位に、第7位の「道路の整備」は第6位となっており、第11位の「区民のための施設の整備」も第10となっている。また第17位の「社会教育・社会体育活動の推進」も第9位となっており、合計比率の割には要望度は高いといえよう。

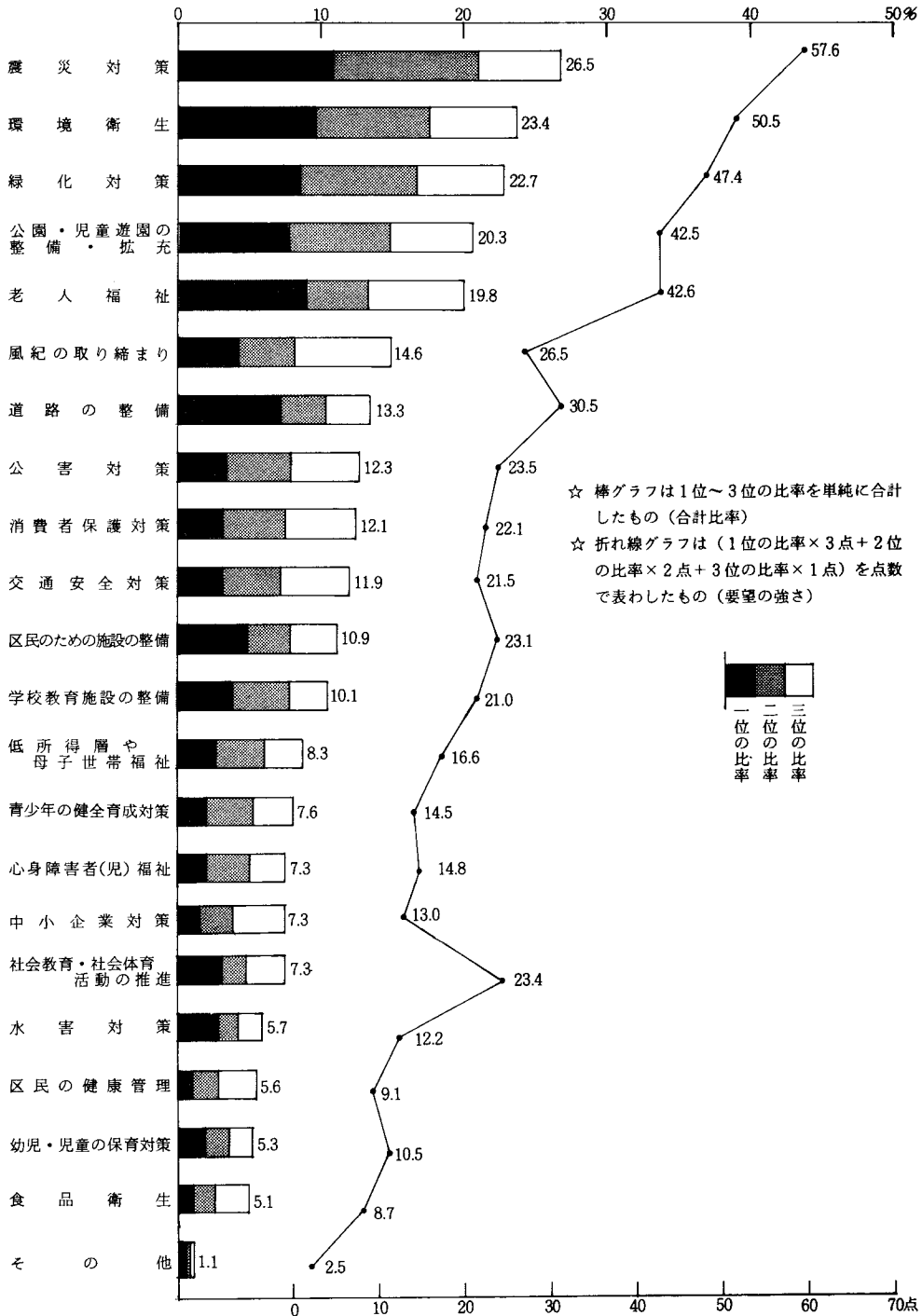
区事業の中には、「震災対策」などのように急務なものや、「緑化対策」、「道路の整備」などのように長期的な展望の中で改善していく必要があるものなどがあるが、上記の結果は、その選択のひとつの目安となるものと考えられよう。

10%以上のものについて、全体の中での位置、各属性との関係を中心に、その事業を強く望んでいる階層についてまとめてみると、次のとおりである。なお、地域別、性年代別、職業別、ライフステージ別でみた上位5位までの要望は、表7-12、表7-13のとおりである。

【震災対策】（合計比率26.5% 第1位）

落今第二地域の42.1%、男50代の38.2%、学生の34.4%、家族成長期（C）の

図 7 - 20 事業への要望の合計比率と要望の強さ



33.6%などの比率が目立って高くなっている。地域や職業の違いを超えて広い層で切実な問題として要望されているといえよう。

**【環境衛生】**（合計比率23.4% 第2位）

女40代の33.0%，家族成長期で第1位のほかは，地域別や職業別では第2位が多い。第1位には，ほとんどあげられていないのに合計比率で第2位となっているのは，第1位の「震災対策」ほど急務ではないが，各層に平均して要望している人が多いためといえよう。

**【緑化対策】**（合計比率22.7% 第3位）

筆筈町地域の35.1%，若松町地域の30.9%などの比率が目立っている。男女の若年層に強く要望されているといえよう。

**【公園・児童遊園の整備・拡充】**（合計比率20.3% 第4位）

大久保地域の27.1%，女30代の29.9%，労務・サービス業の28.0%，家族成長期(A)の33.6%，民間木造アパートの27.7%，社宅・官舎の29.3%などの比率の高さが目立っている。特に女性の若年層などでの要望が強い。

**【老人福祉】**（合計比率19.8% 第5位）

筆筈町地域，男60代以上，女50代，女60代以上，無職，老年期(A)，(B)，(C)で第1位となっている。女60代以上の40.0%，老年期(C)の47.2%を始め，第1位に挙げている各層では30.0%を越える高率となっている。男女の高年層にとっては切実な問題であり，要望している層の特徴がはっきりと現われている。

**【風紀の取り締まり】**（合計比率14.6% 第6位）

角筈・区役所地域で第1位に挙げられているほか，大久保地域の22.5%が目立つ。繁華街地域での要望が高いのは当然であろう。

**【道路の整備】**（合計比率13.3% 第7位）

落合第二地域，柏木地域での要望が高い。

**【公害対策】**（合計比率12.3% 第8位）

筆筈町地域で第5位（21.6%）となっているほか，男50代で第4位，男40代で第5位と中年層での要望が高い。

**【消費者保護対策】**（合計比率12.1% 第9位）

落合第二地域で第3位となっているほか，若松地域の第4位が特に高くなっている。

**【交通安全対策】**（合計比率11.9% 第10位）

落合第二地域で第5位（18.8%），男30代で第4位，老年期(A)で第5位となっている。

**【区民のための施設の整備】**（合計比率 10.9% 第 11 位）

男 20 代及び婚前期でそれぞれ第 5 位となっている。若年層での要望といえよう。

**【学校教育施設の整備】**（合計比率 10.1% 第 12 位）

榎町地域で第 5 位，女 30 代，家庭成長期(B)で第 3 位になっており，小・中学生を持つ年代層での要望といえよう。

次に，区の事業に対する要望をこれまでの区政世論調査と比較して，要望度の推移を追ってみると（図 7－21）のとおりである。

なお，昨年まで「社会福祉対策」として扱われた項目は今回調査では「老人福祉」，「低所得層や母子福祉」，「心身障害者福祉」の 3 項目，「防災対策」は「震災対策」，「水害対策」の 2 項目，「社会教育活動の推進」は「社会教育・社会体育活動の推進」と変わっている。また新しい項目として「風紀の取り締まり」，「幼児・児童の保育対策」が加わった。

表 7 - 12 地域別、性年代別でみた区事業に対する上位 5 位の要望（合計比率）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体		震 災 対 策 26.5%	環 境 衛 生 23.4%	緑 化 対 策 22.7%	公園・児童遊園 の整備・拡充 20.3	老人福祉対策 19.8%
地 域 別	四 谷	震 災 対 策 28.8	環 境 衛 生 26.1	老人福祉対策 20.3	消費者保護対策 17.0	緑 化 対 策 16.3
	筆 筈 町	緑 化 対 策、老人福祉対策 35.1	環 境 衛 生	29.7	震 災 対 策 27.9	公 害 対 策 21.6
	榎 町	震 災 対 策 30.5	公園・児童遊園の整備・拡充、緑化対策、環境衛生			学校教育施設の 整備 18.0
	若 松 町	緑 化 対 策 30.9	環 境 衛 生 29.1	震 災 対 策 27.3	消費者保護対策 22.7	老人福祉対策 19.1
	大 久 保	緑 化 対 策 29.5	公園・児童遊園 の整備・拡充 27.1	風紀の取締まり 22.5	老人福祉対策 20.9	環境衛生、震災 対策 19.4
	戸 塚	公園・児童遊園の整備・拡充、震 災対策 26.9		緑 化 対 策、環 境 衛 生 26.2		老人福祉対策 22.3
	落 合 第 一	公園・児童遊園 の整備・拡充 25.0	環 境 衛 生 22.9	震 災 対 策 20.8	老人福祉対策 19.8	交通安全対策 18.8
	落 合 第 二	震 災 対 策 42.1	環 境 衛 生 23.7	道路整備、消費者保護対策 18.4		低所得層や母子 世帯福祉 16.7
	柏 木	公園・児童遊園の整備・拡充、震 災対策 24.1		緑 化 対 策 21.4	道路整備、風紀の取締まり 18.8	
性 年 代 別	角 筈・区役所	風紀の取締まり 17.9	公園・児童遊園の整備・拡充、老 人福祉対策 16.1		環境衛生、社会教育、社会体育 活動の推進 14.3	
	男 20 代	緑 化 対 策 29.4	震 災 対 策 27.5	公園・児童遊園 の整備・拡充 25.5	環 境 衛 生 21.6	区民のための施 設の整備 18.3
	男 30 代	緑 化 対 策 23.6	公園・児童遊園 の整備・拡充 22.8	震 災 対 策 19.5	環 境 衛 生、交通安全対策 16.3	
	男 40 代	震 災 対 策 22.6	公園・児童遊園 の整備・拡充 21.7	緑 化 対 策 20.8	環 境 衛 生 19.8	道路整備、公害 対策 15.1
	男 50 代	震 災 対 策 38.2	緑 化 対 策、環 境 衛 生 26.5		老人福祉対策、公害対策 20.6	
	男 60 代以上	老人福祉対策 33.3	震 災 対 策 27.2	環 境 衛 生 24.7	緑 化 対 策 19.8	道 路 整 備 18.5
	女 20 代	公園・児童遊園 の整備・拡充 26.1	環 境 衛 生 25.4	緑 化 対 策 24.6	震 災 対 策 23.9	風紀の取締まり 16.2
	女 30 代	震 災 対 策 31.3	公園・児童遊園 の整備・拡充 29.9	緑 化 対 策、学校教育施設の 整備 20.1		老人福祉対策 17.9
	女 40 代	環 境 衛 生 33.0	震 災 対 策 23.6	道路の整備、緑化対策、風紀の取締まり 17.9		
	女 50 代	老人福祉対策 30.7	震 災 対 策 26.7	環 境 衛 生 25.7	緑 化 対 策 21.8	消費者保護対策 15.8
	女 60 代以上	老人福祉対策 40.0	震 災 対 策 28.8	環 境 衛 生 25.6	緑 化 対 策 20.0	風紀の取締まり 16.0

注：上表は、上位 5 位までの事業をまとめたものである。5 位以下のものについては、巻末の相関表参照のこと。

表 7 - 13 職業別、ライフステージ別でみた区事業に対する上位 5 位の要望(合計比率)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
職業別	自営業・事業主	震災対策 26.3	環境衛生 23.4	道路整備、公園・児童遊園の整備・拡充 18.6	公園・児童遊園	老人福祉対策 18.0
	管理職・自由業	震災対策 28.1	緑化対策、環境衛生 27.0	老人福祉対策	老人福祉対策	風紀の取り締まり 16.9
	事務・技術職	震災対策 25.2	公園・児童遊園の整備・拡充、環境整備 23.2	緑化対策 22.8	緑化対策	風紀の取り締まり 15.2
	労務・サービス職	公園・児童遊園の整備・拡充 28.0	緑化対策 24.3	震災対策 23.4	環境整備 21.5	老人福祉対策 18.7
	主婦	震災対策 28.7	環境整備 24.3	緑化対策 21.6	公園・児童遊園の整備・拡充 18.7	老人福祉対策 17.9
	学生	震災対策 34.4	緑化対策 32.8	公園・児童遊園の整備・拡充、環境衛生 23.0	公園・児童遊園の整備・拡充 21.4	道路整備 19.7
	無職	老人福祉対策 44.1	環境衛生 23.9	震災対策 22.2	公園・児童遊園の整備・拡充 21.4	緑化対策 18.8
ライフステージ別	婚前期	緑化対策 27.5	震災対策 24.7	環境整備 23.7	公園・児童遊園の整備・拡充 23.1	区民のための施設の整備 16.1
	家族形成期	環境衛生 24.6	公園・児童遊園の整備・拡充 23.2	緑化対策 21.7	老人福祉対策、低所得層や母子世帯福祉 17.4	環境整備
	家族成長期(A)	公園・児童遊園の整備・拡充 33.6	震災対策 25.2	緑化対策 21.5	老人福祉対策 18.7	環境整備 16.8
	家族成長期(B)	震災対策 26.5	公園・児童遊園の整備・拡充 25.9	学校教育施設の整備 23.5	緑化対策 21.8	環境衛生 17.6
	家族成長期(C)	震災対策 33.6	環境衛生 28.7	緑化対策 24.8	道路整備 20.4	老人福祉対策 15.0
	家族成熟期	震災対策 31.7	環境衛生 28.3	老人福祉対策 23.3	風紀の取締まり 17.5	緑化対策 16.7
	老年期(A)	老人福祉対策 34.2	環境衛生 31.6	震災対策 30.3	公園・児童遊園の整備・拡充、緑化対策 19.7	緑化対策
	老年期(B)	老人福祉対策 34.4	環境衛生、震災対策 21.3	緑化対策 18.0	道路整備	道路整備 14.8
	老年期(C)	老人福祉対策 47.2	環境衛生 27.8	緑化対策 25.0	震災対策 19.4	公園・児童遊園の整備・拡充 16.7

●震災対策

昨年までは「防災対策」として順位では、8 位（48 年）→3 位（49 年）→8 位→（50 年）→1 位（51 年）→5 位（52 年）→1 位（53 年）となっており、比率の面では 17.2%→25.1%→19.8%→32.3%→20.7%→32.6%となっていた。今回調査では、これを「震災対策」と「水害対策」とに分けて聞いた。「震災対策」は 26.5

％と第1を占め、近年頻ぱんに発生する地震に対する不安感から早急な対策が強く望まれている事がわかる。なお「水害対策」の方は5.7％と18位であった。

#### ●環境衛生

6位→9位→3位→5位→2位→2位→2位，22.6％→16.3％→27.2％→23.9％→25.8％→32.0％→23.4％と比率の変動はあるが、ここ数年2位の座を占め、高い要望となっている。

#### ●緑化対策

4位→4位→6位→4位→3位→4位→3位と推移し、比率でも27.1％→23.5％→20.6％→25.0％→25.2％→24.4％→22.7％と50年時にやや下がったものの変化は少なく、一定した強さの要望となっている。

#### ●公園・児童遊園の整備拡充

2位→6位→5位→6位→5位→6位→4位，25.0％→17.1％→20.4％→18.2％→19.9％→22.8％→20.3％と推移しているが、49年以降5，6位と一定していた順位が4位へと上昇し、最近の区民の公園・児童遊園への要望の高さを示している。

#### ●道路の整備

5位→8位→7位→8位→7位→5位→7位，25.0％→17.1％→20.4％→18.2％→19.9％→22.8％→13.3％で、49年～52年の間、順位、比率とも下降し、昨年再び上昇したが、今回はまた10位近く下降している。

#### ●公害対策

1位→2位→2位→3位→8位→7位→8位と下位になってきており、比率でも29.2％→27.1％→27.5％→25.7％→16.6％→17.6％→12.3％と50年前後に比べ著しく要望度が低くなっている。

#### ●消費者保護対策

9位→7位→15位→14位→15位→12位→9位，比率も16.9％→17.7％→9.6％→9.5％→9.4％→8.5％→12.1％と50年以降下位にあったが、今回調査では、かなり要望度がアップしている。

#### ●交通安全対策

7位→5位→4位→7位→8位→10位と変化し、比率も18.4％→23.0％→23.8％→21.8％→20.9％→17.6％→11.9％とかなり要望度が低くなっている。

#### ●区民のための施設の整備

10位→10位→13位→10位→8位→9位→11位と10位前後で安定しているが、



比率では 1 3.4 % → 1 3.2 % → 1 1.1 % → 1 2.1 % → 1 6.6 % → 1 5.2 % → 1 0.9 % とやや下降気味である。

#### ●学校教育施設の整備

1 3 位 → 1 1 位 → 1 0 位 → 1 1 位 → 1 1 位 → 1 0 位 → 1 2 位，比率で 1 0.5 % → 1 2.6 % → 1 5.5 % → 1 1.7 % → 1 4.1 % → 1 4.4 % → 1 0.1 % と変化は少ない。

#### ●青少年の健全育成対策

1 2 位 → 1 2 位 → 1 1 位 → 1 2 位 → 1 2 位 → 1 1 位 → 1 4 位，1 0.7 % → 1 0.7 % → 1 3.1 % → 1 1.5 % → 1 3.9 % → 1 3.1 % → 7.6 % と要望度は低くなっている。

#### ●中小企業対策

1 5 位 → 1 3 位 → 1 4 位 → 1 5 位 → 1 3 位 → 1 4 位 → 1 6 位と下位にあり，比率も 8.7 % → 1 0.2 % → 1 0.3 % → 7.3 % → 1 1.1 % → 7.0 % → 7.3 % と低い。

#### ●区民の健康管理

1 0 位 → 1 4 位 → 1 2 位 → 1 3 位 → 1 0 位 → 1 3 位 → 1 9 位とやや変動が激しく，比率でも 1 3.4 % → 7.3 % → 1 1.2 % → 1 0.3 % → 1 6.4 % → 8.2 % → 5.6 % と最高時の 3 分の 1 に減少している。

#### ●食品衛生

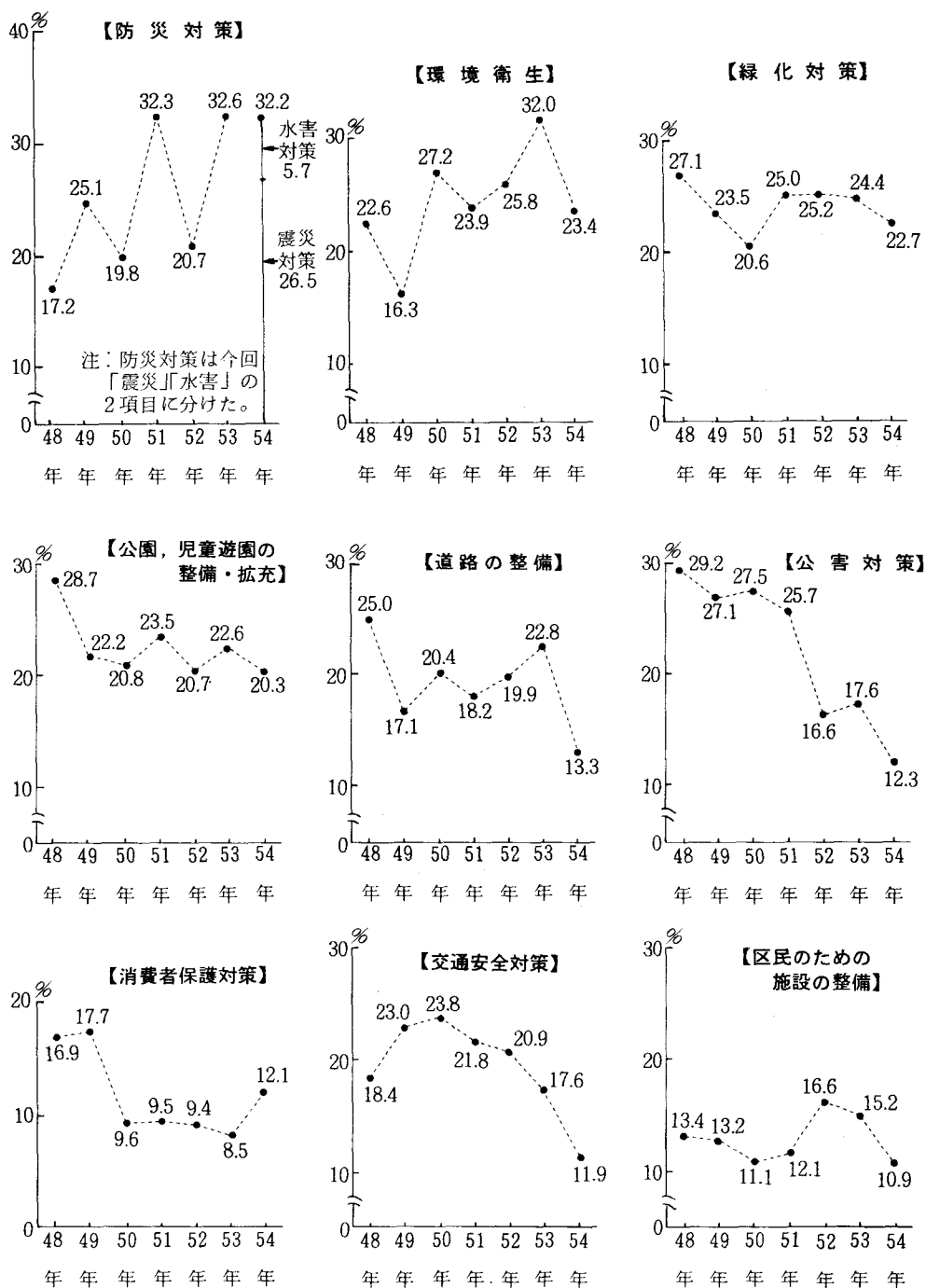
4 8 年，4 9 年の調査項目にはないが，9 位（5 0 年）→ 9 位（5 1 年）→ 1 4 位（5 2 年）→ 1 5 位（5 3 年）→ 2 1 位（5 4 年）となっている。比率でも 8.9 % → 5.2 % → 4.6 % → 4.0 % → 5.3 % → 4.8 % → 5.1 % と変化は少なく，要望としては低い。

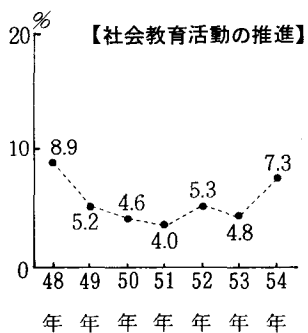
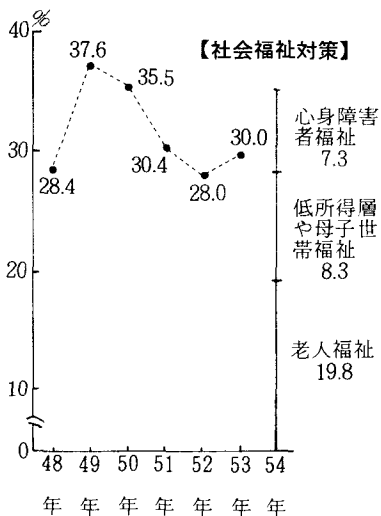
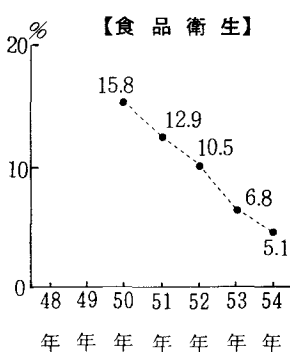
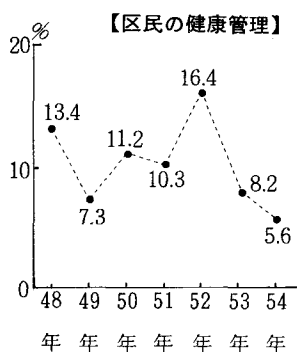
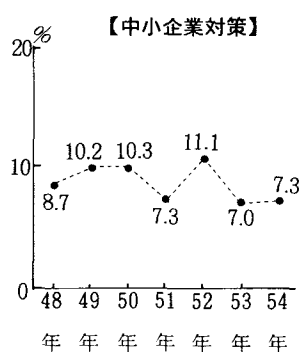
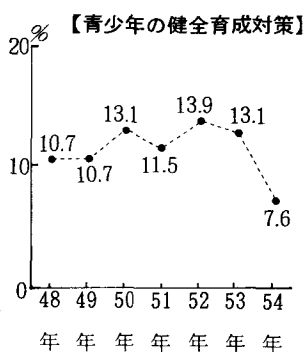
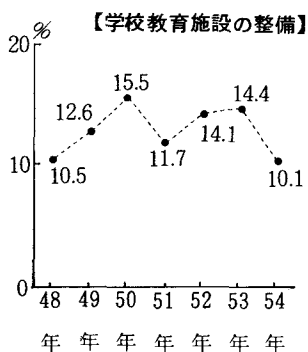
また，昨年まで「社会福祉対策」として扱われた項目は今回調査では「老人福祉」，「低所得層や母子世帯福祉」，「心身障害者（児）福祉」の 3 項目に分けて質問し，「老人福祉」が第 5 位，1 9.8 %，「低所得層や母子世帯福祉」が 1 3 位，8.3 %，「心身障害者（児）福祉」が 1 5 位，7.3 % で合計 3 5.4 % を占め，「社会福祉」に対する要望は強いといえる。「社会教育活動の推進」は今回は「社会体育」も含み，昨年 4.8 % から 7.3 % となった。

新しい項目の「風紀の取り締まり」が第 6 位で 1 4.6 %，「幼児・児童の保育対策」が 2 0 位で 5.3 % である。

図 7 - 21 区の事業への要望——前回までの調査結果比較

※今回は前回までに比べ項目数が増えているため、各項目ごとの比率は小さくなっている。





注：48年、49年は「食品衛生」の項目はない。

注：今回の社会福祉に関する項目は「老人福祉」、「低所得層や母子世帯福祉」、「心身障害者福祉」の3項目に分けられた。

注：今回の社会教育活動に関する項目は「社会体育活動」も含んでいる。

# 相 関 表

---

## 【相関表を見る上での注意】

---

- (1) 「N」は基数で、その設問の回答者数の実数を表わす。
  - (2) 「N」以外の数字はすべて百分比(%)である。
  - (3) 百分比(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため合計比率が100%にならない場合もある。
  - (4) また複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を越える。
  - (5) 「NA」は無回答者の比率を示す。
-

### 【ライフ・ステージ】

---

- \* 婚前期 ..... 結婚前の独身者
  - \* 家族形成期 ..... 子どもがいない若夫婦  
の夫あるいは妻
  - \* 家族成長期(A) ..... 結婚し乳・幼児  
がいる親
  - \* 家族成長期(B) ..... 小・中学生がいる親
  - \* 家族成長期(C) ..... 高校・大学生がいる親
  - \* 家族成熟期 ..... 学校教育を終えた  
独身の子どもがいる親
  - \* 老年期(A) ..... 子どもが結婚して  
一緒に住んでいる親
  - \* 老年期(B) ..... 子どもが独立して  
2人だけになった親
  - \* 老年期(C) ..... 子どもが独立して  
1人だけになった親
-

Q 1. あなたが今の所に住むようになったのは、いつ頃から  
ですか。( 1 A )

回答項目 フェース	N	戦前 から	終戦 ～ 昭和 30 年	昭和 31 年 ～ 40 年	昭和 41 年 ～ 45 年	昭和 46 年 ～ 50 年	昭和 51 年 ～ 53 年	54 年 以降
総 数	1139	8.5	23.4	14.2	11.2	17.2	21.5	4.0
地 域 別								
四 角 町	153	11.1	28.8	11.1	12.4	15.0	17.6	3.9
草 薊 町	111	5.4	27.0	12.6	7.2	14.4	26.1	7.2
榎 松 町	128	7.0	27.3	17.2	14.8	10.2	20.3	3.1
若 久 町	110	2.7	16.4	9.1	15.5	32.7	19.1	4.5
大 戸 保	129	7.0	17.8	15.5	10.9	23.3	23.3	2.3
落 合 第 一	130	13.4	23.1	16.2	11.5	10.0	23.8	1.5
落 合 第 二	96	7.3	15.6	12.5	8.3	15.6	33.3	7.3
柏 第 一	114	13.2	21.9	19.3	14.0	18.4	12.3	0.9
角 第 二	112	7.1	29.5	16.1	5.4	16.1	22.3	3.6
性 別	56	8.9	23.2	10.7	10.7	19.6	17.9	8.9
男	531	8.9	24.5	11.9	11.1	17.5	22.9	3.4
女	608	8.2	22.4	16.3	11.3	16.9	20.4	4.4
性 年 代 別								
男 20 代	153	0.7	16.3	14.4	4.6	14.4	43.1	6.5
男 30 代	123	5.7	23.6	4.1	13.8	27.6	23.6	1.6
男 40 代	106	13.2	15.1	17.0	22.6	18.9	11.3	1.9
男 50 代	68	11.8	35.3	13.2	13.2	13.2	10.3	2.9
男 60 代 以上	81	21.0	44.4	11.1	2.5	9.9	8.6	2.5
女 20 代	142	2.8	9.9	12.7	7.0	17.6	40.8	9.2
女 30 代	134	0.7	9.0	14.2	15.7	29.1	24.6	6.7
女 40 代	106	8.5	17.0	26.4	17.0	17.0	12.3	1.9
女 50 代	101	9.9	39.6	15.8	9.9	11.9	9.9	3.0
女 60 代 以上	125	20.8	41.6	14.4	8.0	7.2	8.0	0.0
職 業 別								
自営業・事業主	167	14.4	32.3	15.0	12.0	12.6	13.2	0.6
管理職・自由業	89	11.2	18.0	14.6	10.1	24.7	18.0	3.4
事務職・技術職	302	4.0	22.2	9.9	11.3	21.5	25.8	5.3
労働職・サービス職	107	6.5	16.8	13.1	10.3	18.7	30.8	3.7
主婦	268	7.8	21.6	18.7	13.4	18.3	15.3	4.9
学生	61	3.3	6.6	23.0	3.3	8.2	47.5	8.2
無職	117	15.4	39.3	12.8	8.5	7.7	15.4	0.9
その他の	28	10.7	10.7	3.6	21.4	17.9	28.6	7.1
家 族 人 数 別								
1 人	208	2.9	11.5	4.8	8.7	17.3	48.1	6.7
2 人	171	9.9	19.9	10.5	8.2	16.4	28.1	7.0
3 人	220	4.5	31.4	12.7	11.8	20.5	17.3	1.8
4 人	291	9.6	22.0	20.3	12.0	18.9	13.7	3.4
5 人	143	11.9	32.9	18.9	14.7	14.7	4.9	2.1
6 人 以上	99	19.2	28.3	20.2	12.1	9.1	9.1	2.0
N	7	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0
ライフステージ								
婚 前 期	316	3.5	22.2	14.6	6.6	14.2	34.5	4.4
家 族 形 成 期	69	2.9	1.4	7.2	15.9	20.3	42.0	10.1
家 族 成 長 期(A)	107	1.9	6.5	9.3	6.5	34.6	36.4	4.7
家 族 成 長 期(B)	170	6.5	10.6	14.7	21.2	25.9	16.5	4.7
家 族 成 長 期(C)	113	9.7	19.5	31.0	19.5	12.4	4.4	3.5
家 族 成 熟 期	120	12.5	49.2	10.0	12.5	10.0	4.2	1.7
老 年 期 (A)	76	25.0	47.4	10.5	3.9	6.6	6.6	0.0
老 年 期 (B)	61	18.0	36.1	18.0	1.6	8.2	13.1	4.9
老 年 期 (C)	36	11.1	38.9	11.1	8.3	13.9	16.7	0.0
そ の 他	48	14.6	22.9	12.5	16.7	18.8	14.6	0.0
N	23	17.4	26.1	0.0	4.3	26.1	17.4	8.7
住 居 形 態 別								
一 戸 建 持 家	522	15.9	40.6	20.9	8.8	8.2	4.4	1.1
一 戸 建 借 家	42	9.5	23.8	23.8	23.8	14.3	4.8	0.0
民間木造アパート	188	2.1	9.0	11.2	14.4	19.1	37.2	6.9
鉄筋アパートマンション	251	1.6	7.6	5.6	13.9	31.5	31.9	8.0
社 宅 ・ 官 舎	58	0.0	0.0	6.9	8.6	25.9	55.2	3.4
寮・間借り・住込み	69	1.4	5.8	4.3	7.2	23.2	52.2	5.8
そ の 他	9	11.1	44.4	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0
居 住 年 数 別								
戦 前 从 来	97	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
終 戦 後 30 年	266	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
昭和 31 年～40 年	162	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
昭和 41 年～45 年	128	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
昭和 46 年～50 年	196	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
昭和 51 年～53 年	245	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
54 年 以 降	45	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q2 これからも引き続いて、新宿区にお住まいになりますか。(1A)

Q3 現在の新宿区は「住みよい街」だと思いますか。(1A)

回答項目 フェース	N	永住するつもり	当分はここに住むつもり	で出たい区外に転	近転出するつもり区外に	わからない	N	住みよい	まあ住みよい	あまり住みよくない	住みにくい	わからない
地域別	1139	45.3	29.9	6.8	4.6	13.3	1139	30.2	45.0	12.5	2.6	9.7
四谷	153	58.3	24.8	2.0	0.7	13.7	153	37.3	47.7	8.5	2.6	3.9
笹方	111	39.6	45.0	3.6	5.4	6.3	111	39.6	46.8	5.4	3.6	4.5
松町	128	41.4	27.3	12.5	3.9	14.8	128	32.0	32.8	22.7	2.3	10.2
久保	110	51.8	22.7	8.2	9.1	8.2	110	27.3	55.5	4.5	2.7	10.0
大塚	129	34.1	38.8	12.4	4.7	10.1	129	24.0	42.6	18.6	3.9	10.9
第1東横線	130	49.2	24.6	9.2	5.4	11.5	130	25.4	45.4	12.3	1.5	15.4
第2東横線	96	37.5	37.5	1.0	4.2	19.8	96	27.1	49.0	15.6	2.1	6.3
第3東横線	114	50.0	24.6	2.6	5.3	17.5	114	36.8	47.4	6.1	2.6	7.0
第4東横線	112	34.8	26.8	12.5	4.5	21.4	112	21.4	35.6	18.8	2.7	20.5
第5東横線	56	57.1	30.4	0.0	3.6	8.9	56	28.6	50.0	10.7	1.8	8.9
性別												
男性	531	42.6	30.3	7.3	4.5	15.3	531	28.1	45.4	12.8	2.8	10.9
女性	608	47.7	29.6	6.4	4.6	11.7	608	32.1	44.6	12.2	2.5	8.7
年代別												
20代	153	19.0	36.6	9.8	11.9	22.9	153	24.8	43.1	12.4	2.6	17.0
30代	123	34.1	35.0	7.3	2.4	21.1	123	26.8	45.5	15.4	4.1	8.1
40代	106	49.1	35.8	6.6	0.0	8.5	106	25.5	45.3	16.0	3.8	9.4
50代	68	64.7	19.1	5.9	1.5	8.8	68	33.8	45.6	8.8	1.5	10.3
60代以上	81	72.8	13.6	4.9	2.5	6.2	81	34.6	49.4	8.6	1.2	6.2
男女別												
20代	142	16.9	40.1	11.3	10.6	21.1	142	25.4	40.1	18.3	4.2	12.0
30代	134	38.8	41.0	6.0	4.5	9.7	134	28.4	48.5	11.9	2.2	9.0
40代	106	44.7	28.3	4.7	0.9	11.3	106	28.3	50.0	12.3	3.8	7.7
50代	101	61.4	20.8	4.0	5.9	7.9	101	39.6	41.6	11.9	1.0	5.9
60代以上	125	75.2	13.6	4.8	0.0	6.4	125	40.8	43.2	5.6	0.8	9.6
職業別												
自営業・事業主	167	62.9	25.7	3.6	1.2	6.6	167	34.7	38.9	14.4	1.8	10.2
管理職・自由業	89	53.9	20.2	7.9	2.2	15.7	89	30.3	52.8	11.2	0.0	5.6
事務職・技術職	302	32.8	35.8	8.3	6.3	16.9	302	27.5	46.4	10.9	4.3	10.9
労働職・サービス職	107	27.1	31.8	10.3	9.3	21.5	107	25.2	38.3	14.0	6.5	15.9
主婦	268	53.4	28.7	6.3	2.2	9.3	268	30.6	48.9	13.4	1.5	5.6
学生	61	16.4	36.1	3.3	18.0	26.2	61	36.1	34.4	13.1	1.6	14.8
無職	117	61.5	23.9	6.0	0.9	7.7	117	33.3	43.6	9.4	1.7	12.0
その他	28	35.7	39.3	10.7	3.6	10.7	28	21.4	57.1	17.9	0.0	3.6
家族人数別												
1人	208	18.8	35.1	10.6	12.5	23.1	208	26.4	40.4	14.4	3.8	14.9
2人	171	50.3	25.7	8.8	4.1	11.1	171	31.6	44.4	9.9	3.5	10.5
3人	220	43.6	34.5	7.3	4.5	10.0	220	30.9	43.2	12.7	2.7	10.5
4人	291	47.8	33.7	4.8	2.1	11.7	291	28.9	49.1	13.4	1.7	6.9
5人以上	143	60.8	23.1	4.9	0.7	10.5	143	36.4	43.4	11.9	2.1	6.3
N	99	68.7	15.2	3.0	2.0	11.1	99	31.3	45.5	11.1	2.0	10.1
ライフステージ	7	14.3	28.6	14.3	0.0	42.9	7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
婚前期	316	20.3	35.8	11.4	9.5	23.1	316	25.9	42.4	13.0	4.1	14.6
家族形成期(A)	69	26.1	47.8	7.2	5.8	13.0	69	24.6	50.7	11.6	2.9	10.1
家族成長期(B)	107	33.6	43.0	8.4	3.7	11.2	107	21.5	46.7	21.5	3.7	6.5
家族成長期(C)	170	48.2	34.1	4.7	2.4	10.6	170	30.6	45.3	15.3	1.8	7.1
家族成熟期(A)	113	61.9	24.8	0.9	1.8	10.6	113	27.4	44.2	11.5	2.7	14.2
家族成熟期(B)	120	65.8	20.8	5.0	2.5	5.8	120	38.3	47.5	8.3	1.7	4.2
老年期(A)	76	84.2	7.9	2.6	0.0	5.3	76	35.5	51.3	5.3	1.3	6.6
老年期(B)	61	68.9	14.8	8.2	1.6	6.6	61	42.6	37.7	11.5	1.6	6.6
老年期(C)	36	66.7	16.7	2.8	5.6	8.3	36	38.9	41.7	8.3	0.0	11.1
その他	48	52.1	25.0	8.3	4.2	10.4	48	41.7	41.7	8.3	0.0	8.3
N	23	52.2	21.7	4.3	0.0	21.7	23	26.1	52.2	13.0	4.3	4.3
住居形態別												
一戸建持家	522	66.7	19.7	4.4	0.8	8.4	522	35.2	44.1	10.9	1.1	8.6
一戸建借家	42	26.2	47.6	16.7	2.4	7.1	42	21.4	45.2	26.2	2.4	4.8
民間木造アパート	188	25.5	36.7	10.6	8.5	18.6	188	25.0	43.6	12.2	7.4	11.7
鉄筋アパートマンション	251	37.5	39.8	5.2	6.4	11.2	251	29.1	50.2	9.6	2.0	9.2
社宅・官舎	58	8.6	37.9	6.9	8.6	37.9	58	22.4	37.9	22.4	1.7	15.5
寮・間借り住込み	69	7.2	37.7	14.5	13.0	27.5	69	18.8	42.0	20.3	4.3	14.5
その他	9	55.6	11.1	11.1	11.1	11.1	9	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0
居住年数別												
戦前から	97	85.6	7.2	3.1	0.0	4.0	97	46.4	33.0	10.3	2.1	8.2
終戦～昭和30年	266	67.3	16.9	5.3	1.5	9.0	266	34.2	46.2	10.4	1.1	7.5
昭和31年～40年	162	53.1	29.6	6.2	1.9	9.3	162	33.3	44.4	11.7	1.9	8.6
昭和41年～45年	128	43.0	35.2	6.3	3.1	12.5	128	25.8	53.9	10.9	2.3	7.0
昭和46年～50年	196	34.2	37.8	8.2	3.6	16.3	196	30.6	45.9	11.2	3.1	9.2
昭和51年～53年	245	14.3	40.8	10.2	12.7	22.0	245	20.4	43.7	17.1	4.9	13.9
54年以降	45	24.4	48.9	4.4	6.7	15.6	45	24.4	42.2	13.3	2.2	17.8

Q 4. あなたの住んでいる付近の騒の状況は、数年前にくらべて良くなったでしょうか。悪くなったでしょうか。  
(1A)

Q 5. あなたは公害の被害を受けたことがありますか。次の中から受けたものをいくつでも選んでください。〔回答集1提示〕(MA)

回答項目 フェース	N	良 く な っ た	変 わ ら な い	悪 く な っ た	ど ち ら と も い え な	わ か ら な い	N	大 気 汚 染	騒 音	振 動	悪 臭	そ の 他	い と ず れ な い 受 け た こ
地域	1139	12.1	34.1	27.7	12.6	13.5	1139	22.1	36.1	19.1	13.5	2.0	39.9
四重	153	5.2	32.7	32.7	14.4	15.0	153	15.7	54.9	27.5	17.6	1.3	26.8
筆	111	18.9	24.3	21.6	18.9	16.2	111	21.6	29.7	15.3	10.8	0.9	36.9
模	128	12.5	27.3	32.0	13.3	14.8	128	23.4	27.3	15.6	13.3	2.3	50.0
若	110	23.6	46.4	20.9	1.8	7.3	110	19.1	34.1	17.3	5.5	0.0	43.6
松	129	9.3	24.0	33.3	21.7	11.6	129	36.4	40.3	27.9	20.9	1.6	27.9
久	130	6.2	40.8	24.6	16.2	12.3	130	26.2	24.5	15.4	16.2	3.1	43.1
保	96	5.2	43.8	19.8	9.4	21.9	96	11.5	41.7	18.8	11.5	3.1	44.8
塚	114	11.4	45.6	30.7	7.0	5.3	114	17.5	37.7	21.9	14.9	3.5	39.5
一	112	8.0	30.4	37.5	10.7	13.4	112	29.5	28.6	15.2	12.5	1.8	41.1
二	56	35.7	23.2	10.7	7.1	23.2	56	14.3	21.4	7.1	3.6	3.6	60.7
木	531	11.3	32.4	27.1	13.7	15.4	531	22.6	35.6	19.6	12.6	1.5	40.3
所	608	12.8	35.5	28.1	11.7	11.8	608	21.7	36.5	18.8	14.3	2.5	39.5
別	153	9.2	31.4	20.9	14.4	24.2	153	13.1	32.7	15.7	13.1	1.3	45.8
性	123	10.6	30.1	23.6	16.3	19.5	123	25.2	39.0	21.1	17.1	0.0	37.4
男	106	16.0	31.1	30.2	12.3	10.4	106	35.8	36.8	23.6	8.5	2.8	33.0
20	68	8.8	38.2	30.9	11.8	10.3	68	26.5	38.2	22.1	16.2	2.9	33.8
30	81	12.3	34.6	37.0	12.3	3.7	81	16.0	32.1	17.3	7.4	1.2	49.4
40	142	9.2	32.4	19.0	14.1	25.4	142	30.3	36.6	14.1	14.1	0.7	35.2
50	134	9.7	33.6	32.1	15.7	9.0	134	23.1	44.0	19.4	15.7	1.5	36.6
60	106	14.2	42.5	29.2	9.4	4.7	106	20.8	35.8	25.5	20.8	5.7	34.0
代	101	15.8	34.7	34.7	5.9	8.9	101	12.9	33.7	16.8	11.9	5.0	42.6
上	125	16.8	36.0	28.0	11.2	8.0	125	18.4	31.2	19.2	9.6	0.8	49.6
職	167	12.0	34.7	33.5	10.2	9.6	167	21.6	37.7	22.2	11.4	1.2	40.1
自	89	4.5	41.6	37.1	9.0	7.9	89	23.6	37.1	18.0	12.4	3.4	40.4
営	302	14.6	32.8	23.2	13.9	15.6	302	24.2	39.4	19.5	12.3	1.7	34.4
業	107	9.3	37.4	20.6	15.9	16.8	107	18.7	28.0	17.8	15.9	0.0	45.8
主	268	13.1	35.8	30.2	11.2	9.7	268	22.8	34.2	18.3	14.2	3.4	37.3
管	61	11.5	21.3	13.1	16.4	37.7	61	18.0	26.2	13.1	14.8	0.0	52.5
理	117	14.5	30.8	29.1	15.4	10.3	117	16.2	28.2	17.9	15.4	2.6	50.4
職	28	3.6	32.1	39.3	7.1	17.9	28	39.3	42.9	32.1	17.9	3.6	25.0
他	208	11.5	31.7	16.8	13.0	26.9	208	14.9	30.8	13.9	13.0	1.9	49.5
人	171	12.3	31.0	26.3	14.0	16.4	171	18.1	41.5	18.7	9.9	2.3	39.8
1	220	11.8	33.6	28.6	13.2	12.7	220	26.8	35.5	21.8	15.0	1.4	39.1
2	291	12.7	37.8	29.2	11.7	8.6	291	22.3	38.1	19.2	15.1	1.4	37.5
3	143	11.9	37.8	30.8	12.6	7.0	143	23.1	33.6	23.8	16.1	1.4	37.8
4	99	13.1	29.3	40.4	11.1	6.1	99	31.3	35.4	17.2	10.1	5.1	34.3
5	7	0.0	28.6	42.9	14.3	14.3	7	28.6	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0
人	316	11.7	29.7	23.1	14.6	20.9	316	19.9	33.9	18.7	13.6	0.9	41.1
家	69	5.8	33.3	23.2	13.0	24.6	69	20.3	42.0	11.6	10.1	0.0	43.5
族	107	13.1	30.8	21.5	17.8	16.8	107	25.2	47.7	20.6	20.6	1.9	32.7
成	170	11.2	40.6	29.4	10.0	8.8	170	28.8	31.8	21.2	13.5	2.4	37.6
期	113	9.7	31.0	41.6	11.5	6.2	113	32.7	38.9	21.2	14.2	2.7	32.7
(A)	120	16.7	44.2	23.3	10.0	5.8	120	21.7	35.8	20.0	11.7	3.3	38.3
(B)	76	10.5	40.8	32.9	9.2	6.6	76	15.6	27.6	17.1	11.8	2.6	52.6
(C)	61	14.8	29.5	32.8	11.5	11.5	61	11.5	34.4	13.1	6.6	3.3	49.2
老	36	11.1	36.1	33.3	16.7	2.8	36	13.9	30.6	8.3	16.7	2.8	52.8
年	48	20.8	25.0	33.3	10.4	10.4	48	20.8	39.6	31.3	18.8	0.0	33.3
期	23	8.7	30.4	21.7	13.0	26.1	23	8.7	47.8	26.1	4.3	8.7	30.4
他	522	11.9	35.1	36.6	10.3	6.1	522	22.2	35.8	22.0	13.0	2.3	40.4
の	42	11.9	31.0	31.0	19.0	7.1	42	33.3	33.3	21.4	19.0	2.4	33.3
そ	188	10.6	28.2	25.5	11.2	24.5	188	19.7	35.1	21.3	16.0	1.1	42.6
の	251	14.3	36.7	19.9	14.7	14.3	251	22.7	35.5	12.7	10.4	2.4	39.0
家	58	12.1	32.8	10.3	19.0	25.9	58	25.9	43.1	19.0	25.9	0.0	31.0
住	69	11.6	31.9	7.2	17.4	31.9	69	15.9	34.8	13.0	8.7	1.4	46.4
宅	9	0.0	66.7	22.2	11.1	0.0	9	22.2	66.7	22.2	11.1	11.1	11.1
官	97	10.3	32.0	45.4	6.2	6.2	97	28.9	40.2	22.7	10.3	2.1	29.9
舎	266	15.6	30.8	35.0	13.5	4.9	266	17.3	34.6	20.3	14.3	2.3	43.6
寮	162	9.3	39.5	37.7	11.1	2.5	162	25.3	37.0	22.8	13.6	1.9	38.9
間	128	13.3	39.1	29.7	14.1	3.9	128	28.9	40.6	25.0	14.8	1.6	32.0
借	196	14.8	44.9	20.9	11.7	7.7	196	20.9	36.2	19.9	13.8	3.1	38.3
入	245	8.2	29.0	12.7	13.9	36.3	245	20.8	34.7	12.2	14.7	1.2	43.7
み	45	11.1	4.4	15.6	20.0	48.9	45	17.8	26.7	8.9	4.4	2.2	51.1
他													
居													
住													
年													
数													
別													
前													
から													
昭													
和													
31													
年													
～													
40													
年													
～													
45													
年													
～													
50													
年													
～													
53													
年													
以													
降													



Q 6. 公害対策として、区にどんなことをしてほしいと思いますか。次の中からとくに規制や指導などをしてほしいと思うものを2つ以内で選んでください。〔回答票2提示〕(2A)

回答項目 フェース	N	工・振 場・働 ば・働 作・業 業・場 場・臭 か・騒 音	建・振 設・工 工・事 事・に に・と も・な	自・振 動・音 車・の 排・振 気・動 ガ・ス	日・振 常・音 生・活 に・お お・け る・臭	被・振 害・者 に・対 対・し し・た た・医 医・数	公・制 害・防 防・止 止・費 費・金 金・貸 貸・付	各・表 種・や 測・定 結・果 の・公 公・よ	そ の 他	特 に な い
総 数	1139	9.8	22.8	40.5	24.2	13.3	5.4	5.0	2.5	22.7
地 域										
四 谷 町	153	5.2	30.7	38.6	26.8	17.0	9.2	5.2	1.7	19.0
笹 塚 町	111	18.9	22.5	45.0	31.5	15.3	5.4	2.7	1.8	7.2
若 松 町	128	14.8	14.8	35.2	21.1	10.2	4.7	3.1	2.3	33.6
大 久 保	110	8.2	34.5	37.3	24.5	12.7	10.9	9.1	0.9	21.8
大 戸 町	129	8.5	30.2	36.4	20.9	14.7	7.0	3.9	4.7	21.7
合 第 一	130	11.5	20.8	43.6	33.8	13.8	2.3	3.8	3.1	14.6
落 合 第 二	96	9.4	14.6	40.0	25.0	9.4	1.0	2.1	2.1	35.4
落 合 第 三	114	11.4	17.5	47.4	21.9	17.5	4.4	9.6	3.5	18.4
柏 木 町	112	2.7	22.3	42.0	18.8	14.3	5.4	7.1	3.6	26.8
角 衛 区役所	56	7.1	10.7	39.3	8.9	0.0	0.0	1.8	3.6	41.1
性 別										
男 性	531	10.7	20.9	43.5	24.9	16.0	5.5	5.1	2.4	20.5
女 性	608	9.0	24.5	37.6	23.7	11.0	5.4	4.9	2.6	24.7
性 年 代 別										
男 20 代	153	12.4	22.2	42.5	27.5	20.3	8.5	3.3	2.6	16.3
男 30 代	123	12.2	21.1	46.3	18.7	17.1	4.1	5.7	1.0	21.1
男 40 代	106	10.4	19.8	48.1	27.4	12.3	4.7	5.7	1.9	19.8
男 50 代	68	13.2	29.4	41.2	29.4	13.2	2.9	7.4	2.9	17.6
男 60 代以上	81	3.7	12.3	37.0	22.2	13.6	4.9	4.9	3.7	30.9
女 20 代	142	8.5	27.5	41.5	26.1	13.4	7.7	6.3	2.8	15.5
女 30 代	134	12.7	32.8	39.0	24.6	11.2	6.0	4.5	1.7	18.7
女 40 代	176	7.5	22.6	36.8	27.4	14.2	7.5	4.7	0.9	24.5
女 50 代	101	8.9	20.8	34.7	25.7	7.9	2.0	6.9	6.9	28.7
女 60 代以上	125	7.2	16.8	35.2	15.2	8.0	3.2	2.4	2.4	38.4
職 業 別										
自営業・事業主	167	10.2	22.8	41.9	21.6	15.6	4.2	3.6	3.0	22.8
管理職・自由業	99	10.1	20.2	33.7	22.5	14.6	6.7	11.2	3.4	23.6
事務職・技術職	302	10.3	25.5	44.4	23.8	12.9	7.3	5.0	2.6	19.5
労務職・サービス職	107	12.1	20.6	48.6	24.3	16.8	3.7	2.8	4.7	18.7
主婦・主婦	268	11.9	24.6	38.4	27.2	10.1	4.5	5.2	1.1	24.6
学 生	61	3.3	13.1	36.1	26.2	21.3	6.6	6.6	1.6	26.2
無 職	117	6.0	18.8	31.6	23.9	10.3	4.3	3.4	3.4	29.1
そ の 他	28	3.6	32.1	46.4	17.9	14.3	7.1	3.6	0.0	17.9
家 族 人 数 別										
1 人	208	7.2	22.6	37.5	25.0	13.0	9.1	5.3	3.4	23.1
2 人	171	9.9	28.1	28.7	26.3	11.1	4.1	4.1	2.3	28.7
3 人	220	11.4	20.5	43.6	24.1	12.3	4.1	4.5	0.9	23.6
4 人	231	10.0	25.4	43.0	25.8	12.7	5.2	4.8	3.8	19.2
5 人	143	9.8	18.2	44.1	25.9	15.4	4.2	5.6	0.7	22.4
6 人以上	99	12.1	19.2	48.5	14.1	19.2	4.0	7.1	3.0	19.2
N	7	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	42.9
ライフステージ										
婚 前 期	316	9.5	23.7	41.1	25.3	14.9	8.5	5.1	2.5	18.7
家 族 成 長 期(A)	69	13.0	27.5	30.4	21.7	15.9	4.3	5.8	1.4	24.6
家 族 成 長 期(B)	107	14.0	25.2	45.8	28.0	16.8	2.8	4.7	0.9	15.9
家 族 成 長 期(C)	170	12.9	23.5	48.8	24.1	15.3	4.7	5.3	1.8	18.2
家 族 成 熟 期	113	11.5	24.8	43.4	25.7	11.5	5.3	3.5	2.7	20.4
家 族 成 熟 期(A)	120	5.8	23.3	39.2	24.2	9.2	0.8	7.5	2.5	29.2
老 年 期(B)	76	5.3	6.6	42.1	18.4	7.9	5.3	5.3	5.3	31.6
老 年 期(C)	61	6.6	23.0	24.6	26.2	14.8	3.3	1.6	0.0	39.3
老 年 期(D)	36	5.6	19.4	47.2	27.8	11.1	2.8	2.8	2.8	25.0
そ の 他	48	8.3	29.2	20.8	18.8	10.4	8.3	8.3	8.3	25.0
N	23	8.7	13.0	34.8	13.0	8.7	13.0	0.0	4.3	38.8
住 居 形 態 別										
一 戸 建 持 家	522	11.1	22.2	40.8	24.9	13.4	4.4	4.8	2.3	23.6
一 戸 建 借 家	42	9.5	9.5	47.0	28.6	14.3	4.8	2.4	2.4	21.4
民間木造アパート	198	6.4	24.5	33.5	23.9	13.3	9.0	4.3	1.6	26.6
鉄筋アパート・マンション	251	10.0	24.7	38.6	23.1	13.5	5.2	7.2	2.0	21.5
社 宅・官 舎	98	10.3	20.7	58.0	22.4	15.5	1.7	3.4	6.9	12.1
寮・借借り住込み	69	10.1	27.5	42.0	24.6	11.6	4.3	4.3	5.8	20.3
そ の 他	9	0.0	11.1	55.6	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	22.2
居 住 年 数 別										
戦 前 から	97	14.4	22.7	41.2	27.8	15.5	3.1	4.1	4.1	17.5
終 戦～昭和30年	266	7.5	20.7	34.2	23.7	10.9	6.0	4.5	2.6	30.5
昭和31年～40年	162	9.9	19.1	48.1	24.7	14.2	4.3	5.6	1.9	19.1
昭和41年～45年	178	10.2	36.7	35.2	16.4	17.2	7.8	7.0	1.6	21.9
昭和46年～50年	196	11.7	26.5	42.3	27.0	12.2	6.6	6.1	3.1	17.9
昭和51年～53年	245	8.2	19.2	43.7	25.7	13.5	4.9	4.5	2.4	21.2
54 年 以 降	45	13.3	13.3	37.8	20.0	13.3	2.2	6.0	2.2	33.3

Q 7. 隣り近所からの騒音で迷惑を受けたことがありますか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票3提示〕(2A)

回答項目 フェース	N	テレビ・ステレオ	ピアノ・ギター	話し声・歌声・泣き声	冷蔵庫・洗濯機・掃除機などの音	隣段や二階などの音	自動車のオートバ	チリの紙交換や物光	商店や飲食店からの音	犬や猫の泣き声	その他	特にな
地域別	1139	8.3	5.2	8.7	6.6	5.7	22.9	16.7	4.0	9.2	4.0	41.0
市町	153	5.9	5.9	5.9	9.2	3.3	26.1	34.0	4.6	9.8	2.0	29.4
町	111	8.1	3.6	11.7	8.1	6.3	19.8	20.7	7.2	14.4	0.9	29.7
松久	128	6.3	3.1	7.8	7.8	3.1	28.9	11.7	3.1	7.0	3.9	46.1
保塚	110	6.4	16.9	14.5	2.7	13.6	24.5	23.6	3.6	9.1	4.5	35.5
大戸	129	10.1	7.8	9.3	6.2	7.0	28.7	19.4	3.1	5.4	1.6	35.7
合第	130	10.8	6.9	13.6	6.2	6.2	20.8	8.5	6.2	3.8	4.6	43.8
落合	96	3.1	2.1	4.2	4.2	4.2	11.5	12.5	1.0	6.3	4.2	64.6
落合	114	8.8	4.4	5.3	11.4	3.5	30.7	9.6	4.4	21.9	5.3	34.2
柏	112	15.2	3.6	8.0	5.4	8.0	18.8	10.7	3.6	8.9	7.1	43.8
角	56	8.9	0.0	3.6	0.0	0.0	7.1	5.4	1.8	3.6	8.9	67.9
性別												
男	531	10.4	4.7	9.2	5.8	6.6	23.0	18.1	3.8	10.0	5.1	39.0
女	608	6.6	5.6	8.2	7.2	4.9	22.9	15.5	4.3	8.6	3.0	42.8
年代別												
男 20	153	11.1	2.6	12.4	5.2	10.5	19.6	18.3	3.9	11.1	4.6	37.9
男 30	123	8.9	1.6	9.8	6.5	5.7	22.8	19.5	4.1	9.8	5.7	37.4
男 40	106	10.4	6.6	5.7	9.4	2.8	23.6	17.9	2.8	9.4	3.8	43.4
男 50	68	14.7	13.2	7.4	2.9	10.3	29.4	17.6	2.9	7.4	4.4	35.3
男 60代以上	81	7.4	3.7	8.6	3.7	2.5	23.5	16.0	4.9	11.1	7.4	40.7
女 20	142	12.0	5.6	10.6	9.2	4.9	21.8	21.1	5.6	7.0	2.1	33.8
女 30	134	6.0	6.7	14.2	4.5	6.7	26.1	12.7	3.7	9.0	7.5	38.1
女 40	106	4.7	10.4	2.8	9.4	4.7	24.5	13.2	2.8	11.3	0.9	41.5
女 50	101	6.9	4.0	9.9	5.0	5.9	21.8	16.8	5.9	7.9	2.0	46.5
女 60代以上	125	2.4	1.6	2.4	8.0	2.4	20.0	12.8	3.2	8.0	1.6	56.0
職業別												
自営業・事業主	167	12.6	6.0	8.4	6.0	5.4	23.4	13.8	6.0	8.4	4.8	41.3
管理職・自由業	89	7.9	5.6	10.1	9.0	2.2	28.1	20.2	4.5	13.5	6.7	29.2
事務職・技術職	302	9.6	5.3	9.9	6.0	7.0	22.8	17.2	3.6	8.6	5.0	38.7
労働職・サービス職	107	4.7	4.7	3.4	6.5	8.4	20.6	15.9	4.7	11.2	1.9	43.9
主婦	268	4.1	5.2	7.5	9.0	4.1	28.0	16.8	4.1	8.2	3.7	40.3
学生	61	18.0	3.3	11.5	3.3	9.8	4.9	23.0	1.6	6.6	1.6	45.9
無職	117	6.8	3.4	8.5	5.1	4.3	19.7	10.3	2.6	10.3	1.7	53.0
その他	28	10.7	10.7	0.0	0.0	7.1	17.9	32.1	3.6	10.7	3.6	35.7
家族人数別												
1人	208	8.7	4.3	10.1	2.9	5.3	20.7	16.3	1.9	11.1	1.9	43.8
2人	171	9.4	2.9	8.2	8.8	5.8	21.6	18.7	3.5	7.0	5.3	39.2
3人	220	9.5	2.7	6.8	5.5	6.8	25.5	15.5	5.0	8.6	2.3	42.7
4人	291	9.3	7.9	10.0	10.0	6.2	18.2	15.8	5.5	8.9	5.2	39.5
5人	143	4.9	8.4	11.2	3.5	6.3	27.3	15.4	4.2	11.2	3.5	42.0
6人以上	99	6.1	3.0	4.0	8.1	0.0	30.3	20.2	3.0	8.1	7.1	39.4
N	7	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3
ライフステージ												
婚前	316	10.8	4.7	11.7	4.4	7.3	22.2	18.4	3.8	10.1	3.5	37.0
家族形成期	69	10.1	1.4	10.1	10.1	7.2	17.4	20.3	4.3	7.2	2.9	37.7
家族成長期(A)	107	7.5	4.7	15.0	5.6	6.5	25.2	18.7	3.7	9.3	6.5	34.6
家族成長期(B)	170	8.8	6.5	5.9	10.0	2.9	22.4	14.7	4.1	9.4	5.9	39.4
家族成長期(C)	113	8.8	10.6	3.5	8.0	4.4	22.1	15.0	1.8	10.6	2.7	46.0
家族成熟期	120	7.5	5.0	8.3	4.2	8.3	24.2	19.2	5.0	7.5	3.3	44.2
老年期(A)	76	1.3	2.6	7.9	9.2	1.3	26.3	10.5	6.6	10.5	1.3	50.0
老年期(B)	61	6.6	3.3	4.9	13.1	4.9	18.0	19.7	4.9	4.9	6.6	47.5
老年期(C)	36	2.8	0.0	5.6	0.0	5.6	27.8	5.6	5.6	13.9	2.8	50.0
その他	48	10.4	4.2	6.3	2.1	4.2	18.8	14.6	4.2	4.2	4.2	45.8
N	23	4.3	13.0	4.3	4.3	8.7	43.5	17.4	0.0	13.0	0.0	34.8
住居形態別												
一戸建持家	522	7.9	5.9	6.7	7.5	3.3	25.1	16.9	4.4	10.3	5.0	40.6
一戸建借家	42	11.9	2.4	19.0	9.5	2.4	23.8	14.3	7.1	4.8	4.8	35.7
民間木造アパート	188	13.3	1.6	16.5	6.4	6.9	23.4	12.8	2.7	6.9	2.1	38.8
鉄筋アパートマンション	251	5.6	7.2	7.2	4.4	10.8	17.1	16.7	4.4	8.0	4.0	45.8
社宅・官舎	58	6.9	3.4	6.9	6.9	3.4	20.7	19.0	5.2	10.3	3.4	41.4
寮・借居り住込み	69	8.7	1.4	4.3	7.2	5.8	23.2	26.1	1.4	14.5	1.4	37.7
その他	9	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2
居住年数別												
戦前から	97	7.2	6.2	5.2	8.2	1.0	26.8	20.6	5.2	12.4	9.3	30.9
終戦～昭和30年	266	7.1	4.9	9.0	6.4	5.3	26.3	15.4	5.3	6.4	3.4	44.0
昭和31年～40年	162	6.8	6.8	6.8	8.0	4.9	21.0	14.2	4.3	8.0	2.5	47.5
昭和41年～45年	128	11.7	5.5	5.5	9.4	3.1	30.5	18.0	3.1	13.3	2.3	34.4
昭和46年～50年	176	7.1	6.6	13.8	5.6	9.7	20.4	20.4	4.6	13.8	6.6	29.1
昭和51年～53年	245	10.2	3.3	9.0	4.9	7.3	19.2	13.1	2.0	6.5	1.6	47.0
54年以降	45	8.9	2.2	6.7	4.4	2.2	11.1	24.4	4.4	6.7	6.7	55.0

Q 8. お宅の付近の道路の状態はいかがですか。(1A)

SQ.〔Q8で4, 5と答えた人に〕どんな点が不満ですか。

次の中から主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票4提示〕(2A)

回答項目 フェース	N	たいへんよい	よい	どちらともいえない	あまりよくない	非常によくない	N	N	道が狭く災害時に不安である	幹線道路が混雑する	道路が狭く、車が走りづらく、歩行者が危険	バスが渋滞で遅れる	音がひどい、振動が大きい、騒音による公害	狭い道に車が通れない
地域別	1139	5.2	39.2	21.4	28.8	4.3	1.1	377	38.7	6.6	17.0	3.4	18.0	39.8
四筆	153	7.8	59.5	13.7	16.3	2.0	0.7	28	35.7	3.6	7.1	3.6	10.7	46.4
筆	111	0.9	27.9	43.2	20.7	4.5	2.7	28	39.3	0.0	17.9	0.0	10.7	39.3
模	178	4.7	23.4	18.0	46.1	6.3	1.6	67	46.3	3.0	11.9	4.5	25.4	37.3
松	110	12.7	52.7	16.4	14.5	0.9	2.7	17	29.4	5.9	58.6	5.9	5.9	58.8
久	129	5.4	45.0	14.7	31.8	3.1	0.0	45	26.7	6.7	2.2	0.0	76.7	53.3
保	130	2.3	34.6	23.8	30.8	6.9	1.5	49	36.7	8.2	16.3	2.0	70.4	51.0
第一	96	4.2	50.0	15.6	28.1	2.1	0.0	29	37.7	13.8	13.8	6.9	74.1	13.8
第二	114	7.0	25.8	21.1	36.0	5.3	0.9	47	29.8	14.9	27.7	10.6	14.9	25.5
木	112	1.8	15.6	31.3	38.4	8.0	0.9	52	48.1	5.8	23.1	0.0	13.5	36.5
役所	56	3.6	51.8	17.9	23.2	3.6	0.0	15	60.0	0.0	6.7	0.0	6.7	46.7
性別														
男性	531	6.2	36.3	23.7	27.9	4.9	0.9	174	39.1	6.9	17.2	4.6	16.7	40.8
女性	608	4.3	41.6	19.4	29.6	3.8	1.3	203	38.4	6.4	16.7	2.5	19.2	38.9
年代別														
20代	153	5.9	35.9	24.8	27.5	5.9	0.0	51	45.1	7.8	17.6	7.8	13.7	39.2
30代	123	5.7	34.1	24.4	27.6	6.5	1.6	42	35.7	16.7	11.9	0.0	19.0	52.4
40代	106	7.5	41.5	18.9	31.1	0.0	0.9	33	39.4	3.0	21.2	3.0	15.2	33.3
50代	68	8.8	41.2	19.1	27.9	1.5	1.5	20	40.0	0.0	15.0	10.0	15.0	50.0
60代以上	81	3.7	29.6	30.9	24.7	9.9	1.2	28	32.1	0.0	21.4	3.6	21.4	28.6
20代	142	4.9	35.9	26.1	27.5	4.9	0.7	46	34.3	6.5	26.1	4.3	19.6	41.3
30代	134	4.5	44.0	12.7	32.1	5.2	1.5	50	40.0	8.0	10.0	2.0	22.0	46.0
40代	106	2.8	37.7	21.7	31.1	3.8	2.8	37	40.5	5.4	16.2	2.7	8.1	35.1
50代	101	4.0	41.6	21.6	30.7	1.0	1.0	32	53.1	9.4	18.8	3.1	15.6	25.0
60代以上	125	4.8	48.8	15.2	27.2	3.2	0.8	38	26.3	2.6	13.2	0.0	28.9	42.1
職業別														
自営業・事業主	167	9.0	29.9	22.8	28.7	7.8	1.8	61	31.1	8.2	16.4	4.9	24.6	41.0
管理職・自由業	89	4.5	38.2	21.3	29.2	5.6	1.1	31	48.4	3.2	19.4	6.5	9.7	32.3
事務職・技術職	302	5.3	40.7	19.5	29.8	4.0	0.7	102	40.2	9.8	13.7	2.0	15.7	48.0
労働者・サービス職	107	4.7	32.7	28.0	30.8	2.8	0.9	36	61.1	2.8	16.7	2.8	13.9	38.9
主婦	268	5.6	44.0	17.9	27.6	3.0	1.9	82	41.5	6.1	18.3	2.4	18.3	35.4
学生	61	1.6	37.7	24.6	27.9	6.6	1.6	21	38.1	9.5	23.8	4.8	14.3	33.3
無職	117	2.6	39.3	24.8	29.9	3.4	0.0	39	15.4	2.6	17.9	2.6	23.1	35.9
その他	28	0.0	60.7	21.4	17.9	0.0	0.0	5	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	40.0
家族人数別														
1人	208	6.3	40.9	24.5	27.4	1.0	0.0	59	44.1	5.1	16.9	1.7	18.6	32.2
2人	171	4.7	42.7	17.5	26.3	7.6	1.2	58	41.4	6.9	17.2	3.4	19.0	43.1
3人	220	6.4	35.0	23.6	30.9	1.8	2.3	72	40.3	5.6	15.3	1.4	27.8	41.7
4人	291	3.8	39.5	18.6	30.2	6.2	1.7	106	40.6	5.7	16.0	3.8	12.3	44.3
5人	143	2.1	42.0	22.4	28.0	5.6	0.0	48	35.4	8.3	16.7	8.3	16.7	29.2
6人以上	99	10.1	32.3	22.2	30.3	4.0	1.0	34	20.6	11.8	23.5	2.9	14.7	44.1
N	7	0.0	51.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージ														
前期	316	3.8	36.1	26.6	27.8	5.1	0.6	104	45.2	10.6	19.2	4.8	17.3	39.4
家族形成期	69	5.8	40.6	14.5	31.9	5.8	1.4	26	26.9	3.8	19.2	7.7	26.9	57.7
家族成長期(A)	107	4.7	38.3	20.6	27.1	8.4	0.9	38	36.8	5.3	13.2	0.0	18.4	50.0
家族成長期(B)	170	6.5	38.2	17.1	35.3	1.8	1.2	63	42.9	12.7	14.3	1.6	14.3	38.1
家族成長期(C)	113	9.7	44.2	15.0	24.8	3.5	2.7	32	37.5	3.1	15.6	0.0	15.6	37.5
家族成熟期	120	4.2	36.7	28.3	28.3	1.7	0.8	36	44.4	2.8	13.9	5.6	13.9	27.8
老年期(A)	76	3.9	36.8	15.8	35.5	6.6	1.3	32	18.8	3.1	25.0	3.1	28.1	46.9
老年期(B)	61	6.6	42.6	19.7	26.2	4.9	0.0	19	42.1	0.0	10.5	5.3	21.1	26.3
老年期(C)	36	5.6	52.8	13.9	25.0	2.8	0.0	10	30.0	0.0	10.0	0.0	20.0	30.0
その他	48	2.1	52.1	22.9	18.8	2.1	2.1	10	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
N	23	4.3	26.1	34.8	26.1	4.3	4.3	7	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0	57.1
住居形態別														
一戸建持家	522	5.0	37.2	20.9	30.7	5.0	1.3	186	35.5	7.0	16.7	4.8	19.9	40.3
一戸建借家	42	2.4	16.7	28.6	47.6	4.8	0.0	22	27.3	0.0	31.8	0.0	18.2	40.9
民間木造アパート	188	5.3	41.0	21.3	26.1	6.4	0.0	61	54.1	6.6	13.1	1.6	6.6	34.4
鉄筋アパート・マンション	251	8.0	46.2	17.1	24.3	2.4	2.0	67	32.8	6.0	10.4	4.5	28.4	41.8
社宅・官舎	58	0.0	34.5	34.5	29.3	0.0	1.7	17	35.3	11.8	29.4	0.0	5.9	41.2
寮・間借り・住込み	69	2.9	36.2	26.1	30.4	4.3	0.0	24	54.2	8.3	25.0	0.0	12.5	41.7
その他	9	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住年数別														
戦前から	97	5.2	35.1	23.7	29.9	5.2	1.0	34	32.4	5.9	11.8	5.9	23.5	32.4
終戦～昭和30年	266	4.5	36.1	23.3	29.3	5.3	1.5	92	39.1	5.4	17.4	5.4	18.5	45.7
昭和31年～40年	162	4.9	40.1	17.3	30.9	6.8	0.0	61	42.6	8.2	16.4	6.6	19.7	34.4
昭和41年～45年	128	3.9	50.0	18.8	21.9	2.3	3.1	31	48.4	12.9	19.4	0.0	9.7	35.5
昭和46年～50年	196	4.6	44.9	17.9	28.1	3.6	1.0	62	37.1	3.2	17.7	1.6	12.9	50.0
昭和51年～53年	245	7.3	32.2	27.3	29.0	3.7	0.4	80	33.8	7.5	18.8	1.3	17.5	37.5
54年以降	45	4.4	44.4	11.1	37.8	0.0	2.2	17	47.1	5.9	11.8	0.0	35.3	23.5

Q 9. 現在、都と区が「都市  
計画道路」の見直し作業  
に入っていますが、知っ  
ていますか。(1A)

回答項目 フェース	道歩きに 歩道が なく	道路に 線が少 ない	子危 ども の通 学路 が	そ の 他	N A	N	知 っ て い る	知 ら な い
総地	10.9	5.6	7.7	7.4	1.3	1139	25.8	74.2
地域								
四谷	0.0	7.1	10.7	10.7	7.1	153	37.9	62.1
笹塚	7.1	14.3	7.1	3.6	0.0	111	16.2	83.8
若松	11.9	4.5	10.4	6.0	1.5	128	24.2	75.8
大久保	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	110	34.5	65.5
戸塚	20.0	2.2	4.4	6.7	2.2	129	32.6	67.4
落合	8.2	8.2	10.2	6.1	0.0	130	22.3	77.7
落合第1	13.8	0.0	10.3	3.4	3.4	26	8.3	91.7
落合第2	19.1	6.4	4.3	17.0	0.0	114	24.6	75.4
角筈	7.7	7.7	9.6	5.8	0.0	112	23.2	76.8
角筈・区役所	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	56	28.6	71.4
性別								
男性	10.9	4.0	10.9	6.3	2.9	531	28.2	71.8
女性	10.8	6.9	4.9	8.4	0.0	608	23.7	76.3
年代別								
20代	13.7	5.9	3.9	3.9	0.0	153	15.0	85.0
30代	7.1	0.0	16.7	7.1	2.4	123	34.1	65.9
40代	12.1	0.0	12.1	3.0	9.1	106	34.0	66.0
50代	10.0	15.0	5.0	5.0	0.0	68	35.3	64.7
60代以上	10.7	3.6	17.9	14.3	3.6	81	30.9	69.1
20代	17.4	8.7	4.3	2.2	0.0	142	18.3	81.7
30代	10.0	6.0	8.0	2.0	0.0	134	29.1	70.9
40代	13.5	10.8	2.7	16.2	0.0	106	32.1	67.9
50代	6.3	6.3	9.4	12.5	0.0	101	23.8	76.2
60代以上	5.3	2.6	0.0	13.2	0.0	125	16.8	83.2
職業別								
自営業・事業主	11.5	8.2	8.2	6.6	4.9	147	26.9	73.1
管理職・自由業	12.9	3.2	16.1	6.5	3.2	89	36.0	64.0
事務職・技術職	14.7	4.9	3.9	2.0	1.0	302	26.5	73.5
労働職・サービス職	5.6	8.3	8.3	5.6	0.0	107	16.8	83.2
主婦	9.8	6.1	9.8	12.2	0.0	268	29.5	70.5
学生	4.8	9.5	4.8	4.8	0.0	61	14.8	85.2
無職	7.7	0.0	2.6	17.9	0.0	117	19.7	80.3
その他の	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	28	28.6	71.4
家族人数別								
1人	8.5	5.1	1.7	6.8	0.0	208	20.7	79.3
2人	13.8	5.2	0.0	8.6	1.7	171	22.8	77.2
3人	13.9	2.8	6.9	5.6	1.4	220	24.1	75.9
4人	9.4	8.5	12.3	5.7	0.9	291	29.9	70.1
5人	14.6	4.2	10.4	10.4	2.1	143	28.0	72.0
6人以上	2.9	5.9	14.7	11.8	2.9	99	30.3	69.7
N	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7	28.6	71.4
ライフステージ								
婚前	9.6	4.8	2.9	4.8	0.0	316	18.7	81.3
家族形成期	19.2	3.8	0.0	0.0	0.0	69	13.0	87.0
家族成長期(A)	13.2	2.6	10.5	7.9	2.6	107	28.0	72.0
家族成長期(B)	12.7	4.8	17.5	3.2	1.6	170	35.9	64.1
家族成長期(C)	12.5	15.6	12.5	6.3	3.1	113	33.6	66.4
家族成熟期	5.6	5.6	2.8	25.0	0.0	120	27.5	72.5
老年期(A)	3.1	0.0	9.4	6.3	0.0	76	18.4	81.6
老年期(B)	5.3	15.8	0.0	10.5	5.3	61	31.1	68.9
老年期(C)	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	36	27.8	72.2
その他の	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	48	27.1	72.9
N	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	23	34.8	65.2
住居形態別								
一戸建持家	8.6	6.5	7.5	10.2	0.5	522	26.8	73.2
一戸建借家	13.6	13.6	9.1	4.5	4.5	42	26.2	73.8
民間木造アパート	13.1	6.6	8.2	4.9	1.6	188	26.6	73.4
鉄筋アパート・マンション	11.9	0.0	10.4	6.0	3.0	251	28.7	71.3
社宅・官舎	23.5	5.9	5.9	0.0	0.0	58	13.8	86.2
寮・間借り・住込み	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0	69	14.5	85.5
その他の	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9	33.3	66.7
居住年数別								
戦前から	11.8	5.9	8.8	11.8	0.0	97	28.9	71.1
終戦～昭和30年	7.6	4.3	5.4	12.0	0.0	266	25.9	74.1
昭和31年～40年	13.1	6.6	8.2	6.6	0.0	162	25.3	74.7
昭和41年～45年	9.7	12.9	3.2	3.2	6.5	128	29.7	70.3
昭和46年～50年	11.3	4.8	16.1	6.5	3.2	196	32.7	67.3
昭和51年～53年	13.8	3.8	3.8	3.8	1.3	245	18.8	81.2
54年以降	5.9	5.9	11.8	5.9	0.0	45	17.8	82.2

Q10. 法律で、「都市計画道路」に指定された区域では、3階建て以上の建物が建てられないために、住民に不満がでていますが、これについてどう思いますか。(1A)

Q11. 最近、コミュニティという言葉がよく使われます。これは地域社会または近隣社会という意味で使われますが、コミュニティとはどの程度の範囲だと思いますか(1A)

回答項目 フェース	N	将来の 道路 予定地	制限 あり 制限 なし 制限 あり 制限 なし	制限 あり 制限 なし 制限 あり 制限 なし	制限 あり 制限 なし 制限 あり 制限 なし	その他	わからない	N	隣り 近所	日常 の 買物 をする	町会 ・ 自治 会の 地	小 学 校 を 中 心 と し	駅 を 中 心 と し	特 別 出 張 所 を 中 心
地域別	1139	29.7	21.6	10.4	3.2	1.8	33.3	1139	20.5	16.3	27.2	4.2	1.6	2.5
四角	153	23.5	33.3	9.8	2.6	2.0	28.8	153	30.1	16.3	17.6	5.2	3.3	0.0
単独	111	42.3	11.7	10.8	10.8	0.0	24.3	111	27.9	21.6	32.4	7.2	4.5	2.7
複合	128	30.5	18.0	4.7	0.0	3.1	43.8	128	19.5	7.8	39.1	1.6	0.8	2.3
松久	110	34.5	23.6	20.0	6.4	0.9	14.5	110	30.9	23.6	20.0	1.8	0.9	7.3
大戸	129	20.2	32.6	7.8	4.7	0.8	34.1	129	14.0	17.8	25.6	5.4	0.0	3.1
落合	130	27.7	21.5	6.2	3.1	0.0	41.5	130	13.1	13.1	29.2	5.4	1.5	3.1
第1	96	30.2	19.8	6.3	1.0	2.1	40.6	96	25.0	10.4	21.9	4.2	1.0	3.1
第2	114	37.7	21.1	14.9	1.8	6.1	18.4	114	14.0	7.9	35.1	4.4	0.9	1.8
第3	112	28.6	17.0	14.3	0.9	1.8	37.5	112	10.7	17.9	31.3	2.7	1.8	0.0
第4	56	21.4	1.8	12.5	0.0	0.0	64.3	56	19.6	34.3	14.3	3.6	0.0	1.8
性別	531	31.1	22.6	11.3	4.9	1.9	28.2	531	21.1	13.6	29.8	4.1	1.7	3.0
男性	608	28.5	20.7	9.7	1.8	1.6	37.7	608	20.1	18.8	25.0	4.3	1.5	2.0
女性	153	28.1	27.5	10.5	3.9	1.3	28.8	153	19.0	18.3	24.8	3.3	2.0	4.6
年代別	123	28.5	26.0	13.0	4.1	0.8	27.6	123	21.1	14.6	32.5	5.7	0.8	1.6
20代	106	35.6	19.8	10.4	5.7	1.9	26.4	106	30.2	2.8	30.2	5.7	1.9	1.9
30代	68	32.4	20.6	14.7	2.9	2.9	26.5	68	13.2	14.7	36.8	4.4	1.5	5.9
40代	81	33.3	13.6	8.6	8.6	3.7	32.1	81	19.8	16.0	28.4	1.2	2.5	1.2
50代	142	29.9	24.6	10.6	1.4	0.7	33.1	142	15.5	22.5	27.5	2.8	2.1	1.4
60代	134	25.4	25.4	11.9	3.0	0.7	33.6	134	15.7	18.7	27.6	8.2	0.7	2.2
以上	106	34.9	19.8	14.2	2.8	0.9	27.4	106	16.0	19.8	32.1	5.7	2.8	4.7
職業別	101	31.7	16.8	5.9	1.0	3.0	41.6	101	24.8	17.8	19.8	2.0	2.0	1.0
自営業・事業主	125	22.4	15.2	5.6	0.8	3.2	52.8	125	29.6	14.4	17.6	2.4	0.0	0.8
管理職・自由業	167	31.7	21.6	10.2	4.2	2.4	29.9	167	25.1	10.2	34.7	4.2	0.6	1.2
事務職・技術職	89	40.4	18.0	16.9	4.5	2.2	18.0	89	15.7	15.7	22.5	9.0	1.1	0.0
労働職・サービス職	302	33.4	22.5	12.3	3.0	1.3	27.5	302	20.5	15.9	25.2	4.3	2.6	3.3
主婦	107	25.2	24.3	8.4	1.9	0.9	39.3	107	19.6	12.1	29.9	0.9	0.0	1.9
学生	268	26.1	20.1	10.8	3.0	1.9	38.1	268	19.0	21.6	27.6	5.2	1.1	3.4
無職	61	26.2	21.3	8.2	3.3	1.6	39.3	61	16.4	18.0	27.9	3.3	3.3	4.9
その他	117	23.1	19.7	6.0	3.4	2.6	45.3	117	23.1	16.2	22.2	1.7	1.7	0.0
家族人数別	28	28.6	35.7	0.0	3.6	0.0	32.1	28	25.0	21.4	25.0	3.6	3.6	7.1
1人	208	21.6	26.0	12.0	4.3	0.5	35.6	208	21.2	19.2	20.7	1.4	1.9	1.4
2人	171	29.8	19.9	8.2	1.2	4.1	36.8	171	24.0	16.4	18.1	2.9	0.6	3.5
3人	220	27.3	23.2	7.3	2.3	1.4	38.6	220	21.8	16.4	27.3	5.5	2.3	4.5
4人	291	34.0	18.9	11.7	4.8	1.4	29.2	291	18.6	16.2	34.4	4.5	1.7	2.1
5人	143	32.2	18.9	11.9	2.8	2.1	32.2	143	18.2	13.3	28.0	7.0	2.1	1.4
6人以上	99	34.3	22.2	13.1	3.0	2.0	25.3	99	19.2	16.2	36.4	5.1	0.0	1.0
N	7	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージ	316	28.2	24.4	10.8	3.5	1.3	32.0	316	19.0	15.8	27.6	1.9	2.5	2.2
婚前	69	23.2	30.4	8.7	1.4	2.9	33.3	69	23.2	18.8	18.8	4.3	0.0	2.9
家族形成期(A)	107	23.4	23.4	13.1	4.7	0.9	34.6	107	19.6	26.2	25.2	8.4	0.9	2.8
家族成長期(B)	170	35.9	23.5	12.4	3.5	0.0	24.7	170	15.9	12.9	35.3	10.0	0.6	2.4
家族成熟期(C)	113	34.5	18.6	10.6	3.5	0.9	31.9	113	20.4	17.7	28.3	4.4	4.4	3.5
家族成熟期(D)	120	35.0	11.7	9.2	1.7	4.2	38.3	120	20.8	15.8	30.8	2.5	0.0	1.7
老年期(A)	76	25.0	19.7	6.6	3.9	3.9	40.8	76	14.5	10.5	35.5	2.6	0.0	2.6
老年期(B)	61	36.1	11.5	4.9	1.6	3.3	42.6	61	32.8	16.4	14.8	1.6	1.6	1.6
老年期(C)	36	25.0	27.8	11.1	5.6	0.0	30.6	36	38.9	11.1	8.3	5.6	2.8	0.0
その他	48	22.9	25.0	10.4	4.2	4.2	33.3	48	25.0	16.7	16.7	0.0	2.1	4.2
N	23	21.7	17.4	17.4	0.0	0.0	43.5	23	21.7	17.4	26.1	0.0	0.0	4.3
住居形態別	522	30.7	20.7	10.7	3.1	2.7	32.2	522	18.4	13.8	32.4	3.8	1.5	2.3
一戸建持家	42	35.7	16.7	9.5	2.4	0.0	35.7	42	35.7	7.1	26.2	9.5	4.8	0.0
一戸建借家	188	25.0	23.9	9.6	2.1	1.6	37.8	188	18.6	23.4	19.7	3.2	1.6	3.2
民間木造アパート	251	31.5	22.3	11.6	3.2	0.8	30.7	251	24.3	17.9	24.7	4.4	0.8	2.4
鉄筋アパートマンション	58	31.0	25.9	5.2	5.2	0.0	32.8	58	15.5	17.2	27.6	8.6	1.7	5.2
社宅・官舎	69	27.5	17.4	8.7	7.2	1.4	37.7	69	21.7	13.0	21.7	2.9	2.9	1.4
寮・間借り住込み	9	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	9	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	97	28.9	16.5	9.5	3.1	1.0	41.2	97	22.7	13.4	33.0	1.0	3.1	1.0
居住年数別	266	30.5	18.0	8.6	3.4	3.0	36.5	266	19.5	13.2	28.6	3.4	1.5	1.5
戦前から	162	29.0	22.2	13.6	3.1	1.9	30.2	162	21.6	15.4	26.5	5.6	3.1	1.9
昭和31年～40年	128	32.8	28.9	8.6	3.9	0.8	25.0	128	23.4	13.3	28.9	7.8	0.8	3.1
昭和41年～45年	196	31.1	17.0	11.7	2.6	2.0	26.5	196	20.9	18.4	26.0	5.1	1.0	3.6
昭和46年～50年	245	26.9	19.6	11.0	4.1	1.2	37.1	245	20.0	20.4	24.9	2.9	1.2	2.0
昭和51年～53年	45	28.9	22.2	8.9	0.0	0.0	40.0	45	11.1	22.2	22.2	4.4	0.0	8.9

Q12 隣り近所の人とふだんどの程度のお付き合いをしていますか。  
(1A)

回答項目 フェース	新居区 全体	その他	わからない	N	挨拶を かわす 程度	立ち 話を する 程度	お互いの 家に 行き 来している	困った ときは 助け 合ってくれる	ほとんど 付き合 っていない	付き合い 合っていない	N
											A
地域	10.7	1.8	15.2	1139	36.8	29.7	12.3	6.6	10.4	3.8	0.4
城	9.2	2.0	16.3	153	39.9	33.3	11.1	5.9	5.9	3.3	0.7
四重	3.6	0.0	0.0	111	37.8	32.4	16.2	2.7	7.2	3.6	0.0
松	10.2	3.1	15.6	128	33.6	29.7	13.3	5.5	15.6	1.6	0.8
久	6.4	0.9	8.2	110	43.6	30.0	10.0	5.5	4.5	6.4	0.0
保	11.6	2.3	20.2	129	28.7	31.8	14.7	6.2	17.1	1.6	0.0
塚	10.8	4.6	19.2	130	31.5	25.4	10.6	14.6	13.1	3.8	0.8
第一	12.5	0.0	21.9	96	29.2	27.1	11.5	4.2	21.9	6.3	0.0
第二	14.9	1.8	19.3	114	48.2	24.6	13.2	8.8	1.8	2.6	0.9
第三	19.6	0.0	16.1	112	36.6	27.7	11.6	8.0	8.9	7.1	0.0
第四	7.1	1.8	12.5	56	41.1	37.5	8.9	0.0	8.9	1.8	1.8
性別											
男	12.2	2.8	11.7	531	39.9	25.8	8.7	6.4	13.6	5.1	0.6
女	9.4	0.8	18.3	608	34.0	33.1	15.5	6.7	7.7	2.6	0.3
年代											
20代	15.7	3.3	9.2	153	39.2	20.9	2.6	2.0	23.5	11.8	0.0
30代	13.0	3.3	7.3	173	37.4	25.2	10.6	6.5	13.8	4.1	2.4
40代	9.4	2.8	15.1	106	39.6	30.2	10.4	10.4	7.5	1.9	0.0
50代	16.2	1.5	5.9	68	41.2	36.8	5.9	4.4	10.3	1.5	0.0
60代	4.9	2.5	23.5	81	44.4	21.0	17.3	11.1	4.9	1.2	0.0
70代	14.1	0.7	13.4	142	43.0	28.2	9.2	2.8	10.6	6.3	0.0
80代	8.2	0.7	17.9	134	32.8	28.4	19.4	4.5	12.7	1.5	0.7
90代	8.5	1.9	8.5	106	29.2	48.1	11.3	5.7	3.8	1.9	0.0
100代	6.9	1.0	24.8	101	35.6	34.7	18.8	4.0	5.0	2.0	0.0
職業	8.0	0.0	27.2	125	28.0	29.6	19.2	16.8	4.8	0.8	0.8
自営業・事業主	9.0	1.8	13.2	167	31.7	35.3	14.4	11.4	4.8	1.2	1.2
管理職・自由業	20.2	5.6	10.1	99	37.1	23.6	12.4	9.0	12.4	5.6	0.0
事務職・技術職	15.6	2.0	10.6	302	41.7	27.8	5.3	4.6	13.9	6.0	0.7
労働職・サービス職	12.1	0.9	22.4	107	44.9	17.8	11.2	5.6	15.0	5.6	0.0
主婦	6.3	0.0	15.7	268	30.2	39.9	16.4	6.3	5.2	1.5	0.4
学生	11.5	1.6	13.1	61	42.6	14.8	4.9	1.6	29.5	6.6	0.0
無職	4.3	3.4	27.4	117	39.3	26.5	19.7	6.8	6.0	1.7	0.0
その他	0.0	0.0	14.3	28	21.4	28.6	25.0	7.1	10.7	7.1	0.0
家族人数											
1人	13.9	3.4	16.8	208	34.6	19.2	10.6	3.8	19.2	12.0	0.5
2人	10.5	1.2	22.8	171	43.9	19.9	8.8	8.8	15.8	2.9	0.0
3人	9.1	2.3	10.9	220	38.6	28.6	11.8	7.7	10.9	1.8	0.5
4人	9.6	1.4	11.7	291	29.9	41.6	14.8	7.2	4.5	1.4	0.7
5人以上	11.9	0.7	17.5	143	40.6	33.6	13.3	4.2	7.7	0.7	0.0
N	7.1	1.0	14.1	99	38.4	32.3	14.1	8.1	3.0	3.0	1.0
ライフステージ	42.9	0.0	28.6	7	57.1	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
婚姻前	14.9	3.5	12.3	316	42.1	20.6	6.6	3.2	18.4	9.2	0.0
家族形成期	15.9	0.0	15.9	69	43.5	18.8	1.4	4.3	26.1	5.8	0.0
家族成長期(A)	5.6	0.9	10.3	107	34.6	36.4	15.9	3.7	5.6	0.9	2.8
家族成長期(B)	11.2	1.8	10.0	170	32.9	32.9	15.3	10.0	7.1	1.8	0.0
家族成長期(C)	11.5	0.0	9.7	113	31.9	43.4	15.9	4.4	4.4	0.0	0.0
家族成熟期	7.5	1.7	19.2	120	38.3	36.7	10.8	7.5	5.8	0.8	0.0
老年期(A)	6.6	1.3	26.3	76	22.4	44.7	22.4	10.5	0.0	0.0	0.0
老年期(B)	4.9	0.0	26.2	61	39.3	21.3	16.4	14.8	6.6	1.6	0.0
老年期(C)	5.6	0.0	27.8	36	38.9	16.7	19.4	11.1	11.1	2.8	0.0
その他	10.4	4.2	20.8	48	35.4	27.1	14.6	10.4	8.3	2.1	2.1
N	8.7	0.0	21.7	23	39.1	26.1	13.0	4.3	4.3	8.7	4.3
住居形態											
一戸建て	10.0	1.1	16.7	522	35.8	32.2	15.5	8.8	6.3	1.0	0.4
一戸建て借家	7.1	0.0	9.5	42	42.9	28.6	14.3	9.5	4.8	0.0	0.0
民間木造アパート	7.4	3.7	19.1	188	43.6	26.6	8.5	3.7	11.7	5.9	0.0
鉄筋アパートマンション	12.7	1.2	11.6	251	39.4	27.5	9.2	4.4	15.1	4.0	0.0
社宅・官舎	13.8	1.7	8.6	58	27.6	37.9	12.1	6.9	6.9	6.9	1.7
寮・間借り住まい	17.4	4.3	14.5	69	23.2	18.8	8.7	2.9	27.5	17.4	1.4
その他	11.1	0.0	22.2	9	11.1	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
居住年数											
戦前から	6.2	0.0	19.6	97	38.1	30.9	11.3	14.4	2.1	1.0	2.1
終戦～昭和30年	12.0	1.9	18.4	266	32.0	29.3	19.5	9.4	9.0	0.8	0.0
昭和31年～40年	9.3	1.2	15.4	162	34.6	39.5	10.5	6.8	6.2	2.5	0.0
昭和41年～45年	8.6	1.6	12.5	128	37.5	38.3	11.7	4.7	6.3	1.6	0.0
昭和46年～50年	10.2	3.1	11.7	196	37.8	23.5	13.8	5.1	14.8	4.1	1.0
昭和51年～53年	14.3	1.6	12.7	245	38.8	26.9	7.3	2.4	15.5	9.0	0.0
54年以降	6.7	2.2	22.2	45	53.3	11.1	0.0	6.7	17.8	8.9	2.2

Q14. あなたが住んでいる地域にほしいと思う施設を、次の中から2つ以内で選んでください。〔回答票5提示〕(2A)

回答項目	N	世帯主の属性							世帯の属性						
		性別	年齢	職業	家族構成	ライフステージ	住居形態	その他	世帯主の属性	世帯の属性	世帯の属性	世帯の属性	世帯の属性		
フェース															
地域	1139	9.8	14.4	20.5	33.4	15.9	1.1	4.8	1139	6.4	5.3	5.1	7.6	8.9	
四	153	10.5	13.7	21.6	34.0	16.3	0.7	3.3	153	5.2	9.8	5.9	13.7	14.4	
筆	111	20.7	15.3	16.2	38.7	7.2	0.9	0.9	111	3.6	2.7	2.7	8.1	6.3	
横	128	14.1	5.5	16.4	35.9	17.2	0.8	10.2	128	7.8	1.6	3.4	3.1	11.7	
若	110	11.8	16.4	29.1	29.1	10.0	0.0	3.6	110	8.2	13.6	4.5	10.0	19.1	
大	129	10.1	26.4	17.1	28.7	10.9	2.3	4.7	129	10.1	7.8	7.8	10.1	9.3	
戸	130	6.9	15.4	26.2	27.7	19.2	0.0	4.6	130	4.6	4.6	6.2	7.7	8.5	
合	96	4.2	12.5	24.0	32.3	20.8	1.0	5.2	96	4.2	4.2	3.1	4.2	2.1	
落	114	4.4	17.5	20.2	24.6	28.1	3.5	1.6	114	12.3	3.9	8.8	3.5	3.5	
合	112	6.3	11.6	20.5	36.6	16.1	0.3	8.9	112	2.7	2.7	2.7	7.1	4.5	
角	56	7.1	3.6	8.9	60.7	10.7	3.6	5.4	56	3.6	1.8	3.6	5.4	3.6	
性	531	11.7	12.6	20.7	31.3	17.9	1.3	4.5	531	4.1	5.3	4.9	4.5	7.7	
男	608	8.2	16.0	20.4	35.2	14.1	1.0	5.1	608	8.4	5.3	5.3	10.4	9.9	
女															
性															
年	153	14.4	9.8	23.5	28.1	17.6	0.7	5.9	153	3.9	4.6	3.3	3.3	2.6	
代	123	13.8	11.4	20.3	26.8	17.9	3.3	6.5	123	8.1	8.1	5.7	4.9	4.9	
20	106	9.4	15.1	22.6	39.6	9.4	0.0	3.8	106	1.9	2.8	3.6	6.6	7.5	
男	68	8.8	14.7	17.6	30.9	22.1	1.5	4.4	68	1.5	5.9	10.3	5.9	7.4	
男	81	8.6	14.8	16.0	33.3	25.9	1.2	0.0	81	3.7	4.9	3.7	2.5	22.2	
60	142	4.2	19.0	19.0	32.4	19.0	1.4	4.9	142	10.6	9.2	2.6	7.7	5.6	
代	134	9.7	14.2	21.6	31.3	17.2	0.7	5.2	134	9.7	8.2	5.2	14.2	4.5	
以	106	13.2	15.1	17.0	41.5	10.4	0.9	1.9	106	9.4	2.8	9.4	15.1	2.8	
上	101	9.9	13.9	24.8	34.7	7.9	1.0	7.9	101	5.9	2.0	5.9	9.9	14.9	
職業	125	5.6	16.8	20.0	37.6	13.6	0.8	5.6	125	5.6	2.4	4.0	5.6	22.4	
自	167	10.2	9.0	20.4	37.7	17.4	0.0	5.4	167	6.0	3.6	6.0	4.8	10.2	
営	89	15.7	11.2	18.0	25.8	25.8	1.1	2.2	89	3.4	5.6	5.6	6.7	9.0	
業	302	7.0	15.9	22.2	31.5	18.9	1.7	3.0	302	5.0	6.6	4.3	8.9	5.3	
管	107	14.0	17.8	19.6	26.2	16.8	0.9	4.7	107	6.5	4.7	4.7	1.9	6.5	
理	268	10.4	12.3	20.5	39.9	9.7	1.5	5.6	268	8.6	4.9	6.0	12.7	9.7	
職	61	9.8	12.0	19.7	36.1	9.8	0.0	6.6	61	6.6	8.2	3.3	4.9	1.6	
主	117	6.0	14.5	22.2	32.5	16.2	1.7	6.8	117	6.8	3.4	2.6	2.6	22.2	
無	28	14.3	39.3	10.7	14.3	10.7	0.0	10.7	28	10.7	7.1	14.3	14.3	0.0	
そ															
の															
家	208	10.1	14.9	21.2	27.9	19.2	1.4	5.3	208	4.8	4.8	4.3	6.3	8.7	
族	171	7.0	19.3	14.0	36.8	16.4	1.2	5.3	171	5.3	3.5	6.4	5.8	16.4	
人	220	8.6	13.2	23.6	36.4	12.7	1.4	4.1	220	6.8	5.5	6.8	9.5	5.0	
数	291	12.7	11.7	19.6	32.0	17.2	1.4	5.5	291	6.5	8.2	2.7	8.6	7.9	
1	143	8.4	13.3	24.5	36.4	14.0	0.7	2.8	143	5.6	4.2	7.0	5.6	9.1	
2	99	9.1	16.2	21.2	34.3	14.1	0.0	5.1	99	11.1	2.0	5.1	8.1	8.1	
3	7	28.6	24.6	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	7	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	
4															
5															
6															
人															
以															
上															
A															
J															
フ															
ラ															
イ															
フ															
ス															
テ															
ジ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															
ミ															
ヤ															
マ															
シ															
ノ															

Q15. 今年は国勢児童年で  
すが、ご存知ですか。

(1A)

回答項目 フェース	公園・児童遊園	健康相談所	運動場	体育館	社会教育会館	図書館	その他	特になし	N	知っている	知らない
地域別	29.3	12.1	25.5	14.3	4.0	16.0	2.8	21.3	1139	63.9	16.1
市	29.4	11.1	20.9	8.5	3.3	11.1	0.7	24.8	153	78.4	21.6
町	26.1	7.2	20.7	11.7	0.9	29.7	0.0	24.3	111	78.4	21.6
村	32.0	8.6	32.0	18.8	2.3	12.5	3.1	18.0	128	86.7	13.3
若松	16.4	17.3	22.7	19.1	2.7	20.9	1.8	15.5	110	81.8	18.2
大久保	46.5	7.0	20.9	10.1	3.9	17.1	2.3	18.6	129	85.3	14.7
合第	36.2	16.9	25.4	12.3	6.9	13.1	2.3	16.9	130	87.7	12.3
落合	25.0	14.6	42.7	25.0	1.0	15.6	5.2	19.8	96	84.4	15.6
落合	22.8	20.2	26.3	14.0	5.3	16.7	5.3	16.7	114	89.5	10.5
落合	32.1	9.8	27.7	17.9	7.1	21.4	7.1	20.5	112	87.5	12.5
落合	14.3	7.1	12.5	5.4	7.1	5.4	0.0	55.4	56	76.8	23.2
性別											
男	28.2	12.6	31.8	16.9	3.0	16.2	3.4	20.3	531	84.6	15.4
女	30.3	11.7	19.9	12.0	4.8	16.9	2.3	22.2	608	83.4	16.6
年代別											
20代	28.1	6.5	45.8	25.5	1.3	26.1	2.0	15.0	153	88.9	11.1
30代	28.5	8.9	31.7	19.5	1.6	12.2	3.3	19.5	123	83.7	16.3
40代	30.2	15.1	31.1	14.2	5.7	16.0	0.9	22.6	106	83.0	17.0
50代	29.4	26.5	20.6	11.8	7.4	16.2	4.4	16.2	68	94.1	5.9
60代以上	24.7	14.8	16.0	4.9	1.2	3.7	8.6	32.1	81	71.6	28.4
20代	33.8	6.3	25.4	21.8	6.3	26.8	2.8	12.7	142	93.7	6.3
30代	37.3	9.0	26.1	14.9	1.5	20.1	2.2	14.2	134	96.3	3.7
40代	34.9	12.3	22.6	13.2	6.6	16.0	3.8	14.2	106	87.7	12.3
50代	18.8	18.8	9.9	5.0	5.0	13.9	0.0	36.6	101	76.2	23.8
60代以上	24.0	14.4	12.8	2.4	4.8	5.6	2.4	36.8	125	60.0	40.0
職業別											
自営業・事業主	22.8	12.0	28.7	12.6	3.6	10.6	4.2	26.3	167	80.2	19.8
管理職・自由業	16.9	24.7	21.3	15.7	4.5	16.9	3.4	22.5	89	84.3	15.7
事務職・技術職	32.5	7.3	29.1	20.9	5.0	21.2	2.3	17.9	302	90.1	9.9
労働職・サービス職	36.4	13.1	28.0	19.6	3.7	15.9	2.8	16.6	107	80.4	19.6
主婦	30.6	14.2	21.6	9.7	3.7	14.2	2.2	20.9	268	85.8	14.2
学生	27.9	1.6	45.9	23.0	1.6	36.1	1.6	11.5	61	95.1	4.9
無職	26.5	14.5	11.1	0.9	4.3	8.5	4.3	35.0	117	64.1	35.9
その他	50.0	14.3	21.4	10.7	0.0	17.9	0.0	10.7	28	92.9	7.1
家族人数別											
1人	29.8	10.6	29.8	22.1	2.4	19.7	1.4	16.8	208	84.6	15.4
2人	27.5	14.0	19.9	11.1	2.9	14.0	2.9	27.5	171	73.7	26.3
3人	30.9	11.4	25.9	11.8	4.5	13.2	3.6	21.8	220	85.0	15.0
4人	29.9	12.7	25.1	13.4	4.8	18.2	3.4	20.3	291	88.3	11.7
5人	30.1	11.2	28.7	14.7	4.9	18.2	2.8	17.5	143	81.8	18.2
6人以上	26.3	13.1	21.2	10.1	3.0	16.2	2.0	28.3	99	87.9	12.1
N	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	7	85.7	14.3
ライフステージ											
婚前	29.1	7.0	33.2	23.1	3.2	25.9	2.2	15.2	316	90.5	9.5
家族形成期	33.3	5.8	33.3	17.4	4.3	18.8	5.8	20.3	69	85.5	14.5
家族成長期(A)	37.4	11.2	25.2	13.1	2.8	16.7	2.8	14.0	107	89.7	10.3
家族成長期(B)	35.3	10.0	36.5	19.4	2.4	17.6	2.4	14.7	170	87.6	12.4
家族成長期(C)	34.5	16.8	24.8	9.7	8.0	16.8	1.8	16.8	113	93.8	6.2
家族成熟期	20.0	21.7	11.7	4.2	5.8	9.2	2.5	37.5	120	80.8	19.2
老年期(A)	25.0	10.5	15.8	5.3	3.9	6.6	7.9	28.9	76	65.8	34.2
老年期(B)	23.0	14.8	6.6	4.9	4.9	4.9	1.6	37.7	61	65.6	34.4
老年期(C)	25.0	19.4	8.3	0.0	0.0	0.0	5.6	38.9	36	61.1	38.9
その他	22.9	25.0	8.3	6.3	2.1	10.4	0.0	25.0	48	66.7	33.3
N	13.0	8.7	34.8	21.7	8.7	4.3	0.0	26.1	23	82.6	17.4
住居形態別											
一戸建持家	28.4	13.4	22.8	10.5	4.8	14.4	3.3	23.9	522	81.6	18.4
一戸建借家	42.9	11.9	21.4	16.7	2.4	19.0	0.0	14.3	42	81.0	19.0
民間木造アパート	32.4	12.8	26.6	21.3	3.7	14.9	2.7	16.0	188	83.5	16.5
鉄筋アパートマンション	29.9	12.4	28.3	14.7	3.2	16.7	3.2	20.7	251	87.6	12.4
社宅・官舎	25.9	5.2	22.4	12.1	1.7	24.3	1.7	24.1	58	93.1	6.9
寮・間借り住込み	20.3	7.2	37.7	23.2	4.3	26.1	1.4	20.3	69	82.6	17.4
その他	33.3	0.0	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	9	88.9	11.1
居住年数別											
戦前から	27.8	16.5	21.6	10.3	7.2	8.2	1.0	24.7	97	74.2	25.8
終戦～昭和30年	23.3	11.3	21.4	10.2	3.4	16.5	3.8	28.2	266	76.7	23.3
昭和31年～40年	32.7	13.6	20.4	12.3	4.9	16.0	3.1	22.8	162	89.5	10.5
昭和41年～45年	34.4	13.3	25.8	16.4	3.9	11.7	2.3	14.1	128	85.2	14.8
昭和46年～50年	28.6	12.8	30.6	15.8	4.1	17.3	2.0	18.9	196	85.7	14.3
昭和51年～53年	31.8	9.8	30.6	19.6	1.2	21.2	3.7	16.7	245	88.6	11.4
54年以降	31.1	8.9	24.4	13.3	11.1	22.2	0.0	24.4	45	91.1	8.9



Q16. では、青少年がすこやかに育ち、それを取りまく環境をよくするには、どこが最も力を入れてやらなければならないと思いますか。(1A)

Q17. あなたは子どもにどんなことを身につけてほしいと思いますか。次の中から主なことを2つ以内で選んでください。〔回答票6提示〕(2A)

回答項目 フェース	N	個々の家庭	地域社会	機関 役所などの行政	学校	その他	わからない	N	自主性	忍耐力	自立心	親切心	社会道徳	礼儀作法
総計	1139	53.3	19.4	7.8	11.7	1.7	6.1	1139	23.5	20.7	17.0	14.0	27.4	21.5
地域														
四重町	153	37.3	31.4	8.5	18.3	0.7	3.9	153	16.3	29.4	13.1	10.5	39.9	29.4
草加市	111	53.2	23.4	7.2	14.4	0.0	1.8	111	20.7	15.3	18.0	19.8	11.7	19.8
若松市	128	63.3	14.1	5.5	5.5	2.3	9.4	128	21.9	25.0	13.3	11.7	35.9	20.3
久保町	110	47.3	23.6	5.5	14.5	0.9	8.2	110	17.3	20.9	15.5	21.8	21.8	23.6
大戸町	129	37.2	22.5	14.7	11.6	1.6	12.4	129	30.2	21.7	23.3	14.0	25.6	22.5
落合第1地区	130	60.8	16.2	7.7	6.9	2.3	6.2	130	21.5	20.8	16.9	20.8	22.3	24.6
落合第2地区	96	45.8	13.5	10.4	17.7	5.2	7.3	96	26.0	16.7	21.9	9.4	13.5	15.6
落合第3地区	114	64.9	14.0	5.3	13.2	1.8	0.9	114	30.7	17.5	18.4	9.6	31.6	18.4
落合第4地区	112	66.1	16.1	5.4	8.9	0.0	3.6	112	29.5	13.4	16.1	13.4	37.5	16.1
落合第5地区	56	69.6	10.7	7.1	0.0	3.6	8.9	56	23.2	23.2	14.3	5.4	26.8	19.6
性別														
男性	531	51.2	19.6	7.9	14.3	1.9	5.1	531	23.0	19.0	17.3	13.2	29.0	19.2
女性	608	55.1	19.2	7.7	9.4	1.5	7.1	608	24.0	22.2	16.8	14.8	26.0	23.5
年代別														
20代	153	47.7	22.9	8.5	15.0	2.0	3.9	153	30.7	13.1	17.6	8.5	32.7	13.7
30代	123	55.3	16.3	8.1	12.2	2.4	5.7	123	23.6	23.6	15.4	13.0	21.1	16.3
40代	106	50.0	22.6	5.7	14.2	2.8	4.7	106	17.9	23.6	23.6	12.3	23.6	15.1
50代	68	47.1	20.6	5.9	19.1	1.5	5.9	68	17.6	22.1	19.1	17.6	27.9	22.1
60代以上	81	56.8	13.6	11.1	12.3	0.0	6.2	81	18.5	14.8	9.9	19.8	42.0	37.0
20代	142	52.1	23.9	12.7	7.0	1.4	2.8	142	35.2	15.5	13.4	13.4	24.6	17.6
30代	134	55.2	21.6	5.2	10.4	0.7	6.7	134	17.2	28.4	17.9	14.2	24.6	19.4
40代	106	58.5	18.9	7.5	9.4	1.9	3.8	106	26.4	26.4	21.7	12.3	22.6	19.8
50代	101	58.4	13.9	6.9	10.9	2.0	7.9	101	21.8	22.8	14.9	15.8	28.7	29.7
60代以上	125	52.8	16.0	5.6	9.6	1.6	14.4	125	18.4	19.2	16.8	18.4	29.6	32.8
職業別														
自営業・事業主	167	59.3	16.2	7.8	9.6	1.2	6.0	167	20.4	21.6	11.4	13.2	25.7	22.2
管理職・自由業	89	51.7	19.1	4.5	12.4	4.5	7.9	89	19.1	19.1	23.6	21.3	28.1	15.7
事務職・技術職	302	52.0	20.5	8.9	13.9	1.3	3.3	302	27.2	21.5	17.5	12.9	28.1	17.9
労働職・サービス職	107	58.9	20.6	5.6	10.3	0.9	3.7	107	24.3	17.8	15.0	13.1	28.0	19.6
主婦	268	55.2	21.6	6.0	9.0	2.6	5.6	268	21.3	25.0	21.3	12.3	26.5	24.3
学生	61	39.3	13.0	14.8	19.7	0.0	8.2	61	37.7	8.2	16.4	8.2	19.7	13.1
無職その他	117	49.6	13.7	6.8	14.5	0.9	14.5	117	18.8	15.4	12.0	20.5	31.6	35.9
家族人数別														
1人	208	50.5	19.2	7.7	12.0	2.4	8.2	208	22.6	20.7	16.8	8.7	29.8	21.6
2人	171	56.1	17.0	5.3	12.3	1.8	7.6	171	23.4	16.4	15.8	16.4	32.7	26.3
3人	220	58.2	16.4	5.9	14.1	1.4	4.1	220	27.3	20.0	18.6	14.1	28.6	25.0
4人	291	50.9	21.0	10.3	11.3	0.7	5.8	291	24.7	23.4	16.8	15.1	23.4	18.6
5人	143	48.3	23.1	7.7	11.2	1.4	8.4	143	19.6	18.9	16.8	18.2	25.2	20.3
6人以上	99	57.6	21.2	8.1	7.1	4.0	2.0	99	21.2	22.2	18.2	13.1	26.3	16.2
N	7	57.1	14.3	28.6	6.0	0.0	0.0	7	0.0	57.1	0.0	0.0	14.3	14.3
ライフステージ														
婚前	316	50.6	20.9	10.1	11.4	1.6	5.4	316	28.5	16.8	16.5	10.8	30.1	15.8
家族形成期	69	62.3	21.7	4.3	7.2	1.4	2.9	69	29.0	17.4	13.0	15.9	31.9	20.3
家族成長期(A)	107	52.3	24.3	9.3	11.2	1.9	0.9	107	24.3	22.4	14.0	17.8	19.6	15.9
家族成長期(B)	170	50.6	23.5	7.1	11.2	1.8	5.9	170	20.6	25.9	21.2	14.1	19.4	17.6
家族成長期(C)	113	56.6	19.5	6.2	13.3	1.8	2.7	113	27.4	21.2	28.3	14.2	23.9	12.4
家族成熟期	120	55.8	14.2	5.0	15.0	1.7	8.3	120	20.8	19.2	12.5	16.7	35.8	29.2
老年期(A)	76	50.0	17.1	11.8	9.2	1.3	10.5	76	19.7	13.4	18.4	17.1	23.7	31.6
老年期(B)	61	68.9	11.5	3.3	9.8	0.0	6.6	61	18.0	18.0	13.1	18.0	29.5	36.1
老年期(C)	36	55.6	13.9	5.6	16.7	0.0	8.3	36	11.1	13.9	8.3	13.9	41.7	47.2
その他	48	37.5	16.7	12.5	12.5	4.2	16.7	48	14.6	41.7	14.6	14.6	31.3	31.3
N	23	56.5	8.7	0.0	13.0	4.3	17.4	23	17.4	26.1	13.0	0.0	21.7	30.4
住居形態別														
一戸建持家	522	54.2	17.2	7.9	12.1	1.7	6.9	522	23.9	21.6	16.9	14.9	28.4	21.8
一戸建借家	42	64.3	19.0	4.8	4.8	0.0	7.1	42	16.7	16.7	19.0	16.7	23.8	26.2
民間木造アパート	188	51.1	21.3	8.0	12.8	1.6	5.3	188	27.1	22.3	17.0	13.3	27.7	20.2
鉄筋アパートマンション	251	50.2	22.7	8.0	10.8	1.2	7.2	251	20.3	20.3	15.5	15.1	25.1	21.1
社宅・官舎	58	53.4	19.0	3.4	17.2	5.2	1.7	58	31.0	19.0	17.2	8.6	22.4	19.0
寮・間借り・住込み	69	56.5	17.4	13.0	10.1	1.4	1.4	69	21.7	14.5	21.7	10.1	34.8	21.7
その他	9	55.6	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	9	11.1	22.2	22.2	0.0	22.2	33.3
居住年数別														
戦前から	97	58.8	16.5	9.3	4.2	2.1	5.2	97	20.6	16.5	15.5	22.7	23.7	29.9
終戦～昭和30年	266	58.3	14.3	6.0	12.4	1.5	7.5	266	19.5	21.4	16.9	12.0	33.1	25.6
昭和31年～40年	162	50.6	23.5	8.6	9.3	0.6	7.4	162	26.5	25.3	14.8	14.8	27.8	17.3
昭和41年～45年	128	46.1	30.5	7.8	9.4	1.6	4.7	128	18.8	26.6	20.3	12.5	34.4	18.8
昭和46年～50年	136	52.6	16.8	8.7	12.8	2.0	7.1	136	23.5	25.0	15.3	15.8	19.4	23.5
昭和51年～53年	245	52.2	18.0	9.4	13.5	2.4	4.5	245	29.8	13.5	18.8	11.4	26.5	16.3
54年以降	45	51.1	26.9	0.0	15.6	0.0	4.4	45	22.2	17.3	17.8	15.6	20.0	22.2

回答項目 フェース		判断力	責任感	豊かな情操	自己表現力	協調性	その他	特にな
地域	敷別谷町	9.8	29.9	8.7	3.7	6.6	1.7	3.8
	四重根	6.5	25.1	4.6	3.9	2.6	2.6	2.6
若大戸	松久	18.9	33.3	11.7	11.7	10.8	0.0	0.0
	合第	17.2	31.3	7.0	1.6	5.5	0.8	1.6
落合	第	5.5	28.2	7.3	4.5	11.8	1.8	2.7
	第	10.9	25.6	8.5	4.7	3.1	0.0	3.9
角	第	10.0	32.3	9.2	0.8	7.7	0.8	5.4
	第	10.4	33.3	8.3	5.2	8.3	3.1	8.3
性	第	6.1	29.8	13.2	3.5	8.8	1.8	2.6
	第	6.3	33.0	11.6	0.0	4.5	1.8	3.6
男	第	3.6	19.6	5.4	0.0	3.6	7.1	12.5
	第	10.2	31.8	7.7	2.8	7.0	2.1	5.1
女	第	9.5	28.1	9.5	4.4	6.3	1.3	2.6
性	第	13.7	32.0	6.5	5.9	3.9	0.0	8.5
	第	9.8	35.0	9.8	2.4	8.9	3.3	4.9
男	第	11.3	34.9	8.5	0.9	9.4	2.8	4.7
	第	8.8	30.9	10.3	2.9	8.8	2.9	0.0
男	第	3.7	23.5	3.7	0.0	4.9	2.5	3.7
	第	9.9	29.6	16.2	7.0	5.6	0.7	1.4
女	第	14.9	30.6	11.2	4.5	6.7	0.7	0.7
	第	11.3	35.8	6.6	2.8	8.5	0.0	0.9
女	第	6.9	23.8	5.0	6.9	6.9	0.0	5.0
	第	4.0	20.8	6.4	0.8	4.0	4.8	5.6
職	第	9.0	33.5	8.4	2.4	11.4	3.0	4.6
	第	12.4	24.7	11.2	5.6	7.9	2.2	1.1
自	第	8.3	31.1	9.6	3.0	6.6	1.3	4.0
	第	13.1	35.5	11.2	3.7	4.7	0.0	3.7
主	第	10.8	29.9	7.5	4.1	5.6	0.7	2.2
	第	13.1	29.5	11.5	11.5	6.6	0.0	9.8
学	第	6.0	22.2	5.1	0.9	3.4	3.4	5.1
	第	10.7	21.4	3.6	3.6	3.6	7.1	0.0
モ	第	10.6	27.9	9.6	5.8	2.9	1.4	7.2
	第	3.5	28.1	6.2	4.7	5.8	1.2	6.4
家	第	8.6	25.9	8.2	2.7	5.5	2.7	1.2
	第	12.0	30.6	10.0	3.8	9.6	1.4	1.4
族	第	12.6	32.9	7.0	2.8	7.7	0.7	4.2
	第	11.1	40.4	8.1	1.0	8.1	2.0	1.0
人	第	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6
	第	11.4	29.7	10.4	5.7	5.1	0.6	6.6
ラ	第	4.3	34.8	13.0	7.2	4.3	0.0	2.9
	第	7.5	32.7	14.0	2.8	14.0	3.7	0.9
イ	第	17.1	38.8	6.5	2.9	5.3	1.2	0.6
	第	12.4	32.7	6.2	2.7	10.6	0.9	0.0
フ	第	8.3	27.5	8.3	1.7	4.2	2.5	0.8
	第	9.2	25.0	6.6	2.6	7.9	2.6	3.9
ス	第	1.6	19.7	4.9	4.9	8.2	3.3	6.6
	第	2.8	30.6	2.8	0.0	2.8	2.8	5.6
テ	第	2.1	10.4	8.3	0.0	2.1	2.1	10.4
	第	8.7	17.4	4.3	4.3	8.7	4.3	13.0
ジ	第	8.4	29.9	6.9	2.7	7.1	2.1	3.6
	第	14.3	35.7	14.3	4.8	7.1	0.0	0.0
婚	第	9.0	29.3	9.6	3.7	2.7	0.5	5.9
	第	10.8	28.7	12.0	6.4	7.6	2.0	2.4
前	第	15.5	36.2	8.6	3.4	10.3	1.7	1.7
	第	11.6	30.4	5.8	1.4	7.2	0.0	5.8
期	第	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
	第	3.1	23.7	6.2	1.0	12.4	4.1	4.1
成	第	9.4	27.1	7.9	3.0	4.5	1.1	5.6
	第	11.1	31.5	8.6	3.7	4.3	0.6	3.7
期	第	9.4	34.4	4.7	2.3	6.3	1.6	0.8
	第	8.7	32.1	10.7	3.6	7.1	2.6	1.5
A	第	13.5	29.0	10.6	5.7	8.6	1.2	4.9
	第	8.9	35.6	11.1	6.7	2.2	2.2	4.4
B	第	8.4	29.9	6.9	2.7	7.1	2.1	3.6
	第	14.3	35.7	14.3	4.8	7.1	0.0	0.0
C	第	9.0	29.3	9.6	3.7	2.7	0.5	5.9
	第	10.8	28.7	12.0	6.4	7.6	2.0	2.4
期	第	15.5	36.2	8.6	3.4	10.3	1.7	1.7
	第	11.6	30.4	5.8	1.4	7.2	0.0	5.8
熟	第	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
	第	3.1	23.7	6.2	1.0	12.4	4.1	4.1
期	第	9.4	27.1	7.9	3.0	4.5	1.1	5.6
	第	11.1	31.5	8.6	3.7	4.3	0.6	3.7
老	第	9.4	34.4	4.7	2.3	6.3	1.6	0.8
	第	8.7	32.1	10.7	3.6	7.1	2.6	1.5
年	第	13.5	29.0	10.6	5.7	8.6	1.2	4.9
	第	8.9	35.6	11.1	6.7	2.2	2.2	4.4
期	第	8.4	29.9	6.9	2.7	7.1	2.1	3.6
	第	14.3	35.7	14.3	4.8	7.1	0.0	0.0
他	第	9.0	29.3	9.6	3.7	2.7	0.5	5.9
	第	10.8	28.7	12.0	6.4	7.6	2.0	2.4
の	第	15.5	36.2	8.6	3.4	10.3	1.7	1.7
	第	11.6	30.4	5.8	1.4	7.2	0.0	5.8
そ	第	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
	第	3.1	23.7	6.2	1.0	12.4	4.1	4.1
の	第	9.4	27.1	7.9	3.0	4.5	1.1	5.6
	第	11.1	31.5	8.6	3.7	4.3	0.6	3.7
他	第	9.4	34.4	4.7	2.3	6.3	1.6	0.8
	第	8.7	32.1	10.7	3.6	7.1	2.6	1.5
A	第	13.5	29.0	10.6	5.7	8.6	1.2	4.9
	第	8.9	35.6	11.1	6.7	2.2	2.2	4.4
B	第	8.4	29.9	6.9	2.7	7.1	2.1	3.6
	第	14.3	35.7	14.3	4.8	7.1	0.0	0.0
C	第	9.0	29.3	9.6	3.7	2.7	0.5	5.9
	第	10.8	28.7	12.0	6.4	7.6	2.0	2.4
期	第	15.5	36.2	8.6	3.4	10.3	1.7	1.7
	第	11.6	30.4	5.8	1.4	7.2	0.0	5.8
期	第	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
	第	3.1	23.7	6.2	1.0	12.4	4.1	4.1
終	第	9.4	27.1	7.9	3.0	4.5	1.1	5.6
	第	11.1	31.5	8.6	3.7	4.3	0.6	3.7
戦	第	9.4	34.4	4.7	2.3	6.3	1.6	0.8
	第	8.7	32.1	10.7	3.6	7.1	2.6	1.5
前	第	13.5	29.0	10.6	5.7	8.6	1.2	4.9
	第	8.9	35.6	11.1	6.7	2.2	2.2	4.4
から	第	8.4	29.9	6.9	2.7	7.1	2.1	3.6
	第	14.3	35.7	14.3	4.8	7.1	0.0	0.0
昭和	第	9.0	29.3	9.6	3.7	2.7	0.5	5.9
	第	10.8	28.7	12.0	6.4	7.6	2.0	2.4
30年	第	15.5	36.2	8.6	3.4	10.3	1.7	1.7
	第	11.6	30.4	5.8	1.4	7.2	0.0	5.8
～	第	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
	第	3.1	23.7	6.2	1.0	12.4	4.1	4.1
40年	第	9.4	27.1	7.9	3.0	4.5	1.1	5.6
	第	11.1	31.5	8.6	3.7	4.3	0.6	3.7
～	第	9.4	34.4	4.7	2.3	6.3	1.6	0.8
	第	8.7	32.1	10.7	3.6	7.1	2.6	1.5
50年	第	13.5	29.0	10.6	5.7	8.6	1.2	4.9
	第	8.9	35.6	11.1	6.7	2.2	2.2	4.4
～	第	8.4	29.9	6.9	2.7	7.1	2.1	3.6
	第	14.3	35.7	14.3	4.8	7.1	0.0	0.0
53年	第	9.0	29.3	9.6	3.7	2.7	0.5	5.9
	第	10.8	28.7	12.0	6.4	7.6	2.0	2.4
以降	第	15.5	36.2	8.6	3.4	10.3	1.7	1.7
	第	11.6	30.4	5.8	1.4	7.2	0.0	5.8
54年	第	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
	第	3.1	23.7	6.2	1.0	12.4	4.1	4.1
以降	第	9.4	27.1	7.9	3.0	4.5	1.1	5.6
	第	11.1	31.5	8.6	3.7	4.3	0.6	3.7
以降	第	9.4	34.4	4.7	2.3	6.3	1.6	0.8
	第	8.7	32.1	10.7	3.6	7.1	2.6	1.5
以降	第	13.5	29.0	10.6	5.7	8.6	1.2	4.9
	第	8.9	35.6	11.1	6.7	2.2	2.2	4.4

Q18. 子どもに対しては、地域の人全体が親のように注意を払うべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

Q18. また、子どもが宿題や塾などあらゆるものから解放され、遊びに専念できる「こどもの午後」を、日を決めて設けるべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

回答項目 フェース	N	当然のことだ	個人の主義・美意識化している	子どもの権利に任せて	子供の親に任せて	子供の親に任せて	その他	わからない	N	ぜひ設けるべきだ	できれば設けるべきだ	それはむしろ考へるべきでない	そんなことをする	都会は危険が多い
総数	1139	43.1	38.0	2.4	7.6	1.3	1.0	6.6	1139	21.9	27.1	25.5	0.8	1.6
地域														
四谷	153	32.7	46.4	3.3	6.5	3.3	0.0	7.8	153	28.1	17.0	34.0	0.0	0.7
町	111	50.5	26.1	0.9	19.8	1.8	0.9	0.0	111	21.6	19.8	36.0	2.7	0.9
松久	128	42.2	34.4	3.9	5.5	0.0	1.6	12.5	128	18.8	33.6	20.3	1.6	0.8
保塚	110	57.3	26.4	2.7	7.3	2.7	0.0	3.6	110	38.2	27.3	18.2	0.9	3.6
第一	129	35.7	42.6	3.1	7.0	0.0	0.8	10.9	129	23.3	37.2	19.4	1.6	1.6
二	130	40.8	40.0	3.1	10.0	0.0	0.8	5.4	130	13.1	26.9	26.9	0.0	3.1
三	96	59.4	27.1	1.0	3.1	2.1	2.1	5.2	96	16.7	33.3	20.8	0.0	1.0
四	114	36.8	50.9	0.9	3.5	1.8	3.5	2.6	114	17.5	21.1	35.1	0.0	0.0
五	112	33.0	47.3	2.7	5.4	0.9	0.0	10.7	112	20.5	33.9	20.5	0.9	2.7
六	56	58.9	28.6	0.0	8.9	0.0	0.0	3.6	56	17.9	19.6	17.9	0.0	1.8
性別														
男性	531	44.1	36.3	2.1	9.2	0.9	1.3	6.0	531	24.9	24.7	25.0	0.9	1.3
女性	608	42.3	39.5	2.6	6.3	1.6	0.7	7.1	608	19.2	29.3	26.0	0.7	1.8
年代														
20代	153	41.2	41.2	2.0	5.2	0.0	2.0	8.5	153	27.5	25.5	22.2	0.7	0.7
30代	123	39.8	40.7	1.6	8.9	1.6	0.8	6.5	123	21.1	24.4	26.0	0.8	1.6
40代	106	53.8	29.2	5.7	5.7	0.0	0.0	5.7	106	26.4	25.5	27.4	1.9	0.0
50代	68	48.5	39.7	0.0	5.9	2.9	0.0	2.9	68	23.5	26.5	27.9	1.5	2.9
60代以上	81	39.5	27.2	0.0	24.7	1.2	3.7	3.7	81	24.7	21.0	23.5	0.0	2.5
男性	142	36.6	45.8	2.1	8.5	1.4	0.0	5.6	142	19.0	33.8	24.6	0.7	0.0
女性	134	44.0	37.3	2.2	6.0	1.5	0.7	8.2	134	22.4	30.6	24.6	0.7	2.2
20代	106	38.7	47.2	0.9	7.5	0.9	0.0	4.7	106	17.9	24.5	36.8	0.0	0.0
30代	101	47.5	38.6	3.0	4.0	0.0	2.0	5.0	101	16.8	31.7	23.8	2.0	2.0
40代	125	45.6	28.8	4.8	4.8	4.0	0.8	11.2	125	19.2	24.8	21.6	0.0	4.8
職業														
自営業・事業主	167	48.5	32.3	1.2	10.8	1.2	1.2	4.8	167	27.5	21.0	23.4	1.8	2.4
管理職・自由業	89	47.2	31.5	3.4	10.1	1.1	2.2	4.5	89	23.6	29.2	27.0	1.1	0.0
事務職・技術職	302	44.4	41.7	1.0	7.3	2.0	0.3	3.3	302	22.2	26.2	26.8	0.3	1.7
労働者・サービス職	107	38.3	40.2	4.7	3.7	0.0	0.0	13.1	107	23.4	27.1	23.4	0.9	0.9
主婦	268	41.8	42.2	3.0	3.7	1.9	1.1	6.3	268	17.5	31.3	29.5	0.7	1.1
学生	61	41.0	39.3	0.0	9.8	0.0	1.6	8.2	61	13.1	31.1	32.8	1.6	0.0
無職	117	39.3	28.2	4.3	12.8	0.9	1.7	12.8	117	20.5	23.9	15.4	0.0	4.3
その他	28	35.7	42.9	3.6	10.7	0.0	0.0	7.1	28	39.3	32.1	17.9	0.0	0.0
家族人数														
1人	208	42.3	37.5	1.0	9.1	0.5	1.0	8.7	208	26.9	25.5	24.5	0.0	0.0
2人	171	35.7	35.1	1.2	11.7	2.3	2.3	11.7	171	26.3	23.4	19.3	1.2	3.5
3人	220	47.7	36.8	0.5	8.2	0.5	1.4	5.0	220	20.5	32.7	23.6	0.0	1.8
4人	291	40.9	42.6	3.8	5.8	1.4	0.3	5.2	291	18.2	26.5	29.2	2.1	2.1
5人以上	143	50.3	32.2	4.2	6.3	2.1	0.7	4.2	143	18.9	28.7	28.0	0.7	1.4
男女別	99	44.4	42.4	5.1	4.0	2.0	0.0	2.0	99	23.2	25.3	27.3	0.0	0.0
ライフステージ	7	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	7	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0
婚姻前	316	36.4	42.4	2.5	7.9	0.9	0.9	8.9	316	22.2	25.3	25.9	0.6	0.6
家族形成期	69	40.6	36.2	0.0	8.7	2.9	1.4	10.1	69	27.5	30.4	21.7	0.0	1.4
家族成長期(A)	107	43.9	40.2	2.8	6.5	0.9	0.0	5.6	107	24.3	30.8	22.4	1.9	1.9
家族成長期(B)	170	46.5	41.8	2.4	4.1	0.6	0.6	4.1	170	22.9	27.1	30.0	0.6	0.6
家族成長期(C)	113	44.2	41.6	4.4	7.1	0.9	0.0	1.8	113	15.9	33.6	31.0	0.9	0.0
家族成熟期	120	53.3	35.0	0.8	5.8	0.8	0.8	3.3	120	14.2	29.2	26.7	0.8	3.3
家族成熟期(A)	76	47.4	26.3	3.9	10.5	5.3	1.3	5.3	76	17.1	25.0	26.3	0.0	2.6
老年期(B)	61	34.4	31.1	3.3	16.4	1.6	3.3	9.8	61	26.2	19.7	18.0	3.3	6.6
老年期(C)	36	69.4	19.4	0.0	8.3	0.0	2.8	0.0	36	36.1	22.2	19.4	0.0	2.8
その他	48	29.2	41.7	2.1	10.4	0.0	2.1	14.6	48	27.1	22.9	18.8	0.0	2.1
N	23	52.2	21.7	0.0	4.3	4.3	0.0	17.4	23	21.7	26.1	21.7	0.0	0.0
住居形態別														
一戸建持家	522	42.3	37.2	2.7	7.9	1.9	1.1	6.9	522	19.7	25.1	26.4	1.1	1.9
一戸建借家	42	40.5	47.6	2.4	9.5	0.0	0.0	0.0	42	19.0	38.1	28.6	0.0	2.4
民間木造アパート	188	40.4	39.9	2.1	8.5	1.1	0.5	7.4	188	23.4	26.6	22.9	0.5	1.6
鉄筋アパート・マンション	251	49.0	33.9	2.4	6.8	1.2	0.8	6.0	251	26.7	29.9	24.3	0.8	1.2
社宅・官舎	58	37.9	43.1	1.7	8.6	0.0	1.7	6.9	58	15.5	32.8	25.9	0.0	1.7
寮・借宿・住込み	69	40.6	44.9	1.4	5.8	0.0	1.4	5.8	69	23.2	24.6	26.1	0.0	0.0
その他	9	44.4	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	9	22.2	11.1	44.4	0.0	0.0
居住年数別														
戦前から	97	41.2	33.0	5.2	10.3	2.1	1.0	7.2	97	19.6	20.6	25.8	0.0	4.1
戦後～昭和30年	266	45.1	36.3	1.5	7.5	1.1	0.8	5.6	266	21.8	21.8	27.1	1.9	1.9
昭和31年～40年	162	42.6	35.8	3.7	8.6	1.2	1.2	6.8	162	18.5	26.5	27.2	0.0	1.9
昭和41年～45年	178	45.3	36.7	3.9	7.0	1.6	0.8	4.7	178	25.0	35.9	25.6	0.8	0.0
昭和46年～50年	196	45.9	36.3	2.0	7.1	1.0	0.5	5.1	196	26.5	29.6	21.4	1.5	1.0
昭和51年～53年	245	36.7	44.1	1.2	5.3	1.2	1.6	9.8	245	19.6	30.2	24.5	0.0	1.2
54年以降	45	53.3	24.4	0.0	15.6	2.2	0.0	4.4	45	22.2	22.2	33.3	0.0	2.2

Q20. 新宿区には、区民に

よる地区青少年対策委

員会があり、青少年を

とりまく環境を良くす

る活動などをしていま

すか、あなたは知って

いますか。(1A)

Q21. では、地区青少年対策委員会の活動に参加し

たいと思いますか。(1A)

回答項目 フェース	そんな必要はない	その他	わからない	N	知っている	知らない	N	委員として参加したい 積極的	呼びかけがあれば 参加したい	参加したくない	すでに参加している として	わからない
地域別	8.7	2.3	12.1	1139	30.8	69.2	1139	0.7	23.6	31.6	1.1	42.9
四谷	6.5	0.0	13.7	153	37.9	62.1	153	0.7	24.8	34.0	1.3	35.3
雑司が谷	5.4	0.9	12.6	111	16.2	83.8	111	0.0	27.0	47.7	0.0	25.2
若松	10.9	2.3	11.7	128	26.6	73.4	128	0.0	19.5	23.4	0.8	56.3
大久保	4.5	2.7	4.5	110	34.5	65.5	110	0.0	28.2	46.4	2.7	22.7
大塚	5.4	1.6	10.1	129	31.8	68.2	129	0.8	35.7	27.1	0.8	35.7
合第	10.8	3.8	15.4	130	25.4	74.6	130	0.0	24.6	30.8	0.0	44.6
落第	11.5	3.1	13.5	96	21.9	78.1	96	0.0	17.7	17.7	1.0	63.5
角筈	17.5	3.5	5.3	114	45.6	54.4	114	3.5	14.9	35.1	1.8	44.7
性	8.9	3.6	8.9	112	33.0	67.0	112	0.9	17.0	33.0	0.9	48.2
男	3.6	1.8	37.5	56	33.9	66.1	56	1.8	14.3	8.9	3.6	71.4
女	9.0	2.4	11.7	531	30.9	69.1	531	0.8	23.0	33.5	1.3	41.4
性	8.4	2.1	12.5	608	30.8	69.2	608	0.7	24.2	29.9	1.0	44.2
年代別	10.5	2.6	10.5	153	22.2	77.8	153	0.0	26.3	40.5	0.7	38.6
男20代	10.6	1.6	13.8	123	30.9	69.1	123	0.8	17.9	33.3	1.6	46.3
男30代	4.7	1.9	12.3	106	33.0	67.0	106	1.9	27.4	26.4	2.8	41.5
男40代	8.8	1.5	7.4	68	33.8	66.2	68	0.0	25.0	33.8	1.5	39.7
男50代	9.9	4.9	13.6	91	42.0	58.0	91	1.2	28.4	29.6	0.0	40.7
男60代以上	9.2	4.9	7.7	142	19.7	80.3	142	1.4	18.3	33.8	0.7	45.8
女20代	7.5	3.0	9.0	134	30.6	69.4	134	0.0	31.3	26.9	0.0	41.8
女30代	10.4	0.9	9.4	106	48.1	51.9	106	1.9	33.0	28.3	3.8	33.0
女40代	7.9	0.0	15.8	101	34.7	65.3	101	0.0	16.8	35.6	1.0	46.5
女50代	7.2	0.8	21.6	125	25.6	74.4	125	0.0	21.6	25.6	0.0	52.8
職業別	10.8	1.8	11.4	167	34.7	65.3	167	0.6	25.1	29.9	2.4	41.9
自営業・事業主	5.6	3.4	10.1	89	27.0	73.0	89	0.0	25.8	23.6	1.1	49.4
管理職・自由業	8.9	3.0	10.9	302	28.8	71.2	302	1.0	21.2	35.4	0.7	41.7
事務職・技術職	11.2	0.9	12.1	107	23.4	76.6	107	0.9	15.9	39.3	0.0	43.9
労働職・サービス職	7.5	1.1	11.2	268	38.4	61.6	268	0.7	28.4	27.2	2.2	41.4
主婦	6.6	4.9	9.8	61	13.1	86.9	61	0.0	11.5	45.9	0.0	42.6
学生	10.3	3.4	22.2	117	25.6	74.4	117	0.9	22.2	29.9	0.0	47.0
無職その他	3.6	0.0	7.1	28	57.1	42.9	28	0.0	50.0	14.3	0.0	35.7
家族人数別	8.7	2.9	11.5	208	17.8	82.2	208	1.0	17.8	42.3	0.0	38.9
1人	8.2	1.8	16.4	171	24.6	75.4	171	0.6	22.8	28.7	1.2	46.8
2人	6.4	3.2	11.8	220	30.5	69.5	220	0.5	24.1	31.4	0.9	43.2
3人	10.3	1.0	10.7	291	34.0	66.0	291	0.3	24.7	30.5	1.7	42.6
4人	8.4	4.2	9.8	143	36.4	63.6	143	0.7	30.8	24.5	1.4	42.7
5人以上	11.1	1.0	12.1	99	51.5	48.5	99	2.0	23.2	29.3	2.0	43.4
N	0.0	0.0	42.9	7	42.9	57.1	7	0.0	14.3	14.3	0.0	71.4
ライフステージ	10.1	4.1	11.1	316	22.5	77.5	316	0.6	15.5	42.4	0.3	40.2
婚前期	7.2	1.4	10.1	69	20.3	79.7	69	0.0	21.7	29.0	2.9	46.4
家族形成期	5.6	1.9	11.2	107	27.1	72.9	107	0.9	28.0	29.0	0.9	41.1
家族成長期(A)	7.6	2.4	8.8	170	42.4	57.6	170	1.2	30.0	24.1	2.4	42.4
家族成長期(B)	12.4	1.8	4.4	113	42.5	57.5	113	0.9	27.4	25.7	1.8	44.2
家族成長期(C)	9.2	0.8	15.8	120	37.5	62.5	120	0.8	22.5	29.2	1.7	45.8
家族成熟期	9.2	2.6	17.1	76	31.6	68.4	76	0.0	25.0	31.6	0.0	43.4
老年期(A)	8.2	0.0	18.0	61	31.1	68.9	61	0.0	23.0	31.1	0.0	45.9
老年期(B)	5.6	2.8	11.1	36	30.6	69.4	36	2.8	30.6	27.8	0.0	38.9
老年期(C)	6.3	0.0	22.9	48	22.9	77.1	48	0.0	25.0	25.0	2.1	47.9
N	4.3	0.0	26.1	23	30.4	69.6	23	0.0	30.4	21.7	0.0	47.8
住居形態別	10.2	2.5	13.0	522	36.8	63.2	522	1.0	23.6	32.8	1.7	41.0
一戸建持家	2.4	2.4	7.1	42	31.0	69.0	42	0.0	23.8	28.6	4.8	42.9
一戸建借家	7.4	2.7	14.9	188	25.0	75.0	188	1.1	23.4	28.7	0.0	46.8
民間木造アパート	6.0	1.2	10.0	251	27.1	72.9	251	0.4	28.7	29.9	0.8	40.2
鉄筋・アパートマンション	15.5	3.4	5.2	58	22.4	77.6	58	0.0	12.1	37.9	0.0	50.0
社宅・官舎	10.1	2.9	13.0	69	20.3	79.7	69	0.0	14.5	34.8	0.0	50.7
寮・間借り・住込み	0.0	0.0	22.2	9	44.4	55.6	9	0.0	33.3	22.2	0.0	44.4
居住年数別	8.2	3.1	18.6	97	39.2	60.8	97	1.0	16.5	35.1	4.1	43.3
戦前から	8.3	3.0	14.3	266	34.2	65.8	266	0.4	22.6	31.6	1.5	44.0
昭和30年	11.1	1.2	13.6	162	41.4	58.6	162	1.2	30.2	29.0	0.6	38.9
昭和31年～40年	5.5	1.6	5.5	128	41.4	58.6	128	0.0	30.5	28.9	1.6	39.1
昭和41年～45年	7.1	0.5	12.2	196	26.0	74.0	196	1.0	26.0	29.6	0.5	42.9
昭和46年～50年	11.4	3.7	9.4	245	16.3	83.7	245	0.8	19.2	34.7	0.0	45.3
昭和51年～53年	4.4	2.2	13.3	45	24.4	75.6	45	0.0	15.6	33.3	2.2	48.9
54年以降												

Q22 区の児童・青少年のための事業として、とくに力を入れてほしいと思うことは何ですか。(1A)

回答項目 フェース		N	会をもつと スポーツをする 機	児童館を 充実する	健康を 強化する 栄養指	公園・遊 び場を充 実する	学校教 育の充 実	非行 化・自 殺の防	仲間 づくり の促 進	そ の 他	特 に な い
総 地 域	数別	1139	26.2	7.9	6.0	13.0	10.4	13.4	9.0	1.1	13.1
	谷町	153	15.7	15.0	13.7	13.1	9.8	5.2	3.3	0.7	23.5
四 筆	町	111	19.8	5.3	5.4	11.7	20.7	19.8	11.7	0.0	4.5
	松	128	31.3	3.1	0.0	14.8	14.1	10.2	10.2	0.8	15.6
大 戸	保	110	25.5	7.3	15.5	9.1	5.5	19.1	7.3	0.9	10.0
	久	129	24.8	16.3	8.5	12.4	8.5	10.1	5.4	0.8	13.2
合 第	一	130	34.6	3.8	2.3	18.5	7.7	10.0	14.6	3.1	5.4
	二	96	33.3	5.2	2.1	7.3	8.3	16.7	6.3	0.0	20.8
落 角	本	114	33.3	7.0	3.5	12.3	13.2	14.9	9.6	2.6	3.5
	区	112	25.0	4.5	2.7	17.0	8.9	12.5	14.3	0.9	14.3
性 男	別	56	16.1	7.1	1.3	10.7	3.6	28.6	8.9	0.0	23.2
	性	531	29.0	6.6	5.5	12.1	11.3	13.7	9.8	1.3	10.7
性 女	性	608	23.7	9.0	6.4	13.8	9.5	13.2	8.4	0.8	15.1
性 年	代	153	35.9	4.6	5.2	9.8	9.8	10.5	11.8	0.0	12.4
	代	123	28.5	10.6	7.3	11.4	9.8	12.2	10.6	0.8	8.9
男 男	代	106	27.4	3.8	2.8	12.3	13.2	19.8	9.4	1.9	9.4
	代	68	26.5	7.4	1.5	10.3	14.7	14.7	11.8	0.0	13.2
男 男	代	81	21.0	7.4	9.9	18.5	11.1	13.6	3.7	4.9	9.9
	代	142	26.1	12.0	7.7	19.0	7.7	7.0	7.0	0.0	13.4
女 女	代	134	26.9	10.4	5.2	16.4	8.2	12.7	11.2	0.0	9.0
	代	106	21.7	10.4	1.9	10.4	11.3	17.9	14.2	0.9	11.3
女 女	代	101	22.8	6.9	7.9	9.9	13.9	13.9	3.0	2.0	19.8
	代	125	20.0	4.8	8.8	11.2	8.0	16.0	6.4	1.6	23.2
職 業	別	167	29.3	6.6	2.4	12.6	9.6	15.6	9.0	1.2	13.8
	別	39	24.7	5.6	4.5	20.2	18.0	7.9	10.1	1.1	7.9
自 管	業	302	27.5	8.9	7.9	11.9	8.3	12.3	10.6	1.0	11.6
	業	107	31.8	5.6	1.9	10.3	9.3	16.8	10.3	0.0	14.0
主 務	職	268	23.5	10.1	5.6	14.9	10.4	15.7	7.5	0.7	11.6
	職	61	32.6	4.9	1.6	13.1	13.1	9.8	4.9	0.0	19.7
学 無	職	117	17.9	6.0	10.3	11.1	11.1	12.8	7.7	3.4	19.7
	職	28	21.4	14.3	3.6	3.6	7.1	7.1	14.3	0.0	10.7
家 族	人	208	31.3	8.2	6.7	11.1	4.8	8.2	12.0	0.5	17.3
	人	171	17.5	8.2	8.8	15.8	12.3	12.3	7.0	1.8	16.4
人 人	人	220	26.4	7.7	5.9	12.7	10.5	15.0	8.2	1.8	11.8
	人	291	25.8	9.3	5.5	15.5	12.4	14.4	8.9	0.7	7.6
人 人	人	143	24.5	5.6	3.5	10.5	11.9	20.3	9.8	0.0	14.0
	人	99	33.3	7.1	3.0	10.1	11.1	11.1	8.1	2.0	14.1
N A	人	7	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
ラ イ	フ	316	32.3	5.4	5.1	13.0	9.8	10.4	10.4	0.0	13.6
	フ	69	20.3	13.0	8.7	14.5	7.2	7.2	11.6	1.4	15.9
婚 家	族	107	21.5	17.8	10.3	17.8	8.4	12.1	5.6	0.0	6.5
	族	170	29.4	8.8	2.9	14.1	12.9	17.1	8.2	1.2	5.3
家 族	族	113	28.3	5.3	2.7	8.8	12.4	17.7	14.2	2.7	8.0
	族	120	22.5	4.2	5.0	11.7	12.5	17.5	9.2	1.7	15.8
家 族	族	76	26.3	5.3	5.3	17.1	7.9	15.8	2.6	1.3	18.4
	族	61	18.0	6.6	11.5	11.5	16.4	19.7	3.3	1.6	11.5
老 老	年	36	19.4	13.9	11.1	13.9	5.6	8.3	8.3	2.8	16.7
	年	48	8.3	12.5	8.3	4.2	8.3	8.3	10.4	2.1	37.5
老 老	年	23	34.8	0.0	8.7	13.0	0.0	4.3	13.0	0.0	26.1
	年	522	28.4	6.1	5.7	12.6	12.3	13.4	7.9	1.1	12.5
住 居	居	42	23.8	7.1	11.9	11.9	16.7	9.5	9.5	0.0	9.5
	居	198	22.3	11.7	4.8	18.1	7.4	13.3	9.6	0.5	12.2
形 民	民	251	23.1	9.6	6.8	11.6	9.2	13.9	9.6	2.0	14.3
	民	58	24.1	12.1	3.4	15.5	13.8	15.5	6.9	0.0	8.6
社 寮	寮	69	34.8	2.9	2.9	5.8	2.9	13.0	17.4	0.0	20.3
	寮	9	22.2	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2
所 居	所	97	27.8	7.2	5.2	9.3	19.6	15.5	2.1	2.1	11.3
	所	266	21.4	5.6	6.4	13.2	11.3	15.0	10.2	1.9	15.0
戦 戦	戦	162	24.7	9.9	5.6	14.2	10.5	14.8	9.3	0.6	10.5
	戦	128	22.8	18.9	6.3	10.9	7.8	12.5	9.4	0.8	8.6
昭 昭	和	196	26.5	7.1	5.1	12.2	10.2	12.8	10.2	1.0	14.8
	和	245	28.6	4.2	6.5	15.1	7.3	11.0	9.4	0.4	13.5
昭 昭	和	45	22.2	8.9	6.7	13.3	8.9	13.3	8.9	0.0	17.8
	和										

〔Q23で1, 2と答えた人に〕

SQ 1. [男性の場合]では、あなたの身近な女性に職業を持ってほしいと思いますか。(1A)

回答項目 フェース	N	ぜひ 持つ べきだ	つべ きだ が許 す限 り持	あま り持 たな い方	持 つべ きで はな い	わか らな い	N	ぜひ 持つ べきだ	つべ きだ が許 す限 り持	今 は無 理だ が持 つ	あま り持 つて ほし	持 つて ほし くない	現 在持 つて いる	N	A
地域	1139	14.7	57.3	15.8	2.5	9.7	352	12.8	60.2	8.2	8.2	0.9	8.2	1.4	
数別	153	3.9	49.0	28.1	2.0	19.0	27	11.1	55.6	14.8	11.1	0.0	7.4	0.0	
城	111	16.2	56.8	18.0	1.8	7.2	35	17.1	42.6	11.4	20.0	2.9	0.0	0.0	
四	128	22.7	52.3	12.5	3.1	9.4	43	23.3	62.8	0.0	7.0	0.0	2.3	4.7	
第	110	20.9	47.3	15.5	8.2	8.2	38	21.1	57.9	5.3	0.0	2.6	10.5	2.6	
一	129	14.7	52.7	24.0	0.0	8.5	33	12.1	48.5	12.1	12.1	0.0	12.1	3.0	
保	130	11.5	63.1	12.3	1.5	11.5	43	11.6	62.8	14.0	7.0	2.3	2.3	0.0	
塚	96	13.5	59.4	15.6	2.1	9.4	34	5.9	82.4	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	
第	114	11.4	66.7	12.3	1.8	7.9	36	5.6	66.7	5.6	8.3	0.0	13.9	0.0	
二	112	17.9	64.3	7.1	3.6	7.1	39	10.3	61.5	12.8	5.1	0.0	10.3	0.0	
木	56	19.6	73.2	5.4	0.0	1.8	24	4.2	50.0	0.0	8.3	0.0	33.3	4.2	
性別	531	13.0	53.3	18.8	4.0	10.9	352	12.8	60.2	8.2	8.2	0.9	8.2	1.4	
男	608	16.1	60.9	13.2	1.2	8.7	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性	153	17.0	53.6	15.0	3.3	11.1	108	19.4	65.7	2.8	6.5	0.0	3.7	1.9	
年	123	10.6	53.7	17.1	3.3	15.4	79	12.7	53.2	10.1	10.1	2.5	10.1	1.3	
代	106	18.9	48.1	19.8	4.7	8.5	71	12.7	60.6	7.0	7.0	0.0	12.7	0.0	
20	68	7.4	64.7	19.1	4.4	4.4	49	7.0	65.3	14.3	10.2	0.0	8.1	2.0	
30	81	6.2	49.4	27.2	4.9	12.3	45	8.9	53.3	13.3	8.9	2.2	11.1	2.2	
40	142	24.6	66.2	4.9	0.7	3.5	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
50	134	11.9	63.4	18.7	0.7	5.2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
60	106	17.9	56.6	12.3	1.9	11.3	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
以上	101	16.8	64.4	11.9	1.0	5.9	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
別	125	8.8	52.8	18.4	1.6	18.4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業	167	12.6	59.9	15.6	3.0	9.0	47	13.8	56.3	5.7	6.9	0.0	16.1	1.1	
自	89	18.0	60.7	12.4	3.4	5.6	52	17.3	50.0	15.4	7.7	0.0	9.6	0.0	
営	302	16.2	57.3	14.2	3.0	9.3	117	9.4	67.5	8.5	9.4	1.7	1.7	1.7	
業	197	16.8	59.8	12.1	0.9	10.3	46	10.9	60.9	8.7	4.3	2.2	13.0	0.0	
管	268	10.4	60.4	18.3	1.1	9.7	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
理	61	31.1	47.5	9.8	1.6	9.8	25	24.0	60.0	0.0	4.0	0.0	8.0	4.0	
技	117	12.8	47.9	20.5	2.6	16.2	17	5.9	70.6	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9	
術	28	3.6	53.6	28.4	10.7	3.6	7	14.3	28.6	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	
家族人数別	208	19.7	57.7	10.6	2.9	9.1	75	16.0	68.0	0.0	6.7	0.0	6.7	2.7	
1	171	16.4	55.0	13.5	2.9	12.3	38	18.4	60.5	13.2	2.6	2.6	2.6	0.0	
2	220	12.7	60.0	16.4	1.8	9.1	62	4.8	62.9	14.5	6.5	0.0	11.3	0.0	
3	291	14.4	57.7	19.2	3.1	5.5	97	16.5	46.4	10.3	11.3	2.1	12.4	1.0	
4	143	11.9	54.5	16.1	1.4	16.1	44	6.8	72.7	4.5	11.4	0.0	2.3	2.3	
5	99	10.1	60.6	17.2	2.0	10.1	34	8.8	61.8	8.8	8.8	0.0	8.8	2.9	
6	N	7	14.3	14.3	42.9	0.0	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ライフステージ	316	22.2	56.3	11.4	2.2	7.9	130	18.5	65.4	2.3	7.7	0.0	3.8	2.3	
婚前	69	20.3	58.0	10.1	1.4	10.1	15	26.7	46.7	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	
家族形成期	107	9.3	63.6	15.0	3.7	8.4	31	6.5	54.8	19.4	6.5	3.2	9.7	0.0	
家族成長期(A)	170	10.6	62.4	15.9	2.4	8.8	57	10.5	49.1	14.0	7.0	1.8	17.5	0.0	
家族成長期(B)	113	13.3	57.5	19.5	1.8	8.0	38	5.3	65.8	5.3	15.8	0.0	7.9	0.0	
家族成長期(C)	120	7.5	65.0	18.3	1.7	7.5	35	2.9	62.9	8.6	8.6	0.0	14.3	2.9	
家族成熟期	76	10.5	42.1	25.0	3.9	18.4	12	8.3	58.3	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	
老年期(A)	61	13.1	47.5	19.7	1.6	18.0	13	23.1	53.8	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	
老年期(B)	36	11.1	61.1	13.9	0.0	13.9	7	0.0	42.9	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	
老年期(C)	48	14.6	50.0	20.6	6.3	8.3	9	11.1	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	N	23	17.4	47.8	17.4	4.3	13.0	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	
住居形態別	522	11.9	57.9	17.6	2.1	10.5	163	12.9	58.3	10.4	9.8	0.6	6.1	1.8	
一戸建	42	16.7	61.9	16.7	0.0	4.8	13	30.8	46.2	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	
一戸建借家	188	20.7	62.8	9.0	1.6	5.9	64	10.9	59.4	6.3	4.7	0.0	15.6	3.1	
民間賃貸アパート	251	14.7	55.4	14.3	3.6	12.0	73	9.6	65.8	5.5	11.0	1.4	6.8	0.0	
鉄筋コンクリートマンション	58	8.6	56.9	22.4	3.4	8.6	15	13.3	66.7	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	
社宅・官舎	69	21.7	47.8	17.4	4.3	8.7	22	18.2	68.2	0.0	4.5	0.0	9.1	0.0	
寮・借借り住込み	9	22.2	22.2	33.3	0.0	22.2	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
その他	97	14.4	52.6	17.5	3.1	12.4	31	6.5	64.5	6.5	9.7	0.0	12.9	0.0	
戦前から	266	12.8	53.8	19.2	2.3	12.0	82	11.0	56.1	9.8	13.4	1.2	4.9	3.7	
終戦～昭和30年	162	17.3	57.4	15.4	0.6	9.3	47	19.1	53.2	10.6	6.4	0.0	10.6	0.0	
昭和31年～40年	128	12.5	65.6	14.8	3.1	3.9	42	9.5	64.3	9.5	7.1	0.0	9.5	0.0	
昭和41年～45年	196	15.3	56.1	16.3	3.1	9.2	61	18.0	57.4	11.5	6.6	0.0	4.9	1.6	
昭和46年～50年	245	15.1	58.8	12.7	2.9	10.6	78	11.5	66.7	3.8	2.6	2.6	11.5	1.3	
昭和51年～55年	45	17.8	62.2	11.1	2.2	6.7	11	9.1	63.6	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	
54年以降															

S Q 2 〔女性の場合〕では、あなたは職業を持ちたいと思いますか。(1A)

回答項目 フェース	N	ぜ ひ 持 ち た い	条 件 が 許 す 限 り 持 ち た い	今 は 無 理 だ が 持 ち た い	あ い ま り 持 ち た く な い	持 ち た く な い	現 在 持 っ て い る	N A
総 地 域 別	447	9.9	28.9	16.3	7.1	5.1	32.3	0.4
四 車 道	54	5.6	31.5	14.6	5.6	5.6	37.0	0.0
複 道	46	10.9	17.4	23.9	13.0	4.3	30.4	0.0
松 久	53	9.4	26.4	22.6	5.7	1.9	32.1	1.9
大 戸	37	5.4	29.7	13.5	8.1	8.1	35.1	0.0
落 合	54	9.3	31.5	5.6	9.3	7.4	37.0	0.0
落 合	54	7.4	24.1	16.7	11.1	9.3	31.5	0.0
落 合	36	16.7	33.3	13.9	5.6	2.8	27.8	0.0
落 合	52	11.5	44.2	7.7	3.8	3.8	26.9	1.9
落 合	53	18.9	30.2	13.2	1.9	3.8	32.1	0.0
落 合	28	0.0	14.3	42.9	7.1	3.6	32.1	0.0
性 別	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男	447	9.9	28.9	16.3	7.1	5.1	32.3	0.4
女	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性 年 代 別	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男 20	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男 30	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男 40	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男 50	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男 60 以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女 20	129	19.4	24.5	7.8	3.9	0.8	38.8	0.0
女 30	101	8.9	25.7	23.8	7.9	0.0	33.7	0.0
女 40	79	10.1	32.9	16.5	7.6	3.8	29.1	0.0
女 50	82	0.0	30.5	20.7	7.3	6.1	35.4	0.0
女 60 以上	76	5.3	26.3	15.2	10.5	19.7	19.7	2.6
職 業 別	34	8.6	26.5	2.9	0.0	0.0	61.8	0.0
自営業・事業主	19	0.0	16.7	5.6	0.0	5.6	72.2	0.0
管理職・自由業	104	11.5	13.5	0.0	2.9	0.0	72.1	0.0
事務職・技術職	36	11.1	13.9	2.8	2.8	0.0	69.4	0.0
労働職・サービス職	189	5.8	39.7	31.7	11.1	6.3	4.8	0.5
主婦	23	52.2	43.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
学生	54	7.4	24.1	22.2	14.8	20.4	9.3	1.9
無職その他	9	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
家 族 人 数 別	16	12.8	18.6	3.5	3.5	2.3	59.3	0.0
1 人	84	7.1	16.7	15.5	7.1	8.3	45.2	0.0
2 人	27	5.2	37.1	19.6	8.2	4.1	23.7	2.1
3 人	113	14.2	31.0	23.0	10.6	2.7	18.6	0.0
4 人	51	11.6	39.2	17.6	3.9	7.8	19.6	0.0
5 人以上	36	5.0	38.9	16.7	5.6	11.1	22.2	0.0
N	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージ	118	23.7	23.7	4.2	3.4	0.0	44.1	0.8
婚 前	39	12.8	12.8	5.1	5.1	0.0	64.1	0.0
家 族 形 成 期	47	4.3	38.3	36.2	4.3	0.0	17.0	0.0
家 族 成 長 期(A)	67	7.5	31.3	26.9	11.9	0.0	22.4	0.0
家 族 成 長 期(B)	42	7.1	40.5	19.0	7.1	9.5	16.7	0.0
家 族 成 長 期(C)	52	0.0	38.5	21.2	11.5	9.6	19.2	0.0
家 族 成 熟 期	28	3.6	32.1	17.9	14.3	21.4	7.1	3.6
老 年 期 (A)	23	0.0	30.4	17.4	4.3	21.7	26.1	0.0
老 年 期 (B)	19	5.3	21.1	10.5	5.3	5.3	52.6	0.0
老 年 期 (C)	22	4.5	22.7	18.2	0.0	13.6	40.9	0.0
そ の 他	10	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	70.0	0.0
N	200	8.0	35.5	18.5	6.5	9.0	22.0	0.5
住 居 形 態 別	20	0.0	40.0	20.0	5.0	5.0	30.0	0.0
一 戸 建 持 家	43	14.0	22.6	11.8	5.4	1.1	44.1	1.1
一 戸 建 借 家	103	6.8	18.4	17.5	8.7	3.9	44.7	0.0
民間木造アパート	23	21.7	34.8	17.4	13.0	0.0	13.0	0.0
鉄筋・アパート・マンション	26	19.2	26.9	7.7	3.8	0.0	42.3	0.0
社 宅・官 舎	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
寮・間借り・住込みその他	34	5.9	26.5	11.8	5.9	26.5	23.5	0.0
居 住 年 数 別	95	8.4	28.4	16.8	7.4	7.4	30.5	1.1
戦 前 から	73	9.6	39.7	13.7	8.2	5.5	23.3	0.0
終戦～昭和30年	58	12.1	36.2	17.2	6.9	0.0	27.6	0.0
昭和31年～40年	79	6.3	22.8	20.3	5.1	3.8	41.8	0.0
昭和41年～45年	103	11.7	27.2	14.6	5.8	1.0	38.8	1.0
昭和46年～50年	25	20.0	12.0	20.0	16.0	0.0	32.0	0.0
昭和51年～53年								
54 年 以 降								

〔答案 7 提示〕 (2A)

- 189 -



Q23. 女性が地域活動やボランティア活動、学習活動などをするに  
ついてはどう思いますか。(1A)

Q26. 区が行っている女性のための事業として、とくに力を入れてほしいことは何ですか。(1A)

回答項目 フェース	N	ぜひやるべきだ	条件が許す限りや	あまりやらない方	やるべきではない	わからない	N	技術・技能訓練	相談窓口の拡充	保育事業・家庭福祉	医療・検査の充実	社会活動のための	講座・講習会の充	母子生活支援センターの拡充
地域別	1139	15.0	57.8	8.0	1.5	17.7	1139	9.9	10.4	13.1	7.0	4.6	12.6	9.7
四重橋	153	9.2	54.9	6.5	2.0	25.5	153	6.5	20.9	15.7	7.8	3.3	3.9	7.8
若松	111	9.0	64.4	6.3	0.0	15.3	111	5.4	10.8	6.3	12.6	4.5	6.3	13.5
大久保	128	18.8	45.3	10.2	0.8	25.0	128	14.1	3.1	11.7	7.0	7.0	11.7	10.2
落合	110	14.5	53.6	11.8	6.4	13.6	110	14.5	15.5	13.6	5.5	2.7	22.7	8.2
第1地区	129	17.8	57.4	10.1	0.0	14.7	129	14.0	16.3	16.3	5.4	1.6	10.9	7.0
第2地区	130	9.2	63.8	9.2	0.8	16.9	130	7.7	10.8	13.1	2.3	6.9	23.1	10.8
第3地区	96	13.5	53.1	4.2	0.0	29.2	96	5.2	7.3	12.5	9.4	5.2	9.4	5.2
第4地区	114	11.4	64.4	6.1	2.6	11.4	114	15.8	3.5	17.5	12.3	4.4	13.2	16.7
第5地区	112	25.0	55.4	7.1	0.9	11.6	112	9.8	5.4	12.5	3.6	5.4	15.2	10.7
第6地区	56	32.1	51.8	7.1	1.8	7.1	56	1.8	1.8	7.1	3.6	5.4	8.9	3.6
性別														
男性	531	13.9	54.4	8.3	2.4	20.9	531	8.9	9.6	11.7	6.4	5.3	11.1	10.7
女性	608	16.0	60.7	7.7	0.7	15.0	608	10.9	11.0	14.3	7.6	3.9	13.8	8.7
年代別														
20代	153	19.0	45.8	7.2	2.0	26.1	153	7.2	9.2	9.8	7.2	2.6	11.8	13.1
30代	123	10.6	61.8	5.7	1.6	20.3	123	5.7	11.4	15.4	4.9	8.9	8.9	12.2
40代	106	15.1	52.8	14.2	0.9	17.0	106	9.4	9.4	5.7	6.6	7.5	10.4	12.3
50代	68	7.4	67.6	10.3	4.4	10.3	68	13.2	11.8	13.2	5.9	1.5	19.1	7.4
60代以上	81	13.6	50.6	4.9	4.9	25.9	81	12.3	6.2	16.0	7.4	4.9	7.4	4.9
20代	142	16.9	59.9	12.0	0.7	10.6	142	10.6	7.0	19.7	9.9	4.9	12.7	8.5
30代	134	15.7	64.2	5.2	0.7	14.2	134	10.4	11.9	15.7	9.0	5.2	16.4	7.5
40代	136	20.8	66.0	4.7	0.0	8.5	136	17.0	13.2	10.4	7.5	4.7	16.0	6.6
50代	101	12.9	65.3	6.9	0.0	14.9	101	12.9	10.9	12.9	3.0	4.0	14.9	10.9
60代以上	125	13.6	49.6	8.8	1.6	26.4	125	4.8	12.8	11.2	7.2	0.8	9.6	10.4
職業別														
自営業・事業主	167	16.2	56.9	9.0	1.8	16.2	167	10.8	7.2	13.8	4.2	5.4	10.8	13.8
管理職・自由業	89	21.3	55.1	4.5	1.1	18.0	89	13.5	11.2	12.4	9.0	7.9	11.2	10.1
事務職・技術職	302	13.6	58.6	7.9	1.7	18.2	302	8.9	11.3	12.3	6.3	5.3	12.3	9.9
労働職・サービス職	107	14.0	55.1	7.5	2.8	20.6	107	8.4	11.2	13.1	6.5	3.7	11.2	13.1
主婦	268	14.2	63.1	7.1	0.4	15.3	268	9.3	10.8	11.9	10.4	4.1	16.8	7.5
学生	41	18.0	52.5	13.1	0.0	16.4	41	9.5	6.6	16.4	6.6	3.3	13.1	6.6
その他	117	12.8	51.3	9.4	2.6	23.9	117	11.1	12.0	8.5	5.1	2.6	7.7	8.5
家族人数別														
1人	208	21.6	49.0	8.7	1.9	18.8	208	7.7	11.1	12.5	3.4	4.8	12.0	10.1
2人	171	18.1	50.9	6.4	2.3	22.2	171	8.2	10.5	11.7	8.8	4.7	9.9	12.9
3人	220	12.3	63.6	7.7	1.4	15.0	220	8.6	11.8	15.0	8.6	4.1	12.7	7.7
4人	291	13.4	63.2	7.6	1.4	14.4	291	12.4	9.3	13.7	8.9	5.2	12.0	8.2
5人以上	143	11.2	56.6	8.4	0.7	23.1	143	9.8	8.4	11.2	6.3	2.8	18.2	7.7
N	99	13.1	61.6	10.1	1.0	14.1	99	14.1	12.1	13.1	4.0	6.1	11.1	14.1
ライフステージ														
未婚前期	316	18.0	52.2	8.2	1.3	20.3	316	8.9	9.8	12.0	3.8	4.7	12.0	13.9
家族形成期	69	23.2	53.7	4.3	1.4	20.3	69	8.7	10.1	18.8	11.6	8.7	8.7	5.8
家族成長期(A)	107	9.3	72.0	6.5	0.0	12.1	107	5.6	13.1	17.8	13.1	5.6	12.1	2.8
家族成長期(B)	170	17.1	59.4	7.6	1.8	14.1	170	10.6	4.2	11.2	11.2	5.3	17.1	12.4
家族成長期(C)	113	10.6	64.4	9.7	0.9	12.4	113	18.6	8.8	13.3	6.2	5.3	14.2	6.2
家族成熟期	170	12.5	65.0	6.7	0.0	15.8	170	11.7	9.2	10.8	5.0	1.7	14.2	8.3
老年期(A)	76	9.2	59.2	9.2	1.3	21.1	76	9.2	13.2	11.8	6.6	0.0	14.5	7.9
老年期(B)	61	11.5	49.2	11.5	3.3	24.6	61	8.2	11.5	9.8	8.2	3.3	3.3	9.8
老年期(C)	36	22.2	47.2	11.1	5.6	13.9	36	8.3	11.1	19.4	2.8	2.8	8.3	5.6
その他	48	18.8	50.0	6.3	4.2	20.8	48	8.3	14.6	18.8	2.1	4.2	10.4	12.5
N	23	4.3	47.8	8.7	4.3	34.8	23	4.3	13.0	4.3	8.7	13.0	13.0	4.3
住居形態別														
一戸建持家	522	12.5	59.0	7.9	1.5	19.2	522	10.3	9.8	13.0	6.7	4.2	13.4	9.2
一戸建借家	42	21.4	50.0	16.7	2.4	9.5	42	11.9	9.5	14.3	7.1	4.8	7.1	9.5
民間木造アパート	188	17.0	56.9	6.9	1.6	17.6	188	9.0	9.0	15.4	6.4	5.9	9.6	10.1
鉄筋アパートマンション	251	18.3	59.8	6.4	1.2	14.3	251	10.0	13.1	12.4	7.2	5.2	12.7	10.8
社宅・官舎	58	15.5	58.6	3.4	1.7	20.7	58	12.1	8.6	8.6	19.0	5.2	13.8	6.9
寮・間借り住込み	69	13.0	49.3	14.5	1.4	21.7	69	7.2	10.1	13.0	1.4	1.4	11.6	10.1
その他	9	11.1	44.4	22.2	0.0	22.2	9	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	44.4	11.1
居住年数別														
戦前から	97	6.2	57.8	4.1	4.1	25.8	97	10.3	8.2	15.5	3.1	4.1	13.4	12.4
終戦～昭和30年	266	15.0	56.8	7.4	1.5	18.8	266	10.9	10.2	10.9	3.8	3.0	12.8	9.8
昭和31年～40年	162	19.1	60.5	6.2	0.0	14.2	162	8.6	13.6	17.3	9.9	4.3	9.3	7.4
昭和41年～45年	128	15.4	59.4	10.9	0.8	13.3	128	10.9	12.5	18.8	4.7	8.6	10.2	11.7
昭和46年～50年	136	15.8	53.6	8.7	2.0	19.9	136	11.2	11.7	8.2	10.2	3.6	15.3	8.7
昭和51年～53年	245	13.9	54.8	8.2	1.6	17.6	245	8.6	7.3	12.7	9.0	4.9	12.2	10.2
54年以降	45	20.0	57.8	11.1	0.0	11.1	45	6.7	8.9	13.3	6.7	6.7	17.8	6.7

Q27. あなたは、この1年間に区民保養所を利用した  
ことがありますか。(1A)

回答項目 フェース	その他	特 に ない	N	箱 強 機 つ つ じ 庄 中 に 利用した	住 を 利用 した (伊豆長 岡)	両 方 とも 利用 した	知 し た こ と は ない 利用	知 ら ない
地 域 別	0.7	32.1	1139	6.2	6.7	1.1	57.6	24.4
四 角 町	2.6	31.4	153	4.6	6.0	0.7	53.6	41.8
松 久 町	0.0	40.5	111	2.7	6.9	0.7	45.9	50.5
大 戸 町	0.8	34.4	128	7.8	6.0	0.4	59.4	32.0
合 第 一 二 区	0.0	17.3	110	3.6	6.0	0.9	48.2	47.3
落 合 第 一 区	0.8	27.9	129	12.4	6.8	2.3	53.5	31.0
落 合 第 二 区	0.0	25.4	130	4.6	2.3	1.5	65.4	26.2
落 合 第 三 区	0.0	45.8	96	3.1	6.0	1.0	61.5	34.4
落 合 第 四 区	0.9	15.8	114	7.9	1.8	2.6	73.7	14.0
落 合 第 五 区	0.9	36.6	112	8.9	6.0	0.0	51.8	39.3
落 合 第 六 区	0.0	67.9	56	5.4	1.8	1.4	69.6	21.4
性 別								
男 性	0.9	35.4	531	4.3	6.2	1.1	55.7	38.6
女 性	0.5	29.3	608	7.9	1.2	1.0	59.2	30.8
性 年 代 別								
男 20 代	0.0	39.2	153	0.7	6.0	0.0	36.6	42.7
男 30 代	1.6	30.9	123	2.4	6.0	0.8	58.5	38.2
男 40 代	0.9	37.7	106	6.6	6.9	1.9	67.9	22.6
男 50 代	1.5	26.5	68	4.4	6.0	0.0	67.6	27.9
男 60 代以上	1.2	39.5	81	11.1	6.0	3.7	61.7	23.5
女 20 代	0.0	26.8	142	2.6	6.0	0.7	43.7	52.8
女 30 代	0.0	23.9	134	5.2	3.0	2.2	59.7	29.9
女 40 代	0.9	23.6	106	4.7	1.9	0.0	73.6	19.8
女 50 代	0.0	30.7	101	10.9	6.0	1.0	66.3	21.8
女 60 代以上	1.6	41.6	125	16.8	6.8	0.8	58.4	23.2
職 業 別								
自 営 業・事業主	0.6	33.5	167	8.4	6.6	3.6	63.5	24.0
管 理 職・自由業	3.4	21.3	89	5.6	6.0	0.0	62.9	31.5
事 務 職・技術職	0.3	33.4	302	3.6	6.3	0.0	57.9	38.1
労 務 職・サービス職	0.9	31.8	107	4.7	6.0	0.0	46.7	48.6
主 婦・主婦	0.0	29.1	268	7.8	1.9	1.9	63.8	24.6
学 生	0.0	37.7	41	1.6	6.0	0.0	31.1	67.2
無 職	1.7	42.7	117	10.3	6.9	0.9	56.4	31.6
そ の 他	0.0	17.9	28	7.1	6.0	0.0	46.4	46.4
家 族 人 数 別								
1 人	0.5	38.0	208	1.9	6.0	0.5	38.0	59.6
2 人	0.0	33.3	171	7.0	1.2	0.6	55.6	35.7
3 人	0.9	30.5	220	5.9	6.5	0.0	61.8	31.8
4 人	0.7	29.6	291	6.5	6.7	1.0	64.9	26.8
5 人	1.4	34.3	143	7.0	1.4	2.1	62.9	26.6
6 人以上	1.0	24.2	99	13.1	1.0	4.0	66.7	15.2
N	0.0	57.1	7	0.0	6.0	0.0	14.3	85.7
ライフステージ								
婚 前 期	0.0	34.8	316	2.2	6.3	0.0	45.3	52.2
家 族 形 成 期	0.0	27.5	69	2.9	6.0	0.0	53.6	43.5
家 族 成 長 期(A)	0.9	29.0	107	1.9	6.9	0.9	57.9	38.3
家 族 成 長 期(B)	1.8	22.4	170	6.5	1.8	2.4	46.5	22.9
家 族 成 長 期(C)	0.9	26.5	113	4.4	6.9	0.9	70.8	23.0
家 族 成 熟 期	0.0	39.2	120	10.0	6.8	1.7	68.3	19.2
老 年 期 (A)	2.6	34.2	76	25.0	6.0	2.6	60.5	11.8
老 年 期 (B)	0.0	45.9	61	9.8	1.6	1.6	67.2	19.7
老 年 期 (C)	2.8	38.9	36	5.6	6.0	2.8	61.1	30.6
そ の 他	0.0	29.2	48	6.3	6.0	0.0	47.9	45.8
N	0.0	39.1	23	8.7	6.0	0.0	30.4	60.9
住 居 形 態 別								
一 戸 建 持 家	0.8	32.6	522	10.2	6.4	2.1	64.6	22.8
二 戸 建 借 家	0.0	35.7	42	0.0	2.4	0.0	69.0	28.6
民間木造アパート	1.1	33.5	188	4.8	6.5	0.0	46.9	45.7
鉄筋アパートマンション	0.4	28.3	251	2.4	1.6	0.4	56.6	39.0
社 宅・官舎	1.7	24.1	58	3.4	6.0	0.0	56.9	39.7
寮・間借り・住込み	0.0	44.9	69	1.4	6.0	0.0	30.4	48.1
そ の 他	0.0	22.2	9	0.0	6.0	0.0	22.2	77.8
住 居 年 数 別								
戦 前 から	0.0	33.0	97	7.2	1.0	2.1	72.2	17.5
終 戦～昭和30年	1.1	37.6	266	14.3	6.0	1.5	62.8	21.4
昭和31年～40年	0.0	29.6	152	5.0	6.5	1.9	62.3	27.8
昭和41年～45年	0.0	22.7	128	4.7	1.6	0.0	64.8	28.9
昭和46年～50年	1.5	29.6	196	2.0	9.5	1.5	58.2	37.8
昭和51年～53年	0.4	34.7	245	2.0	6.0	0.0	44.5	53.5
54 年 以 降	2.2	31.1	45	4.4	6.0	0.0	26.7	68.9

SQ 1.〔Q27で1～3と答えた人に〕利用した理由は何ですか。(1A)

SQ 2.〔Q27で4と答えた人に〕

利用したことがない理由は何ですか。(1A)

回答項目 フェース	N	交通が 便利だ	設備が よい	料金が 安い	食事が よい	温泉が ある	山が ある	海水浴が できる	その他	特に 理由は ない	N	希望の 日がとれ ない	申し込 みがめ んど	場所が よくない
地域別	91	7.7	20.9	37.4	0.0	6.6	6.6	0.0	9.9	11.0	656	14.6	23.6	2.0
市町村別	7	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	42	22.0	29.3	3.7
四重権	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51	3.9	15.7	2.0
松久	11	18.2	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	76	9.2	23.7	0.0
若大	5	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	53	13.2	47.2	7.5
戸合	20	5.0	20.0	40.0	0.0	15.0	5.0	0.0	0.0	15.0	49	23.2	13.0	4.3
落第	11	0.0	27.3	63.6	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	45	12.9	15.3	0.0
泊第	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	59	15.3	25.4	3.4
苦役	14	14.3	28.6	21.4	0.0	0.0	7.1	0.0	28.6	0.0	34	11.9	33.3	0.0
性	10	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	58	24.1	20.7	0.0
男女	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	39	5.1	7.7	0.0
性	30	13.3	26.7	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	296	15.9	22.3	2.7
年代	61	4.9	10.0	36.1	0.0	9.8	4.9	0.0	14.8	11.5	360	13.0	24.7	1.4
男	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56	19.6	12.5	5.4
男	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72	13.9	20.8	1.4
男	10	0.0	30.0	50.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	72	23.6	26.4	1.4
男	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	46	6.5	32.6	2.2
男	12	25.0	25.0	33.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	50	12.0	20.0	4.0
女	5	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	62	11.3	19.4	3.2
女	14	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	80	13.8	31.3	2.5
女	7	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	78	20.5	21.8	0.0
女	12	0.0	8.3	41.7	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0	16.7	67	7.5	23.9	0.0
女	23	4.3	17.4	26.1	0.0	21.7	4.3	0.0	17.4	8.7	73	13.7	26.0	1.4
職業別	21	9.5	9.5	66.7	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	4.8	106	21.7	21.7	1.9
自営業・事業主	5	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56	8.9	23.2	1.8
管理職・自由業	12	0.0	33.3	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	16.7	175	13.1	23.4	3.4
事務職・技術職	5	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	50	14.0	30.0	0.0
労働職・サービス職	31	6.5	19.4	41.9	0.0	6.5	3.2	0.0	9.7	12.9	171	13.5	27.5	1.2
主婦	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19	10.5	15.8	0.0
学生	14	7.1	14.3	14.3	0.0	14.3	7.1	0.0	28.6	14.3	66	10.6	16.7	3.0
無職その他	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13	46.2	15.4	0.0
家族人数	5	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79	11.4	21.5	5.1
1人	15	13.3	20.0	46.7	0.0	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	95	12.6	18.9	1.1
2人	14	7.1	7.1	42.9	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	21.4	136	16.9	25.7	0.7
3人	24	4.2	20.8	29.2	0.0	4.2	16.7	0.0	16.7	8.3	189	16.9	25.9	1.1
4人	15	6.7	20.0	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0	20.0	20.0	90	10.0	27.8	4.4
5人以上	18	11.1	27.8	38.9	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	11.1	66	15.2	16.7	1.5
N	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0
ライフステージ	8	0.0	37.5	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	143	14.0	16.1	3.5
婚前	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37	10.8	21.6	0.0
家族形成期	4	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	62	11.3	40.3	3.2
家族成長期(A)	18	0.0	38.9	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	5.6	113	23.9	24.8	0.9
家族成長期(B)	7	28.6	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	80	15.0	21.3	1.3
家族成長期(C)	15	0.0	20.0	13.3	0.0	6.7	13.3	0.0	26.7	20.0	82	14.6	31.7	0.0
家族成熟期	21	9.5	9.5	33.3	0.0	9.5	4.8	0.0	9.5	23.8	46	8.7	17.4	2.2
老年期(A)	8	12.5	0.0	62.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41	9.8	17.1	2.4
老年期(B)	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22	9.1	27.3	4.5
老年期(C)	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23	17.4	17.4	0.0
その他	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7	0.0	42.9	14.3
N	66	6.1	22.7	30.3	0.0	9.1	7.6	0.0	12.1	12.1	337	13.4	24.3	1.8
住居形態別	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29	13.8	27.6	0.0
一戸建持家	10	20.0	0.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	92	13.0	19.6	3.3
一戸建借家	11	0.0	18.2	63.6	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	142	19.0	28.2	1.4
民間木造アパート	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	33	18.2	15.2	3.0
鉄筋アパートマンション	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21	9.5	9.5	4.8
社宅・官舎	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0
家・間借り住込みその他	10	20.0	40.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70	11.4	21.4	0.0
居住年数別	42	2.4	21.4	23.8	0.0	9.5	9.5	0.0	16.7	16.7	167	15.0	22.8	3.0
戦前	16	18.8	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	101	15.5	24.7	0.0
昭和30年	8	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	83	22.9	24.1	2.4
昭和31年～40年	8	12.5	12.5	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	114	12.3	24.9	1.8
昭和41年～45年	5	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	109	11.0	17.4	3.7
昭和46年～50年	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	12	16.7	8.3	0.0
昭和51年～53年														
54年以降														

○28. あなたは区政に関心をお持ちですか。(1A)

回答項目		他の 旅館を 利用す	料 金が 高い	そ の 他	特 に 理 由 は な い	N	非 常 に 関 心 が あ る	少 し は 関 心 が あ る	あ ま り 関 心 が な い	ほ と ん ど 関 心 が な い	わ か ら な い
フェース											
地域	数別谷町町保塚一二木	6.3	0.3	9.0	44.2	1139	9.3	40.7	36.0	11.2	2.7
城	岡	3.7	0.0	17.1	24.4	153	12.4	41.2	35.3	7.8	3.3
四	松久	25.5	0.0	5.9	47.1	111	7.7	27.9	34.2	33.3	1.8
軍	合第	1.3	0.0	6.6	59.2	128	8.6	40.6	42.2	4.7	3.9
視	客一	3.8	0.0	5.7	22.6	110	10.9	37.3	36.4	13.6	1.8
若	第	4.3	0.0	14.5	40.6	129	5.4	40.3	47.3	6.2	0.8
大	区	5.9	1.2	9.4	55.3	130	9.2	40.8	36.9	10.0	3.1
戸	役	3.4	0.0	1.7	50.8	96	12.5	44.8	28.1	10.4	4.2
落	所	10.7	1.2	8.3	34.5	114	13.2	37.7	37.7	7.9	3.5
落	木	1.7	0.0	10.3	43.1	112	9.8	44.6	29.5	15.2	0.9
角	別	5.1	0.0	5.1	78.9	56	7.1	64.3	21.4	1.8	5.4
性	性	5.4	0.7	7.8	45.3	531	11.5	42.9	32.6	11.3	1.5
男	性	6.9	0.0	10.0	43.3	608	7.4	38.8	38.8	11.2	3.8
性	別	5.4	1.8	5.4	50.0	153	5.9	31.4	43.1	18.3	1.3
男	代	4.2	0.0	8.3	51.4	123	9.8	42.3	35.8	10.6	1.6
男	代	5.6	0.0	6.9	36.1	106	12.3	48.1	29.2	8.5	1.9
男	代	4.3	0.0	8.7	45.7	68	16.2	52.9	26.5	4.4	0.0
男	代	8.0	2.0	10.0	44.0	81	19.8	50.6	18.5	8.6	2.5
女	代	6.5	0.0	6.5	53.2	142	7.0	31.0	37.3	22.5	2.1
女	代	3.8	0.0	6.3	42.5	134	6.0	43.3	42.5	7.5	0.7
女	代	6.4	0.0	14.1	37.2	106	5.7	50.0	36.8	5.7	1.9
女	代	9.0	0.0	9.0	50.7	101	12.9	33.7	40.6	7.9	5.0
女	上	9.6	0.0	13.7	35.6	125	6.4	37.6	36.8	9.6	9.6
職	業	5.7	0.0	8.5	40.6	167	15.0	47.9	28.7	6.6	1.8
自	主	7.1	0.0	10.7	48.2	39	21.3	34.8	34.8	6.7	2.2
管	理	5.1	0.6	8.0	46.3	302	6.3	41.4	37.4	12.6	2.3
事	業	2.0	0.0	10.0	44.0	107	2.8	38.3	37.4	18.7	2.8
勞	働	7.0	0.0	8.2	42.7	268	7.5	44.4	39.2	7.1	1.9
務	職	5.3	0.0	15.8	52.6	61	4.9	34.4	36.1	23.0	1.6
主	業	10.6	1.5	10.6	47.0	117	12.0	33.3	34.2	13.7	6.8
学	職	7.7	0.0	7.7	23.1	78	10.7	24.6	39.3	14.3	7.1
無	職	6.3	1.3	11.4	43.0	208	6.3	27.4	43.8	18.8	3.8
の	別	6.3	0.0	12.6	48.4	171	11.1	34.5	40.4	9.9	4.1
家	人	8.8	0.7	5.9	41.2	220	10.0	46.8	30.9	9.5	2.7
族	人	5.8	0.0	7.4	42.9	291	9.6	46.4	32.6	10.3	1.0
人	人	7.8	0.0	3.3	46.7	143	7.7	43.4	35.7	9.1	4.2
人	人	0.0	0.0	19.7	47.0	99	12.1	48.5	33.3	6.1	0.0
6	人	0.0	0.0	0.0	0.0	7	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3
N	以上										
ライフステージ	期										
婚	前	4.9	0.7	11.2	49.7	316	6.0	33.9	37.3	20.3	2.5
家	族	8.1	0.0	2.7	56.8	69	15.9	26.1	49.3	8.7	0.0
家	族	3.2	0.0	8.1	33.9	107	5.6	45.8	39.3	8.4	0.9
家	族	6.2	0.0	4.4	39.8	170	9.4	47.1	35.3	7.1	1.2
家	族	10.0	0.0	10.0	42.5	113	14.4	48.7	32.7	4.4	1.8
家	族	3.7	0.0	6.1	43.9	120	10.8	53.3	26.7	7.5	1.7
家	族	10.9	0.0	8.7	52.2	76	15.8	42.1	26.3	10.5	5.3
老	年	4.9	0.0	17.1	48.8	61	6.6	44.3	31.1	11.5	6.6
老	年	4.5	4.5	9.1	40.9	36	13.9	27.8	44.4	8.3	5.6
老	年	13.0	0.0	21.7	30.4	48	8.3	31.3	47.9	4.2	8.3
生	期	0.0	0.0	14.3	28.6	23	8.7	30.4	39.1	13.0	8.7
N	A										
住居形態別	別										
一	戸	5.6	0.3	10.1	44.5	522	11.1	45.6	31.3	7.7	3.8
一	戸	17.2	0.0	0.0	41.4	42	11.9	23.8	42.9	21.4	0.0
民	間	7.6	1.1	10.9	44.6	188	8.0	36.7	40.4	11.7	3.2
住	宅	3.5	0.0	6.3	41.5	251	8.4	41.8	38.2	10.0	1.6
社	宅	9.1	0.0	9.1	45.5	58	1.7	31.0	46.6	20.7	0.0
寮	舎	9.5	0.0	9.5	57.1	69	5.8	30.4	36.2	27.5	0.0
借	居	0.0	0.0	50.0	50.0	9	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1
住	の										
他	他										
住	宅										
層	年										
收	前	7.1	0.0	8.6	51.4	97	18.6	39.2	27.8	7.2	7.2
終	戦	5.4	0.6	10.2	43.1	246	9.8	44.4	33.1	9.8	3.0
昭和	30年	8.9	1.0	9.9	35.6	162	9.9	47.5	34.0	6.8	1.9
昭和	31年～40年	2.4	0.0	3.6	44.6	128	7.8	42.2	39.8	4.6	1.6
昭和	41年～45年	6.1	0.0	8.8	42.1	196	8.2	40.8	36.7	11.7	2.6
昭和	46年～50年	8.3	0.0	10.1	49.5	245	7.3	32.7	40.0	16.8	1.2
昭和	51年～53年	0.0	0.0	16.7	58.3	45	4.4	37.8	42.2	8.9	6.7
54	年以降										

Q29. あなたはふだん、区政に関することや区の行事、お知らせを何で知りますか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票8提示〕(2A)

回答項目		N	新宿区広報	区議会だより	写真ニュース	区勢要覧・パンフ	レット	新ジョ・テレビ・ラ	町会・自治会の会	合や回覧板	家の話や知人・友人	その他	関心がない
フェース													
地域	数別	1139	72.6	19.5	2.5	9.4	15.2	15.0	4.9	0.9	11.2		
城	別	153	64.1	20.3	3.9	14.4	15.7	18.3	9.2	0.7	8.5		
四	町	111	84.7	8.1	4.5	8.1	2.7	12.6	11.7	0.0	6.3		
草	町	178	78.1	16.4	0.0	8.6	14.8	7.8	3.9	1.6	12.5		
根	町	110	62.7	31.8	2.7	11.8	23.6	17.3	2.7	0.0	11.3		
若	保塚	179	57.7	24.0	5.4	11.6	19.4	12.4	2.3	0.0	17.8		
大	一	130	70.8	23.1	1.5	6.2	15.4	11.5	3.1	0.0	19.2		
戸	二	96	79.2	10.4	2.1	14.6	18.8	6.3	2.1	0.0	6.3		
落	第	114	88.6	28.9	1.6	7.0	19.3	15.8	3.5	1.8	1.8		
柏	区	112	73.2	17.0	0.9	6.3	11.6	18.8	5.4	2.7	15.2		
角	役	56	83.9	5.4	0.0	0.0	5.4	42.9	3.6	3.6	8.9		
性	別	531	71.0	20.9	1.5	8.9	13.9	13.2	4.9	0.8	11.1		
男	性	608	74.0	18.3	3.3	9.9	16.7	16.6	4.9	1.0	11.2		
性	別	153	55.6	17.0	3.9	6.5	22.2	7.8	2.0	0.0	20.9		
年	代	173	69.9	22.0	0.8	8.1	17.1	17.1	7.3	1.6	8.1		
男	代	176	78.3	17.9	0.9	15.1	17.9	12.3	4.7	0.0	6.6		
男	代	68	82.4	27.9	0.0	5.9	13.2	19.1	8.8	0.0	4.4		
男	代	41	82.7	24.7	0.0	8.6	8.6	13.6	3.7	2.5	8.6		
女	代	142	62.7	17.6	5.6	12.0	17.6	14.8	4.2	2.1	14.8		
女	代	134	75.4	15.7	3.7	11.9	11.9	17.2	7.5	0.7	11.2		
女	代	176	82.1	21.7	2.8	5.7	10.0	14.2	4.7	0.0	5.7		
女	代	101	86.1	24.8	1.0	8.9	9.9	17.8	3.0	1.0	6.9		
女	代	125	68.6	13.6	2.4	9.6	12.0	19.2	4.8	0.8	15.2		
職	業	167	81.4	25.1	0.0	6.6	13.2	16.2	7.8	0.6	6.0		
自	主	39	79.8	24.7	0.0	10.1	16.9	15.7	5.6	1.1	6.7		
管	業	302	68.9	22.8	3.3	10.6	17.5	13.9	5.0	0.7	10.6		
事	職	107	62.6	13.1	0.9	9.3	19.6	16.8	1.9	0.9	14.0		
務	職	268	81.0	18.7	3.3	10.1	11.2	18.7	5.2	0.7	8.6		
学	職	61	50.8	6.6	4.9	9.8	18.0	6.6	0.0	1.6	31.1		
主	職	117	66.7	15.4	1.7	9.4	12.8	11.1	5.1	1.7	17.1		
学	職	78	67.9	10.7	14.3	3.6	21.4	10.7	3.6	0.0	7.1		
家	族	208	56.7	16.3	4.3	8.7	21.6	10.6	3.4	2.4	17.8		
人	人	171	73.1	15.8	2.5	7.6	15.2	13.5	2.9	1.2	13.5		
2	人	220	75.9	21.8	0.9	9.1	12.3	15.5	4.1	0.0	9.5		
3	人	291	79.4	20.6	2.1	10.0	15.8	16.8	7.2	0.3	6.9		
4	人	143	72.7	16.8	0.7	11.9	13.3	19.6	8.4	0.0	11.2		
5	人	99	81.8	29.3	3.9	10.1	8.1	15.2	2.0	2.0	7.1		
6	人	7	14.3	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	42.9		
N	A												
ライフ	ステージ	316	59.4	17.7	4.1	8.5	19.9	12.3	3.8	1.3	15.5		
婚	前	69	71.0	15.9	7.2	10.1	15.9	14.5	0.0	0.0	13.0		
家	族	107	73.8	21.5	0.9	13.1	18.7	15.0	10.3	0.0	5.6		
家	族	170	79.4	20.0	0.6	12.9	13.5	16.5	5.3	0.6	9.4		
家	族	113	83.2	23.9	2.7	7.1	9.7	15.9	5.3	0.0	6.2		
家	族	120	90.8	21.7	0.0	7.5	10.0	19.2	3.3	0.8	5.8		
家	族	76	80.3	22.4	2.6	13.2	7.9	10.5	5.3	2.6	11.8		
老	年	61	80.3	16.4	1.6	6.6	13.1	14.8	6.6	1.6	8.2		
老	年	36	61.1	16.7	0.0	2.8	16.7	30.6	2.8	0.0	13.9		
老	年	48	56.3	14.6	2.1	6.3	18.8	18.8	6.3	2.1	16.7		
老	年	23	56.5	21.7	4.3	8.7	17.4	0.0	8.7	0.0	26.1		
N	A												
住	居	522	78.4	22.0	1.7	8.2	10.5	17.6	5.9	1.0	8.6		
戸	建	42	69.0	16.7	4.6	11.9	11.9	19.0	7.1	0.0	14.3		
一	戸	188	66.0	22.3	2.1	9.0	17.6	13.3	3.2	1.1	16.5		
民	民	251	72.1	15.9	3.2	11.6	19.9	12.7	2.8	0.4	9.6		
鉄	道	58	82.8	17.2	0.0	13.8	17.2	6.9	8.6	0.0	10.3		
社	宅	69	46.4	8.7	5.8	7.2	27.5	14.5	5.8	2.9	18.8		
寮	間	9	44.4	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2		
住	住												
所	他												
居	住	97	75.3	23.8	0.0	11.3	10.3	16.5	4.1	1.0	12.4		
年	前	266	77.1	21.1	1.1	7.5	12.4	18.8	6.8	1.1	6.4		
終	戦	162	77.8	19.8	5.6	9.3	13.0	17.3	4.3	0.0	8.6		
戦	前	128	73.4	21.1	4.7	14.1	14.8	18.8	5.5	0.8	5.5		
前	31	196	69.9	21.4	1.0	10.2	18.9	12.8	4.6	1.5	13.3		
31	年	245	66.1	13.9	3.3	8.2	18.0	9.4	3.7	0.8	17.6		
41	年	45	66.7	13.3	0.0	6.7	20.0	11.1	4.4	0.0	17.8		
46	年												
50	年												
51	年												
53	年												
54	年												
以	降												

Q30. 区では、「新宿区広報」を毎月3回、6紙(朝日、毎日、読売、サンケイ、東京、日経)の新聞折り込みで配布していますが、お宅には届いていますか。(1A)

SQ 1. [Q30で1と答えた人に]あなたは読んでいますか。(1A)

[illegible]

Q32 新宿文化センター

(新宿6丁目)は、

今年の4月1日に一

般オープンしました

が、あなたはこの施

設を知っていますか。

(1A)

Q31. 現在の新宿区長の名前を知っていますか。〔知  
っている人に〕区長の名前をおっしゃってください。  
い。(1A)

回答項目 フェース	N	知 つ て い る (正 答)	知 つ て い る (誤 答)	知 ら な い	N	知 つ て い る	知 ら な い
地域別	1139	55.0	5.5	39.5	1139	50.6	49.4
四谷	153	57.5	9.2	33.3	153	45.1	54.9
雑司が谷	111	54.1	7.2	38.7	111	45.0	55.0
根津	128	64.1	9.8	35.2	128	57.0	43.0
若松	110	55.5	10.0	34.5	110	55.5	44.5
大塚	129	50.4	10.1	39.5	129	51.9	48.1
落合	130	52.3	3.1	44.6	130	44.6	55.4
第1区	96	43.8	7.3	49.0	96	57.3	42.7
第2区	114	61.4	1.8	36.8	114	47.4	52.6
第3区	112	50.0	2.7	47.3	112	51.8	48.2
第4区	56	60.7	0.0	39.3	56	55.4	44.6
性別							
男性	531	56.7	4.5	38.8	531	49.5	50.5
女性	608	53.5	6.4	40.1	608	51.5	48.5
年代別							
20代	153	34.6	3.3	62.1	153	41.2	58.8
30代	123	54.5	5.7	39.8	123	43.9	56.1
40代	106	74.5	5.7	19.8	106	55.7	44.3
50代	68	67.6	2.9	29.4	68	66.2	33.8
60代以上	81	69.1	4.9	25.9	81	51.9	48.1
20代	142	36.6	6.3	57.0	142	44.4	55.6
30代	134	53.0	5.2	41.8	134	52.2	47.8
40代	106	67.9	6.6	25.5	106	58.5	41.5
50代	101	60.4	5.9	33.7	101	60.4	39.6
60代以上	125	55.2	8.0	36.8	125	45.6	54.4
職業別							
自営業・事業主	167	70.7	4.2	25.1	167	56.9	43.1
管理職・自由業	89	58.4	5.6	36.0	89	49.4	50.6
事務職・技術職	302	48.7	4.3	47.0	302	51.0	49.0
労働職・サービス職	107	45.8	3.7	50.5	107	45.8	54.2
主婦	268	60.1	7.1	32.8	268	54.5	45.5
学生	61	34.4	1.6	63.9	61	37.7	62.3
無職	117	58.1	9.4	32.5	117	46.2	53.8
その他	28	35.7	10.7	53.6	28	39.3	60.7
家族人数別							
1人	208	31.7	3.4	64.9	208	37.5	62.5
2人	171	53.8	4.7	41.5	171	47.4	52.6
3人	220	56.4	6.4	37.3	220	48.6	51.4
4人	291	59.1	7.2	33.7	291	60.8	39.2
5人以上	143	69.9	7.7	22.4	143	49.7	50.3
N	99	71.7	2.0	26.3	99	62.6	37.4
ライフステージ	7	14.3	0.0	85.7	7	0.0	100.0
婚前期	316	38.6	4.1	57.3	316	42.7	57.3
家族形成期	69	43.5	5.8	50.7	69	58.0	42.0
家族成長期(A)	107	51.4	7.5	41.1	107	40.2	59.8
家族成長期(B)	170	65.3	4.7	30.0	170	55.3	44.7
家族成長期(C)	113	69.0	4.4	26.5	113	69.0	31.0
家族成熟期	120	70.8	4.2	25.0	120	62.5	37.5
老年期(A)	76	67.1	9.2	23.7	76	57.9	42.1
老年期(B)	61	62.3	6.6	31.1	61	47.5	52.5
老年期(C)	36	58.3	8.3	33.3	36	41.7	58.3
その他	48	50.0	10.4	39.6	48	33.3	66.7
N	23	47.8	4.3	47.8	23	30.4	69.6
住居形態別							
一戸建持家	522	67.2	6.3	26.4	522	57.3	42.7
一戸建借家	42	66.7	9.5	23.8	42	50.0	50.0
民間木造アパート	188	37.8	5.9	56.4	188	42.0	58.0
鉄筋・アパートマンション	251	51.0	4.8	44.2	251	50.6	49.4
社宅・官舎	58	34.5	3.4	62.1	58	43.1	56.9
寮・間借り住込み	69	34.8	0.0	65.2	69	33.3	66.7
その他	9	44.4	11.1	44.4	9	22.2	77.8
居住年数別							
戦前から	97	66.0	7.2	26.8	97	55.7	44.3
終戦～昭和30年	266	65.8	4.9	29.3	266	58.3	41.7
昭和31年～40年	162	63.6	12.3	24.1	162	59.3	40.7
昭和41年～45年	128	65.6	4.7	29.7	128	46.1	53.9
昭和46年～50年	196	54.6	6.1	39.3	196	45.9	54.1
昭和51年～53年	245	33.1	1.6	65.3	245	45.3	54.7
54年以降	45	26.7	2.2	71.1	45	24.4	75.6

Q33. この集會施設には1800人収容の大ホールを始め、小ホール、集會室、展示室、ロビーなどが設けられ多目的に利用できるよう設計されています。この施設でどんな催し物を希望しますか。次の中から2つ以内で選んでください。〔回答票9提示〕(2A)

回答項目 フェース	N	クラシック音楽会	ポピュラー音楽会	新の演劇・歌舞伎など	日本舞踊・バレエ	浪曲・落語・漫才	映画会	美術・展示会 書・資料など	各種講座・講習会	その他	N A
総数	1149	17.4	20.3	16.1	8.1	16.3	24.3	21.2	21.8	8.1	6.8
地域別											
四谷別	153	19.0	19.0	17.6	11.8	13.7	29.4	12.4	15.7	12.4	5.2
池袋	111	10.8	29.7	17.1	9.9	14.4	14.4	22.5	15.3	0.9	1.8
有楽町	178	21.1	19.5	21.9	9.4	22.7	22.7	20.3	22.7	7.0	7.8
若松	110	16.4	34.5	19.1	6.4	11.8	25.5	24.5	28.2	3.6	0.9
大久保	129	20.9	19.4	14.0	9.3	20.2	32.6	27.1	24.0	5.4	3.1
大塚	130	14.6	21.5	18.5	6.2	27.7	27.7	24.6	22.3	2.3	3.8
落合第1	96	24.0	16.7	10.4	2.1	11.5	19.8	31.3	25.0	5.2	11.5
落合第2	114	18.4	12.3	16.7	7.9	13.2	20.2	22.8	27.2	5.3	14.0
柏木	112	17.0	17.0	12.5	8.0	14.3	30.4	15.2	23.2	19.6	1.8
角所	56	5.4	7.1	5.4	7.1	5.4	8.9	8.9	10.7	28.6	32.1
性別											
男性	531	17.7	23.7	9.8	2.6	15.8	28.2	21.5	20.9	8.3	8.3
女性	608	17.1	17.3	21.5	12.8	16.8	20.9	21.1	22.5	7.9	5.4
年代別											
20代	153	21.6	43.8	7.8	2.6	5.2	47.1	15.0	16.3	3.9	2.6
30代	173	19.5	21.1	6.5	2.4	16.3	25.2	17.9	26.8	9.8	10.6
40代	106	17.0	18.9	11.3	1.9	15.1	17.0	22.6	20.8	12.3	12.3
50代	68	19.1	10.3	13.2	1.5	22.1	26.5	36.8	30.9	1.5	4.4
60代以上	81	7.4	7.4	13.6	4.9	30.9	13.6	24.7	12.3	14.8	13.6
20代	142	21.1	31.7	11.3	12.7	6.3	32.4	16.9	21.8	6.3	3.5
30代	134	13.4	21.6	17.2	9.7	15.7	27.6	20.1	32.1	8.2	2.2
40代	106	24.5	16.0	24.5	16.0	11.3	16.0	21.7	20.8	8.5	5.7
50代	101	17.8	9.9	26.7	12.9	14.9	14.9	25.7	20.8	8.9	6.9
60代以上	125	9.6	3.2	31.2	13.6	36.0	9.6	22.4	16.0	8.0	9.6
職業別											
自営業・事業主	167	17.4	12.6	16.2	4.2	20.4	19.2	25.7	19.2	12.0	9.6
管理職・自由業	89	14.6	14.6	16.9	7.9	22.5	22.5	24.7	19.1	9.0	6.7
事務職・技術職	302	18.9	29.1	10.3	5.3	8.9	29.1	18.5	25.2	7.0	7.9
労務職・サービス職	107	12.1	20.6	14.0	7.5	20.6	29.0	18.7	18.7	12.1	5.6
主婦	268	16.8	16.8	24.6	13.8	17.9	20.9	20.1	23.1	6.7	3.7
学生	51	34.4	49.2	11.5	3.3	1.6	45.9	9.8	13.1	0.0	0.0
無職	117	9.4	5.1	18.8	11.1	25.6	9.4	26.5	24.8	10.3	11.1
その他	28	32.1	21.4	0.0	7.1	14.3	39.3	35.7	14.3	0.0	7.1
家族人数別											
1人	208	21.6	26.9	14.9	5.3	9.1	31.3	20.2	17.3	7.2	5.3
2人	171	17.5	17.0	18.1	11.1	15.8	21.1	22.2	18.1	11.1	7.0
3人	220	20.0	16.6	12.7	7.3	16.8	22.7	24.1	25.0	9.1	6.4
4人	291	15.5	19.6	16.2	8.2	16.8	24.4	20.6	27.1	6.2	6.5
5人	143	14.0	20.3	18.2	7.7	17.5	28.0	23.1	19.6	6.3	6.3
6人以上	99	13.1	17.2	20.2	11.1	29.3	13.1	16.2	19.2	11.1	9.1
N	7	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	57.1
ライフステージ											
婚前期	316	21.5	35.1	11.4	5.1	7.0	37.3	16.8	21.5	7.0	2.8
家族形成期(A)	69	21.7	23.2	15.9	10.1	10.1	34.8	18.8	24.6	5.8	2.9
家族成長期(B)	107	21.5	26.2	9.3	15.0	8.4	29.9	14.0	24.3	7.5	5.6
家族成長期(C)	170	12.4	20.0	14.1	4.7	21.8	20.6	23.5	25.9	10.6	8.2
家族成熟期(A)	113	22.1	13.3	18.6	9.7	15.0	20.4	30.1	22.1	4.4	6.2
家族成熟期(B)	120	15.0	8.3	24.2	9.2	23.3	15.0	19.2	25.0	8.3	10.0
老年期(A)	76	7.9	5.3	25.0	11.8	36.8	13.2	26.3	17.1	6.6	7.9
老年期(B)	61	16.4	4.9	21.3	8.2	31.1	6.6	29.5	8.2	19.7	6.6
老年期(C)	36	19.4	2.8	25.0	11.1	27.8	8.3	27.8	22.2	2.8	8.3
その他の他	48	8.3	12.5	20.8	8.3	14.6	16.7	27.1	12.5	8.3	14.6
N	23	4.3	13.0	4.3	4.3	8.7	8.7	13.0	26.1	13.0	30.4
住居形態別											
一戸建持家	522	16.3	18.2	17.2	9.6	22.4	19.2	20.5	22.4	8.4	6.9
一戸建借家	42	14.3	11.9	28.6	11.9	14.3	23.8	28.6	19.0	4.8	4.8
民間木造アパート	198	17.0	18.6	14.4	6.9	11.2	30.3	22.3	14.9	12.8	7.4
鉄筋アパートマンション	251	21.5	21.5	14.3	7.6	11.2	25.1	24.3	24.3	5.2	4.8
社宅・官舎	58	13.8	27.6	12.1	3.4	10.3	36.2	17.2	25.9	6.9	10.3
寮・借居の住込み	69	17.4	34.8	14.5	2.9	10.1	34.8	14.5	26.1	5.8	8.7
その他の他	9	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	11.1
居住年数別											
戦前から	97	16.5	12.4	15.5	11.3	33.0	16.5	19.6	18.6	4.1	13.4
終戦～昭和30年	246	15.0	15.0	20.7	8.3	21.1	19.2	18.0	23.3	9.8	6.0
昭和31年～40年	162	22.2	13.1	17.9	6.2	16.7	22.2	25.3	20.4	8.6	4.3
昭和41年～45年	128	17.2	15.6	16.8	8.6	12.5	29.7	23.4	24.2	5.5	7.0
昭和46年～50年	136	11.7	21.9	12.8	9.2	18.4	24.0	23.0	24.5	8.7	6.1
昭和51年～53年	245	20.0	28.6	12.7	6.1	6.1	31.4	20.8	19.6	8.2	7.8
54年以降	45	26.7	33.3	8.9	11.1	8.9	26.7	17.8	17.8	8.9	2.2



Q34. 現在、あなたが区に対して最も力を入れてほしいと思う事業はなんですか。次の中から、第1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ以内で選んでください。〔回答票10提示〕(3A)

第1位

回答項目 フェース	N	道路の整備	公園・児童遊園の整備	緑化対策	環境衛生	学校教育施設の整備	区民のための施設	老人福祉	心身障害者(児)	低所得者や母子世帯福祉	青少年の健全育成	中小企業対策	消費者保護対策	震災対策
地域別	1139	7.1	7.6	8.3	9.5	3.5	4.6	8.7	1.8	2.3	1.8	1.8	2.8	10.5
四谷	153	5.9	7.2	5.9	11.1	2.0	8.5	10.5	2.6	4.6	0.7	1.3	2.0	11.1
町	111	8.1	6.3	10.8	10.8	6.3	7.2	9.9	0.9	1.8	0.9	1.8	6.3	9.9
松久	128	7.0	10.2	10.2	3.9	7.0	1.6	10.2	0.8	0.8	1.6	0.8	3.1	12.5
保塚	110	4.5	6.4	16.4	19.1	1.8	8.2	8.2	0.9	1.8	1.8	0.9	6.4	6.4
第一	129	3.9	4.5	10.1	10.1	3.9	4.7	9.3	3.9	2.3	3.9	3.9	1.6	7.8
第二	130	5.4	3.2	9.2	7.7	4.6	1.5	9.2	1.5	1.5	1.5	1.5	0.8	12.3
第一	96	8.3	7.3	5.2	8.3	2.1	3.1	6.3	2.1	2.1	1.0	2.1	0.0	12.5
第二	114	12.3	2.6	2.6	10.5	0.9	2.6	8.8	2.6	3.5	0.0	3.5	5.3	18.4
第三	112	11.6	5.9	8.0	5.4	2.7	3.6	3.6	0.0	1.8	5.4	1.8	1.8	8.0
第四	56	3.6	8.9	1.8	7.1	3.6	3.6	10.7	3.6	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8
性別														
男性	531	7.9	7.7	8.9	8.7	3.2	6.2	6.8	2.4	2.3	2.1	3.2	2.1	9.6
女性	608	6.4	7.4	7.9	10.2	3.8	3.1	10.4	1.3	2.3	1.5	0.7	3.5	11.3
年代別														
20代	153	5.9	9.2	8.5	9.2	1.3	9.2	5.9	2.6	2.0	1.3	3.3	3.3	7.8
30代	123	6.5	8.9	9.8	7.3	0.0	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4	4.1	0.8	5.7
40代	106	6.6	4.5	7.5	5.7	10.4	5.7	7.5	2.8	2.8	1.9	2.8	1.9	11.3
50代	68	8.8	2.9	14.7	11.8	4.4	7.4	5.9	1.5	1.5	4.4	1.5	4.4	13.2
60代以上	91	14.8	6.2	4.9	11.1	1.2	2.5	14.8	2.5	2.5	1.2	3.7	0.0	13.6
20代	142	4.9	10.6	9.2	9.2	2.1	3.5	1.4	0.7	2.8	2.8	0.0	3.5	11.3
30代	134	4.5	12.7	10.4	11.2	4.5	5.2	6.0	1.5	2.2	0.0	0.7	1.5	12.7
40代	126	10.4	3.8	4.7	13.2	6.6	3.8	9.4	0.9	3.8	0.9	0.9	4.7	11.3
50代	101	8.9	2.0	8.9	10.9	3.0	1.0	10.9	2.0	1.0	2.0	2.0	5.9	9.9
60代以上	125	4.8	5.6	5.6	7.2	3.2	1.6	25.6	1.6	1.6	1.6	0.0	2.4	11.2
職業別														
自営業・事業主	167	13.2	6.0	5.4	7.2	2.4	7.2	5.4	3.0	1.8	1.2	5.4	3.6	10.8
管理職・自由業	89	6.7	4.5	13.5	11.2	7.9	2.2	6.7	0.0	1.1	2.2	1.1	1.1	11.2
事務職・技術職	302	4.6	6.3	8.6	10.6	3.3	7.3	5.3	0.7	3.6	3.0	1.7	3.0	9.6
労働者・サービス職	107	4.7	15.0	8.4	4.7	1.9	1.9	8.4	4.7	3.7	0.0	1.9	3.7	12.1
主婦	268	6.7	7.8	8.6	10.8	4.5	3.7	9.0	1.5	1.1	1.5	0.4	4.1	10.8
学生	61	11.5	9.8	11.5	9.8	0.0	3.3	4.9	1.6	1.6	0.0	1.6	1.6	11.5
無職	117	6.0	6.8	5.1	8.5	2.6	0.0	24.8	2.6	2.6	2.6	1.7	0.0	8.5
その他	28	7.1	7.1	10.7	14.3	7.1	7.1	10.7	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
家族人数別														
1人	208	3.4	7.2	7.7	11.5	1.4	6.7	9.1	1.4	3.8	1.4	2.4	2.9	10.6
2人	171	4.1	7.6	9.4	7.0	0.6	2.3	13.5	1.8	2.9	2.3	1.6	1.8	11.1
3人	220	10.5	5.9	9.5	11.4	4.1	3.6	5.5	1.8	1.4	3.2	1.4	4.5	10.0
4人	291	7.6	7.9	6.9	11.0	4.5	5.2	8.2	1.7	2.1	1.0	1.4	2.1	10.0
5人以上	143	8.4	9.8	12.6	4.2	5.6	4.9	9.1	1.4	0.7	1.4	1.4	3.5	12.6
N	99	10.1	6.1	4.0	9.1	5.1	4.0	7.1	3.0	3.0	1.0	4.0	2.0	10.1
ライフステージ	7	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
婚姻形態														
未婚	316	6.6	7.6	8.9	9.2	1.3	7.6	6.3	2.2	3.2	1.9	2.8	2.5	10.1
家族形成期	69	1.4	11.6	7.2	7.2	1.4	2.9	2.9	0.0	4.3	1.4	0.0	1.4	10.1
家族成長期(A)	107	5.6	13.1	7.5	8.4	2.8	4.7	4.7	1.9	1.9	0.9	2.8	4.7	6.5
家族成長期(B)	170	5.9	11.2	11.2	8.8	9.4	4.1	4.7	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	10.6
家族成長期(C)	113	13.3	2.7	8.6	10.6	7.1	5.3	6.2	1.8	0.9	4.4	0.9	2.7	14.2
家族成熟期	120	7.5	4.2	8.3	10.8	2.5	0.0	13.3	1.7	1.7	1.7	0.8	5.8	12.5
老年期(A)	76	11.8	7.9	5.3	10.5	5.3	0.0	10.5	1.3	3.9	1.3	3.9	2.6	10.5
老年期(B)	61	9.8	4.9	8.2	6.6	1.6	3.3	19.7	3.3	0.0	1.6	3.3	1.6	9.8
老年期(C)	36	8.3	2.8	8.2	16.7	0.0	5.6	25.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	13.9
その他	48	0.0	2.1	8.3	12.5	0.0	6.3	16.7	2.1	2.1	2.1	0.0	6.3	10.4
N	23	4.3	8.7	4.3	4.3	0.0	4.3	17.4	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	4.3
住居形態別														
一戸建持家	522	10.3	5.6	7.5	9.0	3.1	4.4	9.6	1.9	2.1	1.3	2.3	2.7	11.3
一戸建借家	42	4.8	9.5	4.8	9.5	9.5	9.5	9.5	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	7.1
民間木造アパート	188	3.7	8.5	6.9	9.6	3.2	7.4	8.5	1.6	2.7	3.2	2.1	3.2	12.2
鉄筋アパートマンション	251	5.6	9.6	11.6	9.6	4.4	2.8	7.2	1.6	2.0	1.2	0.8	3.2	8.0
社宅・官舎	58	1.7	10.3	12.1	12.1	5.2	5.2	1.7	0.0	1.7	3.4	1.7	1.7	13.6
寮・間借り・住込み	69	4.3	8.7	4.3	11.6	0.0	1.4	11.6	2.9	4.3	1.4	2.9	1.4	10.1
その他	9	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
居住年数別														
戦前から	97	12.4	4.1	3.1	10.3	3.1	4.1	15.5	3.1	4.1	2.1	0.0	2.1	8.2
終戦～昭和30年	266	7.5	5.6	7.5	7.1	3.8	4.1	13.9	2.3	3.0	1.9	2.6	3.4	9.8
昭和31年～40年	162	13.0	6.2	7.4	10.5	3.1	8.0	7.4	1.2	0.6	0.6	2.5	2.5	13.6
昭和41年～45年	128	4.7	6.3	7.8	15.6	8.6	6.3	7.8	2.3	0.0	1.6	0.8	1.6	10.2
昭和46年～50年	196	6.1	8.7	10.2	8.7	4.6	5.1	5.1	1.5	2.6	2.0	0.5	3.6	10.7
昭和51年～53年	245	3.7	9.8	10.2	8.2	0.8	1.2	5.7	1.2	2.9	2.0	3.3	2.4	10.6
54年以降	45	2.2	17.8	11.1	11.1	0.0	6.7	2.2	2.2	2.2	2.2	0.0	4.4	8.9

回答項目		水害対策	公害対策	区民の健康管理	食品衛生	社会活動の推進 社会教育・社会体	対策・児童の保育	交通安全対策	風紀の取り締まり	その他	特にな
フェース											
緑地 域 四 龍 模 若 大 戸 落 落 柏 角 性 男 女 性 年 代 20 30 40 50 60 代 以 上 別 業・事業主 管・地蔵・技術職 務職・サービス職 主 学 無 の 家 族 人 数 1 2 3 4 5 6 人 以 上 A N ライフステージ 婚 前 家 族 形 成 期 A 家 族 成 長 期 B 家 族 成 長 期 C 家 族 成 熟 期 A 家 族 成 熟 期 B 家 族 成 熟 期 C 他 A N 住居形態別 一戸建持家 一戸建借家 民間木造アパート 鉄骨・ファクトリーマンション 社宅・官舎 寮・間借り住込み その他 居住年数別 戦前から 終戦～昭和30年 昭和31年～40年 昭和41年～45年 昭和46年～50年 昭和51年～53年 昭和54年以降	2.5	3.2	0.8	1.1	2.8	1.9	2.7	4.0	0.6	9.9	
	数別	0.0	0.7	0.7	1.3	0.7	0.0	2.0	2.6	0.7	18.3
	谷	0.0	6.3	0.0	0.0	1.8	0.0	3.6	7.2	0.0	0.0
	町	2.3	2.3	0.8	1.6	3.9	1.6	3.9	1.6	0.0	12.5
	町	0.0	0.9	0.9	2.7	3.6	0.9	2.7	2.7	0.9	1.8
	保塚	1.6	3.9	0.8	0.8	3.9	3.1	2.3	7.0	0.0	3.1
	一	10.0	4.6	0.0	2.3	0.8	0.0	3.8	6.9	0.0	5.4
	二	5.2	6.3	1.0	0.0	0.0	4.2	2.1	2.1	0.0	18.8
	木	2.6	1.8	2.6	0.9	0.0	6.1	1.8	2.6	1.8	6.1
	所	1.8	4.5	0.9	0.0	9.8	1.8	2.7	1.8	1.8	12.5
別	1.8	1.8	0.0	0.0	5.4	3.6	1.8	7.1	1.8	30.4	
性	2.1	3.4	0.8	0.9	2.3	2.3	3.0	4.0	0.8	9.6	
性	3.0	3.1	0.8	1.2	3.3	1.6	2.5	4.1	0.5	10.2	
代	3.3	5.9	0.0	0.7	2.6	2.6	3.3	3.9	0.7	7.8	
別	2.4	2.4	0.0	0.8	2.4	6.5	6.5	5.7	0.8	14.6	
代	1.9	2.2	0.9	1.9	3.8	0.0	1.9	0.9	0.9	9.4	
代	1.5	4.4	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	1.5	
上	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	0.0	1.2	2.5	1.2	12.3	
代	3.5	2.1	1.4	0.0	7.0	4.2	4.9	3.5	0.0	11.3	
代	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	1.5	3.0	0.7	8.2	
代	3.8	4.7	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0	9.4	
以	3.0	6.9	0.0	2.0	4.0	0.0	0.0	5.9	1.0	8.9	
上	2.4	0.8	0.0	0.0	2.4	0.8	4.8	3.2	0.8	12.8	
別	4.2	3.0	0.6	0.6	0.6	0.6	2.4	4.2	0.6	10.8	
業・事業主	2.2	3.4	1.1	0.0	0.0	2.2	3.4	4.5	3.4	10.1	
管・地蔵・技術職	3.3	3.6	0.3	1.0	3.6	3.3	3.0	2.6	0.7	10.9	
務職・サービス職	0.9	3.7	0.0	0.9	2.8	3.7	1.9	4.7	0.0	10.3	
主	2.2	4.1	1.9	1.9	2.6	1.1	1.9	5.6	0.4	7.8	
学	3.3	4.9	0.0	0.0	6.6	0.0	4.9	1.6	0.0	9.8	
無	0.9	0.0	0.9	1.7	3.4	1.7	4.3	4.3	0.0	11.1	
の	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	3.6	0.0	7.1	
家	1.9	3.8	0.0	1.0	2.4	1.9	1.9	3.8	1.0	12.5	
族	2.3	2.9	1.8	1.2	1.8	1.2	4.1	7.6	1.2	9.9	
人	3.6	2.7	0.5	0.9	2.3	3.2	2.7	1.4	0.5	9.5	
数	2.7	4.1	1.4	1.7	4.8	0.3	3.8	3.8	0.3	7.6	
1	0.7	1.4	0.0	0.0	2.8	4.2	0.7	4.9	0.0	9.8	
2	4.0	4.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	3.0	1.0	12.1	
3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	
4	2.2	3.5	0.0	0.6	3.5	1.9	2.8	3.5	0.3	11.4	
5	7.2	4.3	0.0	1.4	2.9	2.9	7.2	8.7	1.4	11.6	
6	4.7	0.9	1.9	0.9	5.6	7.5	4.7	0.9	0.9	6.5	
A	2.4	4.1	1.2	1.8	1.8	2.4	2.9	2.4	0.0	9.4	
B	0.9	5.3	2.7	1.8	0.0	0.0	0.0	6.2	0.9	3.5	
C	3.3	4.2	0.0	0.8	4.2	0.0	0.8	3.3	0.8	11.7	
A	2.6	0.0	0.0	1.3	3.9	1.3	5.3	3.9	0.0	6.6	
B	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	3.3	8.2	0.0	8.2	
C	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8	11.1	
他	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	6.3	2.1	18.8	
N	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	21.7	
一戸建持家	2.1	3.1	0.8	0.8	2.9	1.1	2.3	3.6	0.8	11.5	
一戸建借家	2.4	7.1	4.8	0.0	4.8	2.4	4.8	2.4	0.0	0.0	
民間木造アパート	2.1	3.7	0.0	0.5	2.1	3.7	2.1	3.2	0.5	9.0	
鉄骨・ファクトリーマンション	4.0	2.8	0.8	2.4	2.4	2.0	3.2	6.0	0.4	8.8	
社宅・官舎	3.4	0.0	1.7	0.0	3.4	5.2	6.9	3.4	1.7	3.4	
寮・間借り住込み	1.4	5.8	0.0	1.4	4.3	0.0	1.4	4.3	0.0	15.9	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	
戦前から	3.1	3.1	0.0	1.0	2.1	1.0	1.0	3.1	1.0	12.4	
終戦～昭和30年	1.9	3.4	0.4	0.4	3.0	0.8	1.9	3.0	0.4	12.4	
昭和31年～40年	1.9	2.5	0.6	0.6	3.1	0.0	3.1	2.5	0.0	9.3	
昭和41年～45年	1.6	2.3	0.8	1.6	3.1	2.3	1.6	5.5	1.6	6.3	
昭和46年～50年	3.1	3.6	2.0	2.0	1.5	1.5	4.1	5.1	0.5	6.6	
昭和51年～53年	3.7	4.5	0.8	0.8	3.3	4.9	2.9	5.7	0.8	10.6	
昭和54年以降	2.2	0.0	0.0	0.0	4.4	2.2	6.7	0.0	0.0	13.3	

第2位

回答項目 フェース		N	道路の整備	公園・児童遊園の整備・拡充	緑化対策	環境衛生	学校教育施設の整備	区民のための施設	老人福祉	心身障害者（児）福祉	低所得層や母子世帯福祉	青少年の健全育成対策	中小企業対策	消費者保護対策	震災対策
地域	数別	1139	3.0	7.0	8.2	8.0	4.0	3.0	5.5	3.9	3.6	3.2	2.2	4.4	10.1
四	谷町	153	1.3	3.9	4.6	9.8	2.0	2.6	4.6	4.6	9.8	2.6	2.6	7.2	10.5
筆	箭町	111	1.8	8.1	17.1	12.6	5.4	1.8	13.5	4.5	0.0	5.4	0.0	4.5	11.7
模	松久	128	3.1	6.3	6.3	10.2	4.7	2.3	2.3	4.7	2.3	1.6	3.9	3.1	10.9
若	大戸	110	2.7	7.3	12.7	7.3	0.9	1.8	9.1	9.1	0.9	0.9	4.5	7.3	9.1
松	久	129	4.7	5.5	10.9	0.8	9.3	1.6	5.4	4.7	2.3	2.3	3.9	3.9	9.3
合	第	130	2.3	9.2	10.0	10.0	5.4	6.9	3.8	0.0	3.1	4.6	1.5	3.8	10.8
落	合	96	3.1	11.5	3.1	8.3	4.2	2.1	5.2	4.2	1.0	1.0	0.0	3.1	4.2
落	第	114	2.6	4.4	3.5	7.9	1.8	2.6	3.5	4.4	8.8	3.5	4.4	4.4	14.9
柏	区	112	5.4	7.1	8.9	5.4	3.6	2.7	6.3	0.0	3.6	3.6	0.0	2.7	12.5
性	サ・役	56	3.6	3.6	1.8	7.1	1.8	7.1	0.0	1.8	0.0	8.9	1.8	1.8	1.8
男	別	531	3.2	4.5	9.2	7.0	3.4	3.2	4.9	3.4	3.4	3.4	1.9	4.0	10.9
性	性	608	2.3	5.8	7.2	8.9	4.6	2.8	6.1	4.3	3.8	3.0	2.5	4.8	9.4
年	代	153	2.0	9.8	11.5	3.9	3.9	4.6	4.6	5.2	2.0	5.2	1.3	2.6	11.1
男	代	123	3.3	8.1	8.1	4.9	5.7	3.3	4.9	3.3	4.1	0.8	2.4	4.9	9.8
男	代	106	5.7	5.5	7.5	9.4	1.9	2.8	0.9	2.8	3.8	5.7	1.9	4.7	9.4
男	代	58	4.4	10.3	11.5	8.8	2.9	2.9	4.4	0.0	4.4	1.5	2.9	5.9	16.2
男	以上	41	1.2	4.9	6.2	11.1	1.2	1.2	11.1	3.7	3.7	2.5	1.2	2.5	9.9
女	代	142	6.3	7.0	7.0	9.9	4.2	2.8	4.9	4.9	2.1	4.9	1.4	3.5	6.3
女	代	134	1.5	7.5	6.7	5.2	11.9	3.7	4.5	3.0	4.5	1.5	3.0	7.5	9.0
女	代	176	2.6	2.8	9.4	10.4	1.9	1.9	1.9	5.7	4.7	3.8	2.8	5.7	7.5
女	代	131	2.0	5.0	5.9	9.9	3.0	3.0	11.9	5.0	4.0	2.0	2.0	3.0	14.9
女	以上	125	0.8	5.6	7.2	9.6	0.8	2.4	8.0	3.2	4.0	2.4	3.2	4.0	10.4
職	別	167	3.0	4.8	8.4	12.0	5.4	2.4	4.8	2.4	4.8	5.4	3.6	1.2	9.0
自	業主	49	3.4	7.9	7.9	9.0	0.0	0.0	10.1	4.5	3.4	3.4	0.0	2.2	13.5
管	業	302	2.6	9.3	8.3	7.9	3.3	3.6	4.0	4.0	1.3	3.0	3.0	6.0	8.3
理	職	107	4.7	4.7	10.3	3.7	3.7	2.8	5.6	0.9	4.7	1.9	1.9	10.3	7.5
勞	職	258	1.9	4.9	6.7	7.5	6.3	3.0	3.7	5.2	5.2	2.2	1.9	5.6	11.9
務	職	61	4.9	6.6	9.8	6.6	6.6	3.3	3.3	4.9	1.6	8.2	0.0	1.6	16.4
学	職	117	3.4	10.3	6.6	9.4	0.9	4.3	12.8	3.4	3.4	0.9	1.7	0.0	9.4
無	他	28	3.6	10.7	14.3	0.0	3.6	3.6	3.6	7.1	7.1	3.6	3.6	3.6	7.1
家	族	208	2.9	7.7	10.1	5.8	3.8	2.4	4.3	5.3	3.8	4.8	2.4	3.4	3.6
人	人	171	2.9	4.1	5.3	11.1	1.2	2.3	4.7	4.7	6.4	2.3	2.9	4.7	9.4
数	人	220	2.7	8.2	7.7	7.7	5.5	3.6	6.8	3.6	2.3	3.2	0.9	4.1	12.7
以	人	291	2.7	7.9	8.6	5.8	5.5	3.4	5.8	4.8	2.7	2.4	0.7	5.8	13.7
上	人	143	1.4	8.4	9.1	9.1	3.5	1.4	6.3	1.4	1.4	4.2	5.6	4.9	7.0
人	人	99	5.1	4.0	7.1	13.1	3.0	5.1	4.0	1.0	6.1	2.0	2.0	2.0	13.1
N	A	7	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
ラ	期	316	4.1	8.5	10.1	7.6	2.8	4.1	4.4	5.7	2.2	4.7	2.2	3.2	7.9
イ	前	69	2.9	2.9	8.7	8.7	1.4	0.0	4.3	4.3	8.7	1.4	4.3	5.8	5.8
フ	期	177	1.9	14.0	10.3	3.7	11.2	5.6	7.5	0.0	3.7	0.0	2.8	5.6	9.3
ス	期	170	3.5	7.1	5.3	6.5	9.4	1.2	1.8	4.1	2.9	2.9	0.6	5.9	11.2
テ	期	113	3.5	3.5	12.4	8.8	1.8	3.5	5.3	4.4	4.4	4.4	0.0	5.3	14.2
タ	期	120	1.7	5.0	5.0	9.2	1.7	4.2	6.7	3.3	2.5	1.7	2.5	5.0	14.2
チ	期	76	1.3	6.6	6.6	15.8	1.3	1.3	14.5	2.6	3.9	0.0	3.9	2.6	13.2
ニ	期	61	3.3	3.3	1.6	11.5	1.6	3.3	4.9	6.6	6.6	4.9	4.9	6.6	6.6
ホ	期	36	0.0	8.3	13.9	8.3	2.8	0.0	11.1	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0
ソ	期	48	2.1	6.3	6.3	2.1	2.1	0.0	4.2	0.0	4.2	2.1	2.1	2.1	16.7
ノ	他	23	4.3	4.3	4.3	8.7	0.0	4.3	4.3	0.0	4.3	8.7	0.0	8.7	8.7
住	別	522	1.9	5.7	8.0	9.0	3.3	3.1	5.6	3.4	3.8	2.3	2.3	4.6	11.1
居	一	42	4.8	4.8	7.1	7.1	2.4	0.0	7.1	4.8	4.8	7.1	0.0	0.0	19.0
屋	戸	188	4.3	8.5	8.5	3.7	4.8	2.7	4.8	4.3	2.1	6.4	3.2	4.8	10.1
敷	建	251	3.2	6.8	8.4	11.6	3.6	3.6	5.6	4.0	4.8	2.0	2.8	4.0	9.2
地	宅	58	8.6	15.5	5.2	5.2	8.6	3.4	5.2	3.4	1.7	0.0	0.0	6.9	8.6
宅	・	69	1.4	7.2	10.1	1.4	7.2	2.9	5.8	5.8	1.4	5.8	0.0	4.3	1.4
住	込	9	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
所	の	97	2.1	2.1	10.3	9.3	0.0	2.1	8.2	2.1	6.2	2.1	0.0	5.2	9.3
年	前	266	0.0	5.8	8.3	10.5	1.9	3.4	5.3	2.6	3.4	1.9	4.5	3.4	12.0
数	30年	152	3.1	5.6	7.4	5.6	1.9	2.5	6.2	4.9	3.1	5.6	2.5	5.6	11.7
前	～40年	178	3.9	8.6	8.6	9.4	4.7	3.9	4.7	5.5	3.9	6.3	4.7	5.5	4.7
から	41年～45年	196	5.1	6.1	3.1	6.1	5.6	4.1	4.6	5.1	4.6	2.6	0.5	5.1	14.3
戦	46年～50年	245	4.1	9.4	11.0	6.9	8.2	2.0	6.1	4.1	2.9	1.6	0.8	3.3	6.9
後	51年～53年	45	4.4	11.1	11.1	8.9	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	6.7	0.0	4.4	8.9
以降	54年以降														

回答項目 フ ェ ース	水害対策	公害対策	区民の健康管理	食品衛生	社会活動の推進・社会教育・社会体	幼児・児童の保育	交通安全対策	風紀の取り締まり	その他
総 数	1.5	4.7	1.9	1.4	1.8	1.5	4.2	4.0	0.2
地 域									
四 谷 町	0.7	5.2	2.0	1.3	0.7	0.0	1.3	2.0	0.0
筆 簡	0.9	6.3	1.8	0.9	0.0	0.9	1.8	0.9	0.0
松 久 町	2.3	3.9	2.3	0.6	2.3	2.3	5.5	3.9	0.0
若 保 隊	0.0	2.7	0.9	2.7	1.8	2.7	5.5	5.5	0.0
大 戸 一	0.8	6.2	3.9	1.6	3.1	1.6	6.2	7.0	0.0
落 合 第 二	4.6	3.8	1.5	0.8	1.5	0.8	4.6	3.8	0.8
落 第 三	2.1	9.4	4.2	0.0	0.0	2.1	7.3	5.2	0.0
柏 木	0.0	1.8	1.8	3.5	2.6	3.5	7.9	4.4	0.0
角 害・区役所	2.7	4.5	0.0	1.8	2.7	0.9	0.0	3.6	0.9
性 別	0.0	1.8	0.0	0.0	5.4	0.0	1.8	5.4	0.0
男 性	2.6	4.5	2.1	0.4	2.3	1.1	4.7	4.1	0.2
女 性	6.5	4.8	1.8	2.3	1.5	1.8	3.8	3.9	6.2
性 年 代 別									
男 20 代	3.3	3.3	2.6	0.0	2.0	0.7	7.2	4.6	0.0
男 30 代	0.8	4.1	1.6	0.0	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0
男 40 代	1.9	6.6	1.9	0.9	2.8	0.0	2.8	4.7	0.9
男 50 代	2.9	5.9	0.0	1.5	0.0	1.5	4.4	5.9	0.0
男 60 代	4.9	3.7	3.7	0.0	2.5	0.0	4.9	2.5	0.0
女 20 代	0.0	7.0	0.7	2.1	2.1	3.5	2.6	4.2	0.0
女 30 代	0.0	5.2	1.5	2.2	2.2	3.7	3.0	3.0	0.0
女 40 代	1.9	5.7	2.8	2.8	0.9	0.0	3.8	6.6	0.9
女 50 代	0.0	3.0	1.0	2.0	0.0	1.0	5.0	2.0	0.0
女 60 代	0.8	2.4	3.2	2.4	1.6	0.0	4.8	4.0	0.0
職 業 別									
自営業・事業主	1.2	4.8	1.8	1.8	1.2	1.2	3.0	3.0	0.0
管理職・自由業	3.4	5.6	3.4	0.0	1.1	1.1	3.4	4.5	0.0
事務職・技術職	2.0	4.3	1.3	0.0	2.3	1.3	5.3	6.0	0.3
労働職・サービス職	0.9	3.7	0.9	1.9	3.7	2.8	6.5	3.7	0.0
主婦・専業主婦	1.1	4.5	2.2	3.7	1.5	2.6	3.7	3.0	0.4
学生	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	6.6	0.0
無職	0.9	3.4	2.6	0.9	2.6	0.0	4.3	2.6	0.0
その他	3.6	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家 族 人 数 別									
1 人	1.4	4.8	2.9	0.0	2.4	0.5	4.3	6.3	0.0
2 人	0.6	5.8	2.3	1.2	0.6	1.8	6.4	3.5	0.0
3 人	0.9	4.5	1.8	1.4	1.4	3.6	1.8	3.6	0.0
4 人	2.4	4.5	1.4	2.1	1.0	1.0	4.5	3.4	0.7
5 人	2.8	5.6	1.4	2.8	3.5	0.7	5.6	3.5	0.0
6 人 以 上	0.0	2.0	2.0	1.0	4.0	1.0	3.0	4.0	0.0
N A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージ									
婚 前 期	2.2	3.8	2.2	0.3	2.2	0.3	4.1	4.7	0.0
家 族 形 成 期	0.0	7.2	1.4	1.4	4.3	4.3	5.8	0.0	0.0
家 族 成 長 期(A)	0.0	0.9	0.9	1.9	1.9	9.3	0.9	0.0	0.0
家 族 成 長 期(B)	1.2	7.1	2.4	2.4	2.4	0.6	4.1	4.7	0.6
家 族 成 長 期(C)	1.8	10.6	0.0	0.9	1.8	0.0	4.4	1.8	0.9
家 族 成 熟 期	3.3	2.5	0.8	3.3	0.0	1.7	4.2	7.5	0.0
老 年 期 (A)	1.3	2.6	1.3	1.3	3.9	0.0	6.6	1.3	0.0
老 年 期 (B)	0.0	3.3	4.9	0.0	0.0	0.0	4.9	3.3	0.0
老 年 期 (C)	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	8.3	5.6	0.0
そ の 他	0.0	4.2	6.3	2.1	2.1	0.0	6.3	6.3	0.0
N A	4.3	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
住 居 形 態 別									
一 戸 建 持 家	2.5	4.2	2.3	2.3	2.1	0.4	4.4	3.4	0.2
一 戸 建 借 家	0.0	7.1	0.0	2.4	4.8	2.4	7.1	4.8	0.0
民間木造アパート	0.5	4.8	2.1	0.0	2.1	1.6	3.2	4.8	0.0
鉄筋・アパート・マンション	0.0	4.8	1.2	0.8	0.8	3.2	3.6	4.0	0.4
社 宅・官 舎	0.0	10.3	1.7	1.7	0.0	1.7	3.4	5.2	0.0
寮・借宿・住込み	4.3	1.4	1.4	0.0	2.9	2.9	7.2	5.8	0.0
そ の 他	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居 住 年 数 別									
戦 前 か ら	4.1	6.2	4.1	2.1	3.1	0.0	4.1	3.1	0.0
終 戦 ～昭和30年	3.0	1.5	1.5	1.5	2.3	0.4	4.1	4.1	0.0
昭和31年～40年	1.2	3.7	3.7	3.1	1.9	0.0	4.3	3.7	0.6
昭和41年～45年	0.0	2.3	0.8	0.8	0.8	2.3	5.5	2.3	0.8
昭和46年～50年	0.0	6.6	1.5	1.5	2.6	3.1	5.6	5.1	0.0
昭和51年～53年	0.8	6.1	1.2	0.4	1.2	2.4	2.9	4.5	0.0
54 年 以 降	2.2	6.7	2.2	0.0	0.0	2.2	2.2	4.4	0.0

第3位

回答項目 フェース	N	道路の整備	公園・整備・児童遊園の	緑化対策	環境衛生	学校教育施設の整備	区民のための施設	老人福祉	心身障害者(児)	低所得層や母子世帯福祉	青少年の健全育成	中小企業対策	消費者保護対策	震災対策
地域別	1139	3.2	5.7	6.1	6.0	2.5	3.3	5.5	1.6	2.5	2.7	3.2	4.9	5.9
四筆	153	0.7	3.3	5.9	5.2	1.3	3.9	5.2	0.7	0.7	2.6	3.9	7.8	7.2
若松	111	5.4	2.7	7.2	6.3	1.8	0.0	11.7	5.4	1.8	0.9	0.9	6.3	6.3
久保	128	3.9	5.5	5.5	7.8	6.3	3.1	2.3	2.3	2.3	1.6	0.8	3.9	7.0
第一	110	5.5	4.5	1.8	2.7	0.9	3.6	1.8	6.9	0.9	3.6	10.9	9.1	11.8
第二	129	1.6	10.1	8.5	8.5	4.7	5.4	6.2	2.3	5.4	3.1	2.3	3.1	2.3
第三	130	3.1	8.5	6.9	8.5	2.3	3.8	9.2	2.3	3.1	6.9	0.8	3.1	3.8
第四	96	5.2	6.3	8.3	6.3	1.0	3.1	8.3	1.0	4.2	1.0	1.0	0.0	4.2
第五	114	3.5	3.5	8.8	5.3	3.5	1.8	3.5	0.0	4.4	2.6	7.0	8.8	8.8
第六	112	1.8	8.0	4.5	5.4	1.8	5.4	1.8	0.0	0.9	2.7	2.7	2.7	3.6
第七	56	1.8	3.6	1.8	0.0	0.0	1.8	5.4	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	1.8
性別														
男性	531	3.6	5.1	6.4	5.5	2.6	4.0	5.1	1.7	2.4	3.4	4.1	4.9	5.5
女性	608	2.4	6.3	5.9	6.4	2.5	2.8	5.9	1.5	2.5	2.1	2.5	4.9	6.3
年代別														
20代	153	5.9	6.5	9.2	8.5	3.3	4.6	2.0	1.3	2.0	2.0	3.4	5.2	8.5
30代	123	2.4	5.7	5.7	4.1	3.3	5.7	5.7	1.6	4.1	4.9	4.9	4.1	4.1
40代	106	2.8	4.7	5.7	4.7	1.9	3.8	3.8	1.9	2.8	1.9	6.6	4.7	1.9
50代	68	2.9	5.9	0.0	5.9	0.0	2.9	10.3	2.9	0.0	1.5	2.9	4.4	8.8
60代以上	81	2.5	1.2	8.6	2.5	3.7	1.2	7.4	1.2	2.5	7.4	1.2	6.2	3.7
20代	142	2.1	8.5	8.5	6.3	1.4	2.8	6.3	1.4	2.1	0.0	3.5	7.7	6.3
30代	134	3.0	9.7	3.0	3.0	3.7	3.7	4.5	1.5	3.0	3.0	3.7	3.7	9.7
40代	106	4.7	2.8	3.8	9.4	2.8	3.8	4.7	0.9	1.9	3.8	1.9	2.8	4.7
50代	101	4.0	5.9	6.9	5.0	4.0	1.0	7.9	1.0	2.0	4.0	2.0	6.9	2.0
60代以上	125	0.8	3.2	7.2	8.8	0.8	2.4	6.4	2.4	3.2	0.8	0.8	3.2	7.2
職業別														
自営業・事業主	167	2.4	1.8	4.8	4.2	4.2	3.0	7.8	2.4	2.4	3.0	4.8	4.2	6.6
管理職・自由業	89	2.2	2.2	5.6	6.7	1.1	2.2	7.9	2.2	4.5	2.2	7.9	4.5	3.4
事務職・技術職	302	4.0	7.6	6.0	4.6	2.0	5.3	4.0	1.0	1.0	2.0	2.3	5.6	7.3
労務職・サービス職	107	1.9	8.4	5.6	13.1	3.7	0.9	4.7	0.9	5.6	2.8	1.9	3.7	3.7
主婦	268	4.9	6.0	6.3	6.0	1.9	2.2	5.2	1.1	1.5	4.1	3.0	6.0	6.0
学生	61	3.3	6.6	11.5	6.6	3.3	1.6	4.9	3.3	1.6	1.6	1.6	4.9	6.6
無職	117	0.9	4.3	6.8	6.0	3.4	1.7	6.8	2.6	4.3	2.6	1.7	4.3	4.3
その他	28	0.0	10.7	3.6	0.0	0.0	17.9	3.6	0.0	3.6	0.0	7.1	0.0	7.1
家族人数別														
1人	208	2.9	7.2	5.8	6.3	1.4	4.3	6.3	1.0	1.9	1.0	4.3	5.3	4.3
2人	171	2.9	4.7	7.0	5.3	3.5	2.3	9.4	1.2	3.5	0.6	1.2	5.8	5.8
3人	220	3.6	5.5	4.5	5.5	3.2	2.7	3.6	3.2	1.4	2.7	4.1	5.9	6.4
4人	291	2.7	6.5	6.2	6.9	1.4	4.1	4.5	2.1	3.4	5.5	2.4	3.4	5.2
5人	143	4.2	4.2	5.6	6.3	4.2	3.5	6.3	0.7	1.4	2.8	4.2	2.8	6.3
6人以上	99	3.0	5.1	10.1	3.0	3.0	2.0	4.0	0.0	1.0	2.0	3.0	7.1	10.1
N	7	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0
ライフステージ														
婚前	316	3.2	7.0	8.5	7.0	2.2	4.4	4.4	1.9	1.6	1.3	4.4	5.4	6.6
家族形成期	69	2.9	8.7	5.8	8.7	5.8	2.9	10.1	0.0	4.3	0.0	4.3	2.9	4.3
家族成長期(A)	107	4.7	6.5	3.7	4.7	1.9	4.7	6.5	1.9	0.9	2.8	4.7	6.5	9.3
家族成長期(B)	170	2.4	7.6	5.3	2.4	4.7	3.5	4.1	0.6	4.7	5.3	2.9	2.4	4.7
家族成長期(C)	113	3.5	3.5	3.5	8.8	1.8	2.7	3.5	2.7	0.9	4.4	0.9	6.2	5.3
家族成熟期	120	4.2	2.5	3.3	8.3	0.8	2.5	3.3	2.5	1.7	3.3	5.0	5.0	5.0
老年期(A)	76	1.3	5.3	7.9	5.3	3.9	1.3	9.2	2.6	3.9	3.9	0.0	3.9	6.6
老年期(B)	61	1.6	3.3	8.2	3.3	1.6	1.6	9.8	1.6	3.3	1.6	1.6	6.6	4.9
老年期(C)	36	5.6	5.6	8.3	2.8	2.8	2.8	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	5.6
その他	48	2.1	4.2	6.3	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	4.2	2.1	2.1	10.4	2.1
N	23	4.3	0.0	4.3	8.7	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	8.7
住居形態別														
一戸建持家	522	4.0	5.4	7.7	5.7	1.7	3.3	5.6	1.3	1.9	2.7	3.3	4.6	6.9
一戸建借家	42	0.0	9.5	9.5	2.4	11.9	4.8	4.8	4.8	2.4	0.0	2.4	4.8	2.4
民間木造アパート	188	2.1	10.6	3.7	6.9	3.7	5.3	6.9	1.1	4.3	2.1	3.2	5.3	2.1
鉄筋アパートマンション	251	2.0	2.8	3.6	6.0	1.6	2.4	5.2	2.4	2.0	4.0	3.6	7.2	7.6
社宅・官舎	58	1.7	3.4	10.3	6.9	6.9	3.4	6.9	1.7	3.4	3.4	1.7	0.0	8.6
寮・借家・住込み	69	7.2	5.8	4.3	7.2	0.0	1.4	2.9	0.0	2.9	1.4	1.4	2.9	2.9
その他	9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
居住年数別														
戦前から	97	3.1	5.2	9.3	8.2	0.0	1.0	9.3	1.0	2.1	5.2	6.2	5.2	4.1
終戦～昭和30年	266	3.4	3.4	5.3	5.6	3.4	4.1	4.1	2.6	1.9	2.3	1.5	4.1	7.1
昭和31年～40年	162	2.5	4.9	9.3	5.6	2.5	1.9	5.6	1.2	3.1	2.5	1.9	4.9	3.7
昭和41年～45年	128	0.0	7.8	4.7	5.5	5.5	4.7	3.1	2.3	2.3	3.9	6.3	2.3	7.0
昭和46年～50年	126	4.6	6.1	4.6	5.6	0.5	4.6	7.1	1.0	2.0	4.1	3.1	7.7	7.7
昭和51年～53年	245	3.7	8.6	6.1	6.1	2.4	2.9	5.7	0.8	3.3	1.2	3.7	4.5	4.5
54年以降	45	4.4	7.0	4.4	6.7	4.4	2.2	4.4	2.2	2.2	0.0	2.2	6.7	6.7

回答項目 フ ェ ース	水害 対策	公害 対策	区民の 健康管理	食品 衛生	社会活動の 推進 ・ 社会 体	幼児・ 児童の 保育	交通 安全 対策	風 紀の 取り 締 まり	そ の 他
総 数	1.7	4.4	2.9	2.6	2.6	1.8	5.0	6.5	0.3
地 域									
四 角	0.7	4.6	4.6	5.2	2.6	0.7	2.6	3.3	0.0
電 簡	0.9	9.0	0.0	0.0	1.8	0.0	5.4	6.3	0.0
榎 町	0.8	1.6	0.8	1.6	0.8	3.9	5.5	10.9	0.8
若 松	0.9	6.4	9.1	5.5	0.0	0.0	6.4	3.6	0.0
久 保	1.6	6.2	3.9	2.3	4.7	1.6	2.3	8.5	0.0
大 塚	5.4	4.6	2.3	3.1	2.3	3.1	3.8	4.6	0.8
落 合	1.0	2.1	3.1	0.0	3.1	1.0	9.4	6.3	0.0
落 第	3.5	2.6	1.8	3.5	2.6	4.4	6.1	2.6	0.0
柏 木	0.9	3.6	0.9	1.8	5.4	1.8	4.5	13.4	0.0
角 区	0.0	1.8	1.8	1.8	3.6	1.8	7.1	5.4	1.8
性 別									
男 性	1.5	4.3	2.6	2.6	3.2	1.7	6.2	6.2	0.0
女 性	1.8	4.4	3.1	2.6	2.1	2.0	3.9	6.7	0.5
性 年 代 別									
男 20 代	2.0	3.7	2.6	2.0	2.0	2.0	3.9	5.2	0.0
男 30 代	2.4	0.8	3.3	0.0	1.6	3.3	6.5	5.7	0.0
男 40 代	0.9	2.8	0.9	0.9	5.7	1.9	8.5	6.6	0.0
男 50 代	1.5	10.3	1.5	10.3	5.9	0.0	5.9	7.4	0.0
男 60 代 以上	0.0	3.7	2.5	3.7	2.5	0.0	7.4	7.4	0.0
女 20 代	0.0	4.9	3.5	1.4	2.8	2.1	4.9	8.5	0.0
女 30 代	0.7	3.0	3.0	3.7	2.2	3.7	5.2	4.5	1.5
女 40 代	1.9	6.6	3.8	4.7	3.8	0.0	0.9	5.7	0.9
女 50 代	2.0	4.0	2.0	3.0	0.0	2.0	6.9	5.9	0.0
女 60 代 以上	4.8	4.0	3.2	0.8	1.6	1.6	1.6	8.8	0.0
職 業 別									
自 営 業・事 業 主	1.2	4.2	1.8	3.0	3.0	2.4	7.2	7.2	0.0
管 理 職・自 由 業	2.2	1.1	3.4	1.1	3.4	2.2	5.6	7.9	0.0
事 務 職・技 術 職	1.0	4.3	5.3	1.3	3.6	2.3	4.6	6.6	0.0
労 務 職・サ ビ ー ス	0.0	6.5	1.9	3.7	0.9	1.9	2.8	4.7	0.0
主 婦	2.6	4.9	1.5	3.4	2.6	1.5	4.1	6.7	0.7
学 生	1.6	4.9	1.6	1.6	1.6	0.0	9.8	6.6	0.0
無 職	2.6	3.4	3.4	3.4	1.7	0.9	2.6	6.0	0.9
そ の 他	3.6	7.1	0.0	7.1	0.0	3.6	10.7	3.6	0.0
家 族 人 数 別									
1 人	0.0	3.8	3.8	3.4	3.4	1.4	2.9	5.8	0.0
2 人	0.6	1.8	2.3	2.9	1.8	2.3	3.5	7.6	0.0
3 人	1.8	6.4	2.7	2.7	2.3	2.3	5.5	7.7	0.0
4 人	2.7	6.2	3.1	3.1	2.7	1.7	6.2	4.8	0.7
5 人	1.4	3.5	2.1	2.1	2.9	0.7	8.4	7.0	0.7
6 人 以 上	4.0	2.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	8.1	0.0
N	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ラ イ フ ス テ ー ジ									
婚 前	0.9	2.5	3.5	2.5	2.5	1.6	4.1	6.6	0.0
家 族 形 成 期	0.0	1.4	1.4	0.0	1.4	2.9	2.9	7.2	0.0
家 族 成 長 期 (A)	1.9	6.5	2.8	1.9	0.9	4.7	5.6	3.7	0.9
家 族 成 長 期 (B)	1.2	3.5	4.7	1.2	3.5	2.9	6.5	7.6	0.6
家 族 成 長 期 (C)	1.8	8.8	0.9	4.4	5.3	0.9	8.0	6.2	0.9
家 族 成 熟 期	5.0	6.7	1.7	4.2	2.5	0.0	5.8	6.7	0.0
老 年 期 (A)	3.9	1.3	5.3	1.3	1.3	1.3	2.6	9.2	0.0
老 年 期 (B)	0.0	3.3	1.6	3.3	1.6	1.6	4.9	8.2	0.0
老 年 期 (C)	2.8	2.8	5.6	0.0	2.8	2.8	2.8	2.8	0.0
そ の 他	0.0	8.3	2.1	4.2	2.1	0.0	4.2	6.3	0.0
N	0.0	8.7	0.0	4.3	8.7	0.0	4.3	0.0	0.0
住 居 形 態 別									
一 戸 建 持 家	2.3	3.6	2.7	2.1	2.3	1.7	5.2	5.6	0.4
一 戸 建 借 家	0.0	7.1	0.0	4.8	0.0	4.8	9.5	7.1	0.0
民 間 木 造 ア パ ー ト	2.1	4.8	1.1	2.1	1.1	3.2	4.3	4.8	0.0
鉄 筋 ア パ ー ト マ ン シ ョ ン	1.2	5.6	4.8	4.0	3.2	1.2	6.0	6.4	0.4
社 宅・官 舎	0.0	3.4	0.0	1.7	5.2	0.0	3.4	15.5	0.0
寮・間 借 り 住 込 み	0.0	2.9	7.2	2.9	4.3	1.4	1.4	11.6	0.0
そ の 他	0.0	11.1	3.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
居 住 年 数 別									
戦 前 か ら	5.2	3.1	1.0	0.0	4.1	1.0	3.1	5.2	0.0
終 戦 ～ 昭 和 30 年	1.1	6.8	2.6	2.3	3.8	1.5	5.6	4.5	0.0
昭 和 31 年 ～ 40 年	3.1	4.3	3.7	3.7	1.9	1.2	4.9	6.8	1.2
昭 和 41 年 ～ 45 年	1.6	3.9	3.9	3.9	2.3	2.3	5.5	6.3	0.0
昭 和 46 年 ～ 50 年	1.5	4.1	4.1	4.6	1.0	3.6	3.6	5.6	0.0
昭 和 51 年 ～ 53 年	0.4	2.7	2.0	1.2	3.3	1.2	5.7	9.0	0.0
54 年 以 降	0.0	4.4	7.2	2.2	0.0	2.2	6.7	11.1	2.2

合 計

回答項目 フェース	N	道路の整備	公園・児童遊園の整備・拡充	緑化対策	環境衛生	学校教育施設の整備	区民のための施設	老人福祉	心身障害者（児）福祉	低所得層や母子世帯福祉	青少年の健全育成	中小企業対策	消費者保護対策	震災対策
地域別	1139	13.3	20.3	22.7	23.4	10.1	10.9	19.8	7.3	8.3	7.6	7.3	12.1	26.5
市 域	153	7.4	14.4	16.3	26.1	5.2	15.0	20.3	7.8	15.0	5.9	7.5	17.0	28.6
市 域	111	15.3	17.1	35.1	29.7	13.5	9.0	35.1	10.8	3.6	7.2	2.7	17.1	27.9
市 域	178	14.1	21.9	21.7	21.9	18.0	7.0	14.8	7.8	5.5	4.7	5.5	10.2	30.5
市 域	110	12.7	18.2	30.9	29.1	3.6	13.6	19.1	10.9	3.6	6.4	10.4	22.7	27.3
市 域	129	10.1	27.1	29.5	19.4	17.8	11.6	20.9	10.9	10.1	9.3	8.5	8.5	19.4
市 域	130	10.6	26.9	26.2	26.2	12.3	12.3	22.3	3.8	7.7	13.1	3.0	7.7	26.9
市 域	96	16.7	25.0	16.7	22.9	7.3	8.3	19.8	7.3	7.3	3.1	3.1	3.1	20.8
市 域	114	18.4	10.5	14.9	23.7	6.1	7.0	15.8	7.0	16.7	6.1	14.9	18.4	42.1
市 域	112	18.8	24.1	21.4	16.1	8.0	11.6	11.6	0.0	6.3	11.6	4.5	7.1	24.1
市 域	56	8.9	15.1	5.4	14.3	5.4	12.5	16.1	5.4	1.8	8.9	3.6	3.6	5.4
性別	531	14.7	21.3	24.5	21.1	9.2	13.4	16.8	7.5	8.1	8.9	9.2	10.9	26.0
性別	608	12.0	14.4	21.1	25.5	10.9	8.7	22.4	7.1	8.6	6.6	5.0	13.2	27.0
年代別	153	13.7	25.5	29.4	21.6	8.5	18.3	12.4	9.2	5.9	8.5	8.5	11.1	27.5
年代別	173	12.2	22.8	23.6	16.3	8.9	13.8	13.0	7.3	10.6	8.1	11.4	9.8	19.5
年代別	106	15.1	21.7	20.8	19.8	14.2	12.3	12.3	7.5	9.4	9.4	11.3	11.3	22.6
年代別	68	16.2	19.1	26.5	26.5	7.4	13.2	20.6	4.4	5.9	7.4	7.4	14.7	38.2
年代別	81	18.5	12.3	19.8	24.7	6.2	4.9	33.3	7.4	8.6	11.1	6.2	8.6	27.2
年代別	142	13.4	26.1	24.6	25.4	7.7	9.2	12.7	7.0	7.0	7.7	4.9	14.8	23.9
年代別	134	9.0	29.9	20.1	19.4	20.1	12.7	14.9	6.0	9.7	4.5	7.5	12.7	31.3
年代別	106	17.9	4.4	17.5	33.0	11.3	9.4	16.0	7.5	10.4	8.5	5.7	13.2	23.6
年代別	131	14.9	12.9	21.8	25.7	9.9	5.0	30.7	7.9	6.9	7.9	5.9	15.8	26.7
年代別	175	6.4	14.4	20.0	25.6	4.8	6.4	40.0	7.2	8.8	4.8	4.0	9.6	28.8
職業別	167	18.5	12.6	18.6	23.4	12.0	12.6	18.0	7.8	9.0	9.6	13.8	9.0	26.3
職業別	49	12.4	14.6	27.0	27.0	9.0	4.5	24.7	6.7	9.0	7.9	9.0	7.9	28.1
職業別	302	11.3	23.2	22.8	23.2	8.6	16.2	13.2	5.6	6.0	7.9	7.0	14.6	25.2
職業別	107	11.2	28.0	24.3	21.5	9.3	5.6	18.7	6.5	14.0	4.7	5.6	17.8	23.4
職業別	268	13.4	18.7	21.6	24.3	12.7	9.0	17.9	7.8	7.8	7.8	5.2	15.7	28.7
職業別	61	19.7	23.0	32.8	23.0	9.8	8.2	13.1	9.3	4.9	9.8	3.3	8.2	34.4
職業別	117	10.3	21.4	18.8	23.9	6.8	6.0	44.4	8.5	10.3	6.0	5.1	4.3	22.2
職業別	28	10.7	28.6	28.6	14.3	10.7	28.6	17.9	10.7	10.7	3.6	10.7	3.6	28.6
家族人数別	208	9.1	22.1	23.6	23.6	6.7	13.5	19.7	7.7	9.6	7.2	9.1	11.5	18.6
家族人数別	171	9.9	16.4	21.6	23.4	5.3	7.0	27.5	7.6	12.9	5.3	5.8	12.3	26.3
家族人数別	220	16.8	19.5	21.0	24.5	12.7	10.0	15.9	8.6	5.0	9.1	6.4	14.5	29.1
家族人数別	291	13.1	22.3	21.6	23.7	11.3	12.7	18.6	6.6	8.2	8.9	4.5	11.3	28.4
家族人数別	163	14.0	22.4	27.3	19.6	13.3	9.8	21.7	3.5	3.5	8.4	11.2	11.2	25.9
家族人数別	99	18.2	12.2	21.2	25.3	11.1	11.1	15.2	4.0	10.1	5.1	9.1	11.1	33.3
家族人数別	7	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	28.6	14.3	42.9	0.0	28.6	14.3	0.0
ライフステージ	316	13.9	23.1	27.5	23.7	6.3	16.1	15.2	9.8	7.0	7.9	9.5	11.1	24.7
ライフステージ	69	7.2	23.2	21.7	24.6	8.7	5.8	17.4	4.3	17.4	2.9	8.7	10.1	20.3
ライフステージ	107	12.1	33.6	21.5	16.8	15.9	15.0	18.7	3.7	6.5	3.7	10.3	16.8	25.2
ライフステージ	170	11.8	25.9	21.8	17.6	23.5	8.8	10.6	5.9	8.8	9.4	4.7	9.4	26.5
ライフステージ	113	20.4	9.7	24.8	28.3	10.6	11.5	15.0	8.8	6.2	13.3	1.0	14.2	33.6
ライフステージ	120	13.3	11.7	16.7	28.3	5.0	6.7	23.3	7.5	5.8	6.7	8.3	15.8	31.7
ライフステージ	76	14.5	19.7	19.7	31.6	10.5	2.6	34.2	6.6	11.8	5.3	7.9	9.2	30.3
ライフステージ	61	14.8	11.5	18.0	21.3	4.9	8.2	34.4	11.5	9.8	9.8	9.8	13.1	21.3
ライフステージ	36	13.9	16.7	25.0	27.8	5.6	8.3	47.2	5.6	2.8	2.8	2.8	2.8	19.4
ライフステージ	48	4.2	12.5	20.8	18.8	2.1	10.4	25.0	2.1	10.4	6.3	4.2	18.8	29.2
ライフステージ	23	13.0	13.0	13.0	21.7	0.0	8.7	26.1	4.3	17.4	13.0	4.3	8.7	21.7
住居形態別	522	16.3	16.7	23.2	23.8	8.0	10.7	20.7	6.7	7.9	6.3	7.9	11.9	29.3
住居形態別	42	9.5	23.8	21.4	19.0	23.8	14.3	21.4	11.9	7.1	9.5	2.4	7.1	28.6
住居形態別	148	10.1	27.7	19.1	20.2	11.7	15.4	20.2	6.9	9.0	11.7	8.5	13.3	24.5
住居形態別	251	10.8	19.1	23.5	27.1	9.6	8.8	17.9	8.0	8.8	7.2	7.2	14.3	24.7
住居形態別	58	12.1	29.3	27.6	24.1	20.7	12.1	13.8	5.2	6.9	6.9	3.4	8.6	31.0
住居形態別	69	13.0	21.7	18.8	20.3	7.2	5.8	20.3	8.7	8.7	8.7	4.3	8.7	14.5
住居形態別	9	0.0	22.2	44.4	11.1	0.0	0.0	33.3	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	11.1
居住年数別	97	17.5	11.3	22.7	27.8	3.1	7.2	33.0	6.2	12.4	9.3	6.2	12.4	21.6
居住年数別	266	10.9	15.8	21.1	23.3	9.0	11.7	23.3	7.5	8.3	6.0	6.0	10.9	28.9
居住年数別	162	18.5	16.7	24.1	21.6	7.4	12.3	19.1	7.4	6.8	8.6	6.8	13.0	29.0
居住年数別	128	8.6	22.7	21.1	30.5	18.8	14.8	15.6	10.2	6.3	11.7	11.7	9.4	21.9
居住年数別	196	15.8	20.9	17.9	20.4	10.7	13.8	16.8	7.7	9.2	8.7	4.1	16.3	32.7
居住年数別	245	11.4	27.8	27.3	21.2	11.4	6.1	17.6	6.1	9.0	4.9	7.5	10.2	22.0
居住年数別	45	11.1	28.9	26.7	26.7	6.7	11.1	8.9	4.4	4.4	8.9	2.2	15.6	24.4

回答項目 フエース	水害対策	公害対策	区民の健康管理	食品衛生	社会活動の推進・社会体	幼児・児童の保育	交通安全対策	風紀の取り締まり	その他	特にない
地域別	5.7	12.3	5.6	5.1	7.3	5.3	11.9	14.6	1.1	9.9
四谷町	1.3	10.5	7.2	7.8	3.9	0.7	5.9	7.8	0.7	18.3
笹井町	1.8	21.6	1.8	0.9	3.6	0.9	10.8	14.4	0.0	0.0
若松町	5.5	7.8	3.9	3.9	7.0	7.8	14.8	16.4	0.8	12.5
大久保	0.9	10.0	10.9	10.9	5.5	3.6	14.5	11.8	0.9	1.8
戸部	3.9	16.3	8.5	4.7	11.6	6.2	10.9	22.5	0.0	3.1
落合	20.0	13.1	3.8	6.2	4.6	3.8	12.3	15.4	1.5	5.4
第1区	8.3	17.7	8.3	0.0	3.1	7.3	18.8	13.5	0.0	18.8
第2区	6.1	6.1	6.1	7.9	5.3	14.0	15.8	9.6	1.8	6.1
第3区	5.4	12.5	1.8	3.6	17.9	4.5	7.1	18.8	2.7	12.5
第4区	1.8	5.4	1.8	1.8	14.3	5.4	10.7	17.9	3.6	30.4
性別										
男性	6.2	12.2	5.5	4.0	7.7	5.1	13.9	14.3	0.9	9.6
女性	5.3	12.3	5.8	6.1	6.9	5.4	10.2	14.8	1.2	10.2
年代別										
20代	8.5	13.1	5.2	2.6	6.5	5.2	14.4	13.7	0.7	7.8
30代	5.7	7.3	4.9	0.8	7.3	13.0	16.3	14.6	0.8	14.6
40代	4.7	15.1	5.7	3.8	12.3	1.9	13.2	12.3	1.9	9.4
50代	5.9	20.0	4.4	11.8	5.9	1.5	10.3	20.6	0.0	1.5
60代以上	4.9	7.4	7.4	4.9	6.2	0.0	13.6	12.3	1.2	12.3
女性20代	3.5	14.1	5.6	3.5	12.0	9.9	12.7	16.2	0.0	11.3
女性30代	3.0	10.4	6.7	8.2	6.7	9.7	9.7	10.4	2.2	8.2
女性40代	7.5	17.0	6.6	9.4	4.7	0.0	4.7	17.9	1.9	9.4
女性50代	5.0	13.9	3.0	6.9	4.0	3.0	11.9	13.9	1.0	8.9
女性60代以上	7.0	7.2	6.4	3.2	5.6	2.4	11.2	16.0	0.8	12.8
職業別										
自営業・事業主	6.6	12.0	4.2	5.4	4.8	4.2	12.6	14.4	0.6	10.8
管理職・自由業	7.9	10.1	7.9	1.1	4.5	5.6	12.4	16.9	3.4	10.1
事務職・技術職	6.3	12.3	7.0	2.3	9.6	7.0	12.9	15.2	1.0	10.9
労働職・サービス職	1.9	14.0	2.8	6.5	7.5	8.4	11.2	13.1	0.0	10.3
主婦	6.0	13.4	5.6	9.0	6.7	5.2	9.7	15.3	1.5	7.8
学生	4.9	13.1	4.9	1.6	8.2	0.0	18.0	14.8	0.0	9.8
無職その他	4.3	6.8	6.8	6.0	7.7	2.6	11.1	12.8	0.9	11.1
家族人数別	7.1	25.0	1.0	7.1	7.1	3.6	10.7	7.1	0.0	7.1
1人	3.4	12.5	6.7	4.3	8.2	3.8	9.1	15.9	1.0	12.5
2人	3.5	10.5	6.4	5.3	4.1	5.3	14.0	18.7	1.2	9.9
3人	6.4	13.6	5.0	5.0	5.9	9.1	10.0	12.7	0.5	9.5
4人	7.9	14.8	5.8	6.9	8.6	3.1	14.4	12.0	1.7	7.6
5人	4.9	10.5	3.5	4.9	9.1	5.6	14.7	15.4	0.7	9.8
6人以上	8.1	8.1	6.1	2.0	8.1	6.1	8.1	15.2	1.0	12.1
N	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
ライフステージ										
婚前期	5.4	9.8	5.7	3.5	8.2	3.8	11.1	14.9	0.3	11.4
家族形成期	7.2	13.0	2.9	2.9	5.8	10.1	14.5	21.7	1.4	11.6
家族成長期(A)	6.5	8.4	5.6	4.7	8.4	21.5	11.2	4.7	1.9	6.5
家族成長期(B)	4.7	14.7	5.2	5.3	7.6	5.9	13.5	14.7	1.2	9.4
家族成長期(C)	4.4	24.8	3.5	7.1	7.1	0.9	12.4	14.2	2.7	3.5
家族成熟期	11.7	13.3	2.5	8.3	6.7	1.7	10.8	17.5	0.8	11.7
老年期(A)	7.9	3.9	6.6	3.9	9.2	2.6	14.5	14.5	0.0	6.6
老年期(B)	1.6	8.2	5.2	4.9	1.6	1.6	13.1	19.7	0.0	8.2
老年期(C)	2.8	8.3	2.8	5.6	5.6	2.8	11.1	11.1	2.8	11.1
その他の他	0.0	12.5	10.4	6.3	6.3	0.0	10.4	18.8	2.1	18.8
N	4.3	21.7	4.3	8.7	8.7	4.3	4.3	4.3	0.0	21.7
住居形態別										
一戸建持家	6.9	10.9	5.7	5.2	7.3	3.3	11.9	12.6	1.3	11.5
一戸建借家	2.4	21.4	4.8	7.1	9.5	9.5	21.4	14.3	0.0	0.0
民間木造アパート	4.8	13.3	3.2	2.7	5.3	8.5	9.6	12.8	0.5	9.0
鉄筋アパートマンション	5.2	13.1	6.8	7.2	6.4	6.4	12.7	16.3	1.2	8.8
社宅・官舎	3.4	13.8	3.4	3.4	8.6	6.9	13.8	24.1	1.7	3.4
寮・間借り・住込み	5.8	10.1	8.7	4.3	11.6	4.3	10.1	21.7	0.0	15.9
その他の他	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
居住年数別										
戦前から	12.4	12.4	5.2	3.1	9.3	2.1	8.2	11.3	1.0	12.4
終戦～昭和30年	6.0	12.8	4.5	4.1	9.0	2.6	11.7	11.7	0.4	12.4
昭和31年～40年	6.2	10.5	8.0	7.4	6.8	1.2	12.3	13.0	1.9	9.3
昭和41年～45年	3.1	8.6	5.5	6.3	6.3	7.0	12.5	14.1	2.3	6.3
昭和46年～50年	4.6	14.3	7.7	8.7	5.1	8.2	13.3	15.8	0.5	6.6
昭和51年～53年	4.9	13.5	4.1	2.4	7.8	8.6	11.4	19.2	0.8	10.6
54年以降	4.4	11.1	4.4	2.2	4.4	6.7	15.6	15.6	2.2	13.3



F 3. あなたのご職業は何でしょうか。

〔回答票11提示〕(1A)

F 1. 性別

F 2. 満何歳でしょうか。——歳

回答項目 フェース	F 1. 性別			F 2. 満何歳でしょうか。——歳						F 3. あなたのご職業は何でしょうか。				
	N	男	女	N	20代	30代	40代	50代	60代以上	N	自営業・事業主	管理職・自由業	事務職・技術職	労働職・サービス
地域別	1139	46.6	53.4	1139	25.9	22.6	18.6	14.8	18.1	1139	14.7	7.8	26.5	9.4
市町村別	153	41.8	58.2	153	19.6	21.6	20.9	11.8	26.1	153	16.3	7.8	26.1	5.9
市	111	49.5	50.5	111	33.3	16.2	19.5	16.2	14.4	111	11.7	9.9	24.3	9.9
町	128	43.8	56.3	128	25.0	21.9	24.2	11.7	17.2	128	16.4	6.3	20.3	10.9
村	110	55.5	44.5	110	30.0	22.7	13.6	20.0	13.6	110	10.0	8.2	38.2	10.0
松久保	129	42.6	57.4	129	24.8	31.8	17.8	10.9	14.7	129	12.4	5.4	21.7	13.2
大戸	130	47.7	52.3	130	23.1	22.3	17.7	16.9	20.0	130	13.1	8.5	27.7	8.5
合第	96	54.2	45.8	96	28.1	21.9	17.7	14.6	17.7	96	16.7	7.3	29.2	6.3
落合第	114	44.7	55.3	114	21.9	24.6	20.2	15.8	17.5	114	16.7	8.8	22.8	11.4
柏第	112	44.6	55.4	112	26.6	15.2	12.5	17.0	18.8	112	14.3	8.9	32.1	12.5
苦・区役所	56	44.6	55.4	56	14.3	30.4	21.4	16.1	17.9	56	23.2	7.1	23.2	1.8
性別	531	100.0	0.0	531	28.8	23.2	20.0	12.8	15.3	531	23.0	13.0	35.0	11.9
男	608	0.0	100.0	608	23.4	22.0	17.4	16.6	20.6	608	7.4	3.3	19.1	7.2
女性	153	100.0	0.0	153	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	153	7.8	5.2	41.8	16.3
年代別	123	100.0	0.0	123	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	123	24.4	11.4	47.2	13.8
20代	176	100.0	0.0	176	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	176	34.9	19.8	30.2	8.5
30代	68	100.0	0.0	68	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	68	25.0	23.5	32.4	8.8
40代	41	100.0	0.0	41	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	41	32.1	12.3	12.3	7.4
50代	142	0.0	100.0	142	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	142	1.4	2.1	43.7	11.3
60代以上	134	0.0	100.0	134	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	134	6.0	2.2	15.7	3.0
20代	106	0.0	100.0	106	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	106	7.5	1.9	14.2	10.0
30代	101	0.0	100.0	101	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	101	15.8	7.9	12.9	5.0
40代	125	0.0	100.0	125	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	125	8.8	3.2	4.0	6.4
50代	167	73.1	26.9	167	8.4	22.8	26.9	19.8	22.2	167	100.0	0.0	0.0	0.0
60代以上	89	77.5	22.5	89	12.4	19.1	25.8	27.0	15.7	89	0.0	100.0	0.0	0.0
職業別	302	61.6	38.4	302	41.7	26.2	15.6	11.6	5.0	302	0.0	0.0	100.0	0.0
自営業・事業主	107	58.9	41.1	107	38.3	19.6	18.7	10.3	13.1	107	0.0	0.0	0.0	100.0
管理職・自由業	268	0.4	99.6	268	9.7	31.0	25.0	19.8	14.6	268	0.0	0.0	0.0	0.0
事務職・技術職	61	62.3	37.7	61	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61	0.0	0.0	0.0	0.0
労働職・サービス	117	31.6	68.4	117	6.8	9.4	5.1	8.5	70.1	117	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	28	53.6	46.4	28	28.6	28.6	14.3	10.7	17.9	28	0.0	0.0	0.0	0.0
家族人数別	208	50.5	49.5	208	53.8	12.0	10.6	8.7	14.9	208	6.7	7.7	38.5	20.2
1人	171	38.0	62.0	171	25.1	17.5	7.0	16.4	33.9	171	16.4	10.5	24.6	8.2
2人	220	45.0	55.0	220	20.5	23.2	20.5	20.9	15.0	220	11.8	7.3	29.1	7.3
3人	291	48.5	51.5	291	16.2	29.2	24.4	18.9	11.3	291	15.1	7.6	24.1	6.9
4人以上	143	48.3	51.7	143	22.4	25.2	23.8	9.8	18.9	143	17.5	4.9	23.1	7.0
ライフステージ	99	47.5	52.5	99	14.1	27.3	26.3	8.1	24.2	99	30.3	9.1	12.1	3.0
A	7	71.4	28.6	7	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	7	0.0	14.3	14.3	28.6
婚姻前	316	59.2	40.8	316	71.8	17.7	7.3	2.5	0.6	316	6.6	6.0	45.3	15.5
家族形成期	69	33.3	66.7	69	44.9	43.5	4.3	4.3	2.9	69	15.9	8.7	31.9	11.6
家族成長期(A)	107	43.9	56.1	107	23.4	66.4	8.4	1.9	0.0	107	14.0	1.9	30.8	4.7
家族成長期(B)	170	50.6	49.4	170	1.2	52.4	42.4	2.9	1.2	170	20.6	11.2	20.6	7.1
家族成長期(C)	113	50.4	49.6	113	0.0	1.8	62.6	30.1	5.3	113	19.5	12.4	15.9	8.0
家族成熟期	120	40.8	59.2	120	0.0	0.0	13.3	57.5	29.2	120	14.2	9.2	17.5	4.2
老年期(A)	76	26.3	73.7	76	1.3	0.0	2.6	13.2	82.9	76	18.4	2.6	3.9	3.9
老年期(B)	61	41.0	59.0	61	1.6	0.0	1.6	26.2	70.5	61	23.0	8.2	11.5	9.8
老年期(C)	36	27.8	72.2	36	0.0	0.0	2.8	22.2	75.0	36	19.4	13.9	8.3	11.1
その他	48	33.3	66.7	48	6.3	6.3	16.7	25.0	45.8	48	14.6	10.4	14.6	8.3
N	23	47.8	52.2	23	21.7	26.1	26.1	8.7	17.4	23	17.6	4.3	43.5	8.7
住居形態別	522	47.9	52.1	522	16.7	18.0	19.9	18.4	27.0	522	20.7	7.9	19.5	6.1
一戸建持家	42	42.9	57.1	42	14.3	23.8	33.3	11.9	16.7	42	19.0	4.8	19.0	7.1
一戸建借家	188	45.2	54.8	188	39.9	23.4	16.0	10.6	10.1	188	8.5	7.4	33.5	14.4
民間木造アパート	251	44.6	55.4	251	23.5	31.1	19.1	15.1	11.2	251	12.0	10.0	31.9	9.2
鉄筋アパートマンション	58	44.8	55.2	58	31.0	41.4	12.1	13.8	1.7	58	0.0	6.9	36.2	10.3
社宅・官舎	69	52.2	47.8	69	69.6	7.2	8.7	1.4	13.0	69	5.8	2.9	39.1	21.7
寮・間借り・住込み	9	44.4	55.6	9	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1	9	11.1	11.1	11.1	11.1
居住年数別	97	48.5	51.5	97	5.2	8.2	23.7	18.6	44.3	97	24.7	10.3	12.4	7.2
戦前から	266	48.9	51.1	266	14.7	15.4	12.8	24.1	33.1	266	20.3	6.0	25.2	6.8
終戦～昭和30年	162	38.9	61.1	162	24.7	14.8	28.4	15.4	16.7	162	15.4	8.0	18.5	8.6
昭和31年～40年	128	46.1	53.9	128	13.3	29.7	32.8	14.8	9.4	128	15.6	7.0	26.6	8.6
昭和41年～45年	196	47.4	52.6	196	24.0	37.2	19.4	10.7	8.7	196	10.7	11.2	33.2	10.2
昭和46年～50年	245	49.4	50.6	245	50.6	25.3	10.2	6.9	6.9	245	9.0	6.5	31.8	13.5
昭和51年～53年	45	40.0	60.0	45	51.1	24.4	8.9	11.1	4.4	45	2.2	6.7	35.6	8.9
54年以降														

『4. 一緒に住んでいるご家族は、あなたを含めて何人ですか。  
(1A)

回答項目 フェース	主	学	無	N	N	1	2	3	4	5	6	N
	婦	生	職	A		人	人	人	人	人	人 以上	A
地域別	23.5	5.4	10.3	2.5	1139	18.3	15.0	19.3	25.5	12.6	8.7	0.6
城別	25.5	4.6	10.5	3.3	153	17.6	20.9	19.0	23.5	7.8	9.2	1.3
四谷町	23.4	9.0	10.8	0.9	111	21.6	9.9	18.0	33.3	12.6	4.5	0.0
笹塚町	31.3	3.1	10.2	1.6	128	15.6	7.8	26.6	20.3	16.4	12.5	0.8
若松町	19.1	2.7	10.9	0.9	110	22.7	4.1	20.0	28.2	17.3	2.7	0.0
大塚町	24.8	8.5	9.3	4.7	129	20.2	16.3	17.8	25.6	10.1	9.3	0.8
第1保塚	23.8	5.4	11.5	1.5	130	14.6	21.5	13.1	27.7	13.1	10.0	0.0
第2保塚	16.7	11.5	8.3	4.2	96	22.9	14.6	22.9	18.8	12.5	6.3	2.1
落合第1	27.2	4.4	7.0	1.8	114	11.4	14.9	18.4	21.9	18.4	14.9	0.0
落合第2	13.4	2.7	11.6	4.5	112	24.1	15.1	15.2	28.6	8.0	7.1	0.9
角所区役所	30.4	0.0	14.3	0.0	56	8.9	17.9	25.0	30.4	8.9	8.9	0.0
性別	0.2	7.2	7.0	2.8	531	19.8	12.2	18.6	26.6	13.0	8.9	0.9
男性	43.9	3.8	13.2	2.1	608	16.9	17.4	19.9	24.7	12.2	8.6	0.3
女性	0.0	24.8	2.6	1.3	153	46.4	9.2	13.7	12.4	12.4	4.6	1.3
年代別	0.0	0.0	0.0	3.3	123	13.0	11.4	21.1	30.1	14.6	8.9	0.8
20代	0.0	0.0	0.0	2.8	106	6.6	4.7	17.0	38.7	17.9	13.2	1.9
30代	0.0	0.0	0.0	5.9	4.4	4.4	11.8	26.5	47.1	7.4	2.9	0.0
40代	0.0	0.0	0.0	3.7	41	9.9	29.6	19.6	14.8	9.9	16.0	0.0
50代	18.3	16.2	2.8	4.2	142	28.9	20.4	16.9	19.7	9.2	4.9	0.0
60代以上	61.9	0.0	8.2	3.0	134	6.7	11.9	18.7	35.8	13.4	11.9	1.5
20代	62.3	0.0	2.8	0.9	106	14.2	6.6	25.5	28.3	14.2	11.3	0.0
30代	52.5	0.0	5.9	0.0	101	14.9	19.8	27.7	22.8	8.9	5.9	0.0
40代	31.2	0.0	44.8	1.6	125	18.4	27.2	13.6	16.8	15.2	8.8	0.0
職業別	0.0	0.0	0.0	0.0	157	8.4	16.8	15.6	26.3	15.0	18.0	0.0
自営業・事業主	0.0	0.0	0.0	0.0	49	18.0	20.2	18.0	24.7	7.9	10.1	1.1
管理職・自由業	0.0	0.0	0.0	0.0	302	26.5	13.9	21.2	23.2	10.9	4.0	0.3
事務職・技術職	0.0	0.0	0.0	0.0	107	39.3	13.1	15.0	18.7	9.3	2.8	1.9
労働職・サービス職	100.0	0.0	0.0	0.0	268	1.5	14.2	25.4	35.4	12.3	11.2	0.0
主婦	0.0	100.0	0.0	0.0	51	42.6	6.6	9.6	16.4	18.0	6.6	0.0
学生	0.0	0.0	100.0	0.0	117	18.8	18.8	16.2	17.9	19.7	8.5	0.0
無職その他	0.0	0.0	0.0	100.0	28	14.3	17.9	17.9	32.1	3.6	3.6	10.7
家族人数別	1.9	12.5	10.6	1.9	208	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1人	22.2	2.3	12.9	2.9	171	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2人	30.9	2.7	8.6	2.3	220	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3人	32.6	3.4	7.2	3.1	291	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
4人	23.1	7.7	16.1	0.7	143	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5人	30.3	4.0	10.1	1.0	99	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
6人以上	0.0	0.0	0.0	42.9	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ライフステージ	0.9	19.0	5.4	1.3	316	47.2	7.0	14.2	14.2	11.1	5.4	0.9
婚前期	21.7	1.4	2.9	5.8	69	1.4	84.1	2.7	7.2	0.0	2.9	1.4
家族形成期(A)	43.9	0.0	0.0	4.7	107	0.0	0.0	41.1	40.2	11.2	7.5	0.0
家族成長期(B)	37.6	0.0	1.2	1.8	170	0.0	1.2	17.1	44.7	23.5	13.5	0.0
家族成長期(C)	38.9	0.0	1.8	3.5	113	0.9	1.8	25.7	45.1	9.7	16.8	0.0
家族成熟期	41.7	0.0	12.5	0.8	120	0.0	5.8	39.2	38.3	10.0	6.7	0.0
老年期(A)	21.1	0.0	50.0	0.0	76	0.0	0.0	14.5	23.7	36.8	25.0	0.0
老年期(B)	27.9	0.0	19.7	0.0	61	0.0	91.8	4.9	1.6	0.0	1.6	0.0
老年期(C)	5.6	0.0	38.9	2.8	36	86.1	5.6	2.6	5.6	0.0	0.0	0.0
その他の他	16.7	0.0	29.2	6.3	48	35.4	37.5	14.6	4.2	6.3	2.1	0.0
N	8.7	0.0	4.3	13.0	23	39.1	17.4	8.7	8.7	8.7	4.3	13.0
住居形態別	26.6	4.4	13.2	1.5	522	3.3	11.7	19.2	30.1	19.0	16.9	0.0
一戸建持家	28.6	0.0	14.3	7.1	42	2.4	11.9	23.8	47.6	14.3	0.0	0.0
一戸建借家	13.8	9.6	11.2	1.6	188	44.7	15.6	19.1	11.2	5.3	0.0	1.1
民間木造アパート	25.5	1.6	6.8	3.2	251	16.7	23.5	24.3	23.9	8.4	2.8	0.4
鉄筋アパートマンション	37.9	5.2	0.0	3.4	58	13.8	6.9	20.7	50.0	6.9	1.7	0.0
社宅・官舎	2.9	18.8	5.8	2.9	69	76.8	8.7	0.0	5.8	1.4	4.3	2.9
寮・間借り住込みその他	33.3	0.0	0.0	22.2	9	33.3	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	22.2
居住年数別	21.6	2.1	18.6	3.1	97	6.2	17.5	10.3	28.9	17.5	19.6	0.0
戦前から	21.8	1.5	17.3	1.1	266	9.0	12.8	25.9	24.1	17.7	10.5	0.0
終戦～昭和30年	30.9	8.6	9.3	0.6	162	6.2	11.1	17.3	36.4	16.7	12.3	0.0
昭和31年～40年	28.1	1.6	7.8	4.7	128	14.1	10.9	20.3	27.3	16.4	9.4	1.6
昭和41年～45年	25.0	2.6	4.6	2.6	196	18.4	14.3	23.0	28.1	10.7	4.6	1.0
昭和46年～50年	16.7	11.8	7.3	3.3	245	40.8	19.6	15.5	16.3	2.9	3.7	1.2
昭和51年～53年	28.9	11.1	2.2	4.4	45	31.1	26.7	8.9	22.2	6.7	4.4	0.0
54年以降												

F 5. あなたは、ご一緒に住んでいる家族の中で、次のうちのどれにあたりますか。あなたご自身のこととしてお答えください。  
 い。〔子供がいる親の場合は、現在一番上の子供の年齢が乳・幼児か、小・中学生かなどで分類する〕  
 〔回答票12提示〕(1A)

F 6. お宅の住宅の種類は何でしょうか。  
 (1A)

回答項目	N	結婚前の 独身者	子供が いない 若しくは 妻	結婚し 乳・ 幼児	小・中 学が いる	高校 ・大 学が いる	学校 教育 を終 え た	子供が 結婚 して いる	子供 だけ が 立 立 た な っ て 2 人	子供 だけ が 立 立 た な っ て 1 人	その他	N A	N	一 戸 建 持 家
フェース														
地域別	1139	27.7	6.1	9.4	14.9	9.9	10.5	6.7	5.4	3.2	4.2	2.0	1139	45.8
市	153	22.2	6.5	9.8	13.7	7.2	8.5	7.2	7.8	5.2	7.2	4.6	153	51.0
町	111	37.8	3.6	8.1	9.0	12.6	10.8	6.3	6.3	3.6	0.0	1.6	111	44.1
村	128	27.3	3.9	7.8	17.2	11.7	8.6	10.2	3.9	0.8	4.7	3.9	128	51.6
松久	110	31.0	3.6	15.5	13.6	5.5	13.6	5.5	3.6	3.6	2.7	0.9	110	30.9
保塚	129	24.0	10.9	10.1	19.4	9.3	4.7	5.4	2.3	3.1	9.3	1.6	129	36.9
大戸	130	25.4	4.6	7.7	13.8	12.3	11.5	9.2	7.7	2.3	4.6	0.8	130	46.9
合第	76	31.3	8.3	9.4	14.6	10.4	9.4	7.3	5.2	2.1	1.0	1.0	76	41.7
落合	114	22.8	5.3	9.6	17.5	10.5	14.9	7.0	4.4	3.5	2.6	1.8	114	63.2
柏	112	37.5	8.0	4.5	10.7	10.7	10.7	4.5	5.4	3.6	2.7	1.8	112	46.4
角答	56	14.3	5.4	14.3	23.2	8.9	17.9	0.0	7.1	3.6	5.4	0.0	56	44.6
職業別	531	35.2	4.3	8.9	16.2	10.7	9.2	3.8	4.7	1.9	3.0	2.1	531	47.1
男女	608	21.2	7.6	9.9	13.8	9.2	11.7	9.2	5.9	4.3	5.3	2.0	608	44.7
年代別	153	91.5	3.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	153	31.4
20代	173	29.3	13.8	26.0	26.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	3.3	173	38.2
30代	106	9.4	0.0	6.6	45.3	27.4	6.6	0.0	0.0	0.0	1.9	2.8	106	49.1
40代	68	1.5	0.0	2.9	4.4	32.4	38.2	1.5	7.4	1.5	8.8	1.5	68	60.3
50代	81	0.0	0.0	0.0	2.5	7.4	19.3	23.5	24.7	11.1	8.6	2.5	81	76.5
60代以上	142	61.3	17.6	13.4	1.4	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	2.1	2.8	142	27.5
20代	134	14.9	9.7	29.1	41.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	134	35.1
30代	106	12.3	2.8	1.9	22.6	39.6	8.5	1.9	0.9	0.9	5.7	2.6	106	49.1
40代	101	6.9	3.0	0.0	2.0	11.9	42.6	8.9	10.9	6.9	5.9	1.0	101	56.5
50代	125	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	15.2	35.2	18.4	14.4	12.0	1.6	125	63.2
60代以上	167	12.6	6.6	9.0	21.0	13.2	10.2	8.4	8.4	4.2	4.2	2.4	167	64.7
職業別	89	21.3	6.7	2.2	21.3	15.7	12.4	2.2	5.6	5.6	5.6	1.1	89	46.1
自営業・事業主	302	47.4	7.3	10.9	11.6	6.0	7.0	1.0	2.3	1.0	2.3	3.3	302	33.8
管理職・自由業	107	45.8	7.5	4.7	11.2	8.4	4.7	2.8	5.6	3.7	3.7	1.9	107	29.9
事務職・技術職	268	1.1	5.6	17.5	23.9	16.4	18.7	6.0	6.3	0.7	3.0	6.7	268	51.9
労働職・サービス職	61	98.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61	37.7
主婦	117	14.5	1.7	0.0	1.7	1.7	12.8	32.5	10.3	12.0	12.0	0.9	117	59.0
その他	28	14.3	14.3	17.9	10.7	14.3	3.6	0.0	0.0	3.6	10.7	10.7	28	28.6
家族人数別	208	71.6	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	14.9	8.2	4.3	208	8.2
1人	171	12.9	33.9	0.0	1.2	1.2	4.1	0.0	32.7	1.2	10.5	2.3	171	35.7
2人	220	20.5	0.9	20.0	13.2	13.2	21.4	5.0	1.4	0.5	3.2	0.9	220	45.5
3人	291	15.5	1.7	14.8	26.1	17.5	15.8	6.2	0.3	0.7	0.7	0.7	291	54.0
4人	143	24.5	0.0	8.4	28.0	7.7	8.4	19.6	0.0	0.0	2.1	1.4	143	69.2
5人以上	99	17.2	2.0	8.1	23.2	19.2	8.1	19.2	1.0	0.0	1.0	1.0	99	88.9
N	7	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	7	0.0
ライフステージ	316	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	316	35.6
結婚前	69	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69	15.9
家族形成期	107	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	107	29.0
家族成長期(A)	170	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	170	43.5
家族成長期(B)	113	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	113	64.6
家族成長期(C)	120	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	120	68.3
家族成熟期	76	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76	64.2
老年期(A)	61	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	61	59.0
老年期(B)	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	36	41.7
老年期(C)	48	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	48	37.5
その他	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	23	21.7
N	522	21.6	2.1	5.9	14.2	14.0	15.7	12.3	6.9	2.9	3.4	1.0	522	100.0
住居形態別	42	9.5	7.1	11.9	31.0	14.3	7.1	7.1	9.5	2.4	0.0	0.0	42	0.0
一戸建持家	188	43.6	6.4	12.8	8.0	4.8	3.2	1.6	4.3	5.9	6.4	3.2	188	0.0
一戸建借家	251	19.9	14.3	13.1	19.1	8.0	10.0	2.0	4.8	1.6	6.0	1.2	251	0.0
民間木造アパート	58	25.9	5.2	22.4	31.0	5.2	6.9	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	58	0.0
鉄筋アパート・マンション	69	73.9	1.4	1.4	2.9	1.4	0.0	0.0	1.4	7.2	2.9	2.9	69	0.0
社宅・官舎	9	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	66.7	9	0.0
寮・間借り・住込み	97	11.3	2.1	2.1	11.3	11.3	15.5	19.6	11.3	4.1	7.2	4.1	97	85.6
その他	266	26.3	0.4	2.6	6.8	8.3	22.2	13.5	6.3	5.3	4.1	2.3	266	79.7
年齢別	162	28.4	3.1	6.2	15.4	21.6	7.4	4.9	6.8	2.5	3.7	0.0	162	67.3
戦前～昭和30年	128	16.4	8.6	5.5	28.1	17.2	11.7	2.3	0.8	2.3	6.3	0.8	128	35.9
昭和31年～40年	196	23.0	7.1	18.9	22.4	7.1	6.1	2.6	2.6	2.6	4.6	3.1	196	21.9
昭和41年～45年	245	44.5	11.8	15.9	11.4	2.0	2.0	2.0	3.3	2.4	2.9	1.6	245	9.4
昭和46年～50年	45	31.1	15.6	11.1	17.8	8.9	4.4	0.0	6.7	0.0	0.0	4.4	45	13.3
昭和51年～53年														
54年以降														

F 7. お宅には自動車（四輪車）がありますか。

(1A)

回答項目 フェース	一戸建借家	民間木造アパート	鉄筋コンクリートマンション（公共住宅）	社宅・官舎	寮・間借り・住込	N A	N	あ る	な い
総計	3.7	16.5	22.0	5.1	6.1	0.8	1139	31.6	68.4
地域別									
四谷	2.0	12.4	24.2	3.3	6.5	0.7	153	24.6	65.4
笹塚	4.0	9.9	18.0	8.1	9.9	0.9	111	29.7	70.3
若松	5.5	15.6	17.2	3.9	6.3	0.0	128	35.9	64.1
大久保	1.8	17.3	42.7	2.7	3.6	0.9	110	28.2	71.8
大塚	3.1	18.6	23.3	11.6	7.0	1.6	129	31.0	69.0
落合	3.8	15.4	27.7	4.6	0.8	0.8	130	26.2	73.8
第1本所	2.1	15.6	22.9	4.2	12.5	1.0	96	28.1	71.9
第2本所	2.6	20.2	6.1	4.4	1.8	1.8	114	43.9	56.1
角区役所	4.5	22.3	13.4	4.5	8.9	0.0	112	24.1	75.9
性別									
男性	3.4	16.0	21.1	4.9	6.8	0.8	531	37.3	62.7
女性	3.9	16.9	22.9	5.3	5.4	0.8	608	26.6	73.4
年代別									
20代	0.7	22.9	19.0	5.9	19.0	1.3	153	26.1	73.9
30代	4.1	19.5	26.8	8.9	1.6	0.8	123	36.6	63.4
40代	6.6	14.2	23.6	2.8	2.8	0.9	106	45.3	54.7
50代	2.9	5.9	26.5	4.4	0.0	0.0	68	39.7	60.3
60代以上	3.7	8.6	8.6	0.0	2.5	0.0	81	46.9	53.1
20代	3.5	28.2	21.1	6.3	13.4	0.0	142	20.4	79.6
30代	3.7	14.9	33.6	9.7	2.2	0.7	134	35.1	64.9
40代	6.6	14.2	21.7	3.8	2.8	1.9	106	32.1	67.9
50代	3.0	15.6	19.8	5.0	1.0	1.0	101	26.7	73.3
60代以上	3.2	9.6	16.8	0.8	5.6	0.8	125	20.0	80.0
職業別									
自営業・事業主	4.8	9.6	18.0	0.0	2.4	0.6	167	55.7	44.3
管理職・自由業	2.2	15.7	28.1	4.5	2.2	1.1	49	33.7	66.3
事務職・技術職	2.6	20.9	26.5	7.0	8.9	0.3	302	20.5	79.5
労働職・サービス職	2.8	25.2	21.5	5.6	14.0	0.9	107	29.2	70.8
主婦	4.5	9.7	23.9	8.2	0.7	1.1	268	36.2	63.8
学生	0.0	29.5	6.6	4.9	21.3	0.0	61	24.6	75.4
無職その他	5.1	17.9	14.5	0.0	3.4	0.0	117	25.6	74.4
家族人数別									
1人	0.5	40.4	20.2	3.8	25.5	1.4	208	5.8	94.2
2人	2.9	20.5	34.5	2.3	3.5	0.6	171	15.8	84.2
3人	4.5	16.4	27.7	5.5	0.0	0.5	220	35.5	64.5
4人	6.9	7.2	20.6	10.0	1.4	0.0	291	38.8	61.2
5人以上	4.2	7.0	14.7	2.8	0.7	1.4	143	51.0	49.0
N	0.0	0.0	7.1	1.0	3.0	0.0	99	56.6	43.4
ライフステージ									
前	0.0	28.6	14.3	0.0	28.6	28.6	7	14.3	85.7
家族形成期	1.3	25.9	15.8	4.7	16.1	0.3	316	22.5	77.5
家族成長期(A)	4.3	17.4	52.2	4.3	5.8	0.0	69	26.1	73.9
家族成長期(B)	4.7	22.4	30.8	12.1	0.9	0.0	107	35.5	64.5
家族成長期(C)	7.6	8.8	28.2	10.6	1.2	0.0	170	40.6	59.4
家族成熟期	5.3	8.0	17.7	2.7	0.9	0.9	113	40.7	59.3
老年期(A)	2.5	5.0	20.8	3.3	0.0	0.0	120	43.3	56.7
老年期(B)	3.9	3.9	6.6	0.0	0.0	1.3	76	48.7	51.3
老年期(C)	6.6	13.1	19.7	0.0	1.6	0.0	61	19.7	80.3
その他	2.8	30.6	11.1	0.0	13.9	0.0	36	5.6	94.4
N	0.0	25.0	31.3	2.1	4.2	0.0	48	18.8	81.3
住居形態別									
一戸建持家	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	522	46.0	54.0
一戸建借家	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42	26.2	73.8
民間木造アパート	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	198	11.2	88.8
鉄筋・アパート・マンション	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	251	27.9	72.1
社宅・官舎	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	58	20.7	79.3
寮・間借り・住込み	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	69	4.3	95.7
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	9	33.3	66.7
居住年代別									
戦前から	4.1	4.1	4.1	0.0	1.0	1.0	97	42.3	57.7
終戦～昭和30年	3.8	6.4	7.1	0.0	1.5	1.5	266	38.0	62.0
昭和31年～40年	6.2	13.0	8.6	2.5	1.9	0.6	162	39.5	60.5
昭和41年～45年	7.8	21.1	27.3	3.9	3.9	0.0	128	42.2	57.8
昭和46年～50年	3.1	18.4	40.3	7.7	8.2	0.5	196	24.5	75.5
昭和51年～53年	0.8	28.6	32.7	13.1	14.7	0.8	245	18.8	81.2
54年以降	0.0	28.9	44.4	4.4	8.9	0.0	45	13.3	86.7

# 新宿区政世論調査

①②③④

--	--	--	--

昭和54年 6 月

調 査 員	
点 検 者	

【企画】新宿区企画部広報課

【実施】日本EDP(株)調査部

434-8831内線 34

訪 問 日 時	第1回	月	日	午前	時
	第2回	月	日	午前	時
	第3回	月	日	午前	時

1. 有 効 回 収

2. 回 収 不 能 (該当するものを○で囲む)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| (1) 短期不在           | (5) 拒否     |
| (2) 長期不在(旅行・出張・帰省) | (6) 病気・高齢  |
| (3) 転居(家・本人)       | (7) 住所不明   |
| (4) 当該地に居住せず       | (8) その他( ) |

## 【調査依頼のあいさつ】

先日ハガキでお願いしました「新宿区政世論調査」のアンケートにおうかがいしました。××さんはおいででしょうか。お忙しいところ恐縮ですが、簡単な調査ですので、よろしくお願いいたします。では、早速ですが……

〔質問されたら〕この調査は、区民全体の中からクジ引きのような方法で1,500人の調査回答者を選んだ結果、あなたがそのうちの1人に選ばれました。この調査の結果は、「こういう意見の人が100人中何人いる」という形でしか発表しませんので、ご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

## 【定 住 性】

Q1. あなたが今の所に住むようになったのは、いつ頃からですか。(1A)

- |              |              |          |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 戦前から      | 4. 昭和41年～45年 | 7. 54年以降 |
| 2. 終戦～昭和30年  | 5. 昭和46年～50年 |          |
| 3. 昭和31年～40年 | 6. 昭和51年～53年 |          |

⑤

Q2. これからも引き続いて、新宿区にお住まいになりますか。(1A)

- |                        |                           |          |
|------------------------|---------------------------|----------|
| 1. 永住するつもり             | 3. できたら区外に転出したい(5年以内に)    | 5. わからない |
| 2. 当分はここに住むつもり(5～10年位) | 4. 近いうちに区外に転出するつもり(1年以内に) |          |

⑥

Q3. 現在の新宿区は「住みよい街」だと思いますか。(1A)

- |           |              |          |
|-----------|--------------|----------|
| 1. 住みよい   | 3. あまり住みよくない | 5. わからない |
| 2. まあ住みよい | 4. 住みにくい     |          |

⑦

SQ1. [Q3で1, 2と答えた人に] 住みよい理由は何ですか。(FA)

SQ2. [Q3で3, 4と答えた人に] 住みにくい理由は何ですか。(FA)

## 【生活環境】

Q4. あなたの住んでいる付近の緑の状況は、数年前にくらべて良くなったでしょうか。悪くなったでしょうか。(1A)

1. 良くなった      3. 悪くなった      5. わからない  
2. 変わらない      4. どちらともいえない

⑧

Q5. あなたは公害の被害を受けたことがありますか。次の中から受けたものをいくつでも選んでください。〔回答票1提示〕(MA)

1. 大気汚染      3. 振動      5. その他( )  
2. 騒音      4. 悪臭      6. いずれも受けたことはない

⑨

⑬

Q6. 公害対策として、区にどんなことをしてほしいと思いますか。次の中からとくに規制や指導などをしてほしいと思うものを2つ以内で選んでください。〔回答票2提示〕(2A)

1. 工場・作業場から出るばい煙・騒音・振動・悪臭  
2. 建設工事にともなう騒音・振動  
3. 自動車の排気ガス・騒音・振動  
4. 日常生活における騒音・振動・悪臭  
5. 被害者に対する医療費の補償など救済制度の充実  
6. 公害防止資金貸付制度の充実  
7. 各種測定結果の公表やポスターによるPR  
8. その他( )  
9. 特にない

⑭

⑮

Q7. 隣り近所からの騒音で迷惑を受けたことがありますか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票3提示〕(2A)

01. テレビ・ステレオ      07. チリ紙交換や物売りのスピーカー  
02. ピアノ・ギター      08. 商店や飲食店からの音  
03. 話し声・歌声・泣き声      09. 犬や猫のなき声  
04. クーラーなど冷暖房機器の音      10. その他( )  
05. 階段や二階などの物音・足音      11. 特にない  
06. 自動車・オートバイ

⑯

⑰

Q8. お宅の付近の道路の状況はいかがですか。(1A)

1. たいへんよい      3. どちらともいえない      5. 非常によくない  
2. よい      4. あまりよくない

SQ. [Q8で4, 5と答えた人に]どんな点が不満ですか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票4提示〕(2A)

01. 道が狭く災害時に不安である      06. 狭い道に車はいり込んで困る  
02. 幹線道路が混雑する      07. 道路に歩道がなく歩きにくい  
03. 道路が狭く、車が走りづらい      08. 道路に緑が少ない  
04. バスが渋滞に巻き込まれて遅れる      09. 子供の通学路が危険である  
05. 車による公害(騒音・振動・排ガス)がひどい      10. その他( )

⑳

㉑

Q9. 現在、都と区が「都市計画道路」の見直し作業に入っていますが、知っていますか。(1A)

1. 知っている      2. 知らない

②5

Q10. 法律で、「都市計画道路」に指定された区域では、3階建て以上の建物が建てられないために、住民に不満がでていますが、これについてどう思いますか。(1A)

1. 将来の道路予定地としてやむをえない制限である  
2. 制限によって受ける損失に対して、補償すべきである  
3. 制限を緩和すべきである  
4. 制限を撤廃すべきである  
5. その他( )  
6. わからない

②6

## 【地域社会】

Q11. 最近、コミュニティという言葉がよく使われます。これは地域社会または近隣社会という意味で使われますが、コミュニティとはどの程度の範囲だと思いますか(1A)

1. 隣り近所      6. 特別出張所を中心とした地域  
2. 日常の買物をする地域      7. 新宿区全体  
3. 町会・自治会の地域      8. その他( )  
4. 小学校を中心とした地域      9. わからない  
5. 駅を中心とした地域

②7

Q12. 隣り近所の人とふだんどの程度のお付き合いをしていますか。(1A)

1. 挨拶をかわす程度      4. 困ったときは助け合う程親しい  
2. 立ち話をする程度      5. ほとんど付き合っていない  
3. お互いの家に行き来している      6. 付き合っていない

②8

SQ1. [Q12で1～4と答えた人に] どんなきっかけで付き合うようになりましたか。(FA)

SQ2. [Q12で5, 6と答えた人に] 付き合わない理由は何ですか。(FA)

Q13. 最近の報道で、一人暮らしの老人が死んだまま発見されたり、両親が不在のまま小学生の子供だけで何か月も暮らしていたということがありましたが、これについてどう思いますか。(1A)

1. 個人的な事情があつてのことだから仕方ない      4. 隣り近所の人たちが気を付けるべきだ  
2. 気の毒だとは思うが何もできない      5. 役所などの行政機関が面倒をみるべきだ  
3. だれか親戚の人などが気を付けるべきだ      6. その他( )  
7. わからない

②9

Q 14. あなたが住んでいる地域にほしいと思う施設を、次の中から2つ以内で選んでください。〔回答票5 提示〕(2A)

- |          |             |            |    |
|----------|-------------|------------|----|
| 01. 保育園  | 06. 公園・児童遊園 | 11. 図書館    | ③0 |
| 02. 児童館  | 07. 健康相談所   | 12. その他( ) | }  |
| 03. 集会室  | 08. 運動場     | 13. 特にない   | ③3 |
| 04. 婦人会館 | 09. 体育館     |            |    |
| 05. 老人会館 | 10. 社会教育会館  |            |    |

## 【児童・青少年】

Q 15. 今年は国際児童年ですが、ご存知ですか。(1A)

- |          |         |    |
|----------|---------|----|
| 1. 知っている | 2. 知らない | ③4 |
|----------|---------|----|

Q 16. では、青少年がすこやかに育ち、それを取りまく環境をよくするには、どこが最も力を入れてやらなければならないと思いますか。(1A)

- |               |           |    |
|---------------|-----------|----|
| 1. 個々の家庭      | 4. 学校     | ③5 |
| 2. 地域社会       | 5. その他( ) |    |
| 3. 区役所などの行政機関 | 6. わからない  |    |

Q 17. あなたは子供にどんなことを身につけてほしいと思いますか。次の中から主なことを2つ以内で選んでください。〔回答票6 提示〕(2A)

- |          |           |            |    |
|----------|-----------|------------|----|
| 01. 自主性  | 06. 礼儀作法  | 11. 協調性    | ③6 |
| 02. 忍耐力  | 07. 判断力   | 12. その他( ) | }  |
| 03. 自立心  | 08. 責任感   | 13. 特にない   | ③9 |
| 04. 親切心  | 09. 豊かな情操 |            |    |
| 05. 社会道徳 | 10. 自己表現力 |            |    |

Q 18. 子供に対しては、地域の人全体が親のように注意を払うべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

- |                             |                  |    |
|-----------------------------|------------------|----|
| 1. 当然のことだ                   | 4. 子供の親に任せておけばよい | ④0 |
| 2. 個人主義化しているので実際には<br>むずかしい | 5. むしろ学校や役所の仕事だ  |    |
| 3. 自分の子供のことで精一杯だ            | 6. その他( )        |    |
|                             | 7. わからない         |    |

Q 19. また、子供が宿題や塾などあらゆるものから解放され、遊びに専念できる「こどもの午後」を、日を決めて設けるべきだという意見がありますが、どう思いますか。(1A)

- |                               |                  |    |
|-------------------------------|------------------|----|
| 1. ぜひ設けるべきだ                   | 5. 都会は危険が多いので心配だ | ④1 |
| 2. できれば設けるべきだ                 | 6. そんな必要はない      |    |
| 3. それぞれの考えがあるので、実際<br>にはむずかしい | 7. その他( )        |    |
| 4. そんなことをすると勉強が遅れる            | 8. わからない         |    |



Q20. 新宿区には、区民による地区青少年対策委員会があり、青少年をとりまく環境を良くする活動などをしていますが、あなたは知っていますか。(1A)

1. 知っている                      2. 知らない

④2

Q21. では、地区青少年対策委員会の活動に参加したいと思いますか。(1A)

1. 委員として積極的に参加したい                      4. すでに委員として参加している  
2. 呼びかけがあれば参加したい                      5. わからない  
3. 参加したくない

④3

Q22. 区の児童・青少年のための事業として、とくに力を入れてほしいと思うことは何ですか。(1A)

1. スポーツをする機会をもっと与える                      6. 非行化・自殺の防止  
2. 幼稚園・保育園・児童館を充実する                      7. 仲間づくりの促進  
3. 健康診断・栄養指導を強化する                      8. その他(                      )  
4. 公園・児童遊園などの遊び場を充実する                      9. 特にない  
5. 学校教育の充実

④4

## 【婦 人】

Q23. 女性が職業を持つことについて、あなたはどのように思いますか。(1A)

1. ぜひ持つべきだ                      4. 持つべきではない  
2. 条件が許す限り持つべきだ                      5. わからない  
3. あまり持たない方がよい

④5

〔Q23で1、2と答えた人に〕

SQ1. 〔男性の場合〕では、あなたの身近な女性に職業を持ってほしいと思いますか。(1A)

1. ぜひ持ってほしい                      4. あまり持ってほしくない  
2. 条件が許す限り持ってほしい                      5. 持ってほしくない  
3. 今は無理だが持ってほしい                      6. 現在持っている

④6

SQ2. 〔女性の場合〕では、あなたは職業を持ちたいと思いますか。(1A)

1. ぜひ持ちたい                      4. あまり持ちたくない  
2. 条件が許す限り持ちたい                      5. 持ちたくない  
3. 今は無理だが持ちたい                      6. 現在持っている

④7

Q24. 女性が職業を持つ場合、どのような障害があると思いますか。次の中から主なことを2つ以内で選んでください。〔回答票7提示〕(2A)

- |                  |                       |    |
|------------------|-----------------------|----|
| 01. 職種が限定されている   | 07. 家族の理解・協力がいない      | ④8 |
| 02. 職場での差別待遇がある  | 08. 出産・育児(保育所が不足している) | }  |
| 03. 職業意識が低い      | 09. 病人・老人の世話がある       | ⑤1 |
| 04. 技能・技術が不足している | 10. その他( )            |    |
| 05. 法律・制度上の差別がある | 11. わからない             |    |
| 06. 家庭の潤いがなくなる   |                       |    |

Q25. 女性が地域活動やボランティア活動、学習活動などをするについてはどう思いますか。(1A)

- |                 |             |    |
|-----------------|-------------|----|
| 1. ぜひやるべきだ      | 4. やるべきではない | ⑤2 |
| 2. 条件が許す限りやるべきだ | 5. わからない    |    |
| 3. あまりやらない方がよい  |             |    |

Q26. 区が行っている女性のための事業として、とくに力を入れてほしいことは何ですか。(1A)

- |                   |                    |    |
|-------------------|--------------------|----|
| 1. 技術・技能訓練        | 6. 講座・講習会の充実       | ⑤3 |
| 2. 相談窓口の拡充        | 7. 母子家庭などに対する生活援助・ |    |
| 3. 保育事業・家庭福祉員の拡充  | 各種資金・手当の充実         |    |
| (就労援助)            | 8. その他( )          |    |
| 4. 医療・検査の充実(母性保護) | 9. 特にない            |    |
| 5. 社会活動のための場の拡充   |                    |    |

## 【区民保養所】

Q27. あなたは、この1年間に区民保養所を利用したことがありますか。(1A)

- |                     |                    |    |
|---------------------|--------------------|----|
| 1. 箱根つつじ荘(中強羅)を利用した | 4. 知っているが利用したことはない | ⑤4 |
| 2. 住吉館(伊豆長岡)を利用した   | 5. 知らない            |    |
| 3. 両方とも利用した         |                    |    |

SQ1. 〔Q27で1～3と答えた人に〕利用した理由は何ですか。(1A)

- |            |    |
|------------|----|
| 1. 交通が便利だ  | ⑤5 |
| 2. 設備がよい   |    |
| 3. 料金が安い   |    |
| 4. 食事がよい   |    |
| 5. 温泉がある   |    |
| 6. 山がある    |    |
| 7. 海水浴ができる |    |
| 8. その他( )  |    |
| 9. 特に理由はない |    |

SQ2. 〔Q27で4と答えた人に〕利用したことがない理由は何ですか。(1A)

- |              |    |
|--------------|----|
| 1. 希望の日がとれない | ⑤6 |
| 2. 申し込みがめんどろ |    |
| 3. 場所が良くない   |    |
| 4. 他の旅館を利用する |    |
| 5. 料金が高い     |    |
| 6. その他( )    |    |
| 7. 特に理由はない   |    |

## 【区政への関心・要望】

Q28. あなたは区政に関心をお持ちですか。(1 A)

- |             |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| 1. 非常に関心がある | 3. あまり関心がない  | 5. わからない |
| 2. 少しは関心がある | 4. ほとんど関心がない |          |

(57)

Q29. あなたはふだん、区政に関することや区の行事、お知らせを何で知りますか。次の中から主なものを2つ以内で選んでください。〔回答票8提示〕(2 A)

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1. 新宿区広報               | 5. 新聞・テレビ・ラジオ    |
| 2. 区議会だより              | 6. 町会・自治会の会合や回覧板 |
| 3. 写真ニュース              | 7. 家族や知人・友人の話    |
| 4. わたしの便利帳・区政要覧・パンフレット | 8. その他( )        |
|                        | 9. 関心がない         |

(58)

(59)

Q30. 区では、「新宿区広報」を毎月3回、6大紙(朝日、毎日、読売、サンケイ、東京、日経)の新聞折り込みで配布していますが、お宅には届いていますか。(1 A)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1. 届いている  | 3. わからない      |
| 2. 届いていない | 4. 6大紙をとっていない |

(60)

SQ1.〔Q30で1と答えた人に〕あなたは読んでいますか。(1 A)

- |          |            |
|----------|------------|
| 1. よく読む  | 3. あまり読まない |
| 2. ざっと読む | 4. 全く読まない  |

(61)

SQ2.〔SQ1で1、2と答えた人に〕「新宿区広報」に対して、ご意見・ご要望がありましたら、何でもおっしゃってください。(FA)

Q31. 現在の新宿区長の名前を知っていますか。〔知っている人に〕区長の名前をおっしゃってください。(1 A)

- |              |              |         |
|--------------|--------------|---------|
| 1. 知っている(正答) | 2. 知っている(誤答) | 3. 知らない |
|--------------|--------------|---------|

(62)

Q32. 新宿文化センター(新宿6丁目)は、去年の4月1日に一般オープンしましたが、あなたはこの施設を知っていますか。(1 A)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(63)

Q33. この集会施設には1,800人収容の大ホールを始め、小ホール、集会室、展示室、ロビーなどが設けられ多目的に利用できるよう設計されています。この施設でどんな催し物を希望しますか。次の中から2つ以内で選んでください。〔回答票9提示〕(2 A)

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 1. クラシック音楽会        | 7. 美術・書・郷土資料・産業資料などの展示会 |
| 2. ポピュラー音楽会        | 8. 各種講座・講習会             |
| 3. 新劇・歌舞伎などの演劇     | 9. その他( )               |
| 4. 日本舞踊・バレエなどの舞踊   |                         |
| 5. 浪曲・落語・漫才などの大衆芸能 |                         |
| 6. 映画会             |                         |

(64)

(65)

Q34. 現在、あなたが区に対して最も力を入れてほしいと思う事業はなんですか。次の中から、第1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ以内で選んでください。〔回答票10提示〕(3A)

01. 道路の整備（舗装、ガードレール、街路灯など）

02. 公園、児童遊園の整備・拡充

03. 緑化対策

04. 環境衛生（ゴミ収集、街の清掃など）

05. 学校教育施設の整備（幼稚園、小・中学校施設、校外施設など）

06. 区民のための施設の整備（公会堂、保養所、福祉会館など）

07. 老人福祉

08. 心身障害者(児)福祉

09. 低所得層や母子世帯福祉

10. 青少年の健全育成対策

11. 中小企業対策

12. 消費者保護対策

13. 震災対策

14. 水害対策

15. 公害対策

16. 区民の健康管理

17. 食品衛生

18. 社会教育・社会体育活動の推進

19. 幼児・児童の保育対策

20. 交通安全対策

21. 風紀の取り締まり

22. その他( )

23. 特にない

第1位	
第2位	
第3位	

【フェース・シート】最後に、あなたとご家族のことについてお聞きます……………

F1. 性別（これは聞かない）1. 男 2. 女 72

F2. 満何歳でしょうか。 歳 1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上 73

F3. あなたのご職業は何でしょうか。〔回答票11提示〕(1A)

1. 自営業・事業主

2. 管理職・自由業

3. 事務職・技術職

4. 労務職・サービス職

5. 主婦

6. 学生

7. 無職

8. その他( )

F4. ご一緒に住んでいるご家族は、あなたを含めて何人ですか。(1A)

1. 1人

2. 2人

3. 3人

4. 4人

5. 5人

6. 6人以上

F5. あなたは、ご一緒に住んでいる家族の中で、次のうちのどれにあたりますか。あなたご自身のこととしてお答えください。〔子供がいる親の場合は、現在一番上の子供の年齢が乳・幼児か、小・中学生かなどで分類する〕〔回答票12提示〕(1A)

01. 結婚前の独身者

02. 子供がいない若夫婦の夫あるいは妻

03. 結婚し、乳・幼児がいる親

04. 小・中学生がいる親

05. 高校・大学生がいる親

06. 学校教育を終えた独身の子供がいる親

07. 子供が結婚して一緒に住んでいる親

08. 子供が独立して2人だけになった親

09. 子供が独立して1人だけになった親

10. その他( )

F6. お宅の住宅の種類は何でしょうか。(1A)

1. 一戸建持家

2. 一戸建借家

3. 民間木造アパート

4. 鉄筋アパート・マンション(公共住宅含む)

5. 社宅・官舎

6. 寮・間借り・住込み

7. その他( )

F7. お宅には自動車(四輪車)がありますか。(1A)

1. ある

2. ない

==== どうもありがとうございました ====

---

## 第7回 新宿区政世論調査報告書

昭和54年10月発行

企画・発行 東京都新宿区企画部広報課  
東京都新宿区歌舞伎町1-4-1  
電話：209-1111（大代）

実施 日本EDP株式会社 調査部  
東京都港区芝公園4-2-8  
電話：434-8831（代）

---